平成29年3月

岩手大学教育推進機構

年次報告別冊
2015

THE ANNUAL REPORT OF CENTER FOR TEACHING, LEARNING and CAREER DEVELOPMENT, IWATE UNIVERSITY, 2015

CONTENTS

1．入学者受入の方針
2．学位授与の方針
3．教育課程編成・実施の方針
4．「学位授与の方針」達成状況
　自己評価チェックリスト
5．カリキュラムチェックリスト

国立大学法人岩手大学
教育推進機構
Iwate University : Center for Teaching, Learning and Career Development

年次報告別冊

目　次

◇入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

岩手大学…… 002
人文社会科学部…… 002
教育学部…… 003
理工学部…… 004
農学部…… 008

◇学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

岩手大学…… 012
人文社会科学部…… 013
教育学部…… 022
理工学部…… 025
農学部…… 030

◇教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

人文社会科学部…… 036
教育学部…… 052
理工学部…… 057
農学部…… 064

◇「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト

人文社会科学部…… 072
教育学部…… 096
理工学部…… 101
農学部…… 110

◇カリキュラムチェックリスト

人文社会科学部…… 120
教育学部…… 160
理工学部…… 246
農学部…… 273

入学者受入の方針

（アドミッション・ポリシー）

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：岩手大学

岩手大学は，地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として，国際的な視野を持ち，幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために，高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて，次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
○　地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
○　自然や人を思いやる心と倫理性
○　豊かな発想とチャレンジ精神，そしてコミュニケーション能力

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：人文社会科学部

人文社会科学部は，グローバル化が進み変化が著しい現代社会の諸問題を，総合的観点から理解する能力と人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し，地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

そのために，本学部では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　人間・文化・社会・環境に関する基礎学力と論理的思考力
○　人間・文化・社会・環境のあり方と問題について，広く学ぶ意欲
○　多様な考え方，異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢と自らの考えを発信しようとする積極的態度
○　地域社会・国際社会の諸課題に実践的に取り組み，貢献したいという熱意

◇人間文化課程

人間文化課程は，多様な固有文化を育み，歴史的に継承されてきた地域の在り方と，そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し，グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材，及び地域の来歴を踏まえ文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

そのために，次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　人間・言語・文化・芸術を学ぶための基礎的な学力・技能と語学力
○　多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術の現象と問題を解明しようとする強い探究心
○　人間・言語・文化・芸術の問題を，世界及び地域双方の広い観点から学ぶことへの高い関心
○　人間・言語・文化・芸術に関する学修を実践に活かし，地域社会・国際社会に貢献しようとする強い意欲

◇地域政策課程

地域政策課程は，震災復興から，未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え，地域創生・地域マネジメントの課題に，法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら，総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

そのために，次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　社会・環境について学ぶための基礎的な学力

○　複雑に絡み合う社会・環境の現象と問題を解明しようとする強い探究心
○　社会・環境の問題を，法・経済・環境の広い観点から学ぶことへの高い関心
○　法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし，地域社会・国際社会に貢献しようとする強い意欲

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）： 教育学部

◇教育学部・学校教育教員養成課程

教育学部すなわち学校教育教員養成課程は，幅広い視野と教養，そして実践的な指導力を兼ね備えた学校教員の養成を目的としています。

そのために，本学部では教員養成の専門学部として次のような資質・能力を備えた入学者を求めています。

○　学校教育への関心と教員への意欲
○　自ら学ぼうとする姿勢と社会問題に主体的に対応できる基礎学力
○　豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力
○　社会問題を自らの課題として位置づけ，解決・改善に取り組む意欲と姿勢

【小学校教育コース】

小学校教育コースは，人間の成長過程で重要な位置を占める小学校段階の教育を担う教員の養成を目的としています。本コースでは，小学校教育に関わる教科指導と生活指導に関する専門的知識・技能および実践的指導力に加え，小学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

そのために，本コースでは次のような資質・能力を備えた入学者を求めています。

○　小学校教育への関心と小学校教員への強い意欲
○　小学校教育コースで学ぶために必要な基礎学力
○　小学校教育の諸課題に積極的に取り組もうとする意欲と関心
○　子どもに対する愛情と対人関係能力

【中学校教育コース】

中学校教育コースは，特定の教科に関する専門性を備え，生徒の発達に応じて適切に指導できる中学校教員の養成を目的としています。本コースでは，教科に関する専門的な学力とともに，生活指導に関する専門的知識・技能および実践的指導力を有し，中学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

そのために，本コースでは次のような資質・能力を備えた入学者を求めています。

○　中学校教育への関心と中学校教員への強い意欲
○　中学校教育コースで専門教科を学ぶために必要な基礎学力
○　中学校教育をめぐる諸課題に対する幅広い視野と強い関心
○　子どもに対する愛情と対人関係能力

【理数教育コース】

理数教育コースは，子どもたちに理科・数学に関する確かな学力や学ぶことの大切さを伝えるとともに，子どもたちの科学的な思考力や創造性を育成する理数教育の担い手として，小学校におけ

る理科・算数の教科リーダーとなる教員，また中学校における高い専門性を備えた理科・数学の教員を養成します。

そのために，本コースでは次のような資質・能力を備えた入学者を求めています。

○　理数教育への関心と理数教員への強い意欲
○　自然科学・数学を学ぶための基礎学力
○　自然科学・数学分野における旺盛な探究心と論理的思考力
○　自然科学・数学分野に強い関心を持ち，積極的に勉学しようとする意欲

【特別支援教育コース】

特別支援教育コースは，特別支援学校，特別支援学級，小学校・中学校等の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもに対して，主体的取り組みを支援する観点から教育的ニーズを把握し，適確に指導・支援できる教員を養成します。

そのために，本コースでは次のような資質・能力を備えた入学者を求めています。

○　特別支援教育への関心と特別支援学校教員への強い意欲
○　特別支援教育コースで学ぶために必要な基礎学力
○　子どもの思いによりそう豊かな人間性と子ども理解の基礎となるコミュニケーション能力
○　特別支援教育及び関連分野における課題を自らの課題として位置づけ，解決・改善に取り組む意欲と姿勢

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：理工学部

理工学部は，理工学分野又は工学分野の基礎学力と科学技術分野に関する課題を解決するために必要な専門的能力を有し，グローバルな視点に立ちながら地域社会づくりやイノベーション創出に貢献できる技術者と研究者，次世代の優秀な理系人材を育成する教育者の養成を行います。また，持続可能な社会の発展のために，理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

そのために，本学部では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　理工学分野又は工学分野を学ぶ意欲と学習に必要な基礎学力
○　理工学分野又は工学分野における課題を発見・探求し，解決したいという積極性
○　豊かな発想力と論理的な思考力
○　地域や社会における課題への理解力と地域貢献等への意欲

◇化学・生命理工学科

化学・生命理工学科では，化学及び生命に関連する科学技術分野の理工学的な諸課題を解決するための理学的な基礎学力と工学的な応用学力を統合した総合学力を有し，国際的視点に立ちながら地域社会づくりに貢献できる研究者や技術者，教育者の育成を行います。また，持続可能な社会の発展のために，化学及び生命理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

そのために，本学科では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　化学及び生命理工学の学習に必要な基礎学力
○　化学・生命分野における豊かな発想力と論理的な思考力
○　化学・生命分野における課題を探究し，解決したいという積極性

【化学コース】

化学コースでは，化学及びその関連分野に関する広範な基礎学力と，課題を探求し解決できる能力を有し，地域社会と国際社会の持続可能な発展に貢献できる人間性豊かな専門技術者，研究者，教育者の育成を行います。

そのために，本コースでは次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　化学の専門科目を学ぶに相応しい必要な基礎学力
○　化学物質や化学反応に強い関心を持ち，それらの性質や機能を解明しようとする探究心
○　資源，エネルギー，環境保全等の諸課題を解決しようとする意欲

【生命コース】

生命コースでは，工学分野の基礎知識と生命科学分野の専門的知識を身につけた人材，課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者や研究者の育成を行います。具体的には，医療機器，医薬品，福祉産業分野で活躍できる人材，地域はもとよりグローバルに活躍できる人材の育成を目的とします。

そのために，本コースでは次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　医療技術開発に興味を持ち，新しい課題に挑戦する積極性
○　生命科学分野における問題解決や真理探究への意欲
○　地域社会や国際社会で活躍する意欲
○　生命科学研究に対する教養と倫理観

◇物理・材料理工学科

物理・材料理工学科では，数理科学，物理科学，物質科学，材料工学の各分野を担える広範な専門基礎学力と，関連する諸課題を探究し解決できる能力を有し，地域社会と国際社会の持続発展に貢献できる人間性豊かな技術者，研究者，教育者の育成を行います。

そのため，本学科では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　高校教育の中で，数学，物理，化学，英語などを十分に学習し，本学科の学習に必要な基礎学力
○　数理科学，物理科学，物質科学，材料工学に強い関心を持ち，環境との調和に留意しつつ，これらの発展に大きな貢献をしたいという意欲
○　強い勉学意欲と，新しい課題に挑戦する積極性

【数理・物理コース】

数理・物理コースでは，物質の性質から宇宙の構造まで，自然界の仕組みを探究する中で深く論理的に考える力を養い，学んだ知識や考え方を活用して，社会に貢献できる人材の育成を行います。

そのために，本コースでは次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　数理・物理科学を学ぶに相応しい，数学，物理，化学，英語等の基礎学力
○　数理科学，物理科学，物質科学の学問分野に対する高い勉学意欲
○　数理・物理科学分野に強い興味を持ち，自然科学の発展を通して人類が直面する諸問題に取り組みたいという意欲
○　新しい課題に挑戦する積極性と，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲

【マテリアルコース】

マテリアルコースでは，すべての産業を支える“材料”の性質を原子・分子レベルから科学的に理解し，新しい材料やそれらの製造・評価技術の開発につながる専門知識と技術を習得して，社会に貢献できる人材の育成を行います。

そのために，本コースでは次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　材料・物質科学を学ぶに相応しい，数学，物理，化学，英語等の基礎学力
○　材料工学や物質科学の学問分野に対する高い勉学意欲
○　材料・物質科学分野に強い興味を持ち，環境との調和を図りながら，産業の発展を通して社会の諸問題に取り組みたいという意欲
○　新しい課題に挑戦する積極性と，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲

◇システム創成工学科

システム創成工学科では，知能・メディア情報，電気電子通信，機械科学，社会基盤・環境の各科学技術分野に関する広範な基礎学力と工学分野における課題を探求し，解決するために必要な専門的能力を有し，地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる技術者や研究者の育成を行います。

そのために，本学科では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　システム創成工学を学ぶに相応しい数学，物理，化学，英語などの基礎学力
○　電気電子通信，知能・メディア情報，機械科学，社会基盤・環境の各分野に強い関心を持ち，豊かな発想力と論理的な思考力を有し，自ら積極的に勉学しようとする意欲
○　システム創成工学分野における課題を積極的に解決しようとする探究心

【電気電子通信コース】

電気電子通信コースでは，自然との共生を考えた再生可能エネルギー，先端技術を支えるエレクトロニクスデバイス，高度情報化社会を支える通信ネットワークなどの専門分野を担う，十分な専門的能力を身に付けた人材の育成を目標とし，基礎理論から実用的技術開発まで広範な教育・研究を行います。

そのために，本コースでは次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　電気電子通信工学を学ぶに相応しい基礎学力と論理的な思考力
○　電気電子通信工学への高い勉学意欲
○　地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲及びコミュニケーション能力

【知能・メディア情報コース】

知能・メディア情報コースでは，安心・安全で豊かな生活環境を支えるための高度で多様な情報システムを構築できる人材の育成を目標とし，コンピュータの基礎理論から知能情報工学，メディア情報工学に至るまでの広範な教育・研究を行います。

そのために，本コースでは次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　情報工学を学ぶに相応しい基礎学力
○　積極的に人と協働できるコミュニケーション能力と情報工学を学ぶための論理的思考能力
○　情報工学に強い興味と関心を持ち，社会や生活上の様々な問題の解決に情報技術を通じて貢献しようとする意欲

【機械科学コース】

機械科学コースでは，先端的なものづくりの分野において，次世代の科学技術を創出することにより持続可能な社会を実現することを目指し，環境負荷の低減や省エネルギーなど，多様な社会の要求に柔軟に対応しながら，機械システムを創成できる能力を身に付けた機械系技術者を育成します。

そのために，本コースでは次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　持続可能な社会の実現のために，地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲
○　機械科学に興味を持ち，それを学ぶために相応しい基礎学力と論理的な思考力
○　人類の多様な課題に関心を持ち，解決のために情報を収集する行動力
○　機械科学における課題を積極的に探求し，解決しようとする意欲

【社会基盤・環境コース】

社会基盤・環境コースでは，安全・安心な社会基盤の整備をはじめ，既設構造物の長寿命化，環境問題の克服，循環型社会の実現を目指し，建設工学・環境工学・防災工学を専門分野とした教育研究を展開し，これらの専門分野に精通した建設技術者の育成を行います。

そのために，本コースでは次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　社会基盤・環境工学の専門科目を学ぶに相応しい基礎学力
○　持続可能な社会の実現のための豊かな発想力と論理的な思考力
○　自然と調和し，安全・安心な社会の構築のために，社会基盤・環境工学に関する様々な課題を積極的に探求し，解決しようとする意欲
○　地域はもとよりグローバルに活躍したいという意欲及びコミュニケーション能力

【特別プログラム】

理工学部には，次の特別プログラムがあります。特別プログラム履修者は，所属する学科及びコースが求める能力・資質に加え，それぞれの特別プログラムが求める能力・資質を備えた入学者を求めています。

なお，先端理工学特別プログラム履修生については，入学後，希望者に対して実施する面接結果と入学試験の成績により選抜します。

「先端理工学特別プログラム　〔全学科対象〕」

先端理工学特別プログラムでは，理工学分野に高い興味と関心を持ち，専門分野での学修に高い意欲を持った次のような入学者を求めています。

○　理工学分野における高度な専門性を修得するのにふさわしい基礎学力
○　大学院進学までも見据えた理工学分野への高い勉学意欲，及び，新しい問題に積極的に取り組む意欲
○　地域社会から国際社会まで，その発展に幅広く貢献しようとする意欲・行動力・リーダーシップ

「地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉　〔システム創成工学科の電気電子通信コース，知能・メディア情報コース及び機械科学コースが対象〕」

地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉では，ものづくりに高い興味と関心を持ち，

地域産業の活性化に資する高度な専門技術を身に付け，地域の中小企業等で活躍し，独自技術を芽吹かせようとする高い意欲を持った次のような入学者を求めています。

○　地域の中小企業で独自技術を開発したいという強い意欲
○　工学を学ぶために必要な基礎学力と論理的な思考力
○　課題解決のために情報を収集する行動力
○　ものづくりに対する豊かな感性や想像力

「地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉　〔システム創成工学科の社会基盤・環境コースが対象〕」

地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉では，建設・環境に関する専門技術を身に付け，地域防災ならびに復興に関して次のような高い意欲や資質を備えた入学者を求めています。

○　防災・まちづくりの専門科目を学ぶに相応しい基礎学力
○　持続可能な社会の実現のための豊かな発想力と論理的な思考力
○　自然と調和し，安全・安心な社会の構築のために，社会基盤・環境工学に関する様々な課題を積極的に解決しようとする探究心
○　地域社会から国際社会まで幅広く活躍したいという意欲とそれに必要なコミュニケーション力

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：農学部

農学部は，植物生命科学，応用生物化学，森林科学，食料生産環境学，動物科学ならびに獣医学の各分野において，基礎から応用までの一貫した知識と技術を習得し，持続的な食料生産と環境保全の両立，食料の安全と安定的供給の確保，人類とそれを取り巻く生命の健康・保全，生命現象の解明と機能応用に寄与する人材を育成することを目的としています。

そのために，本学部では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　農学を学ぶに相応しい基礎学力
○　生命の尊さを知り，食料生産，生物資源の開発と利用について専門的知識を習得する意欲
○　農学に関するグローバルな問題を地域の視点から論理的にとらえる思考力
○　持続可能な社会の実現に向けて行動する姿勢

◇植物生命科学科

植物生命科学科では，植物および昆虫の生命現象と農学に関連する生命の機能を解明するための基礎知識を生物学や化学的な観点で学習します。さらに，農産物や農業生物を有益な資源として生かすために生命科学技術ならびに論理を学びます。

そのために本学科では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　生命機能の解明や生命資源利用を学ぶに相応しい基礎学力
○　生命科学や生命資源の可能性を数量的・論理的に推理・解析できる分析力
○　食料の安定供給と環境負荷低減を両立させる戦略・論理・技術を学ぶ意欲
○　新たな生命現象や未利用資源に関する成果を社会へ還元する行動力

◇応用生物化学科

応用生物化学科では，生命の現象，食品素材の特性，生物圏での物質の動きを理解するための基礎知識を化学的な視点から学習するとともに，それらに関連する実験技術を習得します。これらをもとに，微生物・動物・植物資源の有効利用や生物機能の応用についても学びます。

そのために本学科では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　生命現象や食品素材特性の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力
○　微生物や酵素の高度利用について専門的知識を習得する意欲
○　健康と食品機能について専門的知識を習得する意欲
○　食料生産と生物圏の化学的な解明について専門的知識を習得する意欲

◇森林科学科

森林科学科は，東北地域の恵まれた自然環境を背景として，森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用について総合的に学習し，自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

そのために本学科では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　森林科学を学ぶに相応しい基礎学力
○　森林の多面的機能を最大限に発揮できる森づくりに必要な知識と技術について学ぶ意欲
○　森林里山地域の自然生態系に配慮した適切な資源の利用と管理について学ぶ意欲
○　再生可能資源である木質バイオマスの総合的かつ持続的利用法について学ぶ意欲

◇食料生産環境学科

食料生産環境学科では，農業の生産基盤の整備や生活環境の向上，農村の生態系，文化・景観の保全や災害に強い地域づくり，食を取り巻く環境の急速なグローバル化~~及び~~および農業就業人口の減少や高齢化に対応する~~，~~食料生産技術の高度化，農産物の保存・流通，６次産業化，農業経営の高度化，さらに持続可能な水産資源の管理や漁獲・増養殖，加工技術の改良と開発，グローバルな視野に立った新たな流通体系などの科学と技術を学びます。

そのために本学科では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

【農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース】

○　世界的にひっ迫する食料の供給基盤の創出と持続のための理論や応用を学ぶに相応しい基礎学力
○　農村地域の持続的発展のために地域資源の適切な利用・管理について学ぶ意欲
○　農村の社会的・経済的な振興と環境保全に向けて現状と課題を学ぶ意欲
○　食料生産環境の科学的な解明や，農作業の快適化と効率化，農業廃棄物の有効利用に関する次世代にむけた理論と技術を学ぶ意欲
○　農産物の高度な保存・流通システムを構築するための基礎理論と応用について学ぶ意欲
○　グローバル化に対応した農業経営の高度化，農業の６次産業化や農業情報の利活用について学ぶ意欲

【水産システム学コース】

○　水産資源の管理・生産，その利活用，流通・販売に関する科学を学ぶに相応しい基礎学力
○　水産業全体を俯瞰するために必要な幅広い専門的知識を習得する意欲

◇動物科学科

動物科学科は，産業動物（家畜），実験動物，野生動物，展示動物などの様々な動物種および飼料作物などを対象に，人と動物が共生する地域社会の創造を目指し，効率的かつ機能的な動物産業の発展と生命科学に関する高度な科学技術の開発に貢献できる人材を育成します。

そのために本学科では次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

○　動物科学を学ぶに相応しい基礎学力
○　動物科学への強い関心と，積極的に学ぶ意欲
○　動物に関連した産業の諸問題の解決に取り組む意欲

◇共同獣医学科

共同獣医学科は，獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき，高度獣医療の提供，人類の健康と食の安全，生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

そのために本学科では，次のような能力・資質を備えた入学者を国内外から求めています。

○　獣医師としての目標を持ち，獣医学の発展に貢献しようとする意欲
○　自然や生命現象に関心を持ち，それを探求しようとする意欲
○　獣医師として，国際的な交流・協力を推進し，世界に学び世界に貢献しようとする意欲
○　常に自己を啓発し，実行力に優れ，社会で貢献しようとする意欲
○　獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を持ち，課題を探求し，問題を解決する意欲

学位授与の方針

（ディプロマ・ポリシー）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：岩手大学

岩手大学は、地域における知の府として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成を目指しています。 そのために岩手大学は、すべての学生を対象とする全学共通教育と、人文社会科学部、教育学部、工学部、農学部が専門性に応じて行う専門教育により、学生が下記のような学習成果を得られるようにしています。 学生は、各学部に所定の期間在学し、全学共通教育科目と専門教育科目の中から必要な授業科目を履修し、成績の評価を受けて、所定の単位数を修得することにより学士の学位が授与されます。

1．幅広い基礎的知識
　文化・社会・自然に関する諸現象についての学問的な基礎的知識を有する
2．学問的専門性
　所属する学部、学科・課程での学士課程に求められる学問的な専門性を習得する
3．領域を超えた学際的知識
　グローバル化、高度情報化、環境問題や持続可能性等の人類的諸課題を正しく捉えるための学際的知識を有する
4．論理的思考力
　自然現象や社会現象等を多面的に考察し、自分の考えを論理的に展開できる
5．コミュニケーション・スキル
　日本語や他の言語を運用して、課題解決に向けて他者と効果的に意思疎通を図ることができる
6．情報リテラシー
　多様な情報を適切かつモラルに則って収集・処理・分析し、その結果を有効に活用できる
7．持続可能な共生社会への志向性
　環境問題をはじめとする複合的な人類的諸課題に対して、持続可能性と共生の観点からその解決に取り組む姿勢を持つ
8．市民としての社会的責任
　人や自然を思いやり、自己の良心にしたがって市民として責任ある判断や行動ができる
9．課題探究力
　生涯を通じての持続的な学習に備え、課題を主体的に探究できる

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：人文社会科学部

人文社会科学部では、「総合化と専門深化」の教育理念に基づき、現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会および国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目的としており、所定の教育課程を学修し、以下に示す能力を修得した者に「学士（総合科学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．教養教育により幅広い分野の知識を修得している。

２．人間・文化・社会・環境について、教養教育で得た基礎的知識・技能等を土台にし、専門的な知識と理解を有するとともに、総合的・学際的な広い視野を有している。

（思考・判断）

３．総合的な学修を活かし、変化が著しく複雑化する現代社会に対応できる柔軟な思考力と的確な判断力を有している。

（技能・表現）

４．グローバル化が進む社会において、多様な考え方、異質なものを理解するとともに、自らの見解・成果を的確に表現し、発信できる高いコミュニケーション能力を有している。

（関心・意欲・態度）

５．地域社会・国際社会の諸課題に実践を通して取り組み、貢献しようとする積極的態度と高い倫理性を有している。

【行動科学専修プログラム】

行動科学専修プログラムでは、人間行動を個人的側面と社会的側面から総合的に理解し、情報科学的素養と人間学的素養をもって、地域住民の心身の問題、家族の問題、生きがいの問題など、人々が抱える多様な問題に適切に対処できる人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

１．心理学、社会学を中心とした行動科学的なアプローチから得られた人間行動に関する知識を幅広く身につけており、人間行動を総合的・多元的に理解することができる。

（思考・判断）

２．人間行動をめぐる諸問題に適切に対処するための情報分析能力やコミュニケーション能力を身につけている。

３．人間行動に関する専門的な知識等を活用して、現実の問題解決に向けてアプローチでき、地域社会に積極的な提案を行うことができる。

（技能・表現）

４．現代社会に生きる人々が新たに直面する事象を、自らの力で理解し判断する自発的課題探求力を身につけている。

５．発表や討論を通じてのコミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを修得している。

６．経験（実習・実験）を通して、チームワークやリーダーシップなどの集団活動場面におけるスキルを修得している。

（関心・意欲）

７．専門分野の学問内容、最新の研究成果、動向等について興味・関心を持っている。

８．専門性を活かして、社会に参画する意欲を持っている。
（態度）
９．人間に対する深い理解と広い視野に基づく学際的・総合的な課題探求能力を修得し、現代社会の様々な課題を全体的に把握し、それらの課題に適切かつ柔軟に対処できる。

【スポーツ科学専修プログラム】
スポーツ科学専修プログラムでは、スポーツ科学の基礎的な知識を踏まえ、多様な対象者に適切な運動やスポーツの処方や指導ができる資質を身につけ、スポーツを通した地域づくりや地域住民の心身の健康づくりに適切に対処できる人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．スポーツ科学の基礎的な知識を理解している。
２．健康づくりに関する知識とその意義を理解している。
（思考・判断）
３．スポーツや健康に関する地域の多様なニーズやシーズを察知でき、適切な対応策が講じられる。
（技能・表現）
４．対象に応じた適切な運動処方が計画、および具体的な実践指導ができる。
５．地域課題を探索するために、社会調査等を利用した方法が活用できる。
（関心・意欲）
６．健康やスポーツによる地域の活性化や地域づくりに関心を持ち、自ら地域に出て実践的な活動をする意欲がある。
（態度）
７．専門性を生かし、グローバルな視野から地域貢献に積極的に関わる態度を身につけている。

【現代文化専修プログラム】
現代文化専修プログラムでは、人間の営みの総体としての文化を近代モダニズムを含む現代的な視点から捉え、文化現象の生成・発展・変容とともに流動化する現代社会を把握し、文化の継承や創成を通じて地域社会の活性化に寄与できる人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．人間と文化に関して幅広い知識と素養を有している。
２．国際的な視野に立って異文化を理解できる。
３．地域社会の諸問題を歴史や思想などの根源的原理から考察できる。
４．現代的状況の下で文化がどのように変容していくかを理解できる。
（思考・判断）
５．地域社会の現況把握や遭遇する諸課題に対して、多角的な視点から対象を把握できる。
６．グローバルな観点が不可欠な現代的諸課題に対して、柔軟な思考で最適解を導き出せる判断力を有している。
（技能・表現）
７．対象に応じた認識手段や分析手法を有している。

８．企画・立案した内容や自身の見解等を的確に説明し発信できる。
（関心・意欲・態度）
９．未知の事象に対しても積極的に対応し得る好奇心や意欲を持っている。
１０．地域社会の活性化等に主体的に関わろうとする態度を有している。

【異文化間コミュニティ専修プログラム】
異文化間コミュニティ専修プログラムでは、性別、国籍、言語・民族性などの違いによってマイノリティ（少数者）が生み出されるしくみ、社会的排除の現状と歴史的背景を学び、これらの知識と当事者へのエンパワーメント・スキルを身につけ、社会的排除の乗り越えを目指す地域の創生に貢献できる人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．マイノリティが生み出されるしくみについて、総合的・多角的に理解する能力を有している。
２．社会的排除の現状・歴史的背景・乗り越えをめぐる模索について、人文・社会諸科学の幅広い知識にもとづいて理解する能力を有している。
（思考・判断）
３．性別、国籍、言語・民族性などの違いによって、自らがどのような社会的位置づけに置かれているのかを、人文・社会科学の諸議論をふまえて思考する能力を有している。
４．性別、国籍、言語・民族性などの違いによって、自らにどのような視座の偏りが生じるのかについて、自覚的な思考ができる能力を有している。
（技能・表現）
５．社会的排除当事者へのエンパワーメント・スキルのうち、基礎的な技能を身につけている。
６．社会的排除当事者のヴァルネラヴィリティ（社会的立場の弱さ）を考慮に入れた、行動や表現ができる能力を有している。
（関心・意欲）
７．多様なコミュニケーション手段を積極的に学び、国内のみならず国際的な異文化間コミュニティ形成に対する関心を有している。
（態度）
８．社会的排除の乗り越えに対して、地域の一員として主体的に関わろうとする態度を持っている。

【歴史専修プログラム】
歴史専修プログラムでは、日本・アジア・西洋の過去を横断的に学び、現代の諸問題の歴史的背景を理解するとともに、過去との対話を通して現代を相対化して捉える能力を身につけ、流動性や越境性を増す現代社会で活躍できる、歴史的視座と国際的視野、および比較の視点を有する人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．人間と文化に関する幅広い知識と教養を有し、国際的な視野に立って異文化を理解することができる。

２．日本・アジア・西洋各国の歴史に関する横断的、基礎的な知識を有し、現代の諸問題の歴史的背景を理解している。
（思考・判断）
３．日本・アジア・西洋各国の政治・経済・社会・文化・思想などについて歴史的視座から検討し、また国際的視野から比較することを通して、現代の諸地域の政治・経済・社会・文化・思想などを相対化し、問い直すことのできる能力を身につけている。
（技能・表現）
４．文献資料あるいは非文献資料を適切に取り扱い、読み解く能力を身につけている。また、従来の研究成果を批判的に検討し、自らの見解を論理的に組み立て、資料に基づいて適切に発表することができる。
（関心・意欲・態度）
５．日本・アジア・西洋各国の歴史に関する諸問題について自らの課題を見出し、主体的に探究する意欲を持っている。

【芸術文化専修プログラム】
芸術文化専修プログラムでは、社会における文化・芸術のあり方に関する総合的な学修を基礎として、生涯教育活動の中核となる芸術文化の実践によって、地域における文化の活性化、および地域からの文化発信に貢献できる人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。
２．芸術文化の諸領域に関して総合的な素養を身に付けている。
３．現代的状況や地域社会の下で、多様な視点から芸術文化を理解することができる。
４．芸術文化におけるアート・デザイン・クラフト・理論の諸領域のいずれかに関して深い知識を有している。
（思考・判断）
５．芸術文化について、作品鑑賞や文献を使って自主的に学習し思考することができる。
６．探求する課題について論理的に思考・判断することができる。
（技能・表現）
７．芸術文化におけるアート・デザイン・クラフト・理論の諸領域のいずれかに関して、実践的あるいは論理的な技能を身に付け、作品あるいは文章によって表現することができる。
８．探求する課題について、制作あるいは文章によって自分の考えを展開し、表現することができる。
（関心・意欲）
９．芸術文化に関する関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲を有している。
（態度）
10．強い責任感を持って、専門分野を社会に活かそうとする態度を身に付けている。

【英語圏文化専修プログラム】
英語圏文化専修プログラムでは、英語圏の文化・文学・言語について深い理解と英語の高度なコミュニケーション能力を通して、グローバル社会で活躍できる人材を養成することを目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）
1．人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。
2．国際的な視野に立って異文化を理解することができる。
3．英語圏の文化・文学・言語・英語習得の諸分野に関して総合的な素養を身に付けている。
4．英語圏の文化・文学・言語・英語習得の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。
（思考・判断）
5．英語圏の文化・文学・言語について、英語の資料や文献を使って自主的に学習し思考することができる。
6．探求する課題について論理的に思考・判断することができる。
（技能・表現）
7．実践的な英語コミュニケーション能力を身に付け、英語圏の人と英語で交流することができる。
8．探求する課題について、論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。
（関心・意欲）
9．英語圏の文化と言語に関する関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲を有している。
（態度）
10．強い責任感を持って、専門分野で得た知識や技能を社会に活かそうとする態度を身に付けている。

【ヨーロッパ語圏文化専修プログラム】
ヨーロッパ語圏文化専修プログラムでは、ヨーロッパの諸言語（ドイツ語、フランス語、ロシア語）のコミュニケーション能力を養成するとともに、ヨーロッパ諸国の文化的特徴・社会事情の理解、文学作品・作家についての理解、ヨーロッパ諸言語の言語学的分析方法の習得などを通して、多文化・多言語化するグローバル化社会で活躍できる人材を養成することを目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
1．人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。
2．国際的な視野に立って異文化を理解することができる。
3．ヨーロッパ諸国の言語・文化の諸相を、その歴史的背景や社会的背景も踏まえながら理解できる能力を有している。
4．ヨーロッパ諸国の言語・文化・文学の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。
（思考・判断）
5．ヨーロッパ社会における諸問題を探求するための広い視野に基づいた思考力と社会的背景を踏まえた判断力を有している。
6．探求する課題について論理的に思考・判断することができる。
（技能・表現）
7．グローバル化社会に対応できるコミュニケーション手段として個別言語を用いて発信できる能力を有している。
8．探求する課題について、論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。
（関心・意欲）
9．ヨーロッパの諸言語、文化に関する関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲を有している。

（態度）
10．多様な文化を積極的に学修して多文化社会のあり方について主体的に探求する態度を有している。

【アジア圏文化専修プログラム】
アジア圏文化専修プログラムでは、日本および中国を中心としたアジア地域の歴史的文化的特徴・社会事情の理解、文学作品・作家についての理解、日本語および中国語の言語学的分析方法の習得などを通して、多文化・多言語化するグローバル化社会で活躍できる人材を養成することを目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。
２．国際的な視野に立って異文化を理解することができる。
３．アジア圏の言語・文化の諸相を、その歴史的背景や社会的背景も踏まえながら理解できる能力を有している。
４．アジア圏の言語・文化・文学の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。
（思考・判断）
５．アジア圏における諸問題を探求するための広い視野に基づいた思考力と社会的背景を踏まえた判断力を有している。
６．探求する課題について論理的に思考・判断することができる。
（技能・表現）
７．グローバル化社会に対応できるコミュニケーション手段として個別言語を用いて発信できる能力を有している。
８．探求する課題について、論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。
（関心・意欲）
９．アジア圏の諸言語、文化に関する関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲を有している。
（態度）
10．多様な文化を積極的に学修して多文化社会のあり方について主体的に探求する態度を有している。

【政策法務専修プログラム】
政策法務専修プログラムは、法学全体、とくに公法、刑事法、政治学などに関する学修に基づき、学部・課程および他専修プログラムにおける学修で得られた知見と合わせて、公共政策形成の観点から地域創生・地域マネジメントの課題に取り組むことのできる人材の養成を目的とする。この目的の下、本プログラムの教育課程は、公共政策形成に必要な専門的知識および法学的思考様式をもって、実際の政策立案・評価を効果的に行うことのできる能力の修得を目標とし、以下に示す条件を満たした者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．法・経済・環境に関する基礎的な知識を修得している。
２．地域社会が抱える現実的な法的・政治的課題の内容や意義、歴史的経緯について的確に認識している。
（思考・判断）

３．法と人間・社会のあり方について、相互の複雑な連関を踏まえて理解するための法学的思考様式を身につけている。
４．法学的思考様式を用いて現実の社会的課題に関する判断を下す力を有している。
（技能・表現）
５．法学全体に関する基礎的な観点および公法、刑事法、政治学を中心とする専門的な観点から、地域社会が抱える課題につき、法学的思考様式を用いて政策立案を行い、それを論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。
６．様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。
（関心・意欲）
７．地域社会が抱える課題の解決や地域創生・地域マネジメントに強い関心を持っている。
８　本専修プログラムで修得した専門的視点を活かし、地域の問題解決のために社会に参画する意欲を持っている。
（態度）
９．中立公正な立場から高い倫理性を持って、専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

【企業法務専修プログラム】
企業法務専修プログラムは、法学全体、とくに民法（財産法）、商法、労働法などに関する学修に基づき、学部・課程および他専修プログラムにおける学修で得られた知見と合わせて、企業法務の観点から地域創生・地域マネジメントの課題に取り組むことのできる人材の養成を目的とする。この目的の下、本プログラムの教育課程は、企業法務に必要な専門的知識および法学的思考様式をもって、地域産業が抱える諸問題の解決を実行ないし提言することのできる能力の修得を目標とし、以下に示す条件を満たした者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．法・経済・環境に関する基礎的な知識を修得している。
２．地域産業が抱える現実的な法的（とくに私法に関する）課題の内容や意義、歴史的経緯について的確に認識している。
（思考・判断）
３．法と人間・社会のあり方について、相互の複雑な連関を踏まえて理解するための法学的思考様式を身につけている。
４．法学的思考様式を用いて現実の社会的課題に関する判断を下す力を有している。
（技能・表現）
５．法学全体に関する基礎的な観点および民法（財産法）、商法、労働法を中心とする専門的な観点から、地域産業が抱える課題につき、法学的思考様式を用いて政策立案を行い、それを論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。
６．様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。
（関心・意欲）
７．地域産業が抱える課題の解決や地域創生・地域マネジメントに強い関心を持っている。
８．本専修プログラムで修得した専門的視点を活かし、地域産業の問題解決のために社会に

参画する意欲を持っている。
（態度）
９．中立公正な立場から高い倫理性を持って、専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

【地域社会経済専修プログラム】
地域社会経済専修プログラムでは、経済学の基礎的学修とともに、地域・地方自治にかかる基礎的な制度・政策を学ぶことによって、地域経済の創生・再生を担うことができる人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．経済・法・環境に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。
２．地域経済のしくみを総合的に理解するための専門的な知識を修得している。
（思考・判断）
３．経済と人間・社会のあり方について、相互の複雑な連関を踏まえて理解する経済学的素養を身につけている。
４．経済学をはじめとした専門的知識を活用し、地域経済のしくみとその課題を総合的に思考することができる。
（技能・表現）
５．地域経済の現状や課題を関連資料・データに基づいて理論的・実証的に分析・評価し、それらに基づく政策的判断ができる。
６．様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。
（関心・意欲）
７．地域経済が抱えるさまざまな諸問題や経済現象に強い関心を持っている。
８．経済学をはじめとする専門的視点を活かして、地域経済の課題に主体的・実践的に取り組む意欲を持っている。
（態度）
９．中立公正な立場から高い倫理性を持って、専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

【地域社会連携専修プログラム】
地域社会連携専修プログラムでは、経済学を基礎として、法学や環境学の視点を取り入れながら地域社会や産業の現場で生じている生産・生活をめぐる諸問題を学修することによって、地域が抱える諸課題を総合的な観点から解決できる人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．経済・法・環境に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。
２．地域社会や産業のしくみを総合的に理解するための専門的な知識を修得している。
（思考・判断）
３．経済と人間・社会のあり方について、相互の複雑な連関を踏まえて理解する経済学的素養を身につけている。
４．経済学をはじめとした専門的知識を活用し、地域社会や産業のしくみとその課題を総合

的に思考することができる。
（技能・表現）
５．地域社会や産業が抱える諸問題を関連資料・データに基づいて理論的・実証的に分析・評価し、それらに基づく政策的判断ができる。
６．様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。
（関心・意欲）
７．地域社会や産業が抱えるさまざまな諸問題や経済現象に強い関心を持っている。
８．経済学をはじめとする専門的視点を活かして、地域社会や産業の課題に主体的・実践的に取り組む意欲を持っている。
（態度）
９．中立公正な立場から高い倫理性を持って、専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

【環境共生専修プログラム】
環境共生専修プログラムでは、環境学・法学・経済学の総合的学修を基礎に、環境学の専門的学修を環境政策・環境マネジメントの実践に活かし、持続可能な共生社会の構築に貢献できる人材の養成を目的としており、以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。
（知識・理解）
１．環境・法・経済に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。
２．文理融合に基づく環境学諸分野の研究手法と専門的な知識を修得している。
（思考・判断）
３．環境と人間・社会のあり方について、相互の複雑な連関を踏まえて理解する能力を身につけている。
４．環境学を始めとした専門的知識を活用し、環境問題の解決、「持続可能な共生社会」構築に向けた具体的な方策を総合的に思考・判断することができる。
（技能・表現）
５．地域社会とその環境に関する調査・分析ができ、そこに潜む問題点やその解決法について、自らの見解・提言を論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。
６．様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。
（関心・意欲）
７．地球規模から身近な地域まで、多岐にわたる環境や環境問題に強い関心を持っている。
８．環境学をはじめとする専門的視点を活かし、環境や地域の問題解決のために社会に参画する意欲を持っている。
（態度）
９．中立公正な立場から高い倫理性を持って、専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：教育学部

岩手大学教育学部の理念と教育目標に則り、所定の教育課程（複数免許取得を含む）を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（教育）」の学位を授与する。

【小学校教育コース】
（知識・理解）
1．総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
2．小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
3．各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
4．専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。
（思考・判断）
5．学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
6．専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。
（技能・表現）
7．小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
8．ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。
また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。
（関心・意欲）
9．学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
（態度）
10．学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

【中学校教育コース】
（知識・理解）
1．総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
2．中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
3．取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
4．専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。
（思考・判断）
5．学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
6．専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。
（技能・表現）
7．中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。

８．ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。
（関心・意欲）
９．学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
（態度）
１０．学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

【理数教育コース】
（知識・理解）
１．総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
２．義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
３．理科あるいは算数・数学の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
４．専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。
（思考・判断）
５．学校教育に関する総合的な基礎的知識、理数教育に関する知識、及び実践的な体験を通して、学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけている。
６．専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。
（技能・表現）
７．理数教育を中心として小学校及び中学校における学習指導の基本的な技能を身につけている。
８．小学校及び中学校における生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
９．ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。
また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。
（関心・意欲）
10．学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、理数教育の充実を中心として学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
（態度）
11．学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

【特別支援教育コース】
（知識・理解）
１．総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
２．特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
３．特別支援学校及び小学校または中学校の各教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
４．特別支援教育の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
5．学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
6．特別支援教育への探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。
（技能・表現）
7．小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
8．特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンター的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身につけている。
9．ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。
（関心・意欲）
10．学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
11．特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち、最新の動向の把握に努め、特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
（態度）
12．学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。
13．特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し、児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけている。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：理工学部

・理学・工学双方の素養を有し、両学問を統合・融合した理工学の幅広い学力と論理的な思考力を持ち、地域や世界の諸課題に果敢に挑戦する研究者・技術者として主体的に活躍する能力を身に付けたと認定した場合、「学士（理工学）」の学位を授与する。
・工学系の幅広い学力、専門分野の深い知識と柔軟な思考力を持ち、社会で要求される様々な工学システムの開発、設計、製造に関する次世代の技術者・研究者として主体的に活躍する能力を身に付けたと認定した場合、「学士（工学）」の学位を授与する。

◇化学・生命理工学科

【化学コース】

化学コースの教育目的と修得能力に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（理工学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．幅広い教養と理工学分野の基礎学力を身につけている。
２．化学に関する専門知識を有し、それらを応用できる。

（思考・判断）

３．地域における諸問題を分析し、その解決法を論理的に提案できる。
４．化学に関する専門知識に基づいて、直面する課題に対する解決法を思考することができる。

（技能・表現）

５．化学技術者として必要な基本的実験技能を有する。
６．実験や調査結果を論理的に表現する文章作成能力を有し、国際的に通用するプレゼンテーション能力を身につけている。

（関心・意欲・態度）

７．地域における課題、化学に関する研究動向に関心を持っている。
８．化学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持っている。

【生命コース】

生命コースの教育目的と修得能力に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（理工学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．一般教養を身につけている。
２．自然科学に関する幅広い基礎知識と、生命理工学に関する専門知識を有しそれらを応用できる。

（思考・判断）

３．多様な社会性や地域性を考慮しつつ、生命理工学の見地から健康や福祉等の諸問題解決のための論理的な判断や提案ができる。

（技能・表現）

４．生命理工学分野の基本的な研究・実験技能を身につけている。
５．日本語と英語による論理的な表現力とコミュニケーション能力を修得している。

（関心・意欲・態度）

６．生命理工学及び関連分野の進展に関心を持ち、主体的に学ぶことができる。
７．生命理工学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持っている。

◇物理・材料理工学科

【数理・物理コース】

数理・物理コースの教育目的と修得能力に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（理工学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．教養教育、数学、物理、化学の各分野の幅広い基礎知識，基礎学力を有している。
２．数理科学および物理学に関する幅広い専門知識を有している。

（思考・判断）

３．数理科学および物理学の観点から諸問題を分析し、問題解決のための論理的な判断や提案ができる。

（興味・関心）

４．科学技術の創成や人の暮らしや産業の発展を担う新現象の解明、研究手法の開発、および、数理科学、物理学に大いなる意欲を有している。

（技能・表現）

５．教育者、研究者あるいは技術者として必要な基本的な実験や演習、計算の技能を有するとともに、自らの考えを論理的に説明できる。
６．科学英語の読解力と文章力を有するとともに、英語により自らの成果をプレゼンテーションすることができる。

（態度）

７．社会における科学技術の役割を理解し、高い倫理性を持って、獲得した知識や技術を地域や国際社会の様々な問題解決に積極的に生かそうとすることができる。

【マテリアルコース】

マテリアルコースの教育目的と修得能力に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（理工学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．教養教育、数学、物理、化学の各分野の幅広い基礎知識、基礎学力を有している。
２．マテリアル工学および材料科学に関する幅広い専門知識を有している。

（思考・判断）

３．マテリアル工学および材料科学の観点から諸問題を分析し、問題解決のための論理的な判断や提案ができる。

（興味・関心）

４．科学技術の創成や人の暮らしや産業の発展を担う材料開発や評価技術開発に大いなる意欲を有している。

（技能・表現）

５．教育者、研究者あるいは技術者として必要な基本的な実験や計算の技能を有するとともに、自らの考えを論理的に説明できる。
６．研究者あるいは技術者として必要な科学技術英語の基礎知識と技能を有している。

（態度）

７．社会におけるマテリアル工学および材料科学の役割を理解し、高い倫理性を持って、獲得した知識や技術をエネルギーや地球環境などの問題解決に積極的に生かそうとすることができる。

◇システム創成工学科

【電気電子通信コース】

電気電子通信コースの教育目的と修得能力に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．幅広い教養を備え、電気電子通信工学に関する基本的な原理、法則、理論を理解している。

（思考・判断）

２．専門知識を実際の課題に結びつけて柔軟な思考ができ、創造的に応用することができる。

（技能・表現）

３．電気・電子・通信に関する機器の動作原理を理解し、活用することができる。

４．他人と議論や協力ができる論理的なコミュニケーション能力・語学力を身につけている。

（関心・意欲）

５．科学技術の進展に高い関心を持ち、継続的・主体的に学習することができる。

（態度）

６．社会における役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけている。

【知能・メディア情報コース】

知能・メディア情報コースの教育目的と修得能力に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．幅広い教養と知能・メディア情報工学に関する基礎的な専門知識を身につけている。

（思考・判断）

２．問題の本質を理解し、基礎的な課題に対して解決法を考える能力、および問題解決のための具体的な計画立案・遂行能力を身につけている。

３．専門分野等の知識を活用してデータを分析することができ、論理的な評価や考察を行える能力を身につけている。

（技能・表現）

４．知能・メディア情報システムを構成するハードウェアやソフトウェアを開発するために必要な基礎的能力を幅広く身につけている。

５．自らの思考・判断のプロセスや結果を論理的に表現する文章能力と、協創的課題解決のために他人に説明するコミュニケーション能力を身につけている。

６．知能・メディア情報工学及びその関連分野に関する基礎的な英語能力を身につけている。

（興味・関心・態度）

７．自然科学、地域課題、及び知能・メディア情報工学等の動向や進展に関心を持ち、主

体的に学ぶための基礎的な能力を身につけている。
8．社会における知能・メディア情報システムの役割を理解し、技術者として社会に貢献する基礎的な能力を身につけている。

【機械科学コース】
機械科学コースの教育目的と修得能力に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与する。
（知識・理解）
1．一般的な教養を身につけ、工学に関する幅広く基礎的な知識と、機械科学に関する専門的な知識及び技能を修得している。
（思考・判断）
2．幅広く深い教養と総合的な判断力を身につけ、社会における科学技術者の在り方や社会への貢献について考察できる。
（技能・表現）
3．機械科学分野の機器およびコンピュータを活用し、所望の機能を実現する基礎的な能力を身につけている。
4．日本語と英語による論理的な表現力とコミュニケーション能力を身につけている。
（関心・意欲）
5．機械科学の進展に関心を持ち、専門的知識を応用しながら主体的に学習することができる。
（態度）
6．社会における機械科学の役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけている。

【社会基盤・環境コース】
社会基盤・環境コースの教育目的と修得能力に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与する。
（知識・理解）
1．数学・自然科学および情報技術に関する知識を習得し、多面的な視点から考えることのできる能力を身につけている。
2．社会環境工学の建設、環境、防災の各専門技術に関する知識とその知識を応用する能力を身につけている。
（思考・判断）
3．問題の本質を理解し、必要な情報を収集・分析して解決法を考える能力、および問題解決のための具体的なデザイン・計画を立て、遂行する能力を身につけている（デザイン能力）。
4．自ら課題を発見・解決する能力および主体的・持続的に学習を行う能力を身につけている（課題発見能力、継続学習能力）。
（関心・意欲・態度）
5．地球環境・地域環境を理解する能力および持続可能な循環社会構築のための技術を考える能力を身につけている。
6．科学技術が社会や自然におよぼす影響を理解して、技術者としての社会的使命・責任を認識する能力を身につけている（倫理）。

（技能・表現）

7．充分な語学力、および自国の文化・社会を学ぶとともに世界の多様な価値観を理解し、国際的に通用するコミュニケーション能力を身につけている。

8．自分の意見や実験研究の内容・成果を論理的・客観的に表現する文章作成能力とプレゼンテーション能力を身につけている。

9．他者と協力してチームで仕事をすることができる能力を身につけている（チームワーク力）。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：農学部

岩手大学農学部では、所定の教育課程を修了し、以下に掲げる各学科・コースの学位授与の方針に該当する者に学位を授与する。

◇植物生命科学科

植物生命科学科の教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

1．生命機能を解明し、農業生産に応用するための自然科学、情報技術、コミュニケーション技術に関する基礎知識を有している。

2．有用植物の遺伝育種・機能開発、新規作物の創出、植物ウィルスと昆虫の制御及び機能利用、持続的農業生産、有用技術の開発・応用に関する科学的方法について十分に理解している。

（思考・判断）

3．生命資源・農学に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、行動することができる。

（関心・意欲）

4．豊かな課題探求能力と課題解決能力をもって生命資源に関連する諸課題を解決しようとする意欲を持っている。

（態度）

5．生命資源の創出・発展のニーズに、協調性と倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

（技能・表現）

6．自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。

◇応用生物化学科

応用生物化学科の教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

1．微生物や動植物などの生物資源に関する分子レベルから生態系レベルまでの生命現象や食品素材の特性を理解するための基礎的な知識を化学的な視点で理解している。

（思考・判断）

2．生物資源や食品素材に関する知識と理解を基礎に、食糧、環境、健康に関する諸課題・未知事項について、多面的に思考し、自らの考えをまとめることができる。

（関心・意欲）

3．食糧、環境、健康に関する課題や未知事項に関心を持ち、その解決・解明に意欲的に取り組むことができる。

（態度）

4．生物資源の有効利用やその応用を通じて、食品産業や医薬品産業を始めとするバイオ関連産業の創出・発展に寄与し、地域や社会に貢献する考え方や行動がとれる。

（技能・表現）
５．自らの知識と論理的な思考に基づいた判断結果を的確に説明する表現力や、それを実践する技能を修得している。

◇森林科学科
森林科学科の教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。
（知識・理解）
１．数学、自然科学、情報処理に関する基礎的知識を持っている。
２．森林科学の学問内容および方法を説明できる。
（思考・判断）
３．森林の多面的機能について、総合的に考えることができる。
４．与えられた制約の下で計画的に仕事を進めることができる。
（関心・意欲）
５．地球的視点から、各地の文化や異なる価値観に関心を示している。
６．自主的、継続的に学修できる。
（態度）
７．技術者が社会に対して負っている責任を感じる。
８．チームワークを意識して行動できる。
（技能・表現）
９．日本語で論理的に記述・発表・討議できる。
10．森林科学の知識を利用し、社会の要求を解決するために提案できる。

◇食料生産環境学科
【農村地域デザイン学コース】
食料生産環境学科農村地域デザイン学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。
（知識・理解）
１．自然科学や情報技術および地域文化に関する基礎知識を身につけている。
２．農村地域デザイン学の基礎・応用分野の知識を身につけている。
（思考・判断）
３．地域の問題点と課題を理解し、生産環境と地域社会の計画・設計の在り方を考察できる。
４．自ら課題を見つけ、計画を立て、自分の考えをまとめ、積極的に表現することができる。
（関心・意欲）
５．地域の生産・生活基盤の充実と環境改善に対する関心を持ち、解決の意欲がある。
（態度）
６．技術者としての社会的責任の重さを自覚している。
（技能・表現）
７．地域・現場の人達と良好なコミュニケーションを図る能力がある。
８．文章や口頭発表による表現力を身につけている。

【食産業システム学コース】

食料生産環境学科食産業システム学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

1．食産業に関わる諸問題を理解するために必要な自然科学、情報技術および地域社会に関する基礎知識を身につけている。

2．食料安定供給と環境負荷低減の両立や農業の６次産業化の推進など、次世代の食産業システムの構築に関する広範な知識を有している。

（思考・判断）

3．食産業に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、行動することができる。

（関心・意欲）

4．食産業について多面的な関心を持ち、技術や経営の革新を通じて諸課題を解決しようとする意欲を持っている。

（態度）

5．食産業における技術開発や経営活動において、協調性と倫理性をもって、自律的に行動できる。

（技能・表現）

6．自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。

【水産システム学コース】

食料生産環境学科水産システム学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識･理解）

1．水産システム学を実践するための数学、自然科学、社会科学、コミュニケーション（日本語・英語）に関する基礎的知識を身につけている。

2．水産業の復興と持続的発展に貢献するために、水産科学分野に加えて、水産業に関わる人文・社会科学分野までの幅広い関連分野を網羅した水産システム学を体系的に身につけ、水産業の現状とその課題を俯瞰的視点から理解できる。

（思考･判断）

3．水産業が抱える諸課題について多角的に分析、俯瞰的に思考し、最善の解決策を判断できる。

（関心･意欲）

4．日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に意欲的に取り組むことができる。

（態度）

5．水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち、真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を持つ。

（技能･表現）

6．漁業及び周辺産業、海洋環境や水産資源管理の現状把握と分析のための基礎的な技術を身につけている。

７．調査や統計データを的確に分析・利用する技術、結果に基づく論理的な思考能力、および得られた結果を的確に伝えることが出来るコミュニケーション力（プレゼンテーション、日本語、英語）を身につけている。

◇動物科学科

動物科学科の教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．農学や生命科学につながる幅広い知識及びその基礎となる教養を持っている。

２．動物生産及び動物科学分野に関する知識を持っている。

（思考・判断）

３．動物関連産業に関する課題の解決を適切に行うため、動物生産及び動物科学分野に関する知識により考察することができる。

（関心・意欲）

４．動物関連産業に関する課題に関心を持ち、課題の解決に意欲的に取り組むことができる。

（態度）

５．動物関連産業に関する課題の解決を客観的に行うため、情報収集及び議論を積極的に行うことができる。

（技能・表現）

６．動物関連産業に関する課題を解決して論文又は口頭で発表を行うか、修得した動物生産及び動物科学分野の技術を実践することができる。

◇共同獣医学科

共同獣医学科の教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（獣医学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

１．獣医師としての責務を遂行するために、動物の健康・福祉、公衆衛生などに関する高度な専門知識を修得している。

（思考・判断）

２．獣医学領域に関わる課題について、生命科学を基礎とした知識と技能を用いて論理的に判断できる。

（関心・意欲）

３．獣医師として国内での責務を果たすのみならず、国際的視野を有している。

４．地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得しており、意欲も有している。

（態度）

５．幅広い専門知識や技能に基づいた説明ができる。

６．倫理性も備えた行動規範を身につけており、適切なコミュニケーションができる。

（技能・表現）

７．高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践できる。

８．論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけている。

教育課程編成・実施の方針

（カリキュラム・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：人文社会科学部

人文社会科学部では、「総合化と専門深化」の教育理念及に基づき、現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会および国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を教育目的としている。

この目的を達成するために、教養教育で得た多様な学問領域の基礎的知識および基本的思考力、幅広く深い教養と総合的な判断力等を踏まえ、学位授与の方針に基づき、専門教育科目を「学部共通科目」、「課程科目」、「専修プログラム科目」の４つのカテゴリーに分け、体系的な教育課程を編成する。

教育課程の特色として、学部共通科目の高年次必修科目に「総合科学論Ⅰ・Ⅱ」を配置し、諸学問のあり方を規定する方法論および諸研究が学際的に取り組む現代の重要課題を学修し、自らの学修の学問的特性や位置づけに対する理解を深める。また、多様な学修成果、能力の養成を可能とする主・副専修プログラムを設けることで、専門性の強化および総合的・複眼的視野の充実を図るだけでなく、地域の諸課題に柔軟に対応できる思考力・判断力と、その解決に必要なコミュニケーション能力を育成する。

（知識・理解）

１．幅広い分野の知識等修得のために、教養教育を必修とする。

２．総合的・学際的視野を養うために、「総合科学論Ⅰ・Ⅱ」および主・副専修プログラムの修得を必修とする。

（思考判断）

３．柔軟な思考力と的確な判断力を養うために、１つ以上の副専修プログラムの修得を必修とする。

（技能・表現）

４．基礎的語学力および多様な考え方を理解し、自分の考えを表現する力を養うために、教養教育の外国語科目および１つ以上の副専修プログラム修得を必修とし、学部共通科目に「課題解決型国際研修」を置く。

（関心・意欲・態度）

５．諸課題に積極的に取り組み、貢献しようとする態度および高い倫理観を養うために、教養教育科目の「地域関連科目」を必修とし、「課題解決型国際研修」を置く。

【行動科学専修プログラム】

行動科学専修プログラムでは、人間行動を個人的側面と社会的側面から総合的に理解し、情報科学的素養と人間学的素養をもって、地域住民の心身の問題、家族の問題、生きがいの問題など、人々が抱える多様な問題に適切に対処できる人材の養成を目的としている。この教育目的を達成するために、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）

１．心理学、社会学を中心とした行動科学的なアプローチから得られた人間行動に関する知識を幅広く身につけ、人間行動について総合的・多元的に理解できるようにするために、２年次には、プログラム基礎科目として、心理学、社会学、情報科学、人間学の各専門分野の基本的な講義科目、３・４年次には、プログラム展開科目として各学問分野のより専門・応用的な講義科目を系統的に配置する。さらに、人間行動の理解に関わる専門分野に通底する学際的な方法論を理解するための科目として「行動科学方法論」を配置する。

（思考・判断）
２．情報分析能力を身につけるために、基礎科目として基礎的および実践・応用的な統計科目と「社会調査法」（１年次）、「社会調査実習」（２年次）があり、コミュニケーション能力の涵養をはかるために、心理学、社会学、情報科学、人間学の各専門分野の演習科目、「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」（３年次）、「特別研究」（４年次）を配置する。
３．現実の問題解決に向けてアプローチでき、地域社会に積極的な提案を行うことができるようにするために、「社会調査実習」（２年次）、「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」（３年次）、「特別研究」（４年次）を配置する。
（技能・表現）
４．現代社会に生きる人々が新たに直面する事象を、自らの力で理解し判断する自発的課題探求力を身につけるために、展開科目として各専門分野の演習科目、プログラム基礎科目の「社会調査実習」（２年次）、「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」（３年次）、「特別研究」（４年次）を配置する。
５．発表や討論を通じてのコミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを修得できるようにするために、展開科目として各専門分野の演習科目、「社会調査実習」（２年次）、「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」（３年次）、そして「特別研究」（４年次）を配置する。
６．経験（実習・実験）を通したチームワークやリーダーシップなどの集団活動場面におけるスキルを修得させるために、１年次の課程導入科目に「人間文化入門」、２年次の基礎科目として「社会調査実習」を配置する。
（関心・意欲）
７．専門分野の学問内容に興味を抱かせるために、２年次のプログラム基礎科目として、心理学、社会学、情報科学、人間学の基本的な講義科目が配置されている。また、最新の研究成果・動向等について興味・関心を持たせるために、プログラム展開科目では各専門分野のより専門・応用的な講義科目を系統的に配置する。研究成果を報告し議論する「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」（３年次）もまた専門分野への関心を高めるために大きく寄与する科目である。
８．専門性を活かした地域社会への参画の意欲を高めるために、「社会調査実習」（２年次）、「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」（３年次）、「特別研究」（４年次）、また、情報をデザインし社会に働きかけていく力を修得させる「ソーシャルデザイン論」の講義科目と演習科目を配置する。
（態度）
９．人間に対する深い理解と広い視野に基づく学際的・総合的な課題探求能力を修得し、現代社会の様々な課題を全体的に把握し、それらの課題に適切かつ柔軟に対処できるようにするため、１年次の課程導入科目に「人間文化入門」と「人間文化研究」、２年次のプログラム基礎科目に「社会調査実習」と「心理学基礎実験」、３・４年次のプログラム基礎科目に「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」、「特別研究」を配置して、こうした態度の形成を促す。

【スポーツ科学専修プログラム】
スポーツ科学専修プログラムは、スポーツ科学の基礎的な知識を踏まえ、多様な対象者に適切な運動やスポーツの処方や指導ができる資質を身につけ、スポーツを通した地域づくりや地域住民の心身の健康づくりに適切に対処できる人材の養成を目的としている。この教育目的を達成するために、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）
1．スポーツ科学の基礎的な知識を理解するために、基礎科目として２年次に「スポーツ文化論」、「スポーツ行動論」、「健康運動論」、３年次に「スポーツ科学方法論」、展開科目として３年次に「運動生理学」、「スポーツ心理学」、「バイオメカニクス」等を配置する。さらに、その修得をサポートする「社会学概論」、「心理学概論」等を開設する。
2．健康づくりに関する知識とその必要性を理解するために、基礎科目として「健康管理論」、「健康づくり運動論」、展開科目として「健康障害と予防」を必修とする。
（思考・判断）
3．スポーツや健康に関する地域の多様なニーズやシーズを察知でき、適切な対応策が講じられるようになるため、理論的側面として２年次に「スポーツプロデュース論」、３・４年次に「スポーツＮＰＯ論」、「スポーツ政策論」等を配置する。
（技能・表現）
4．対象に応じた適切な運動処方が計画、および具体的な実践指導ができるために、実技・実習の基礎科目として「健康づくり運動実習」と「健康スポーツ指導法Ⅰ・Ⅱ」、展開科目として「健康運動処方論」を配置する。
5．地域課題の探索ができるようにするため、課程共通科目の「社会調査法」とプログラム基礎科目の「スポーツ社会調査実習」を配置する。
（関心・意欲）
6．健康やスポーツによる地域の活性化や地域づくりに関心を持ち、自ら地域に出て実践的な活動や地域住民の健康づくりに意欲を持つために「地域スポーツコーディネート実習」、「スポーツトレーナー実習」を配置する。
（態度）
7．「スポーツ行動論演習Ａ・Ｂ」、「健康運動論演習Ａ・Ｂ」、「スポーツプロデュース演習Ａ・Ｂ」を配置し、より専門性を深め、その過程の中でグローバルな視野から地域貢献に積極的に関わる態度を身に付けさせる。

【現代文化専修プログラム】
現代文化専修プログラムでは、人間の営みの総体としての文化を近代モダニズムを含む現代的な視点から捉え、文化現象の生成・発展・変容とともに流動化する現代社会を把握し、文化の継承や創成を通じて地域社会の活性化に寄与できる人材の養成を目的としている。この教育目的を達成するために、主要領域である社会文化思想、音楽文化、表象文化、文化記号に関わる分野を中心に、以下のようにカリキュラムを編成する。
（知識・理解）
1．人間と文化に関して幅広い知識と教養を涵養するために、１年次に課程導入科目「人間文化入門」、「人間文化研究」を必修科目として配置する。
2．国際的な視野に立って異文化を理解するために、１年次に課程共通科目「国際交流研修」、「英語圏文化論」、「ヨーロッパ語圏文化論」、「アジア圏文化論」、外国語の基礎及びコミュニケーション基礎科目などを選択必修として配置する。
3．地域社会の諸問題を歴史や思想などの根源的原理から考察するために、プログラム基礎科目「社会文化思想論」、「美学芸術学入門」、「音楽文化史」を、２年次前期～３年次後期に選択必修科目として配置する。
4．現代的状況の下で文化がどのように変容していくかを理解するために、プログラム基礎

科目「表象文化論」、「文化記号論」を、２年次前期～３年次後期に選択必修科目として配置する。

（思考・判断）

５．地域社会の現況把握や遭遇する諸課題に対して、多角的な視点から対象を把握するために、プログラム展開科目「社会文化思想論特講」、「消費文化論特講」、「芸術文化論特講」、「音楽文化論特講」、「表象文化論特講」、「現代文化論特講」を、２年次後期～４年次前期に選択必修科目として配置する。

６．グローバルな観点が不可欠な現代的諸課題に対して、柔軟な思考で最適解を導き出せる判断力を養成するために、「社会文化思想論演習」、「芸術文化論演習」、「表象文化論演習」、「文化記号論演習」、「ソーシャルデザイン論演習」を、３年次前期～４年次後期に選択必修科目として配置し、特別研究の指導を兼ねることとする。

（技能・表現）

７．対象に応じた認識手段や分析手法を修得するために、プログラム基礎科目「文化事象探究」を、２年次後期～４年次前期に必修科目として配置する。

８．企画・立案した内容や自身の見解等を的確に説明し発信できるようになるために、「文化事象探究」に加えて、プログラム展開科目「メディア文化論特講」、「著作権概論」を、２年次後期～３年次後期に選択必修科目として配置する。

（関心・意欲・態度）

９．未知の事象に対しても積極的に対応し得る好奇心や意欲を持つために、プログラム基礎科目「文化事象探究」を、２年次後期～４年次前期に必修科目として配置する。

10．地域社会の活性化等に主体的に関わろうとする態度を養成するために、プログラム展開科目「ソーシャルデザイン論」、「ソーシャルデザイン論特講」、「応用倫理学」を、２年後期～３年前期に選択必修科目として配置する。

【異文化間コミュニティ専修プログラム】

異文化間コミュニティ専修プログラムでは、性別、国籍、言語・民族性などの違いによってマイノリティ（少数者）が生み出されるしくみ、社会的排除の現状と歴史的背景を学び、これらの知識と当事者へのエンパワーメント・スキルを身につけ、社会的排除の乗り越えを目指す地域の創生に貢献できる人材の養成を目的としている。この教育目的を達成するために、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）

１．マイノリティが生み出されるしくみについて、総合的・多角的に理解する能力をはぐくむために、プログラム基礎科目においては「ジェンダー論」・「複合エスニシティ論」・「異文化コミュニケーション論」の３分野いずれもの履修を必修とする。

２．社会的排除の現状・歴史的背景・乗り越えをめぐる模索について、人文・社会諸科学の幅広い知識にもとづいて理解する能力をはぐくむために、①様々な文化における民族問題や差別別問題の概要を知ることのできる、歴史や外国文学・文化に関する科目（「日本思想史講義」、「英米文化論講義」）、②現代における差別や社会的排除の諸相を学ぶことのできる、哲学や社会学に関する科目（「人間学」、「家族社会学」）、③様々な社会的包摂の方法を知ることのできる、心理学やスポーツに関する科目（「臨床心理学」、「スポーツＮＰＯ論」）を幅広く配置する。

（思考・判断）

３．性別、国籍、言語・民族性などの違いによって、自らがどのような社会的位置づけに置かれているのかを、人文・社会科学の諸議論をふまえて思考する能力をはぐくむために、プログラム基礎科目において「ジェンダー論」・「複合エスニシティ論」・「異文化コミュニケーション論」以外に、人文系より４単位以上、社会科学系より２単位以上の履修を選択必修とした上で、それらで学修した諸議論をふまえた思考を、「ジェンダー論」・「複合エスニシティ論」・「異文化コミュニケーション論」の各特講の履修を通じて育成する。

４．性別、国籍、言語・民族性などの違いによって、自らにどのような視座の偏りが生じるのかについて、自覚的な思考ができる能力をはぐくむために、３・４年次に「ジェンダー論」・「複合エスニシティ論」・「異文化コミュニケーション論」の各演習科目を配置し、討論を通じた自覚的思考の涵養をおこなう。

（技能・表現）

５．社会的排除当事者へのエンパワーメント・スキルのうち、基礎的な技能を身につけるため、プログラム基礎科目は心理学などの社会的包摂の方法を知ることのできる科目も選択できるよう配置するとともに、「社会保障論」、「国際開発と貧困」等、エンパワーメントと関連の深い社会政策・制度についての選択必修科目群を配置する。

６．社会的排除当事者のヴァルネラヴィリティ（社会的立場の弱さ）を考慮に入れた、行動や表現ができる能力をはぐくむため、３・４年次に配置する「ジェンダー論」・「複合エスニシティ論」・「異文化コミュニケーション論」の各演習科目では、社会的排除と包摂をめぐる具体的な実践課題を取り上げる。

（関心・意欲）

７．多様なコミュニケーション手段を積極的に学び、国内のみならず国際的な異文化間コミュニティ形成に対する関心をはぐくむため、課程共通科目として、１年次に「国際交流研修」、「日本語表現基礎」をはじめとする各国語基礎科目、「異文化間コミュニティ論」等を配置する。

（態度）

８．社会的排除の乗り越えに対して、地域の一員として主体的に関わろうとする態度をはぐくむため、自己の設定した課題テーマを深く主体的に探求する「特別研究」を４年次に配置する。

【歴史専修プログラム】

歴史専修プログラムでは、日本・アジア・西洋の過去を横断的に学び、現代の諸問題の歴史的背景を理解するとともに、過去との対話を通して現代を相対化して捉える能力を身につけ、流動性や越境性を増す現代社会で活躍できる、歴史的視座と国際的視野、および比較の視点を有する人材の養成を目的としている。この教育目的を達成するために、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）

１．人間と文化に関する幅広い知識と教養を有し、国際的な視野に立って異文化を理解するために、課程導入科目（１年次）と課程共通科目（１・２年次）を配置する。

２．プログラム基礎科目（２・３年次）に配置する、①歴史資料論、史学史、および日本史・日本思想史・アジア史・西洋史・社会文化思想論の各領域の講義を横断的・総合的に学ぶとともに、②漢文やギリシア語、ラテン語、総合英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語の各国語の中から選択して基礎的な読解力を身につけ、③またプログラム展開科目も含め

て、表象文化論、ジェンダー論、ドイツ文学講義、フランス文化論講義、考古学各論などの歴史学に関連する分野の学問を学ぶことにより、歴史を読み解く幅広い能力を修得する。
（思考・判断）
３．プログラム展開科目（２～４年次、演習は３・４年次）に配置する、日本史特講・講読・演習、日本思想史特講・講読・演習、アジア史特講・演習、西洋史特講・講読・演習、社会文化思想論特講・演習などの中から選択して学修し、歴史的視座と国際的視野、および比較の視点を身につけ、現代を相対化して捉える能力を修得する。
（技能・表現）
４．プログラム展開科目（２～４年次、演習は３・４年次）に配置する、日本史特講・講読・演習、日本思想史特講・講読・演習、アジア史特講・演習、西洋史特講・講読・演習、社会文化思想論特講・演習などの中から選択して学修し、歴史学にかかわる資料の読解力を向上させるとともに、先行研究を批判的に検討し、そのうえで自らの見解を発表できる能力を修得する。
（関心・意欲・態度）
５．日本・アジア・西洋各国の歴史に関する諸問題について自らの課題を見出し、資料に基づいて自らの見解を論理的に組み立て、最終年次において「特別研究」を達成する。

【芸術文化専修プログラム】
芸術文化専修プログラムでは、社会における文化・芸術のあり方に関する総合的な学修を基礎として、生涯教育活動の中核となる芸術文化の実践によって、地域における文化の活性化、および地域からの文化発信に貢献できる人材の養成を目的としている。この教育目的を達成するために、以下のようにカリキュラムを編成する。
（知識・理解）
１．人間と文化に関して幅広い知識と教養を有するために、１年次に課程導入科目（「人間文化入門」と「人間文化研究」）を必修科目として配置する。
２．芸術文化の諸領域、すなわちアート（絵画・版画・彫刻・書・映像メディア等の造形表現領域）、デザイン（プロダクトデザイン・グラフィックデザイン等のデザイン領域）、クラフト（金工・窯芸・染織等の工芸領域）、理論（美学・芸術史・芸術理論等の芸術学領域）の４領域に関わる分野について総合的な素養を身に付けるために、課程共通科目として、１年次に「絵画基礎」、「彫刻基礎」、「工芸基礎」、「デザイン基礎Ａ」、「デザイン基礎Ｂ」、「書法基礎」を、２年次に「芸術文化論」を選択必修科目として配置する。
３．現代的状況や地域社会の下で、多様な視点から芸術文化を理解することができるために、プログラム基礎科目として、「美学芸術学入門」、「美術史入門」、「デザイン論」、「書道史」、「音楽文化史Ａ・Ｂ」を選択科目として配置する。
４．芸術文化の諸領域のいずれかに関して深い知識を身に付けるために、プログラム基礎科目に「音楽理論Ⅰ・Ⅱ」、プログラム展開科目に「美術史Ⅰ・Ⅱ」、「書学」、「芸術文化論特講Ａ・Ｂ」、「音楽文化論特講Ａ・Ｂ」を選択科目として配置する。
（思考・判断）
５．芸術文化について、作品鑑賞や文献を使って自主的に学習し思考することができるようにするために、「芸術文化論演習Ａ～Ｄ」、「美術史演習Ａ～Ｄ」をプログラム展開科目として配置する。
６．探求する課題について論理的に思考・判断することができるために、「特別研究」（卒業

論文または制作レポートを付した卒業制作）を課程共通科目の必修科目として配置する。
（技能・表現）
7．芸術文化におけるアート・デザイン・クラフト・理論の諸領域のいずれかに関して、実践的あるいは論理的な技能を身に付け、作品あるいは文章によって表現することができるために、２～４年次にかけて各分野の造形実習を自由に選択できるように配置するとともに、「美術史Ⅰ・Ⅱ」、「書学」、「芸術文化論特講Ａ・Ｂ」、「音楽文化論特講Ａ・Ｂ」も配置する。
8．探求する課題について、制作あるいは文章によって自分の考えを展開し、表現することができるために、３・４年次にかけて各分野の造形演習や「芸術文化論演習Ａ～Ｄ」、「美術史演習Ａ～Ｄ」を自由に選択できるように配置するとともに、４年次には「特別研究」を配置する。
（関心・意欲）
9．芸術文化に関する関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲を高めるために、２年次に「プロジェクト実践演習（基礎）」を、３・４年次にかけて各領域の演習科目を配置する。
（態度）
10．強い責任感を持って、専門分野を社会に活かそうとする態度を身に付けるために、３・４年次にかけてプロジェクト解決型の授業「プロジェクト実践演習（発展）Ⅰ～Ⅲ」を配置する。

【英語圏文化専修プログラム】
英語圏文化専修プログラムでは、英語圏の文化・文学・言語について深い理解と英語の高度なコミュニケーション能力を通して、グローバル社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。この教育目的を達成するために、以下のようにカリキュラムを編成する。
（知識・理解）
1．人間と文化に関して幅広い知識と教養を有するために、１年次に課程導入科目（「人間文化入門」と「人間文化研究」）を必修科目として配置する。
2．国際的な視野に立って異文化を理解することができるために、課程共通科目として、１年次に「国際交流研修」と「英語圏文化論」を選択必修科目として配置する。
3．英語圏の文化・文学・言語・英語習得の諸分野に関して総合的な素養を身に付けるために、プログラム基礎科目として、「英米文化論講義」、「英米文学講義」、「言語習得論」、「英語学講義」をそれぞれ２単位履修するよう配置する。
4．英語圏の文化・文学・言語・英語習得の諸分野のいずれかに関して深い知識を身に付けるために、プログラム展開科目の「英米文学演習」、「英米文化論演習」、「英語習得論演習」、「英語学演習」のいずれかの分野において４単位を選択するよう配置する。
（思考・判断）
5．英語圏の文化・文学・言語について、英語の資料や文献を使って自主的に学習し思考することができるようにするために、「英米文学演習」、「英米文化論演習」、「英語習得論演習」、「英語学演習」をプログラム展開科目として配置する。
6．探求する課題について論理的に思考・判断することができるために、「特別研究」を課程共通科目の必修科目として配置する。
（技能・表現）
7．実践的な英語コミュニケーション能力を身に付け、英語圏の人と英語で交流することが

できるために、「英語コミュニケーション基礎」、「英語コミュニケーション発展」、「英語コミュニケーション応用」を２～４年次にかけて段階的に学べるように配置するとともに、英語のレベルアップを図るために「アカデミック・イングリッシュ」、「パワーアップ・イングリッシュ」、「スキルアップ・イングリッシュ」を２・３年次に配置する。

８．探求する課題について、論理的な文章によって自分の考えを表すことができるために、「英語発展ゼミナール」と「特別研究」を４年次に配置する。

（関心・意欲）

９．英語圏の文化と言語に関する関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲を高めるために、３・４年次に各種演習科目を配置する。

（態度）

10．強い責任感を持って、専門分野を社会に活かそうとする態度を身に付けるために、課題解決型の授業科目（英米文化論演習など）を配置する。

【ヨーロッパ語圏文化専修プログラム】

ヨーロッパ語圏文化専修プログラムでは、ヨーロッパの諸言語（ドイツ語、フランス語、ロシア語）のコミュニケーション能力を養成するとともに、ヨーロッパ諸国の文化的特徴・社会事情の理解、文学作品・作家についての理解、ヨーロッパ諸言語の言語学的分析方法の習得などを通して、多文化・多言語化するグローバル化社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。この教育目的を達成するために、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）

１．人間と文化に関して幅広い知識と教養を有するために、１年次に課程導入科目（「人間文化入門」と「人間文化研究」）を必修科目として配置する。

２．国際的な視野に立って異文化を理解することができるために、課程共通科目として、１年次に「国際交流研修」、２年次に「ヨーロッパ語圏文化論」を選択必修科目に配置する。

３．ヨーロッパ諸国の言語・文化の諸相を、その歴史的背景や社会的背景も踏まえながら理解するために、プログラム基礎科目として、「ドイツ語学講義」、「フランス語学講義」、「ロシア語学講義」、「ドイツ文学講義」、「フランス文学講義」、「ドイツ文化論講義」、「フランス文化論講義」、「ロシア文学・文化論講義」を配置する。

４．ヨーロッパ諸国の言語・文化・文学の諸分野のいずれかに関して深い知識を身に付けるために、プログラム展開科目の「ドイツ語学演習」、「フランス語学演習」、「ロシア語学演習」、「ドイツ文学演習」、「フランス文学演習」、「ロシア文学・文化論演習」を配置する。

（思考・判断）

５．ヨーロッパ社会における諸問題を探求するための広い視野に基づいた思考力と社会的背景を踏まえた判断力を獲得するために、「ドイツ文化論演習」、「フランス文化論演習」、「ロシア文学・文化論演習」をプログラム展開科目として配置する。

６．探求する課題について論理的に思考・判断することができるために、「特別研究」を課程共通科目の必修科目として配置する。

（技能・表現）

７．グローバル化社会に対応できるコミュニケーション手段として個別言語を用いて発信できる能力を身につけるために、「ドイツ語コミュニケーション（基礎／発展／実践）」、

「フランス語コミュニケーション（基礎／発展／実践）」、「ロシア語コミュニケーション（基礎／発展／実践）」を２～４年次にかけて段階的に学べるように配置する。
８．探求する課題について、論理的な文章によって自分の考えを表すことができるために、「ドイツ語作文」を２～４年次に、「フランス語作文」、「ロシア語作文」を３・４年次に、「特別研究」を４年次に配置する。
（関心・意欲）
９．ヨーロッパ語圏の文化と言語に関する関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲を高めるために、３・４年次に各種演習科目を配置する。
（態度）
10．多様な文化を積極的に学修して多文化社会のあり方について主体的に探求する態度を身に付けるために、各分野の演習科目を配置する。

【アジア圏文化専修プログラム】
アジア圏文化専修プログラムでは、日本語および中国語の言語のコミュニケーション能力を養成するとともに、アジア圏の文化的特徴・社会事情の理解、文学作品・作家についての理解、日本語および中国語の言語学的分析方法の習得などを通して、多文化・多言語化するグローバル化社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。この教育目的を達成するために、以下のようにカリキュラムを編成する。
（知識・理解）
１．人間と文化に関して幅広い知識と教養を有するために、１年次に課程導入科目（「人間文化入門」と「人間文化研究」）を必修科目として配置する。
２．国際的な視野に立って異文化を理解することができるために、課程共通科目として、１年次に「国際交流研修」、２年次に「アジア圏文化論」を選択必修科目として配置する。
３．広くアジア圏の言語・文化の諸相を、その歴史的背景や社会的背景も踏まえながら理解するために、プログラム基礎科目として、「日本史講義」、「日本思想史講義」、「日本文学講義」、「日本語学講義」、「中国語学講義」、「アジア史講義」を配置する。
４．アジア圏の文化・文学・言語の諸分野のいずれかに関して深い知識を身に付けるために、プログラム展開科目の「日本史演習」、「日本思想史演習」、「日本文学演習」、「日本語学演習」、「中国語学演習」、「アジア史演習」を配置する。
（思考・判断）
５．アジア文化圏における諸問題を探求するための広い視野に基づいた思考力と社会的背景を踏まえた判断力を獲得するために、「日本史特講」、「日本思想史特講」、「日本文学特講」、「日本語学特講」、「中国語学特講」、「アジア史特講」をプログラム展開科目として配置する。
６．探求する課題について論理的に思考・判断することができるために、「特別研究」を課程共通科目の必修科目として配置する。
（技能・表現）
７．グローバル化社会に対応できるコミュニケーション手段として日本語を用いて発信できる能力を身につけるために、「日本語表現基礎」と「日本語読解基礎」を２年次で学べるように配置する。中国語による論理的な文章を講読できるために、「中国語学講読」を２～４年次に配置する。
８．探求する課題について、論理的な文章を講読し、また、自分の考えを文章に表すことが

できるために、「特別研究」を４年次に配置する。
（関心・意欲）
９．アジア圏の文化と言語に関する関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲を高めるために、３・４年次に各種演習科目を配置する。
（態度）
10．多様な文化を積極的に学修して多文化社会のあり方について主体的に探求する態度を身に付けるために、課題解決型の授業科目である各分野の演習科目を配置する。

【政策法務専修プログラム】
政策法務専修プログラムでは、プログラムのディプロマ・ポリシーを実現するために、法・経済・環境に関する基礎および公法、刑事法、政治学などの専門に関する学修を目的に、以下のようにカリキュラムを編成する。
（知識・理解）
１．法・経済・環境に関する専門基礎的な知識を幅広く身につけるために、１年次に必修の課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）と課程共通科目（「民法（総則）Ⅰ・Ⅱ」など）、２年次にプログラム基礎科目（「憲法（人権）Ⅰ・Ⅱ」、「憲法（統治機構）Ⅰ」、「刑法総論Ⅰ」、「政治学（政治過程）」、「環境生態学Ａ」など）を配置する。
２．法学全体に関する基礎知識および公法、刑事法、政治学を中心とする専門的知識を修得するため、プログラム基礎科目として２・３年次に「憲法（統治機構）Ⅱ」、「刑法各論Ⅰ」、「刑事訴訟法Ⅰ」、「行政法（作用法総論）Ⅰ・Ⅱ」、「行政法（救済法）Ⅰ・Ⅱ」、「民法（物権）Ⅰ」、「民法（債権総論）Ⅰ」、「民法（家族法）Ⅰ」などを配置する。また、地域社会が抱える具体的・現実的課題の内容や意義、歴史的経緯を学修するうえでの基本的知識を学ぶために、２・３年次にプログラム基礎科目として「政治学（政治理論）」、「行政学Ⅰ・Ⅱ」、「財政学Ⅰ・Ⅱ」などを配置する。
（思考・判断）
３．法と人間・社会のあり方について、相互の複雑な連関を踏まえて理解する法学的思考様式を身につけるために、プログラム基礎科目として２・３年次に「憲法（統治機構）Ⅱ」、「刑法総論Ⅱ」、「民法（家族法）Ⅱ」、「政治学（政治理論）」などを配置する。
４．身に付けた法学的思考様式を用いて現実の社会的課題に関する判断を下す力を養うために、２・３年次にプログラム基礎科目として「刑事政策」、「政治学（政治過程）」を置き、具体的個別的な政策についての評価を求める。また、３年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）を配置し、地域の具体的な政策について知り、評価を下す機会を設ける。
（技能・表現）
５．法学全体に関する基礎的な観点および公法、刑事法、政治学を中心とする専門的な観点から、地域社会が抱える課題につき、法学的思考様式を用いて政策立案を行い、それを論理的かつ的確に説明するスキルを身につけられるように、３・４年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）および各演習科目（いずれかを選択必修）を置き、調査・報告やグループディスカッションを実施する。さらに４年次に課程共通科目として「特別研究」（必修）を配置し、自身の学修・研究の結果を文章に表現する機会を与える。
６．様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテ

ーション・スキルを身につけさせるために、３年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）を置き、多人数集団の中でのコミュニケーションと自己発信能力を陶冶することができるようにする。

（関心・意欲）

７．３年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）を配置し、地域政策に携わる実践的機会を与えることで、地域が抱える課題の解決や地域創生・地域マネジメントへの関心を高められるようにする。

８．本専修プログラムで修得した専門的視点を活かし、地域の問題解決のために社会に参画する意欲を高めるために、２・３年次にプログラム基礎科目として選択必修の「刑事政策」、「政治学（政治過程）」、３年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）を配置する。

（態度）

９．中立公正な立場から高い倫理性を持ち、専門分野を社会に活かす体験をさせるため、３・４年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）および各演習科目（いずれかを選択必修）を配置する。

【企業法務専修プログラム】

企業法務専修プログラムでは、プログラムのディプロマ・ポリシーを実現するために、法・経済・環境に関する基礎および民法（財産法）、商法、労働法などの専門に関する学修を目的に、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）

１．法・経済・環境に関する専門基礎的な知識を幅広く身につけるために、１年次に必修の課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）と課程共通科目（「民法（総則）Ⅰ・Ⅱ」など）、２年次にプログラム基礎科目（「民法（物権）Ⅰ・Ⅱ」、「民法（債権総論）Ⅰ・Ⅱ」、「会社法Ⅰ」、「労働法Ⅰ」、「環境生態学Ａ」など）を配置する。

２．法学全体に関する基礎知識および民法（財産法）、商法、労働法を中心とする専門的知識を修得するため、プログラム基礎科目として２・３年次に「憲法（人権）Ⅰ」、「民法（債権各論）Ⅰ・Ⅱ」、「民法（家族法）Ⅰ」、「民法（相続法）」、「商法（総則）」などを配置する。また、地域産業が抱える具体的・現実的課題の内容や意義、歴史的経緯を学修するうえでの基本的知識を学ぶために、２・３年次にプログラム基礎科目として「民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ」、「雇用管理法」、「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」などを配置する。

（思考・判断）

３．法と人間・社会のあり方について、相互の複雑な連関を踏まえて理解する法学的思考様式を身につけるために、プログラム基礎科目として２・３年次に「憲法（人権）Ⅱ」、「民法（家族法）Ⅱ」、「会社法Ⅱ」などを配置する。

４．身に付けた法学的思考様式を用いて現実の社会的課題に関する判断を下す力を養うために、２・３年次にプログラム基礎科目として「労働法Ⅱ」、「商法（商取引法）」を置き、具体的個別的な政策についての評価を求める。また、３年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）を配置し、地域の具体的な政策について知り、評価を下す機会を設ける。

（技能・表現）

５．法学全体に関する基礎的な観点および民法（財産法）、商法、労働法を中心とする専門的

な観点から、地域社会が抱える課題につき、法学的思考様式を用いて政策立案を行い、それを論理的かつ的確に説明するスキルを身につけられるように、３・４年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）および各演習科目（いずれかを選択必修）を置き、調査・報告やグループディスカッションを実施する。さらに４年次に課程共通科目として「特別研究」（必修）を配置し、自身の学修・研究の結果を文章に表現する機会を与える。

６．様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーション・スキルを身につけさせるために、３年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）を置き、多人数集団の中でのコミュニケーションと自己発信能力を陶冶することができるようにする。

（関心・意欲）

７．３年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）を配置し、地域政策に携わる実践的機会を与えることで、地域産業が抱える課題の解決や地域創生・地域マネジメントへの関心を高められるようにする。

８．本専修プログラムで修得した専門的視点を活かし、地域産業の問題解決のために社会に参画する意欲を高めるために、２・３年次にプログラム基礎科目として「労働法Ⅱ」、「商法（商取引法）」、３年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）を配置する。

（態度）

９．中立公正な立場から高い倫理性を持ち、専門分野を社会に活かす体験をさせるため、３・４年次にプログラム発展科目として「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」（いずれかを選択必修）および各演習科目（いずれかを選択必修）を配置する。

【地域社会経済専修プログラム】

地域社会経済専修プログラムでは、経済学の基礎的学修とともに、地域・地方自治にかかる基礎的な制度・政策を学ぶことによって、地域経済の創生・再生を担うことができる人材の養成を目的としている。この教育目標を達成するために、経済学ならびに地域経済を主に、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）

１．経済・法・環境に関する基礎的な知識を幅広く身につけるために、１年次に必修の課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）と課程共通科目（「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「環境経済論Ⅰ」、「民法（総則）Ⅰ・Ⅱ」、「環境政策論Ⅰ」）、２・３年次のプログラム基礎科目に多岐にわたる各分野の関連科目を配置する。

２．地域経済のしくみを理解するための総合的な専門的知識を修得するために、１年次に課程共通科目（「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「環境経済論Ⅰ」）、２・３年次のプログラム基礎科目に選択必修科目（「理論経済学Ⅰ・Ⅱ」、「財政学Ⅰ・Ⅱ」、「国際経済論Ａ・Ｂ」、「農業経済論Ⅰ・Ⅱ」、「ミクロ経済学」、「金融論」）を配置する。

（思考・判断）

３．経済学的素養を充分に身につけるために、１年次の課程共通科目（「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「環境経済論Ⅰ」）や２・３年次のプログラム基礎科目における選択必修科目（「理論経済学Ⅰ・Ⅱ」、「財政学Ⅰ・Ⅱ」等）に加えて、「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」、「会計学Ⅰ・Ⅱ」、「経済外書講読」、「簿記論Ⅰ・Ⅱ」、「環境経済論Ⅱ」等を配置する。

４．各分野の専門的知識を活かして地域経済のしくみとその課題を総合的に思考する能力を修得するために、２・３年次のプログラム基礎科目を中心に経済関連科目だけでなく「行政学Ⅰ・Ⅱ」、「行政法（作用法総論）Ⅰ・Ⅱ」、「環境政策論Ⅱ」、「持続可能な社会論」等の法・環境関連科目を配置する。

（技能・表現）

５．地域経済の現象や課題を関連資料・データに基づいて評価・分析し、政策的判断を行うスキルを身につけられるように、調査・分析、口頭発表・集団討議やレポート・論文作成等の教育活動を取り入れた科目（プログラム基礎科目に「地域経済調査演習」、「地域経済実践演習」（２年次履修）、プログラム展開科目に各分野の演習科目（３年次履修）、課程共通科目に「特別研究」（４年次履修））を必修・選択必修として配置し、２年次から系統的に履修できるようにする。

６．柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーション・スキルを身につけるために、プログラム基礎科目の「地域経済調査演習」、「地域経済実践演習」、各分野の演習科目、課程共通科目の「特別研究」等の口頭発表・集団討議を取り入れる科目を必修・選択必修とする。

（関心・意欲）

７．経済関連科目をはじめとする各分野のプログラム基礎科目に加えて、プログラム展開科目に「応用マクロ経済学」、「日本経済史」、「西洋経済史」、「人的資源管理論」、「経済思想」、「企業論」、「労働経済論」、「日本経済論」、「公会計論」といった発展的な経済関連科目を配置し、また各分野の演習科目や「特別研究」を通じて現代におけるさまざまな地域経済の諸問題や経済現象への関心を高められるようにする。

８．経済学をはじめとする専門的視点を活かして、地域経済の課題に主体的・実践的に取り組む意欲を高めるために、プログラム基礎科目に「地域経済調査演習」、「地域経済実践演習」、プログラム展開科目に各分野の演習科目、課程共通科目に「特別研究」等を配置する。

（態度）

９．中立公正な立場から高い倫理性を持ち、専門分野を社会に活かす体験をさせるため、プログラム基礎科目に「地域経済調査演習」、「地域経済実践演習」、プログラム展開科目に各分野の演習科目、課程共通科目の「特別研究」等を系統的に履修できるように配置する。

【地域社会連携専修プログラム】

地域社会連携専修プログラムでは、経済学を基礎として、法学や環境学の視点を取り入れながら地域社会や産業の現場で生じている生産・生活をめぐる諸問題を学修することによって、地域が抱える諸課題を総合的な観点から解決できる人材の養成を目的としている。この教育目標を達成するために、経済学ならびに地域産業を主に、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）

１．経済・法・環境に関する基礎的な知識を幅広く身につけるために、１年次に必修の課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）と課程共通科目（「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「環境経済論Ⅰ」、「民法（総則）Ⅰ・Ⅱ」、「環境政策論Ⅰ」）、２・３年次のプログラム基礎科目に多岐にわたる各分野の科目を配置する。

２．地域社会や産業のしくみを理解するための総合的な専門的知識を修得するために、１年次に課程共通科目（「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」）、２・３年次のプログラム基礎科目に選択必修科

目（「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」、「会計学Ⅰ・Ⅱ」、「社会保障論Ⅰ・Ⅱ」、「政治経済学Ⅰ・Ⅱ」、「環境経済論Ⅱ」）を配置する。

（思考・判断）

3．経済学的素養を充分に身につけるために、1年次の課程共通科目（「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「環境経済論Ⅰ」）や2・3年次のプログラム基礎科目における選択必修科目（「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」、「会計学Ⅰ・Ⅱ」等）に加えて、「農業経済論Ⅰ・Ⅱ」、「財政学Ⅰ・Ⅱ」、「簿記論Ⅰ・Ⅱ」、「国際経済論Ａ・Ｂ」等を配置する。

4．各分野の専門的知識を活かして地域社会や産業のしくみとその課題を総合的に思考する能力を修得するために、2・3年次のプログラム基礎科目を中心に経済関連科目だけでなく「行政学Ⅰ・Ⅱ」、「会社法Ⅰ・Ⅱ」、「労働法Ⅰ・Ⅱ」、「持続可能な社会論」、「環境政策論Ⅱ」、「環境社会学Ⅰ・Ⅱ」等の法・環境関連科目を配置する。

（技能・表現）

5．地域経済の現象や課題を関連資料・データに基づいて評価・分析し、政策的判断を行うスキルを身につけられるように、調査・分析、口頭発表・集団討議やレポート・論文作成等の教育活動を取り入れた科目（プログラム基礎科目に「地域経済調査演習」、「地域環境マネジメント実践演習」（2年次履修）、プログラム展開科目に各分野の演習科目（3年次履修）、課程共通科目に「特別研究」（4年次履修））を必修・選択必修として配置し、2年次から系統的に履修できるようにする。

6．柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーション・スキルを身につけるために、プログラム基礎科目の「地域経済調査演習」、「地域環境マネジメント実践演習」、各分野の演習科目、課程共通科目の「特別研究」等の口頭発表・集団討議を取り入れる科目を必修・選択必修とする。

（関心・意欲）

7．経済関連科目をはじめとする各分野のプログラム基礎科目に加えて、プログラム展開科目に「地方財政論」、「公会計論」、「協同組合論」、「マーケティング論」、「管理会計論」、「企業論」、「日本経済論」といった発展的な経済関連科目を配置し、また各分野の演習科目や「特別研究」を通じて現代におけるさまざまな地域社会や産業の諸問題や経済現象への関心を高められるようにする。

8．経済学をはじめとする専門的視点を活かして、地域経済の課題に主体的・実践的に取り組む意欲を高めるために、プログラム基礎科目に「地域経済調査演習」、「地域環境マネジメント実践演習」、プログラム展開科目に各分野の演習科目、課程共通科目に「特別研究」等を配置する。

（態度）

9．中立公正な立場から高い倫理性を持ち、専門分野を社会に活かす体験をさせるため、プログラム基礎科目に「地域経済調査演習」、「地域環境マネジメント実践演習」、プログラム展開科目に各分野の演習科目、課程共通科目の「特別研究」等を系統的に履修できるように配置する

【環境共生専修プログラム】

環境共生専修プログラムでは、プログラムの学位授与の方針を実現するために、以下のようにカリキュラムを編成する。

（知識・理解）

１．環境・法・経済に関する専門基礎的な知識を幅広く身につけるために、１年次に必修の課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）と課程共通科目（「環境政策論Ⅰ」など）、２年次にプログラム基礎科目（「環境統計学Ⅰ・Ⅱ」など）を配置する。
２．環境学諸分野の研究手法と専門的知識を獲得させるために、プログラム基礎科目として２年次に必修の「環境科学演習」、「持続可能な社会論」、２・３年次に選択必修の「環境政策論Ⅱ」、「環境経済論Ⅱ」、「環境文化論Ⅰ・Ⅱ」、「環境社会学Ⅰ・Ⅱ」、「環境生態学Ａ 」、「自然環境学Ａ 」、プログラム展開科目として３・４年次に選択必修の「保全生物学」、「景観生態学」、「環境経済論特講」、「環境文化論特講」、「環境社会学特講」、「環境思想史」、各分野の演習科目などを配置する。

（思考・判断）

３．環境と人間・社会のあり方について、相互の複雑な連関を踏まえ、理解する能力を身につけるために、１年次に必修の課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）、課程共通科目（「環境経済論Ⅰ」など）、２・３年次にプログラム基礎科目（「環境政策論Ⅱ」、「環境経済論Ⅱ」、「環境文化論Ⅰ・Ⅱ」、「環境社会学Ⅰ・Ⅱ」など）を配置する。
４．獲得した様々な専門的知識を用いて、環境問題の解決、「持続可能な共生社会」構築に取り組む活動を行わせるために、プログラム基礎科目に必修の「環境科学演習」、「持続可能な社会論」、選択必修の「地域環境マネジメント実践演習」、「環境社会調査演習 」に加え、「環境社会調査実習」、「環境科学実験」、各分野の演習科目等の演習・実習・実験科目（２・３年次履修）、４年次必修の「特別研究」などを配置する。

（技能・表現）

５．地域社会やその環境に関する調査ができ、そこに潜む問題点や解決法に関する見解・提言を論理的かつ的確に説明するスキルを身につけられるように、プログラム基礎科目に「環境科学演習」、「地域環境マネジメント実践演習」、「環境社会調査演習・実習」、「環境科学実験」、４年次に課程共通科目の「特別研究」等、調査・分析、フィールド実習、口頭発表、論文執筆などの教育活動を取り入れた科目を必修・選択必修として配置し、２年次から系統的に履修できるようにする。
６．柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーション・スキルを身につけるために、プログラム基礎科目の「環境科学演習」、「持続可能な社会論」、課程共通科目の「特別研究」を必修、各分野の演習科目などを必修・選択必修とする。

（関心・意欲）

７．地球規模環境問題や開発途上国の開発をテーマとしたプログラム基礎科目の「国際開発と環境・貧困」、身近な地域環境の現状・取り組みに焦点を当てたプログラム基礎科目の「環境科学演習」、「地域環境マネジメント実践演習」、「環境社会調査実習」、「環境科学実験」、これらから幅広く環境の現実を扱う科目をプログラム基礎・展開科目を中心に配置し、多岐にわたる環境や環境問題への関心を高められるようにする。
８．環境学をはじめとする専門的視点を活かし、環境・地域の問題解決のために社会に参画する意欲を高められるよう、プログラム基礎科目に「環境科学演習」、「地域環境マネジメント実践演習」、「環境社会調査実習」、プログラム展開科目に「保全生物学」、「環境経済論特講」、「環境社会学特講」などを配置する。

（態度）

９．中立公正な立場から高い倫理性を持ち、専門分野を社会に活かす体験をさせるため、プログラム基礎科目に「地域環境マネジメント実践演習」、「環境社会調査演習・実習」、「環

境科学実験」、プログラム展開科目に各分野の演習科目、課程共通科目の「特別研究」などを系統的に履修できるように配置する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：教育学部

◇教育学部・学校教育教員養成課程

岩手大学教育学部・学校教育教員養成課程では、教育に関する理論的・実践的な力量、教育内容とその背景をなす諸学問の理解、及び豊かな人間性と社会性を備え、高い意欲と使命感を持って学校教育に取り組むことができる教員を養成することを目的としている。この教育目的達成のために、教養教育科目と専門教育科目で構成される系統的な教育課程を編成している。

教養教育科目は、学士課程を修めた知識人として幅広い教養と豊かな人間性を養うことを目的とし、大学共通の科目群が用意されている。各コースの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の中に総合的思考力を養うために幅広い教養を身に付けることを掲げており、この目的達成のため、幅広い分野について単位修得ができるようにカリキュラムが組まれている。

専門教育科目は、以下の５つの科目に区分して編成し、これらの科目について教員免許状取得のための法規上の科目はもちろんのこと、さらに充実した教員養成を行うために多様な科目が用意されている。

(1) 教育及び子どもに関する基礎的知識と技能の修得のための教職専門科目
(2) 教科に関する専門的知識と技能の修得のための教科専門科目
(3) 所属サブコース毎の専門的な知識と技能の修得のための所属専門科目
(4) 幅広い知識と技能の修得に資するための選択科目
(5) 卒業研究

これらの専門教育科目について、次の２つの考え方に基づいて教育課程が組み立てられている。

１．学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）にも位置づけられているように、理論的な学びと実践的な学びのつながりを重視し、双方の往還による相乗的な力量育成を目指している。そのために系統的に教育現場での実践的な体験を組み込み、理論的側面と教育現場における実践的側面をつなげながら、それぞれでの学びを自覚的に深めていくことができる系統的なカリキュラムを構成している。なお、この４年間の教職課程の学習成果を確認し、教職への意欲と自覚を促すことを目的として、在学期間全般にわたって「教職ポートフォリオ」を導入している。

２．学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）にも位置づけられているように、教員として共通に身に付けるべき基礎となる内容（基礎力の育成）に加え、 自らが得意とする分野を形成する内容（専門分野の育成）の両面の育成を図っている。 ここで特に専門分野の教育では単に知識や技能を深めるだけではなく、ものの見方、課題分析力、論理的思考力やものごとを創造的にアプローチする能力も重視し、このような学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の中に掲げられた能力を総合的に実現する場として卒業研究が位置づけられている。

すべての学生は、所属するコースの定めるところにより、主免許となる教員免許状の取得が義務づけられている。さらに地域の教育現場のニーズに応えるとともに教員としての視野を広げるため副免許となる教員免許状の取得が義務づけられている。これらの教員免許状の

取得資格を得た上で、コース毎に定められた所定の単位を修得することにより学士課程を修了することができる。

【小学校教育コース】
（知識・理解）
1．文化、社会、自然、環境等に関する幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
2．小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
3．小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、２、３年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
4．専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、１年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
（思考・判断）
5．学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（１年次）、「学校体験実習」（２年次）、主免教育実習（３年次）、副免教育実習（４年次）及び「小学校実践研究」（３年次）の履修を必修としている。
6．課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
（技能・表現）
7．小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導」、「教育相談」、「小学校実践研究」及び１年次から４年次までの教育実習関連科目を必修としている。
8．ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（１年次）、教育実習関連科目（１～４年次）、「教職実践演習」（４年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
（関心・意欲）
9．学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、１年次から４年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（１年次前期）に始まって「教職実践演習」（４年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
（態度）
10．学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、４年間を通した教職指導を行う。

【中学校教育コース】
（知識・理解）
1．文化、社会、自然、環境等に関する幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。

２．中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
３．取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、２、３年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
４．専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、１年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
（思考・判断）
５．学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（１年次）、「学校体験実習」（２年次）、主免教育実習（３年次）、副免教育実習（４年次）の履修を必修としている。
６．課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目、実技科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
（技能・表現）
７．中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び１年次から４年次までの教育実習関連科目を必修としている。
８．ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（１年次）、教育実習関連科目（１～４年次）、「教職実践演習」（４年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
（関心・意欲）
９．学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、１年次から４年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（１年次前期）に始まって「教職実践演習」（４年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
（態度）
10．学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、４年間を通した教職指導を行う。

【理数教育コース】
（知識・理解）
１．文化、社会、自然、環境等に関する幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
２．義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために，「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
３．理科あるいは数学の基本的な内容及び指導法に関する知識を身につけるために、１、２年次に理科あるいは数学の一般的な専門科目を配置するとともに、２、３年次に教科指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。

４．専攻する学問分野の専門的知識を深めることができるように、３、４年次で履修する発展的な選択科目を配置している。

（思考・判断）

５．学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけるために、基礎となる学校教育、理数教育に関する科目を３年次前期までに履修するとともに、学校現場の実践的教育の場として４年一貫の教育実習（「観察実習」（１年次）、「学校体験実習」（２年次）、主免教育実習（３年次）、副免教育実習（４年次））の履修を必修としている。

６．課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、専攻分野の発展的な科目の少人数教育や卒業研究を行う。

（技能・表現）

７．学習指導の基本的な技能を身につけるために、教科の指導法や実験・実習の科目を必修としています。さらに発展的な技能を学習するために「理数教材開発研究」,「ICT を活用した理数教育」を必修としている。

８．児童・生徒の生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、「生徒指導」、「教育相談」等の科目、および４年一貫の教育実習を必修としている。

９．ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、学生の能動的な学習を取り入れた「教職入門」（１年次）、教育実習関連科目（１～４年次）、「教職実践演習」（４年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

（関心・意欲）

10．学校教育への強い関心と学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、１年次から４年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（１年次前期）に始まって「教職実践演習」（４年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。その中で理数教育の発展に貢献しようとする意欲を高めるために、現在の理数教育の課題解決に直結する科目として「理数教材開発研究」、「ICT を活用した理数教育」を必修としている。

（態度）

11．学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、４年間を通した教職指導を行う。

【特別支援教育コース】

（知識・理解）

１．文化、社会、自然、環境等に関する幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。

２．特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育、並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。

３．特別支援学校及び小学校または中学校の教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、主に２、３年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。

４．特別支援教育の専門的知識を身につけることができるように、１年次から特別支援教育専門科目を配置している。

（思考・判断）

５．学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（１年次）、「学校体験実習」（２年次）、主免教育実習（３年次）、副免教育実習（４年次）の履修を必修としている。

６．特別支援教育に必要な課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、特別支援教育に必要な教育、心理、生理及び病理にかかわる卒業研究を配置している。

（技能・表現）

７．小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導」、「教育相談」及び１年次から４年次までの教育実習関連科目を必修としている。

８．特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンター的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身に付けるために、「特別支援教育指導法」「知的障害教育指導法」「軽度発達障害総論」を必修としている。

９．ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（１年次）、教育実習関連科目（１～４年次）、「教職実践演習」（４年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

（関心・意欲）

10．学校教育への強い関心を持ち、その発展に貢献しようとする意欲を持てるように、１年次から１年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（１年次前期）に始まって「教職実践演習」（４年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

11．特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち、最新の動向の把握に努め、特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持てるように、１年次前期から学校等の参観や実際に幼児児童生徒と活動する「特別支援教育実践論」を配置している。

（態度）

12．学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、４年間を通した教職指導を行う。

13．特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し、児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけるために、教育実習に加え、１年次には「特別支援教育実践論」、２年次には特別支援学校における「観察実習」を配置し、講義等における専門科目の学習経験と対応して実地に学習できるようにしている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：理工学部

◇化学・生命理工学科

【化学コース】

化学コースでは、基礎化学と応用化学に関する国際水準の高度な専門知識・専門技術を有し、さらに幅広い一般教養と語学力を基にして、地域社会と国際社会の持続的発展を実現するうえで解決すべき諸問題に積極的に取り組むことができる人材の育成を目的として定めている。本コースでは、その教育プログラムを通して、学生が以下の能力を修得することを目指している。

（知識・理解）

１．文化・社会・自然・環境・地域に関する幅広い知識を身につけさせるために、教養教育科目の履修を必修としている。

２．理工学部卒業生として備えるべき、自然科学に関する国際水準の基礎知識や技能を修得させるために共通科目として専門基礎科目を配置している。

（思考・判断）

３．地域における課題を見出し、それを解決する方法を提案する能力を開発するために、「ソフトパス理工学概論」等の地域学習科目を配置している。

４．基礎化学と応用化学に関わる幅広く深い知識を修得し、問題解決能力を養うための専門性を高めるために、無機化学、有機化学、物理化学、高分子化学、化学工学、分析化学の科目を体系的に配置している。

（技能・表現）

５．専門科目で学んだ知識を活用する実践力養成のために、化学実験を実施する。

６．プロジェクトベースドラーニング（PBL)科目（「化学生命研修Ⅰ・Ⅱ」）を通じて、自ら調べた結果を、論理的に発表する能力を養う。また、英語で発表する能力を養うために、「科学英語」を配置している。

（関心・意欲・態度）

７．科学技術による地域貢献、最新の化学トピックスに興味を持たせるための科目を専門科目に配置している。

８．実社会において化学の専門家として活動する際に必要となる素養を身につけさせるために、「技術者倫理」、「社会体験学習」等の科目を配置している。

【生命コース】

学位授与方針に基づき、入学から２年次までは教養教育科目と専門基礎科目を、２年次以降は専門科目を受講させ、幅広い基礎知識と応用力を修得させる。３年次後期には研究室に配属し、４年次に卒業研究を行うための準備を行わせる。学位授与方針の各項目と対応する科目を以下に示す。

（知識・理解）

１．一般教養に関連した教養科目や分野横断型科目を教養教育科目として配置する。

２．自然科学に関する幅広い基礎知識の修得に必要な専門基礎科目、生命理工学に関する専門知識の修得に必要な学科内共通科目や生命コース科目を配置する。

（思考・判断）

３．多様な社会性や地域性を考慮し、生命理工学の見地から健康や福祉等の諸問題と向き合

えるように、「基礎ゼミ」と「化学生命研修Ⅰ」を必修科目とし、「化学生命研修Ⅱ」、「社会体験学習」、「化学生命概論」を選択科目とする。

（技能・表現）

４．生命理工学分野の基本的な研究・実験技能を修得させるため、「化学実験」「生命理工学実験Ⅰ、Ⅱ」「生命理工学演習Ⅰ、Ⅱ」を必修科目とする。

５．日本語と英語による論理的な表現力とコミュニケーション能力を修得させるため、「情報基礎」、「教養教育の英語科目」、「科学英語Ⅰ、Ⅱ」を必修科目とし、「国際研修」を選択科目とする。

（関心・意欲・態度）

６．生命理工学及び関連分野の進展に関心を持たせ、主体的に学ばせるため、「英語論文購読Ⅰ、Ⅱ」、「生命理工学情報」を必修科目とする。また、３年次後期から研究室に配属させ、卒業研究に主体的に取り組ませる。

７．生命理工学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持たせるため、「技術者倫理」、「ソフトパス理工学概論」を必修科目とし、「工業経営管理論」、「知的財産権概論」、「特許法特論」、「原子力工学」を選択科目とする。

◇物理・材料理工学科

【数理・物理コース】

数理・物理コースでは、数学及び物理に関する幅広い知識・教養を身につけると同時に自然界の真理探究を通じて自然科学と人類社会との関係を総合的に判断出来る知性、品格さらには国際感覚を身につけた人材の育成を目標としている。そのため、教育研究分野として、物理科学分野と数理科学分野を設置し、幅広い基礎知識の修得と数理科学の専門性深化を目指した教育課程を以下の様に編成している。

（知識・理解）

１．１、２年次に、理工学全般の基礎的な知識と実験・分析方法を修得出来るように、教養教育、主として数学、物理、化学の講義と基礎実験科目からなる専門基礎科目を配置している。

２．数理科学、物理科学に関する幅広い基礎知識および高度な専門性を体系的に習得出来るように、学科内専門科目、さらにより高い専門性を学ぶためのコース内専門科目を２年次以降に配置している。

３．数理科学分野の専門性を深化できるように、微分方程式、線形代数学、複素解析学を基礎に、応用解析学、ゲーム理論、複雑系科学などを体系的に履修することを徹底している。

４．物理科学分野の専門性を深化できるように、電磁気学、量子力学、統計力学、などを基礎に、固体物理学、磁性物理学、光学などを体系的に履修することを徹底している。

（思考・判断）

５．数理科学、物理科学の課題に対する実践的解決法を習得できるように「物理・材料理工学実験」、「プログラミング学」、「インターンシップ」、「工場見学」、「卒業研究」などの実験・研修科目を３年次以降に配置している。

（技能・表現）

６．専門科目で習得した知識や技能を活かす応用力と創造力を習得するため「物理学実験」、「物理数学演習」、「物理・材料理工学実験」を配置している。

７．科学技術英語の読解力と文章力、および、英語による表現法を習得できるように、科学

英語科目を体系的に履修することを徹底している。
（関心・意欲・態度）
８．分野横断的な思考力および俯瞰的研究能力を身につけるため、１年次に「物理・材料理工学基礎演習」を配置するとともに、マテリアルコースのコース内専門科目を選択科目として履修可能としている。
９．社会における数理科学および物理科学の役割ならびに技術者・研究者が負っている社会的責任について深く理解させるため、「ソフトパス理工学概論」および「技術者倫理」を配置している。

【マテリアルコース】
マテリアルコースでは、マテリアル工学および材料科学に関する幅広い知識と高い専門性のスキルを身につけ、それを科学技術の創成や人の暮らしや産業の発展を担うことができる人材の育成を目標としている。そのため、教育研究分野として、金属生産工学分野と機能材料理工学分野を設置し、幅広い基礎知識の修得とマテリアル工学および材料科学の専門性の深化を目指した教育課程を以下の様に編成している。
（知識・理解）
１．１、２年次に、一般教養に関する教養教育科目を配置している。
２．理工学全般の基礎的な知識と実験・分析方法を習得できるように、１、２年次に、主に数学、物理、化学の講義と基礎実験科目からなる専門基礎科目を配置している。
３．マテリアル工学および材料科学に関する幅広い基礎知識および高度な専門性を体系的に習得できるように、学科内共通科目、さらにより高い専門性を学ぶためのコース内専門科目を２年次以降に配置している。
４．金属生産工学分野の専門性を深化できるように、材料物理化学、材料組織学、金属構造材料学などの金属とセラミックスの物理・化学的性質を基礎に、金属工学、材料精製、加工プロセス工学などを体系的に履修することを徹底している。
５．機能材料理工学分野の専門性を深化できるように、電磁気学、固体物理学、半導体理工学などを基礎に、新電子材料、計測技術、材料設計・解析などを体系的に履修することを徹底している。
（思考・判断）
６．マテリアル工学および材料科学分野の課題に対する実践的解決法を習得できるように、「物理・材料理工学実験」、「社会体験学習」、「工場見学」、「卒業研究」などの実験・研修科目を３年次以降に配置している。
（興味・関心）
７．専門科目で習得した知識や技能を材料開発や評価技術開発へ生かす応用力と創造力を育成するため、「特別研修」、「特別講義Ⅰ・Ⅱ」、「工場見学」を３年次以降に配置している。
（技能・表現）
８．専門科目で学んだ知識を活用する実践能力や計算技能を習得できるように、「物理学実験」、「物理・材料理工学実験」、「プログラミング学」を配置している。
９．科学技術英語の読解力と文章力、および、英語による表現法を習得できるように、科学英語科目を体系的に履修することを徹底している。
（態度）
10．分野横断的な思考力および俯瞰的研究能力を身につけるため、1 年次に「物理・材料理

工学基礎演習」を配置するとともに、数理・物理コースのコース内専門科目を選択科目として履修可能としている。

11. 社会におけるマテリアル工学および材料科学の役割、および、技術者・研究者が負っている社会的責任について深く理解させるため、「ソフトバス理工学概論」、「技術者倫理」を配置している。

◇システム創成工学科

【電気電子通信コース】

電気電子通信コースでは、環境や人の暮らしに高い関心を持ちながら、効率化とクリーンエネルギー化が進む電気エネルギー技術、材料や微細化により高度化が進む電子デバイス技術、社会の隅々まで張り巡らされる通信・システム技術の基礎を修得し、これらの技術の発展に貢献できる人材を育成する教育研究を行う。

電気電子通信コースでは、コースの学位授与の方針を実現するために、以下の通り、カリキュラムを編成している。

（知識・理解）

1．科学技術が人間社会や自然環境に及ぼす影響を多面的に考えることができる素養を育み、豊かな人格形成に資するために教養教育科目の履修を義務付けている。さまざまな専門分野の根底を形成している普遍的な数理や、自然科学の基礎的知識を習得するために、低年次に数学、物理学、化学に関する専門基礎科目を配置している。

専門的となるコース科目では、電気回路、電磁気学、電子回路、計測・制御に関する科目群を基幹の必修科目としており、電気電子通信の分野を学ぶための基礎を築くことができるようにしている。また、数学と電気工学の橋渡しとして電気数学を設け、学び始めでつまずかないように配慮した構成としている。

３年次からは電子システム分野、電子デバイス分野、電気エネルギー分野の３分野において、より深く専門化した科目が用意され、難易度や前提となる予備知識に応じて、系統的に学ぶことができるように科目を配置している。

（思考・判断）

2．講義で学んだ専門知識をベースとして、実社会と結びつけて課題を発見することができ、柔軟な思考により問題解決への道を探り創造的に応用することができる人材を育成するために、低年次には「電気電子工学課題実習Ⅰ」、高年次には「電気電子工学専門研修」、「電気電子工学課題実習Ⅱ」、「卒業研究」を配置している。これらの科目ではＰＢＬの手法が取り入れられている。

（技能・表現）

3．電気・電子・通信に関する機器の動作原理や操作方法を理解し、活用することができるようにするため、「電気電子工学基礎実験」、「電気電子工学応用実験」、「プログラム言語及び演習」、「組込ソフトウェア実習」、「組込ハードウェア実習」、「電気設計製図」の実習科目を

２－４年次に配置している。これらの実験・実習により、ハードウェアからソフトウェアまで幅広く体験的な学習をすることができるようにしている。

4．４年次の「卒業研究」では自ら調べ、能動的に調査・実験・研究を行う。成果や結果を発表することや、レポートや論文にまとめる作業により、第三者に論理的に説明する表現能力を醸成する。また、グローバル社会で活躍するための英語能力を身につけるために、

「電気電子工学英語研修Ⅰ」、「電気電子工学英語研修Ⅱ」、「国際研修」を配置している。
（関心・意欲）
５．科学技術の進展に高い関心を持ち、継続的・主体的に学習することができるように、コース内の教員の研究を紹介する「電気電子工学特別講義」や、会社経営者や外部研究者を招聘する「電気電子工学専門研修」を開講している。さらに、企業等でインターンシップを行う「社会体験学習」も設置している。
（態度）
６．社会における役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけるために、１年次の教養科目で実施する「基礎ゼミナール」で基礎的な教育を行い、学部内共通科目には「技術者倫理」を配置している。また、企業や自治体における電気電子通信工学の関わりあいを学ぶために「社会体験学習」や「工業経営管理論」等の科目も配置している。

【知能・メディア情報コース】
知能・メディア情報コースでは、安心・安全で豊かな生活環境を支えるための高度で多様な情報システムを構築できる人材の育成を目標としている。このため、コンピュータの基礎理論から知能情報工学、メディア情報工学に至るまでの広範な教育課程を以下のように編成している。
（知識・理解）
１．幅広い教養と知能・メディア情報工学に関する基礎的な専門知識を身につけるために、教養教育科目や数学・理科に関する専門基礎科目を１、２年次に多く配置している。
（思考・判断）
２．問題の本質を理解し、基礎的な課題に対して解決法を考える能力、および問題解決のための具体的な計画立案・遂行能力を身につけるために、コース内共通科目としてプログラミングに関する基礎的な演習科目や数理計画法などの講義科目を２、３年次で履修できるように配置している。
３．専門分野等の知識を活用してデータを分析することができ、論理的な評価や考察を行える能力を身につけるために、コース内共通科目としてハードウェア実験やネットワーク実験などの実験科目、データ解析やデータベースなどの講義科目を２～４年次で履修できるように配置している。
（技能・表現）
４．知能・メディア情報システムを構成するハードウェアやソフトウェアを開発するために必要な基礎的能力を幅広く身につけるために、コース内共通科目では１年次後期から４年次前期までの全学期に渡り多くの演習科目を系統的に履修できるように配置している。また、知能情報工学・メディア情報工学に関するより高い専門性を学ぶための科目として、ロボティクス、人工知能、コンピュータグラフィックス、メディアシステムなどの講義科目を３年次で履修できるように配置している。
５．自らの思考・判断のプロセスや結果を論理的に表現する文章能力と、協創的課題解決のために他人に説明するコミュニケーション能力を身につけるために、創造プロジェクトやシステム創成プロジェクトなどの PBL 科目、キャリアセミナーなどの実習科目を配置している。
６．知能・メディア情報工学及びその関連分野に関する基礎的な英語能力を身につけるために、教養教育科目の外国語（英語、英語以外）やコース専門科目の実用英語セミナーなど

を配置している。
（関心・意欲・態度）
7．自然科学、地域課題、及び知能・メディア情報工学等の動向や進展に関心を持ち、主体的に学ぶための基礎的な能力を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
8．社会における知能・メディア情報システムの役割を理解し、技術者として社会に貢献する基礎的な能力を身につけるために、学部共通科目のソフトパス理工学概論を必修とし、コース内共通科目として情報工学特別講義などの講義科目を配置している。

【機械科学コース】
機械科学コースでは、学位授与の方針に基づき、学習の系統性に配慮しながら教育課程を編成し、これに従って教育している。学位授与方針の各項目と対応する科目を以下に示す。
（知識・理解）
1．文化、社会、自然、環境等に関する幅広い知識を身につけ、多様な価値観等に触れさせるために、教養教育科目の履修を必修としている。
機械科学に関する基礎的な専門知識を身につけるために、専門基礎科目に数学や物理に関する基礎科目、コース内共通科目に機械科学の基礎的な講義科目や実習を低年次に配置している。
機械科学に関する応用分野の知識を身につけるために、航空宇宙とロボット分野のものづくりに関連する「航空宇宙分野」と「バイオ・ロボティクス分野」、融合的なものづくりに関連する「システムデザイン分野」の３つの教育研究分野を設置し、各分野に関する知識、ならびにその知識を応用する能力を修得できるようにコース内専門科目を配置し、基礎から応用までを系統的に履修できるようにしている。
（思考・判断）
2．幅広く深い教養と総合的な判断力を身につけ、社会における科学技術者の在り方や社会への貢献について考察できる能力を身につけるため、低年次には「初年次機械ゼミナール」、高年次には「機械科学研修Ⅰ・Ⅱ」、「機械科学特別講義Ⅰ」、「技術者倫理」、「卒業研究」等を配置している。
（技能・表現）
3．機械科学分野の機器およびコンピュータを活用し、所望の機能を実現する基礎的な能力を身につけるために、「機械工作実習」、「FORTRAN 実習」、「C 言語実習」、「機械科学実験」等の実習科目を１、２、３年次に履修できるよう配置している。３年次の「機械科学研修Ⅰ」では与えられたテーマを通して課題解決を学び、４年次の「卒業研究」では学んだ知識を応用して研究成果をまとめるというように、４年間を通してアクティブラーニングを実施する。
4．専門分野の英語で書かれた基礎的な文献を理解できる英語能力を身につけるために、「工業英語」、「機械科学研修Ⅱ」を配置している。
（興味・関心）
5．機械科学の進展に関心を持ち、専門的知識を応用しながら主体的に学習をするために、「機械科学特別講義Ⅰ」、「機械科学研修Ⅰ・Ⅱ」、「卒業研究」の科目を配置している。
（態度）
6．社会における機械科学の役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけるために、学部内共通科目に「技術者倫理」を配置し、実社会での専門家のあり方を体験させるため

に、「社会体験学習」や「工業経営管理論」等の科目を配置している。

【社会基盤・環境コース】

社会基盤・環境コースでは「安全・安心な社会の構築」と「人と環境に優しい持続可能な社会の創出」を教育理念に、建設に関する広範な専門基礎学力と建設工学・環境工学・防災工学に関する様々な課題や問題に対する解決能力を備えた専門技術者を育成する。具体的には、建設工学、環境工学、防災工学の基礎と幅広い教養を身につけ、問題発見・解決能力を持ち、次世代の科学技術の創生と発展を担うことができる人材、および、建設工学、環境工学、防災工学の専門性を高めながら、社会基盤・環境工学分野を支え、地域復興のために貢献できる人材、より高い専門性が求められる同分野で活躍できる人材を育成することを目指している。

このような観点から、社会基盤・環境コースでは、コースの学位授与の方針を実現するために、以下の通りカリキュラムを編成している。

（知識・理解）

1．数学・自然科学および情報技術に関する知識を習得し、多面的な視点から考えることのできる能力を修得できるように「基礎数学」「微分積分学Ⅰ」などの専門基礎科目を必修としている。

2．社会環境工学の建設工学、環境工学、防災工学の各専門技術に関する知識、ならびにその知識を応用する能力を修得できるように体系的な履修を徹底する。

（思考・判断）

3．問題の本質を理解し、必要な情報を収集・分析して解決法を考え、問題解決のための具体的なデザイン・計画を立て、遂行する能力を修得できるように地域創生課題演習Ⅰ、測量学実習Ⅰ，Ⅱ、卒業研究等を必修としている。

4．自ら課題を発見・解決しようとする問題意識をもち、主体的・持続的に学習を行う能力を修得できるように地域創生課題演習Ⅰ、測量学実習Ⅰ，Ⅱ、卒業研究等を必修としている。

（関心・意欲・態度）

5．地球環境・地域環境について深く理解し、環境と調和した持続可能な循環社会の構築のための技術を考える能力と素養を修得できるように教養科目の環境科目、および「環境工学」等の専門教育科目の体系的な履修を徹底する。

6．科学技術が社会や自然におよぼす影響を理解して、技術者としての社会的使命・責任を認識できるように「技術者倫理」を必修としている。

（技能・表現）

7．充分な語学力を身に付け、自国の文化・社会を学ぶとともに世界の多様な価値観を理解し、国際的に通用するコミュニケーション能力を修得できるように教養科目、語学科目、専門教育科目の科学技術英語Ⅰ，Ⅱを必修としている。

8．自分の意見や実験研究の内容・成果を論理的・客観的に表現する文章作成能力とプレゼンテーション能力を修得できるように地域創生課題演習Ⅰ、科学技術英語Ⅱ、卒業研究等を必修としている。

9．他者と協力してチームで仕事をする能力を修得できるように地域創生課題演習Ⅰ、測量学実習Ⅰを必修としている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：農学部

農学部は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、生命科学・環境科学･動物医科学の分野で幅広い教養と基礎学力を養うために、植物生命科学科、応用生物化学科、森林科学科、食料生産環境学科（農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース・水産システム学コース）、動物科学科、共同獣医学科ごとに、教養教育科目、学部専門基礎科目、学部共通科目、共通教育科目（共同獣医学科）及び学科・コース専門教育科目で構成される系統的な教育課程を編成している。

◇植物生命科学科

植物生命科学科では、植物・生命に関する諸課題について自ら思考し解決・行動できる人材の育成することを目的として、以下のカリキュラムを編成している。

（知識・理解）

1．広範な知識と高い倫理性を身につけるために、教養教育科目群、専門基礎科目群、学部共通科目群に属する科目の履修を必修としている。

2．植物・生命の機能を解明し、農業生産に応用する知識を身につけるために、専門重点科目において作物学、園芸学、植物育種学、植物生理学、植物病理学、応用昆虫学、農業経済・経営に関する科目群を配置している。

（思考・判断）

3．植物・生命資源および農学に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができるように「演習科目」および「卒業研究」を配置している。

（関心・意欲）

4．植物・生命資源に関する具体的な課題への関心と、課題を解決する能力・技術・意欲を身につけるための科目として「農場実習」および「インターンシップ」を配置している。

（態度）

5．植物・生命資源の創出・発展のニーズに、協調性と倫理性をもって、自律的・継続的に行動できる能力を修得するために「インターンシップ」、「卒業研究」を配置している。

（技能・表現）

6．論理的な思考の過程と判断の結果をわかりやすく説明するための高いプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得するために、「演習科目」、「卒業研究」、「科学英語」を配置している。

◇応用生物化学科

（知識・理解）

1．微生物や動植物などの生物資源に関する分子レベルから生態系レベルまでの生命現象や食品素材の特性を化学的な視点で理解するため、教養教育科目の学問知科目の履修を必修にしており、専門基礎科目に数学、物理学、化学、生物学、地学、フィールド科学科目群を設け、専門重点科目に食品科学、栄養化学、天然物化学、生化学、微生物学、植物栄養学、土壌学科目群を設けている。

（思考・判断）

2．生物資源や食品素材に関する知識と理解を基礎に、食糧、環境、健康に関する諸課題・

未知事項について、多面的に思考し自らの考えをまとめる能力を育成するため、専門重点科目に実験実習科目を設けている

（関心・意欲）

３．食糧、環境、健康に関する課題や未知事項に関心を持ち、その解決・解明に意欲的に取り組むために、学部共通科目のインターンシップや卒業研究を設けている。

（態度）

４．生物資源の有効利用やその応用を通じて、食品産業や医薬品産業を始めとするバイオ関連産業の創出・発展に寄与し、地域や社会に貢献する考え方や行動をとることが可能になるよう学部共通科目の農学のための倫理学やインターンシップを設けている。

（技能・表現）

５．自らの知識と論理的な思考に基づいた判断結果を的確に説明する表現力や、それを実践する技能を修得するため、学部共通科目に科学英語や卒業研究、専門重点科目に実験実習を設けている。

◇森林科学科

森林科学科では、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用について総合的に学習し、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成することを目的としている。本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）ごとに履修年次を集中させた積み上げ型カリキュラムを編成している。

（知識・理解）

１．数学、自然科学、情報処理に関する基礎的知識を獲得するため、１、２年次に教養教育科目の技法知科目（情報科目）、学問知科目（自然＆科学技術）及び学部専門基礎科目の履修を促している。

２．森林科学の学問内容と方法を説明できるようにするため、専門重点科目に森林学・森林工学、自然環境学、林産学に関する基礎的な授業・実習科目群を配置し、２、３年次の履修を促している。

（思考・判断）

３．森林の多面的機能について、総合的に考えることができるようにするため、専門重点科目に「野生動物管理学」、「森林政策学」、「砂防学」などの応用的な授業科目群を配置し、２、３年次の履修を促している。

４．与えられた制約の下で計画的に仕事を進められるようにするため、専門重点科目に「森林造成学実習」、「森林計測学実習」、「林道工学実習」などの野外実習科目群を配置し、３年次の履修を促している。

（関心・意欲）

５．地球的視点から各地の文化や異なる価値観に関心を示すようになるため、１、２年次に教養教育科目の学問知科目と技法知科目（外国語）の履修を促している。

６．自主的・継続的に学修できるようにするため、専門重点科目全般で自己学習時間の確保を促すとともに、宿題を特に重視する科目として、専門基礎科目の「生物統計学」、専門重点科目の「森林計測学」を配置し、１、２年次の履修を促している。

（態度）

７．技術者倫理を感じられるようにするため、学部共通科目の「農学のための倫理学」、「イ

ンターンシップ」の履修を促すとともに、専門重点科目に「海外・日本の林業」、「森林科学応用演習Ⅰ」を配置し、３年次の履修を促している。
８．チームワークを意識して行動できるようにするため、専門重点科目に「森林科学基礎演習」、「森林測量学実習Ⅰ・Ⅱ」、「森林科学研修」を配置し、１年次から２年次の履修を促している。
（技能・表現）
９．日本語で論理的に記述・発表・討議できるようにするため、１年次に教養教育科目の転換教育科目と専門重点科目の「森林科学入門」の履修を促している。
10．森林科学の知識を利用し、社会の要求を解決するために提案できるようにするため、専門重点科目に「森林科学応用演習Ⅰ」、「森林科学応用演習Ⅱ」、「卒業研究」を配置し、３年次後期から４年次の履修を促している。

上記のカリキュラムにより、まず１、２年次に「数学、自然科学、情報処理」、「文化と異なる価値観への関心」、「自主的・継続的学修」、「チームワーク」及び「日本語による論理的な記述・発表・討議」という基礎的知識・技能を学ばせる。次に、２、３年次に「森林科学の学問内容と方法」と「森林の多面的機能の総合的考察」及び「技術者倫理」という専門的知識・思考力を学ばせる。その上で、３年次から「制約下での計画的な業務遂行」と「社会の要求を解決するための提案」という実践的思考力・技能を学ばせる。

◇食料生産環境学科
【農村地域デザイン学コース】
農村地域デザイン学コースにおいては、このコースの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のカリキュラムを編成している。
（知識・理解）
１．自然科学や情報技術および地域文化に関する基礎知識を身につけるために、教養教育科目と専門基礎科目の履修を必修としている。
２．農村地域デザイン学の基礎・応用分野の知識を身につけるために、専門重点科目において、力学系科目群、地理情報系科目群、水土系科目群、生態学・社会科学系科目群を配置している。
（思考・判断）
３．地域の問題点と課題を理解し専門知識を総合して、生産環境と地域社会の計画・設計の在り方を考察するために、専門重点科目の演習・実習科目を配置している。
４．自分の考えを積極的に表現するために、専門重点科目において実践的教育科目群、学部共通科目においては「インターンシップ」と「卒業研究」を配置している。
（関心・意欲）
５．地域の生産・生活基盤の充実と環境改善に対する関心を持つために、専門重点科目の一部では現場見学を取り入れ、実地研修の内容を取り入れた科目として学部共通科目の「インターンシップ」を配置している。
（態度）
６．自然と地域文化を含めた広い視野を得るための素養を身につけ、技術者としての社会的責任の重さを自覚して、多様な主体と協働しながら継続的に努力するために、専門重点科目の演習・実習科目を配置している。

（技能・表現）
7．地域・現場の人達と良好なコミュニケーションを図る能力を高めるために、実践的教育科目群の「農山村調査実習」と学部共通科目の「インターンシップ」を配置している。
8．文章や口頭発表による表現力を身につけるために、実践的教育科目群の「農村地域デザイン学セミナー」と学部共通科目の「卒業研究」を配置している。

【食産業システム学コース】
食産業システム学コースにおいては、このコースの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のカリキュラムを編成している。
（知識・理解）
1．食産業に関わる諸問題を理解するために必要な自然科学、情報技術および地域社会に関する基礎知識を身に着けるため、教養教育科目と専門基礎科目の履修を必修としている。
2．食料安定供給と環境負荷低減の両立や農業の６次産業化の推進など、次世代の食産業システムの構築に関して幅広く理解させるため、専門重点科目において、農業循環科学、植物環境科学、農産物流通科学、農作業システム学、農業経営・経済学に係る科目群を設けている。
（思考・判断）
3．食産業に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題を考察し、自分の考えをまとめ、行動することができるようにするため、各科目に関連する実験、演習及び農場実習を設けている。
（関心・意欲）
4．食産業について多面的な関心を持ち、技術や経営の革新を通じて諸課題を解決しようとする意欲をもって行動できるようにするため、各分野に係るセミナー及び演習を設けるとともに、卒業研究を設けて総合的な能力の修得を図っている。
（態度）
5．食産業における技術開発や経営活動において、協調性と倫理性をもって、自律的に行動できるようにするため、農業や関連企業・団体での実体験が習得できる農場実習、農場特別実習及びインターンシップを設けている。
（技能・表現）
6．自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得させるため、科学英語や情報処理演習を設けるとともに、各分野のセミナーや演習での発表を通じて実践的な能力形成を図っている。

【水産システム学コース】
水産システム学コースにおいては、このコースの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のカリキュラムを編成している。
（知識· 理解）
1．水産システム学を実践するための数学、自然科学、社会科学、コミュニケーション（日本語・英語）に関する基礎的知識を獲得するため、１、２年次の教養教育科目に関連科目履修を促している。
2．水産業の復興と持続的発展に貢献する人材を育成するために，水産科学分野に加えて，水産業に関わる社会科学分野までの幅広い関連分野を網羅した水産システム学を体系的に

履修する。
（思考· 判断）
3．水産業が抱える諸課題について多角的に分析、俯瞰的に思考し、最善の解決策を判断できるよう基礎論と実践的な実習· 演習を履修する。
（関心· 意欲）
4．日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち，問題解決に意欲的に取り組めるように、水産業の発展に関連した科目を履修する。
（態度）
5．水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち、真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携われるように、水産業復興に資する科目を履修する。
（技能· 表現）
6．漁業及び周辺産業、海洋環境や水産資源管理の現状把握、分析のための基礎的な技術を身につける科目を履修する。
7．フィールド調査や統計データを的確に分析・利用する技術、結果に基づく論理的な思考能力、および得られた結果を的確に伝えることが出来るプレゼンテーション力と語学力を身につける科目を履修する。

◇動物科学科
動物科学科では、基礎的学問分野から動物生産技術の応用的分野まで、体系的、総合的に学ぶことにより、動物関連産業の発展に貢献することのできる技術者及び研究者を育成することを教育の目的とし、本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のカリキュラムを編成している。
（知識・理解）
1．学士としての幅広い教養と豊かな人間性を養うために、教養教育科目、専門基礎科目の履修を必修としている。
2． 動物生産及び動物科学分野に関する知識を身につけるために、産業動物（家畜）、実験動物、野生動物、展示動物など、幅広い動物種を対象として、動物の生理、形態、組織、遺伝育種、発生、生殖、飼料、草地、栄養、生産生理、飼養、管理、行動及び動物資源の利用に関する専門重点科目を配置し、さらに総合的な理解を深めるために専門展開科目群を配置している。
（思考・判断）
3．動物関連産業に関する課題を理解し、講義で得た専門知識を駆使して課題解決を適切に行う技能を養成するために、各専門重点科目の実験科目および牧場実習（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センターなど）を配置している。
（関心・意欲）
4．我が国有数の畜産物生産地域である東北地方という背景を活かし、動物関連産業発展に資する動物科学を学ぶために、専門重点科目および牧場実習を配置し、その一部に現場見学を取り入れている。また、実地研修の内容を取り入れた科目として、インターンシップを配置している。
（態度）
5．情報収集及び客観的な議論を積極的に行うことができる技能を養成するために、各専門重点科目の実験および牧場実習、さらに卒業研究へつながるよう科目を配置している。

（技能・表現）
６．修得した動物生産及び動物科学分野の技術を総合的に実践する能力を養成するために卒業研究およびインターンシップを配置している。

◇共同獣医学科
共同獣医学科は、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づいた教育課程を実施することに加え、獣医学の基盤となる生命科学の知識とともに、国際化に対応できるよう外国語による情報収集や思考の素養を身に付け、また現代の人間と社会における基本的問題や人文社会科学の諸分野を幅広く学ぶことで、獣医師として豊かな人間性を養うための科目群で編成されている。
（知識・理解）
１．獣医師としての責務を遂行するために、動物の健康・福祉、公衆衛生などに関する高度な専門知識を修得するため、専門科目の履修を必修としている。
（思考・判断）
２．獣医学領域に関わる課題について、生命科学を基礎とした知識と技能を用いて論理的に判断できるように、共通科目の履修を必修としている。
（関心・意欲）
３．獣医師として国内での責務を果たすのみならず、国際的視野を有することができるよう、海外研修などを配置している。
４．地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得するために、人獣共通感染症や食品衛生関連の科目を配置している。
（態度）
５．幅広い専門知識や技能を身につけるため、各種実習、演習を配置している。
６．倫理性も備えた行動規範を身につけており、適切なコミュニケーションができるようになるため、共用試験の受験を必修としている。
（技能・表現）
７．高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践できるように、総合臨床実習や公衆衛生実践実習などの現場での実習を配置している。
８．論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけられるように、獣医倫理や獣医学概論の様な導入科目を配置している。

「学位授与の方針」
達成状況自己評価チェックリスト

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（人文社会科学部）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．　教養教育により幅広い分野の知識を修得している。	□ 教養教育科目の授業科目を履修した（している）。 □ 教養教育科目の授業科目を、要件を満たして４３単位以上修得した。
２．　人間・文化・社会・環境について，教養教育で得た基礎的知識・技能等を土台にし，専門的な知識と理解を有するとともに，総合的・学際的な広い視野を有している。	□ 「総合科学論Ⅰ」を履修した（している）。 □ 「総合科学論Ⅰ」を単位修得した。 □ 「総合科学論Ⅱ」を履修した（している）。 □ 「総合科学論Ⅱ」を単位修得した。 □ 主専修及び副専修プログラムを選択した。 □ 選択した副専修プログラムの授業科目を履修した（している）。 □ 選択した副専修プログラムの授業科目を、要件を満たして１６単位以上修得した。 □ 選択した主専修プログラムの授業科目を、要件を満たして３４単位以上修得した。
３．　総合的な学修を活かし，変化が著しく複雑化する現代社会に対応できる柔軟な思考力と的確な判断力を有している。	□ １つ以上の副専修プログラムを選択した。 □ 選択した副専修プログラムの授業科目を履修した（している）。 □ 選択した副専修プログラムの授業科目を、要件を満たして１６単位以上修得した。
４．　グローバル化が進む社会において，多様な考え方，異質なものを理解するとともに，自らの見解・成果を的確に表現し，発信できる高いコミュニケーション能力を有している。	□ 教養教育「外国語」の授業科目を履修した（している）。 □ 教養教育「外国語」を８単位以上修得した。 □ １つ以上の副専修プログラムを選択した。 □ 選択した副専修プログラムの授業科目を履修した（している）。 □ 選択した副専修プログラムの授業科目を、要件を満たして１６単位以上修得した。 □ 「課題解決型国際研修」を単位修得した。
５．　地域社会・国際社会の諸課題に実践を通して取り組み，貢献しようとする積極的態度と高い倫理性を有している。	□ 教養教育「地域科目」の授業科目を履修した（している）。 □ 教養教育「地域科目」の授業科目を２単位以上修得した。 □ 「課題解決型国際研修」を単位修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（行動科学専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．　心理学，社会学を中心とした行動科学的なアプローチから得られた人間行動に関する知識を幅広く身につけており，人間行動を総合的・多元的に理解することができる。	□ プログラムを構成する専門分野の基本的な講義科目を履修した。 □ プログラムを構成する専門分野の専門的・応用的な講義科目を履修した。 □ 学際的・多元的な人間行動理解のため、「行動科学方法論」を履修した。
2．　人間行動をめぐる諸問題に適切に対処するための情報分析能力やコミュニケーション能力を身につけている。	□ 情報分析能力養成のため、基礎的統計科目または「社会調査法」を履修した。 □ 情報分析と意思伝達能力養成のため、「社会調査実習」を履修した。 □ コミュニケーション能力涵養のため、プログラム内の演習科目を履修した。 □ 「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」を履修し、情報分析と伝達方法を総合的に習得した。 □ 「特別研究」を履修し、それまで涵養した知識・能力を活用した。
3．　人間行動に関する専門的な知識等を活用して、現実の問題解決に向けてアプローチでき、地域社会に積極的な提案を行うことができる。	□ 「社会調査実習」を履修し、社会における諸問題を明らかにする方法を習得した。 □ 「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」を履修し、人間行動について専門的な知識を元に検討をした。 □ 「特別研究」を履修し、得られた知見がどのように社会に還元できるかを検討した。
4．　現代社会に生きる人々が新たに直面する事象を、自らの力で理解し判断する自発的課題探求力を身につけている。	□ プログラム内の演習科目を履修し、専門分野ごとの課題を検討した。 □ 「社会調査実習」を履修し、現代社会の諸問題を分析する方法を習得した。 □ 「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」を履修し、自ら設定した課題について一定の知見を得た。 □ 「特別研究」を履修し、人間行動について専門的な分析を行い、知見を得た。
5．　発表や討論を通じてのコミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを修得している。	□ プログラム内の演習科目を履修し、集団場面での発表や討議をとおして専門知識の理解を深めた。 □ 「社会調査実習」を履修し、分析結果の発表や討議の方法を習得した。 □ 「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」を履修し、学術的な発表・討議の基礎的方法を習得した。 □ 「特別研究」を履修し、研究課題の学術的・社会的意義を意識した討議・発表を行った。
6．　経験（実習・実験）を通して、チームワークやリーダーシップなどの集団活動場面におけるスキルを修得している。	□ 「人間文化入門」を履修し、大学での学びにおける集団活動の基礎的スキルを習得した。 □ 「社会調査実習」を履修し、調査の企画・実施・報告までの過程を、集団で円滑に進めた。
7．　専門分野の学問内容、最新の研究成果、動向等について興味・関心を持っている。	□ プログラム内の基本的な講義科目を履修し、専門的知識の基盤を形成した。 □ プログラム展開科目を履修し、各学問領域での最新の研究成果について習得した。 □ 「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」を履修し、設定した課題が専門分野でどのように研究されているかを理解した。
8．　専門性を活かして、社会に参画する意欲を持っている。	□ 「社会調査実習」を履修し、社会における社会調査の意義を理解した。 □ 「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」を履修し、得られた知見と実生活上の人間行動との関連を検討をした。 □ 「特別研究」を履修し、得られた知見がどのように社会に還元できるかを検討した。 □ 上記科目での学修を発展させることを希望した学生は、「ソーシャルデザイン論」の講義科目と演習科目を通じて、地域社会への働きかけの様相を理解した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（行動科学専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
９．　人間に対する深い理解と広い視野に基づく学際的・総合的な課題探求能力を習得し、現代社会の様々な課題を全体的に把握し、それらの課題に適切かつ柔軟に対処できる。	□ 人間諸科学の学修への導入として、「人間文化入門」と「人間文化研究」を履修した。 □ 現代社会の諸課題を実証的に解明するための基礎的スキルを、「社会調査実習」の履修により習得した。 □ 「心理学基礎実験」を履修し、人間行動に対する実験的接近法とその知見を理解した。 □ 「特殊実験調査Ⅰ・Ⅱ」を履修し、学際的・総合的な課題探求能力を習得した。 □ 「特別研究」を履修し、現代社会の課題と人間諸科学による対処について、知見を得た。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（スポーツ科学専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．　スポーツ科学の基礎的な知識を理解している。	□ プログラム科目のスポーツ科学に関する専門科目を履修している。 □ 「スポーツ科学方法論」と「スポーツ科学実験・実習」を履修し単位を修得している。
2．　健康づくりに関する知識とその意義を理解している。	□ 「健康管理論」と「健康障害と予防」を履修し、単位を修得している。 □ プログラム科目の健康に関する専門科目を履修している。
3．　スポーツや健康に関する地域の多様なニーズやシーズを察知でき，適切な対応策が講じられる。	□ スポーツや健康に関する情報を日頃から察知している。 □ スポーツや健康に関する政策や地域活動を把握でき、政策の立案や推進計画が立てられる。
4．　対象に応じた適切な運動処方が計画，および具体的な実践指導ができる。	□ 「健康づくり運動実習」を履修し、単位を修得している。 □ 「健康スポーツ指導法Ⅰ・Ⅱ」を履修し、実践指導できるスキルを獲得している。 □ 「健康運動論」・「健康運動処方論」や「スポーツと栄養」などを履修し、計画立案や実践指導ができる。
5．　地域課題を探索するために，社会調査等を利用した方法が活用できる。	□ 「社会調査法」や「スポーツ社会調査実習」を履修し、社会調査の基礎的な知識を修得している。
6．　健康やスポーツによる地域の活性化や地域づくりに関心を持ち，自ら地域に出て実践的な活動をする意欲がある。	□ 「地域スポーツコーディネート実習」や「スポーツトレーナー実習」を履修し、地域における実践的な活動に意欲を持っている。
7．　専門性を生かし，グローバルな視野から地域貢献に積極的に関わる態度を身につけている。	□ 演習科目を履修し、専門的な知識を活用できるスキルを獲得する。 □ スポーツ関連以外の講義や演習を履修し、幅広い知見を獲得している。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（現代文化専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．　人間と文化に関して幅広い知識と素養を有している。	□ 課程導入科目「人間文化入門」を履修し、２単位を修得した。 □ 課程導入科目「人間文化研究」を履修し、２単位を修得した。
２．　国際的な視野に立って異文化を理解できる。	□ 課程共通科目のうち「国際交流研修」や外国語「～語基礎」「日本語表現基礎」「日本語読解基礎」のいずれかを履修した。 □ これにより、４単位以上を修得した。 □ 課程共通科目のうち「人間行動論」「現代文化論」「芸術文化論」「異文化間コミュニティ論」「英語圏文化論」「ヨーロッパ語圏文化論」「アジア圏文化論」のいずれかを履修した。 □ これにより、４単位以上を修得した。
３．　地域社会の諸問題を歴史や思想などの根源的原理から考察できる。	□ 「社会文化思想論」「美学芸術学入門」「音楽文化史」のいずれかを履修し、２単位以上を修得した。 □ 下記の方針４とあわせて、６単位以上を修得した。 □ 方針３、４、５、６、８、１０で３０単位以上を修得した。
４．　現代的状況の下で文化がどのように変容していくかを理解できる。	□ 「表象文化論」「文化記号論」のいずれかを履修し、２単位以上を修得した。 □ 上記の方針３とあわせて、６単位以上を修得した。 □ 方針３、４、５、６、８、１０で３０単位以上を修得した。
５．　地域社会の現況把握や遭遇する諸課題に対して，多角的な視点から対象を把握できる。	□ 「社会文化思想論特講」「消費文化論特講」「芸術文化論特講」「音楽文化論特講」「表象文化論特講」「メディア文化論特講」「現代文化論特講」のいずれかを履修した。 □ 「社会文化思想論特講」「消費文化論特講」「芸術文化論特講」「音楽文化論特講」「表象文化論特講」「メディア文化論特講」「現代文化論特講」から２分野以上かつ４単位以上を修得した。 □ 方針３、４、５、６、８、１０で３０単位以上を修得した。
６．　グローバルな観点が不可欠な現代的諸課題に対して，柔軟な思考で最適解を導き出せる判断力を有している。	□ 「社会文化思想論演習」「芸術文化論演習」「表象文化論演習」「文化記号論演習」「ソーシャルデザイン論演習」のいずれかを履修した。 □ 「社会文化思想論演習」「芸術文化論演習」「表象文化論演習」「文化記号論演習」「ソーシャルデザイン論演習」から２分野以上を履修した。 □ 「社会文化思想論演習」「芸術文化論演習」「表象文化論演習」「文化記号論演習」「ソーシャルデザイン論演習」から２分野以上かつ６単位以上を修得した。 □ 「特別研究」を提出し、６単位を修得した。 □ 方針３、４、５、６、８、１０で３０単位以上を修得した。
７．　対象に応じた認識手段や分析手法を有している。	□ 「文化事象探究Ａ」を履修し、１単位を修得した。 □ 「文化事象探究Ｂ」を履修し、１単位を修得した。 □ 「文化事象探究Ｃ」を履修し、１単位を修得した。 □ 「文化事象探究Ｄ」を履修し、１単位を修得した。
８．　企画・立案した内容や自身の見解等を的確に説明し発信できる。	□ 「メディア文化論特講」「著作権概論」を履修した。 □ これにより、２単位以上を修得した。 □ 方針３、４、５、６、８、１０で３０単位以上を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（現代文化専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
９．　未知の事象に対しても積極的に対応し得る好奇心や意欲を持っている。	□ 「文化事象探究Ａ」を履修し、１単位を修得した。 □ 「文化事象探究Ｂ」を履修し、１単位を修得した。 □ 「文化事象探究Ｃ」を履修し、１単位を修得した。 □ 「文化事象探究Ｄ」を履修し、１単位を修得した。
10.　地域社会の活性化等に主体的に関わろうとする態度を有している。	□ 「ソーシャルデザイン論」「ソーシャルデザイン論特講」「応用倫理学」のいずれかを履修した。 □ これにより、２単位以上を修得した。 □ 方針３、４、５、６、８、１０で３０単位以上を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（異文化間コミュニティ専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．　マイノリティが生み出されるしくみについて，総合的・多角的に理解する能力を有している。	□ 「ジェンダー論」の履修をおこない、修得必要単位数を修得した。 □ 「複合エスニシティ論」の履修をおこない、修得必要単位数を修得した。 □ 「異文化コミュニケーション論」の履修をおこない、修得必要単位数を修得した。
２．　社会的排除の現状・歴史的背景・乗り越えをめぐる模索について，人文・社会諸科学の幅広い知識にもとづいて理解する能力を有している。	□ 様々な文化における民族問題や差別別問題の概要を知ることのできる，歴史や外国文学・文化に関する科目を履修した。 □ 現代における差別や社会的排除の諸相を学ぶことのできる，哲学や社会学に関する科目を履修した。 □ 様々な社会的包摂の方法を知ることのできる，心理学やスポーツに関する科目を履修した。 （上記3項目のうち、１つ以上にチェックがはいっていること）
３．　性別，国籍，言語・民族性などの違いによって，自らがどのような社会的位置づけに置かれているのかを，人文・社会科学の諸議論をふまえて思考する能力を有している。	□ プログラム基礎科目において、人文系（民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ，社会保障論Ⅰ・Ⅱ，環境文化論Ⅰ・Ⅱ，国際開発と環境・貧困、および「ジェンダー論」・「複合エスニシティ論」・「異文化コミュニケーション論」以外）より４単位以上の履修をおこない、修得必要単位数を修得した。 □ プログラム基礎科目において社会科学系（（民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ，社会保障論Ⅰ・Ⅱ，環境文化論Ⅰ・Ⅱ，国際開発と環境・貧困）より２単位以上の履修をおこない、修得必要単位数を修得した。 □ 「ジェンダー論特講」・「複合エスニシティ論特講」・「異文化コミュニケーション論特講義」の各分野から2分野以上，6単位を選択し、修得必要単位数を修得した。
４．　性別，国籍，言語・民族性などの違いによって，自らにどのような視座の偏りが生じるのかについて，自覚的な思考ができる能力を有している。	□ 「ジェンダー論演習」の履修をおこない、修得必要単位数を修得した。 □ 「複合エスニシティ論演習」の履修をおこない、修得必要単位数を修得した。 □ 「異文化コミュニケーション論」の各演習科目の履修をおこない、修得必要単位数を修得した。 （上記3項目のうち、１つ以上にチェックがはいっていること）
５．　社会的排除当事者へのエンパワーメント・スキルのうち，基礎的な技能を身につけている。	□ 様々な社会的包摂の方法を知ることのできる心理学やスポーツに関する科目を履修した。 □ エンパワーメントと関連の深い社会政策・制度についての選択必修科目群（（民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ，社会保障論Ⅰ・Ⅱ，環境文化論Ⅰ・Ⅱ，国際開発と環境・貧困）から2単位を履修した。 （上記２項目のうち、１つ以上にチェックがはいっていること）
６．　社会的排除当事者のヴァルネラヴィリティ（社会的立場の弱さ）を考慮に入れた，行動や表現ができる能力を有している。	□ 「ジェンダー論演習」で課された、社会的排除と包摂をめぐる具体的な実践課題について取り組み、修得必要単位数を修得した。 □ 「複合エスニシティ論演習」で課された、社会的排除と包摂をめぐる具体的な実践課題について取り組み、修得必要単位数を修得した。 □ 「異文化コミュニケーション論演習」で課された、社会的排除と包摂をめぐる具体的な実践課題について取り組み、修得必要単位数を修得した。 （上記3項目のうち、１つ以上にチェックがはいっていること）
７．　多様なコミュニケーション手段を積極的に学び，国内のみならず国際的な異文化間コミュニティ形成に対する関心を有している。	□ 「国際交流研修」を履修した。 □ 「日本語表現基礎」をはじめとする各国語基礎科目を履修した。 □ 「異文化間コミュニティ論」を履修した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（異文化間コミュニティ専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
	（上記3項目のうち、１つ以上にチェックがはいっていること）
８．　社会的排除の乗り越えに対して，地域の一員として主体的に関わろうとする態度を持っている。	□ 「卒業研究」において、地域の一員として社会的排除の乗り越えにいかに主体的に関わり得るかを意識した、課題テーマを設定し探求した。 □ 「卒業研究」において、設定した課題テーマについて必要水準を満たした探求をおこない、修得必要単位を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（歴史専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．　人間と文化に関する幅広い知識と教養を有し，国際的な視野に立って異文化を理解することができる。	□ 「人間文化入門」２単位を修得した。 □ 「人間文化研究」２単位を修得した。 □ 課程共通科目の「国際交流研修」「国際課題研修（芸術）」「日本語表現基礎」「日本語読解基礎」「ドイツ語基礎」「フランス語基礎」「ロシア語基礎」「中国語基礎」「韓国語基礎」「社会調査法」から４単位以上、「人間行動論」「スポーツ科学」「現代文化論」「異文化間コミュニティ論」「芸術文化論」「歴史学概論」「英語圏文化論」「ヨーロッパ語圏文化論」「アジア圏文化論」「絵画基礎」「彫刻基礎」「工芸基礎」「デザイン基礎Ａ」「デザイン基礎Ｂ」「書法基礎」「ドイツ語コミュニケーション基礎」「フランス語コミュニケーション基礎」「ロシア語コミュニケーション基礎」から４単位以上修得した。
２．　日本・アジア・西洋各国の歴史に関する横断的，基礎的な知識を有し，現代の諸問題の歴史的背景を理解している。	□ 「歴史資料論」２単位を修得した。 □ 「史学史」２単位を修得した。 □ プログラム基礎科目の各領域の講義科目を横断的・総合的に履修した。 □ プログラム基礎科目の各国語の中から２単位以上選択して、基礎的な読解力を修得し □ プログラム基礎科目及びプログラム展開科目の歴史学に関連する分野の学問から２単位以上選択して、歴史を読み解く幅広い能力を修得した。 □ プログラム基礎科目を１０単位以上修得した。
３．　日本・アジア・西洋各国の政治・経済・社会・文化・思想などについて歴史的視座から検討し，また国際的視野から比較することを通して，現代の諸地域の政治・経済・社会・文化・思想などを相対化し，問い直すことのできる能力を身につけている。	□ プログラム展開科目の中から選択して、歴史的視座と国際的視野、および比較の視点を修得した。 □ プログラム展開科目の中から選択して、現代を相対化して捉える能力を修得した。 □ プログラム展開科目の演習科目（選択必修）を４単位以上修得した。 □ プログラム展開科目を１０単位以上修得した。
４．　文献資料あるいは非文献資料を適切に取り扱い，読み解く能力を身につけている。また，従来の研究成果を批判的に検討し，自らの見解を論理的に組み立て，資料に基づいて適切に発表することができる。	□ プログラム展開科目の中から選択して、歴史学に関わる資料の読解力を修得した。 □ プログラム展開科目の中から選択して、先行研究を批判的に検討し、そのうえで自らの見解を発表できる能力を修得した。 □ プログラム展開科目の演習科目（選択必修）を４単位以上修得した。 □ プログラム展開科目を１０単位以上修得した。
５．　日本・アジア・西洋各国の歴史に関する諸問題について自らの課題を見出し，主体的に探究する意欲を持っている。	□ 歴史に関する諸問題について自らの課題を見出すことができた。 □ 資料に基づいて自らの見解を論理的に組み立てる能力を修得した。 □ 「特別研究」６単位を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（芸術文化専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1.　人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。	□ 課程導入科目「人間文化入門」を履修し、２単位を修得した。 □ 課程導入科目「人間文化研究」を履修し、２単位を修得した。 □ 幅広い分野の本を読んでいる。
2.　芸術文化の諸領域に関して総合的な素養を身に付けている。	□ 課程共通科目の実技基礎科目「絵画基礎」，「彫刻基礎」，「工芸基礎」，「デザイン基礎Ａ」，「デザイン基礎Ｂ」，「書法基礎」及び「芸術文化論」のなかから４単位以上を履修した。 □ 課程共通科目のうち「国際課題研修（芸術）」及び語学関連基礎科目のなかから４単位以上を修得した。 □ 学内外の展覧会・講演会・ワークショップなどからも積極的に学んでいる。
3.　現代的状況や地域社会の下で，多様な視点から芸術文化を理解することができる。	□ プログラム基礎科目の講義科目を履修した。 □ 学外・地域のイベントなどにも積極的に参加している。
4.　芸術文化におけるアート・デザイン・クラフト・理論の諸領域のいずれかに関して深い知識を有している。	□ プログラム基礎科目の「音楽理論Ⅰ・Ⅱ」、プログラム展開科目の「美術史Ⅰ・Ⅱ」，「書学」，「芸術文化論特講　Ａ・Ｂ」，「音楽文化論特講　Ａ・Ｂ」のなかから履修した。 □ 実技や理論を問わず、興味のある領域について積極的に学習している。
5.　芸術文化について，作品鑑賞や文献を使って自主的に学習し思考することができる。	□ プログラム展開科目の「芸術文化論演習Ａ～Ｄ」，「美術史演習Ａ～Ｄ」の中から履修した。 □ 様々な領域について積極的に作品鑑賞や読書によって学習している。
6.　探求する課題について論理的に思考・判断することができる。	□ 指導教員の助言を受けながら「卒業研究」を行った。 □ 探求する課題について、よく考え、解決を見出すことができた。
7.　芸術文化におけるアート・デザイン・クラフト・理論の諸領域のいずれかに関して，実践的あるいは論理的な技能を身に付け，作品あるいは文章によって表現することができる。	□ 各分野の造形実習のなかから履修した。 □ 「美術史Ⅰ・Ⅱ」，「書学」，「芸術文化論特講　Ａ・Ｂ」，「音楽文化論特講　Ａ・Ｂ」のなかから履修した。 □ 与えられた課題について、作品や文章で表現することができた。
8.　探求する課題について，制作あるいは文章によって自分の考えを展開し，表現することができる。	□ 各分野の造形演習のなかから履修した。 □ 「芸術文化論演習Ａ～Ｄ」，「美術史演習Ａ～Ｄ」のなかから履修した。 □ 積極的に「卒業研究」に取り組むことができた。 □ 自分の思いや考えを作品や文章によって表現することができた。
9.　芸術文化に関する関心を持ち，自ら進んで学ぶ意欲を有している。	□ 「プロジェクト実践演習（基礎）」を履修した。 □ 各分野の造形演習のなかから履修した。 □ 芸術文化に関する関心があり，自ら学びたいと思っている。
10.　強い責任感を持って，専門分野を社会に活かそうとする態度を身に付けている。	□ 「プロジェクト実践演習（発展）Ⅰ～Ⅲ」を履修した。 □ 学んだ技術や知識を社会に活かしたいと思っている。 □ 得られた成果を社会に発信したいという気持ちがある。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（英語圏文化専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1.　人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。	□ 課程導入科目「人間文化入門」を履修し2単位修得した。 □ 課程導入科目「人間文化研究」を履修し2単位修得した。
2.　国際的な視野に立って異文化を理解することができる。	□ 課程共通科目のうち、「国際交流研修」を履修し2単位修得した。 □ 課程共通科目のうち、「英語圏文化論」を履修し2単位修得した。
3.　英語圏の文化・文学・言語・英語習得の諸分野に関して総合的な素養を身に付けている。	□ プログラム基礎科目にある「英米文化論講義」を履修し2単位修得した。 □ プログラム基礎科目にある「英米文学講義」を履修し2単位修得した。 □ プログラム基礎科目にある「言語習得論」を履修し2単位修得した。 □ プログラム基礎科目にある「英語学講義」を履修し2単位修得した。
4.　英語圏の文化・文学・言語・英語習得の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。	□ プログラム展開科目にある「英米文化論演習」「英米文学演習」「英語習得論演習」「英語学演習」のいずれかの分野において4単位を修得した。
5.　英語圏の文化・文学・言語について，英語の資料や文献を使って自主的に学習し思考することができる。	□ プログラム基礎科目と展開科目にある英語関係の科目ににおいて英語の資料や文献を読みこなすことができる。
6.　探求する課題について論理的に思考・判断することができる。	□ 必修科目である「卒業研究」で卒業論文を書いて単位を修得した。
7.　実践的な英語コミュニケーション能力を身に付け，英語圏の人と英語で交流することができる。	□ 「英語コミュニケーション基礎」を履修し2単位修得した。 □ 「英語コミュニケーション発展」を履修し2単位修得した。 □ 「英語コミュニケーション応用」を履修し2単位修得した。
8.　探求する課題について，論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。	□ プログラム基礎科目にある演習の授業において論理的で説得力のあるレポートを書い □ 必修科目である「卒業研究」でエッセイライティングの書き方にのっとり、自分の意見を展開できた。
9.　英語圏の文化と言語に関する関心を持ち，自ら進んで学ぶ意欲を有している。	□ 英語圏の文化と言語について、授業においてだけでなく授業以外の場でも積極的にチャレンジして学習した。
10.　強い責任感を持って，専門分野で得た知識や技能を社会に活かそうとする態度を身に付けている。	□ 専門分野で学んだ知識や技能を活かして活動する意欲を持っている。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（ヨーロッパ語圏文化専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．　人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。	□ 課程導入科目「人間文化入門」を履修し、２単位を修得した。 □ 課程導入科目「人間文化研究」を履修し、２単位を修得した。 □ 課程共通科目のうち「人間行動論」「スポーツ科学」「現代文化論」「異文化間コミュニティ論」「芸術文化論」「歴史学概論」「英語圏文化論」「ヨーロッパ語圏文化論」「アジア圏文化論」「絵画基礎」「彫刻基礎」「工芸基礎」「デザイン基礎Ａ」「デザイン基礎Ｂ」「書法基礎」から、次項目と合わせて、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。
2．　国際的な視野に立って異文化を理解することができる。	□ 課程共通科目のうち「ドイツ語コミュニケーション基礎」、「フランス語コミュニケーション基礎」、「ロシア語コミュニケーション基礎」から、前項目と合わせて、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。 □ 課程共通科目のうち「国際交流研修」、「国際課題研修（芸術）」、「日本語表現基礎」、「日本語読解基礎」、「ドイツ語基礎」、「フランス語基礎」、「ロシア語基礎」、「中国語基礎」、「韓国語基礎」、「社会調査法」から、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。
3．　ヨーロッパ諸国の言語・文化の諸相を，その歴史的背景や社会的背景も踏まえながら理解できる能力を有している。	□ 「ドイツ語学講義」「フランス語学講義」「ロシア語学講義」「ドイツ文学講義」「フランス文学講義」「ドイツ文化論講義」「フランス文化論講義」「ロシア文学・文化論講義」のうちから、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。
4．　ヨーロッパ諸国の言語・文化・文学の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。	□ 「ドイツ語学演習」「フランス語学演習」「ロシア語学演習」「ドイツ文学演習」「フランス文学演習」」のうちから、次項目と合わせて２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。
5．　ヨーロッパ社会における諸問題を探求するための広い視野に基づいた思考力と社会的背景を踏まえた判断力を有している。	□ 「ドイツ文化論演習」「フランス文化論演習」「ロシア文学・文化論演習」のうちから、前項目と合わせて２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。 □ 課程共通科目のうち「ヨーロッパ語圏文化論」を履修し、２単位を修得した。
6．　探求する課題について論理的に思考・判断することができる。	□ 特別研究の指導を受け、６単位を修得した。 □ 特別研究を完成し、単位認定された。
7．　グローバル化社会に対応できるコミュニケーション手段として個別言語を用いて発信できる能力を有している。	□ 「ドイツ語コミュニケーション発展」「ドイツ語コミュニケーション実践」「フランス語コミュニケーション発展」「フランス語コミュニケーション実践」「ロシア語コミュニケーション発展」「ロシア語コミュニケーション実践」「英語コミュニケーション応用」「英語コミュニケーション実践」を履修する、「課題解決型国際研修」へ参加する、もしくは留学プログラムへ参加するなどして、言語コミュニケーション能力を高めた。
8．　探求する課題について，論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。	□ 「ドイツ語作文」「フランス語作文」「ロシア語作文」のいずれかを履修するなどして各言語の文章作成能力を獲得した。
9．　ヨーロッパの諸言語，文化に関する関心を持ち，自ら進んで学ぶ意欲を有している。	□ プログラム基礎科目の必要修得単位数を満たした。
10.　多様な文化を積極的に学修して多文化社会のあり方について主体的に探求する態度を有している。	□ プログラム展開科目の必要修得単位数を満たした。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（アジア圏文化専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1.　人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。	□ 課程導入科目「人間文化入門」を履修し、２単位を修得した。 □ 課程導入科目「人間文化研究」を履修し、２単位を修得した。 □ 課程共通科目のうち「人間行動論」「スポーツ科学」「現代文化論」「異文化間コミュニティ論」「芸術文化論」「歴史学概論」「英語圏文化論」「ヨーロッパ語圏文化論」「アジア圏文化論」「絵画基礎」「彫刻基礎」「工芸基礎」「デザイン基礎Ａ」「デザイン基礎Ｂ」「書法基礎」から、次項目と合わせて、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。
2.　国際的な視野に立って異文化を理解することができる。	□ 課程共通科目のうち「国際交流研修」、「アジア圏文化論」を修得した。 □ 課程共通科目のうち「国際交流研修」、「国際課題研修（芸術）」、「日本語表現基礎」、「日本語読解基礎」、「ドイツ語基礎」、「フランス語基礎」、「ロシア語基礎」、「中国語基礎」、「韓国語基礎」、「社会調査法」から、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。
3.　アジア諸国の言語・文化の諸相を，その歴史的背景や社会的背景も踏まえながら理解できる能力を有している。	□ 日本史講義」，「日本思想史講義」，「日本文学講義」，「日本語学講義」，「中国語学講義」，「アジア史講義」のうちから、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。
4.　アジア諸国の言語・文化・文学の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。	□ 「日本史演習」，「日本思想史演習」，「日本文学演習」，「日本語学演習」，「中国語学演習」，「アジア史演習」のうちから、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。
5.　アジア社会における諸問題を探求するための広い視野に基づいた思考力と社会的背景を踏まえた判断力を有している。	□ 「日本史特講」，「日本思想史特講」，「日本文学特講」，「日本語学特講」，「中国語学特講」，「アジア史特講」のうちから、２科目以上を履修し、４単位以上を修得した。 □ 課程共通科目のうち「アジア圏文化論」を履修し、２単位を修得した。
6.　探求する課題について論理的に思考・判断することができる。	□ 特別研究の指導を受け、６単位を修得した。 □ 特別研究を完成し、単位認定された。
7.　探求する課題について，論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。	□ 「日本語表現基礎」と「日本語読解基礎」を履修した。中国語による論理的な文章を講読できるために，「中国語学講読」を履修した。
8.　アジアの諸言語，文化に関する関心を持ち，自ら進んで学ぶ意欲を有している。	□ プログラム基礎科目の必要修得単位数を満たした。
9.　多様な文化を積極的に学修して多文化社会のあり方について主体的に探求する態度を有している。	□ プログラム展開科目の必要修得単位数を満たした。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（政策法務専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．　法・経済・環境に関する基礎的な知識を修得している。	□ 地域政策入門Ａ・Ｂを履修した。 □ 課程共通科目の必修科目（民法総則Ⅰほか）３科目をすべて履修した。 □ 憲法（人権）Ⅰを履修した。 □ 刑法総論Ⅰを履修した。 □ 政治学（政治過程）を履修した。 □ 環境に関する，必修科目以外の選択科目を少なくとも１科目履修した。
2．　地域社会が抱える現実的な法的・政治的課題の内容や意義，歴史的経緯について的確に認識している。	□ プログラム基礎科目のいずれかを履修した。 □ プログラム基礎科目のうち「憲法（統治機構）Ⅱ」「刑法各論Ⅰ」「刑事訴訟法Ⅰ」「行政法（作用法総論）Ⅰ・Ⅱ」「行政法（救済法）Ⅰ・Ⅱ」「民法（物権）Ⅰ」「民法（債権総論）Ⅰ」「民法（家族法）Ⅰ」科目のいずれかを履修した。 □ プログラム基礎科目のうち「政治学（政治理論）」、「行政学Ⅰ・Ⅱ」、「財政学Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを履修した。 □ プログラム基礎科目の必要修得単位数を満たした。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」以外のプログラム発展科目を履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」以外のプログラム発展科目の必要修得単位数を満たした。
3．　法と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解するための法学的思考様式を身につけている。	□ 「憲法（統治機構）Ⅱ」「刑法総論Ⅱ」「民法（家族法）Ⅱ」「政治学（政治理論）」のいずれかを履修した。 □ 上記科目以外のプログラム基礎科目を履修した。 □ 上記科目を複数履修した。 □ プログラム基礎科目の必要修得単位数を満たした □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」以外のプログラム発展科目を履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」以外のプログラム発展科目の必要修得単位数を満たした。
4．　法学的思考様式を用いて現実の社会的課題に関する判断を下す力を有している。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 「刑事政策」「政治学（政治過程）」のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれか、および「刑事政策」「政治学（政治過程）」のうち複数を履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれか、および「刑事政策」「政治学（政治過程）」の全てを履修した。
5．　法学全体に関する基礎的な観点および公法，刑事法，政治学を中心とする専門的な観点から，地域社会が抱える課題につき，法学的思考様式を用いて政策立案を行い，それを論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 各演習科目のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習科目のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 特別研究を完成し、単位認定された。 □ 特別演習で「秀」「優」の評価を得た。
6．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 各演習科目のいずれかを履修した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（政策法務専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習項目のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。
7．　地域社会が抱える課題の解決や地域創生・地域マネジメントに強い関心を持っている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 各演習科目のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習項目のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。
8．　本専修プログラムで修得した専門的視点を活かし，地域の問題解決のために社会に参画する意欲を持っている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 「刑事政策」「政治学（政治過程）」のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれか、および「刑事政策」「政治学（政治過程）」のうち複数を履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれか、および「刑事政策」「政治学（政治過程）」の全てを履修した。
9．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 各演習科目のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習科目のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習科目のいずれかを8単位履修した。 □ 履修した演習科目の全てで「秀」「優」の評価を得た。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（企業法務専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．　法・経済・環境に関する基礎的な知識を修得している。	□ 地域政策入門Ａ・Ｂを履修した。 □ 課程共通科目の必修科目（民法総則Ⅰほか）３科目をすべて履修した。 □ 憲法（人権）Ⅰを履修した。 □ プログラム基礎科目の民事法関係の科目を少なくとも１科目履修した。 □ 政治学（政治過程）を履修した。 □ 環境に関する，必修科目以外の選択科目を少なくとも１科目履修した。
2．　地域産業が抱える現実的な法的（とくに私法に関する）課題の内容や意義，歴史的経緯について的確に認識している。	□ プログラム基礎科目のいずれかを履修した。 □ プログラム基礎科目のうち「憲法（人権）Ⅰ」「民法（債権各論）Ⅰ・Ⅱ」「民法（家族法）Ⅰ」「民法（相続法）」「商法（総則）」科目のいずれかを履修した。 □ プログラム基礎科目のうち「民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ」「雇用管理法」「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを履修した。 □ プログラム基礎科目の必要修得単位数を満たした。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」以外のプログラム発展科目を履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」以外のプログラム発展科目の必要修得単位数を満たし
3．　法と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解するための法学的思考様式を身につけている。	□ 「憲法（人権）Ⅱ」「民法（家族法）Ⅱ」「会社法Ⅱ」のいずれかを履修した。 □ 上記科目以外のプログラム基礎科目を履修した。 □ 上記科目を複数履修した。 □ プログラム基礎科目の必要修得単位数を満たした。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」以外のプログラム発展科目を履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」以外のプログラム発展科目の必要修得単位数を満たし
4．　法学的思考様式を用いて現実の社会的課題に関する判断を下す力を有している。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 「労働法Ⅱ」「商法（商取引法）」のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれか、および「労働法Ⅱ」「商法（商取引法）」のうち複数を履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれか、および「労働法Ⅱ」「商法（商取引法）」の全てを履修した。
5．　法学全体に関する基礎的な観点および民法（財産法），商法，労働法を中心とする専門的な観点から，地域産業が抱える課題につき，法学的思考様式を用いて政策立案を行い，それを論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 各演習科目のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習科目のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 特別研究を完成し、単位認定された。 □ 特別演習で「秀」「優」の評価を得た。
6．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 各演習科目のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習項目のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。
7．　地域産業が抱える課題の解決や地域創生・地域マネジメントに強い関心を持っている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 各演習科目のいずれかを履修した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（企業法務専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習項目のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。
８．　本専修プログラムで修得した専門的視点を活かし，地域産業の問題解決のために社会に参画する意欲を持っている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 「労働法Ⅱ」「商法（商取引法）」のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれか、および「労働法Ⅱ」「商法（商取引法）」のうち複数を履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれか、および「労働法Ⅱ」「商法（商取引法）」の全てを履修した。
９．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。	□ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかを履修した。 □ 各演習科目のいずれかを履修した。 □ 「地域政策実践演習Ａ・Ｂ」のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習科目のいずれかで「秀」「優」の評価を得た。 □ 各演習科目のいずれかを8単位履修した。 □ 履修した演習科目の全てで「秀」「優」の評価を得た。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（地域社会経済専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．　経済・法・環境に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。	□ 課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）を履修した。 □ 課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）の単位を修得した。 □ 課程共通科目の中から８単位以上を履修した。 □ 課程共通科目の中から８単位以上を修得した。
２．　地域経済のしくみを総合的に理解するための専門的な知識を修得している。	□ 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」を履修した。 □ 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得した。 □ （演習以外の経済関連科目で）プログラム基礎科目の選択必修科目（「理論経済学Ⅰ」，「理論経済学Ⅱ」，「財政学Ⅰ」，「財政学Ⅱ」，「国際経済論Ａ」，「国際経済論Ｂ」，農業経済論Ⅰ」，「農業経済論Ⅱ」，「ミクロ経済学」，「金融論」）の中から４単位以上を履修した。 □ （演習以外の経済関連科目で）プログラム基礎科目の選択必修科目（「理論経済学Ⅰ」，「理論経済学Ⅱ」，「財政学Ⅰ」，「財政学Ⅱ」，「国際経済論Ａ」，「国際経済論Ｂ」，農業経済論Ⅰ」，「農業経済論Ⅱ」，「ミクロ経済学」，「金融論」）の中から４単位以上を修得した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を履修した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を修得した。
３．　経済と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解する経済学的素養を身につけている。	□ 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」を履修した □ 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を履修した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を修得した。
４．　経済学をはじめとした専門的知識を活用し，地域経済のしくみとその課題を総合的に思考することができる。	□ プログラム基礎科目の法・環境関連科目の中から少なくとも２単位を履修した。 □ プログラム基礎科目の法・環境関連科目の中から少なくとも２単位を修得した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を履修した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を修得した。
５．　地域経済の現状や課題を関連資料・データに基づいて理論的・実証的に分析・評価し，それらに基づく政策的判断ができる。	□ 「地域経済調査演習」ないし「地域経済実践演習」を履修した。 □ 「地域経済調査演習」ないし「地域経済実践演習」の単位を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。
６．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。	□ 「地域経済調査演習」ないし「地域経済実践演習」を履修した。 □ 「地域経済調査演習」ないし「地域経済実践演習」の単位を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。
７．　地域経済が抱えるさまざまな諸問題や経済現象に強い関心を持っている。	□ プログラム展開科目の中から演習科目を除き１２単位以上を履修した。 □ プログラム展開科目の中から演習科目を除き１２単位以上を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（地域社会経済専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
８．　経済学をはじめとする専門的視点を活かして，地域経済の課題に主体的・実践的に取り組む意欲を持っている。	□ 「地域経済調査演習」ないし「地域経済実践演習」を履修した。 □ 「地域経済調査演習」ないし「地域経済実践演習」の単位を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。
９．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。	□ 「地域経済調査演習」ないし「地域経済実践演習」を履修した。 □ 「地域経済調査演習」ないし「地域経済実践演習」の単位を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（地域社会連携専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．　経済・法・環境に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。	□ 課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）を履修した。 □ 課程導入科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）の単位を修得した。 □ 課程共通科目の中から８単位以上を履修した。 □ 課程共通科目の中から８単位以上を修得した。
2．　地域社会や産業のしくみを総合的に理解するための専門的な知識を修得している。	□ 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」を履修した。 □ 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得した。 □ （演習以外の経済関連科目で）プログラム基礎科目の選択必修科目（「経営学総論Ⅰ」，「経営学総論Ⅱ」，「会計学Ⅰ」，「会計学Ⅱ」，「社会保障論Ⅰ」，「社会保障論Ⅱ」，「政治経済学Ⅰ」，「政治経済学Ⅱ」，「環境経済論Ⅱ」）の中から４単位以上を履修した。 □ （演習以外の経済関連科目で）プログラム基礎科目の選択必修科目（「経営学総論Ⅰ」，「経営学総論Ⅱ」，「会計学Ⅰ」，「会計学Ⅱ」，「社会保障論Ⅰ」，「社会保障論Ⅱ」，「政治経済学Ⅰ」，「政治経済学Ⅱ」，「環境経済論Ⅱ」）の中から４単位以上を修得した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を履修した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を修得した。
3．　経済と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解する経済学的素養を身につけている。	□ 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」を履修した □ 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を履修した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を修得した。
4．　経済学をはじめとした専門的知識を活用し，地域社会や産業のしくみとその課題を総合的に思考することができる。	□ プログラム基礎科目の法・環境関連科目の中から少なくとも２単位を履修した。 □ プログラム基礎科目の法・環境関連科目の中から少なくとも２単位を修得した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を履修した。 □ プログラム基礎科目の中から３４単位以上を修得した。
5．　地域社会や産業が抱える諸問題を関連資料・データに基づいて理論的・実証的に分析・評価し，それらに基づく政策的判断ができる。	□ 「地域経済調査演習」ないし「地域環境マネジメント実践演習」を履修した。 □ 「地域経済調査演習」ないし「地域環境マネジメント実践演習」の単位を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。
6．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。	□ 「地域経済調査演習」ないし「地域環境マネジメント実践演習」を履修した。 □ 「地域経済調査演習」ないし「地域環境マネジメント実践演習」の単位を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。
7．　地域社会や産業が抱えるさまざまな諸問題や経済現象に強い関心を持っている。	□ プログラム展開科目の中から演習科目を除き１２単位以上を履修した。 □ プログラム展開科目の中から演習科目を除き１２単位以上を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（地域社会連携専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
８．　経済学をはじめとする専門的視点を活かして，地域社会や産業の課題に主体的・実践的に取り組む意欲を持っている。	□ 「地域経済調査演習」ないし「地域環境マネジメント実践演習」を履修した。 □ 「地域経済調査演習」ないし「地域環境マネジメント実践演習」の単位を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。
９．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。	□ 「地域経済調査演習」ないし「地域環境マネジメント実践演習」を履修した。 □ 「地域経済調査演習」ないし「地域環境マネジメント実践演習」の単位を修得した。 □ 演習科目の中から４単位以上を履修した。 □ 演習科目の中から４単位以上を修得した。 □ 「特別研究」の単位を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（環境共生専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．　環境・法・経済に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。	□ 環境・法・経済に関する基礎的知識を幅広く学ぶ、１年次・前期必修の課程導入２科目「地域政策入門Ａ・Ｂ」を履修している。 □ 課程導入２科目「地域政策入門Ａ・Ｂ」の単位を修得した。 □ １年次対象の課程共通科目として開講されている、環境・法・経済に関する必修・選択必修の各講義科目（「環境政策論Ⅰ」など）を履修している。 □ 課程共通科目のうち、環境・法・経済に関する必修・選択必修の講義科目の卒業に必要な単位数を修得した。 □ ２・３年次対象のプログラム基礎科目のうち、選択必修・選択科目として開講されている各分野の講義科目（「環境統計学Ⅰ・Ⅱ」など）を履修している。 □ プログラム基礎科目の卒業に必要な単位数を修得した。
2．　文理融合に基づく環境学諸分野の研究手法と専門的な知識を修得している。	□ プログラム基礎科目のうち、２年次必修の「環境科学演習」と「持続可能な社会論」を履修し、環境学各分野からの環境問題研究手法・専門知識を学んでいる。 □ 「環境科学演習」と「持続可能な社会論」両科目の単位を修得し、文理融合に基づく環境研究の必要性を十分理解している。 □ ２・３年次対象のプログラム基礎科目のうち、選択必修・選択科目として開講されている人文・社会科学系と自然科学系、各分野の講義・演習・実習科目を履修している。 □ プログラム基礎科目の卒業に必要な単位数を修得した。 □ ３・４年次対象のプログラム展開科目のうち、選択必修科目として開講されている各分野の講義・演習科目を履修している。 □ プログラム展開科目の卒業に必要な単位数を修得した。
3．　環境と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解する能力を身につけている。	□ １年次対象の課程科目のうち、必修の課程導入２科目（「地域政策入門Ａ・Ｂ」）と課程共通（必修・選択必修）の各分野の講義科目（「環境経済論Ⅰ」など）を履修している。 □ 課程科目のうち、課程導入科目と課程共通の講義科目の卒業に必要な単位数を修得し、環境と人間・社会のあり方を相互の複雑な連関を踏まえ理解する重要性を認識している。 □ プログラム基礎科目のうち、２年次対象（選択必修）の人文・社会科学分野の講義科目を履修している。 □ プログラム基礎科目の卒業に必要な単位数を修得した。 □ プログラム展開科目を履修し、卒業に必要な単位数を修得した。
4．　環境学を始めとした専門的知識を活用し，環境問題の解決，「持続可能な共生社会」構築に向けた具体的な方策を総合的に思考・判断することができる。	□ プログラム基礎科目のうち、２年次必修の「環境科学演習」と「持続可能な社会論」を履修し、具体的な環境問題の解決策・「持続可能な共生社会」構築策を環境学各分野の観点から総合的に学んでいる。 □ 「環境科学演習」と「持続可能な社会論」両科目の単位を修得した。 □ ２年次選択必修のプログラム基礎科目「地域環境マネジメント実践演習」と「環境社会調査演習」のいずれかを選択し、社会科学的手法に基づく環境問題の解決策探求法を学び、単位を修得した。 □ プログラム基礎科目のうち、２・３年次対象の選択科目「環境社会調査実習」や「環境科学実験」を履修し、専門的な社会調査・科学実験等を行い、単位を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（環境共生専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
	□ ３年次選択必修のプログラム展開科目として、各専門分野の「演習Ⅰ・Ⅱ」の中から１分野を選択・履修し、「Ⅰ・Ⅱ」両方の単位を修得した。 □ ４年次必修の課程共通科目である「特別研究」に取り組み、専門分野の知識を十分に活用し、環境問題の解決策や「持続可能な共生社会」構築に関する論文を書き上げ、単位を修得した。
５．　地域社会とその環境に関する調査・分析ができ，そこに潜む問題点やその解決法について，自らの見解・提言を論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。	□ ２年次・前期必修のプログラム基礎科目「環境科学演習」を履修し、環境学各分野からの地域環境の調査・分析手法や、得た情報・導き出した結論を論理的に説明する方法を学んでいる。 □ 「環境科学演習」の単位を修得した。 □ ２年次選択必修のプログラム基礎科目「地域環境マネジメント実践演習」と「環境社会調査演習」のいずれかを選択・履修し、地域環境に関する社会科学的調査・分析手法や、その結果を論理的に提示する方法を学んでいる。 □ 「地域環境マネジメント実践演習」と「環境社会調査演習」のうち、１科目以上の単位を修得した。 □ プログラム基礎科目のうち、２・３年次対象の選択科目「環境社会調査実習」や「環境科学実験」を履修し、科学的な調査・実験手法やデータ分析・考察方法等を学んでいる。 □ 「環境社会調査実習」や「環境科学実験」を履修し、単位を修得した。 □ ４年次必修の課程共通科目である「特別研究」を書き上げるため調査・分析を行い、正確に情報を把握した上で自分なりの見解・提言を纏め、成果を論理的に説明する能力を修得した。
６．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。	□ ２年次必修のプログラム基礎科目「環境科学演習」と「持続可能な社会論」を履修している。 □ 「環境科学演習」と「持続可能な社会論」を履修し、授業担当教員・受講学生と円滑にコミュニケーションを行う能力や、得た情報・導き出した結論を分かりやすく説明する能力を身につけるなどの成果を上げ、両科目の単位を修得した。 □ ２・３年次対象のプログラム基礎科目のうち、選択必修・選択科目として開講されている「環境社会調査演習」や「環境社会調査実習」を履修し、グループ作業や聞き取り調査によって、他者とコミュニケーションをとる能力の向上や、自ら得た情報を分かりやすく説明する能力を身につける等の成果を上げ、単位を修得した。 □ ３・４年次対象のプログラム展開科目のうち、選択必修の「環境経済論特講」や「環境文化論特講」、「環境社会学特講」を履修し、単位を修得した。 □ ３年次選択必修のプログラム展開科目として、各分野の「演習Ⅰ・Ⅱ」の中から１分野を選択・履修し、演習担当教員・受講学生と円滑にコミュニケーションを行う能力や、文献・調査データ等を正確に読み解き理解したり、それらから得た情報を分かりやすく説明する能力・手法等を身につけ、「Ⅰ・Ⅱ」両方の単位を修得した。 □ ４年次必修の課程共通科目「特別研究」を書き上げるため、学内外で調査・分析を行い、他者とコミュニケーションをとる能力や、文献・調査等から導き出した結論を分かりやすく説明できる能力を身につけ、単位を修得した。
７．　地球規模から身近な地域まで，多岐にわたる環境や環境問題に強い関心を持っている。	□ プログラム基礎科目のうち、身近な地域環境の現状・取り組みに焦点を当てた２年次・前期必修の「環境科学演習」を履修している。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（環境共生専修プログラム）

学位授与の方針	達成に必要な項目
	□ 「環境科学演習」の単位を修得した。 □ プログラム基礎科目のうち、２・３年次対象の選択科目として、地球規模環境問題や開発途上国の開発をテーマとした「国際開発と環境・貧困」を履修し、単位を修得した。 □ ２・３年次対象のプログラム基礎科目のうち、身近な地域環境に焦点を当てた選択必修・選択科目である「地域環境マネジメント実践演習」や「環境社会調査実習」、「環境科学実験」を履修し、単位を修得した。 □ プログラム基礎科目の卒業に必要な単位数を修得した。 □ プログラム展開科目を履修し、卒業に必要な単位数を修得した。
８．　環境学をはじめとする専門的視点を活かし，環境や地域の問題解決のために社会に参画する意欲を持っている。	□ ２年次・前期必修のプログラム基礎科目「環境科学演習」を履修している。 □ 「環境科学演習」を履修し、地域の環境問題解決方策を専門的に学び、単位を修得した。 □ ２・３年次対象のプログラム基礎科目のうち、選択必修・選択科目として開講されている「地域環境マネジメント実践演習」や「環境社会調査実習」を履修している。 □ 「地域環境マネジメント実践演習」や「環境社会調査実習」を履修し、専門的視点から地域環境をめぐる取り組みの実情や環境問題解決策等を主体的に学び、単位を修得した。 □ ３・４年次対象のプログラム展開科目のうち、「保全生物学」や「環境経済論特講」、「環境社会学特講」などを履修している。 □ プログラム展開科目の卒業に必要な単位数を修得した。
９．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。	□ ２年次選択必修のプログラム基礎科目「地域環境マネジメント実践演習」と「環境社会調査演習」のいずれかを選択・履修し、調査手法・倫理等も学んでいる。 □ 「地域環境マネジメント実践演習」と「環境社会調査演習」のうち、１科目以上の単位を修得した。 □ プログラム基礎科目のうち、２・３年次対象の選択科目「環境社会調査実習」や「環境科学実験」を履修し、調査・研究倫理を踏まえた調査・実験を行い、単位を修得した。 □ ３年次選択必修のプログラム展開科目として、各分野の「演習Ⅰ・Ⅱ」の中から１分野を選択し、当該分野の研究を社会で活かす方法や、研究成果と社会との関わり等を学んでいる。 □ ３年次のプログラム展開科目として、選択した専門分野の「演習Ⅰ・Ⅱ」を履修し、「Ⅰ・Ⅱ」両方の単位を修得した。 □ ４年次必修の「特別研究」を書き上げるため、研究倫理に則った調査・分析を実践し、自身の専門分野を社会の中で活かす方策を探求した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（小学校教育コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．（知識・理解） 総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。	□ 教養教育の科目を計画的に履修している. □ 教養教育の科目の卒業必要単位を修得した. □ 学内外の講演会等に参加し，幅広い分野の知識にふれる機会を得ている.
２．（知識・理解） 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。	□ 小学校教育および子ども理解に関する科目を計画的に履修している. □ 小学校教育および子ども理解に関する科目の卒業必要単位を修得した.
３．（知識・理解） 各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。	□ 小学校教科専門科目を計画的に履修している. □ 小学校教科専門科目の卒業必要単位を修得した. □ 小学校教科教育科目を計画的に履修している. □ 小学校教科教育科目の卒業必要単位を修得した. □ 「小学校実践演習」履修し，単位を修得した.
４．（知識・理解） 専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。	□ サブコースの専門科目を計画的に履修している. □ サブコースの専門科目の卒業必要単位を修得した. □ 卒業研究に取り組み，専門分野の内容を深く追求した.
５．（思考・判断） 学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。	□ 学校教育に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 小学校および副免の学校種における教育実習を行い，単位を修得した.
６．（思考・判断） 専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。	□ 学生の能動的な活動を含むサブコースの専門科目を履修している. □ 学生の能動的な活動を含むサブコースの専門科目の単位を修得した. □ 卒業研究の取り組みにおいて，課題を分析し，論理的に思考し，創造的に研究を遂行した.
７．（技能・表現） 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。	□ 小学校の教科専門科目や教科教育科目において，学習指導に必要な基礎的技能に関する指導を受けた. □ 学校教育や子ども理解に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育や子ども理解に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 小学校における教育実習を行い，単位を修得した.
８．（技能・表現） ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。	□ 専門教育の中でレポートの書き方や口頭発表のやり方を学んだ. □ 卒業研究を計画的に進め，論文執筆や成果発表を行った. □ 小学校を対象とした模擬授業や授業カンファレンスを行った. □ 小学校および副免の学校種における教育実習を行い，単位を修得した.
９．（関心・意欲） 学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。	□ 専門教育の中で学校教育の現状や課題についてレポートを書いた. □ 学校教育の現状や課題に関する講演会や研究会等に参加した. □ 学校教育の発展に貢献する意欲を持っている.
１０．（態度） 学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。	□ 教育に関する専門教育を受け，学校教育にかかわる重要性をあらためて考えた. □ 教職は生涯学び続ける職業であるとの考えを持っている.

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（中学校教育コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．（知識・理解） 総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。	□ 教養教育の科目を計画的に履修している. □ 教養教育の科目の卒業必要単位を修得した. □ 学内外の講演会等に参加し，幅広い分野の知識にふれる機会を得ている.
２．（知識・理解） 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。	□ 中学校教育および子ども理解に関する科目を計画的に履修している. □ 中学校教育および子ども理解に関する科目の卒業必要単位を修得した.
３．（知識・理解） 取得する免許教科の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。	□ サブコースの教科専門科目を計画的に履修している. □ サブコースの教科専門科目の卒業必要単位を修得した. □ サブコースの教科教育科目を計画的に履修している. □ サブコースの教科教育科目の卒業必要単位を修得した.
４．（知識・理解） 専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。	□ サブコースの専門科目を計画的に履修している. □ サブコースの専門科目の卒業必要単位を修得した. □ 卒業研究に取り組み，専門分野の内容を深く追求した.
５．（思考・判断） 学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。	□ 学校教育に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 中学校および副免の学校種における教育実習を行い，単位を修得した.
６．（思考・判断） 専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。	□ 学生の能動的な活動を含むサブコースの専門科目を履修している. □ 学生の能動的な活動を含むサブコースの専門科目の単位を修得した. □ 卒業研究の取り組みにおいて，課題を分析し，論理的に思考し，創造的に研究を遂行した.
７．（技能・表現） 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。	□ 中学校の教科専門科目や教科教育科目において，学習指導に必要な基礎的技能に関する指導を受けた. □ 学校教育や子ども理解に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育や子ども理解に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 中学校における教育実習を行い，単位を修得した.
８．（技能・表現） ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。	□ 専門教育の中でレポートの書き方や口頭発表のやり方を学んだ. □ 卒業研究を計画的に進め，論文執筆や成果発表を行った. □ 中学校を対象とした模擬授業や授業カンファレンスを行った. □ 中学校および副免の学校種における教育実習を行い，単位を修得した.
９．（関心・意欲） 学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。	□ 専門教育の中で学校教育の現状や課題についてレポートを書いた. □ 学校教育の現状や課題に関する講演会や研究会等に参加した. □ 学校教育の発展に貢献する意欲を持っている.
１０．（態度） 学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。	□ 教育に関する専門教育を受け，学校教育にかかわる重要性をあらためて考えた. □ 教職は生涯学び続ける職業であるとの考えを持っている.

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（理数教育コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．（知識・理解） 総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。	□ 教養教育の科目を計画的に履修している. □ 教養教育の科目の卒業必要単位を修得した. □ 学内外の講演会等に参加し，幅広い分野の知識にふれる機会を得ている.
２．（知識・理解） 義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。	□ 学校教育および子ども理解に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育および子ども理解に関する科目の卒業必要単位を修得した.
３．（知識・理解） 理科あるいは算数・数学の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。	□ サブコースの教科専門科目を計画的に履修している. □ サブコースの教科専門科目の卒業必要単位を修得した. □ サブコースの教科教育科目を計画的に履修している. □ サブコースの教科教育科目の卒業必要単位を修得した.
４．（知識・理解） 専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。	□ サブコースの専門科目を計画的に履修している. □ サブコースの専門科目の卒業必要単位を修得した. □ 卒業研究に取り組み，専門分野の内容を深く追求した.
５．（思考・判断） 学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。	□ 学校教育に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 小学校における教育実習を行い，単位を修得した. □ 中学校における教育実習を行い，単位を修得した.
６．（思考・判断） 専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。	□ 学生の能動的な活動を含むサブコースの専門科目を履修している. □ 学生の能動的な活動を含むサブコースの専門科目の単位を修得した. □ 卒業研究の取り組みにおいて，課題を分析し，論理的に思考し，創造的に研究を遂行した.
７．（技能・表現） 理数教育を中心として小学校及び中学校における学習指導の基礎的な技能を身につけている。	□ 専門教育の中で，小中学校の学習指導に必要な基礎的技能に関する指導を受けた. □ 小学校における教育実習を行い，単位を修得した. □ 中学校における教育実習を行い，単位を修得した.
８．（技能・表現） 小学校及び中学校における生活指導のための基礎的な技能を身につけている。	□ 学校教育や子ども理解に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育や子ども理解に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 小学校における教育実習を行い，単位を修得した. □ 中学校における教育実習を行い，単位を修得した.
９．（技能・表現） ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。	□ 専門教育の中でレポートの書き方や口頭発表のやり方を学んだ. □ 卒業研究を計画的に進め，論文執筆や成果発表を行った. □ 小中学校を対象とした模擬授業や授業カンファレンスを行った. □ 小学校における教育実習を行い，単位を修得した. □ 中学校における教育実習を行い，単位を修得した.
１０．（関心・意欲） 学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。	□ 専門教育の中で学校教育の現状や課題についてレポートを書いた. □ 学校教育の現状や課題に関する講演会や研究会等に参加した. □ 学校教育の発展に貢献する意欲を持っている.
１１．（態度） 学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。	□ 教育に関する専門教育を受け，学校教育にかかわる重要性をあらためて考えた. □ 教職は生涯学び続ける職業であるとの考えを持っている.

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（特別支援教育コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．（知識・理解） 総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。	□ 教養教育の科目を計画的に履修している. □ 教養教育の科目の卒業必要単位を修得した. □ 学内外の講演会等に参加し，幅広い分野の知識にふれる機会を得ている.
２．（知識・理解） 特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけている。	□ 小学校教育あるいは中学校教育および子ども理解に関する科目を計画的に履修している. □ 小学校教育あるいは中学校教育および子ども理解に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 特別支援教育および障害児理解に関する科目を計画的に履修し，それらの科目の卒業必要単位を修得した。
３．（知識・理解） 特別支援学校及び小学校または中学校の各教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけている。	□ 小学校または中学校の教科専門科目を計画的に履修している. □ 小学校または中学校の教科専門科目の卒業必要単位を修得した. □ 小学校または中学校の教科教育科目を計画的に履修している. □ 小学校または中学校の教科教育科目の卒業必要単位を修得した. □ 特別支援学校に関する専門科目を履修し，単位を取得した.
４．（知識・理解） 特別支援教育の専門的知識を身につけている。	□ 特別支援教育に関する専門科目を計画的に履修している. □ 特別支援教育に関する専門科目の卒業必要単位を修得した. □ 卒業研究に取り組み，専門分野の内容を深く追求した.
５．（思考・判断） 学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。	□ 学校教育に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 特別支援学校および基礎免の学校種における教育実習を行い，単位を修得した.
６．（思考・判断） 特別支援教育への探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。	□ 学生の能動的な活動を含むコースの専門科目を履修している. □ 学生の能動的な活動を含むコースの専門科目の単位を修得した. □ 卒業研究の取り組みにおいて，課題を分析し，論理的に思考し，創造的に研究を遂行した.
７．（技能・表現） 小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。	□ 小学校あるいは中学校の教科専門科目や教科教育科目において，学習指導に必要な基礎的技能に関する指導を受けた. □ 学校教育や子ども理解に関する科目を計画的に履修している. □ 学校教育や子ども理解に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 小学校あるいは中学校における教育実習を行い，単位を修得した.
８．（技能・表現） 特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンター的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身につけている。	□ 特別支援教育に関する専門科目において，指導及び支援，相談支援に必要な基礎的技能に関する指導を受けた。 □ 特別支援教育や障害児理解に関する科目を計画的に履修している. □ 特別支援教育や障害児理解に関する科目の卒業必要単位を修得した. □ 特別支援学校における教育実習を行い，単位を修得した.

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（特別支援教育コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１０．（関心・意欲） 学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。	□専門教育の中で学校教育の現状や課題についてレポートを書いた. □学校教育の現状や課題に関する講演会や研究会等に参加した. □学校教育の発展に貢献する意欲を持っている.
１１．（関心・意欲） 特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち、最新の動向の把握に努め、特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。	□専門教育の中で特別支援教育の現状や課題についてレポートを書いた. □特別支援教育の現状や課題に関する講演会や研究会等に参加した. □特別支援教育の発展に貢献する意欲を持っている.
１２．（態度） 学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。	□教育に関する専門教育を受け，学校教育にかかわる重要性をあらためて考えた. □教職は生涯学び続ける職業であるとの考えを持っている.
１３．（態度） 特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し、児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけている。	□特別支援教育に関する専門教育を受け，特別支援教育にかかわる重要性をあらためて考えた. □特別支援教育の教職は児童生徒及び保護者の思いに寄り添う職業であるとの考えを持っている.

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（化学・生命理工学科　化学コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．幅広い教養と理工学分野の基礎学力を身につけている。	□ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目を履修している。 □ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門基礎科目（数学，物理，化学，生物）を履修している。 □ 専門基礎科目（数学，物理，化学，生物）の卒業に必要な単位を修得した。
２．化学に関する専門知識を有し、それらを応用できる。	□ 専門基礎教育科目を履修している。 □ 専門基礎教育科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門教育科目の学科共通およびコース科目を履修している。 □ 専門教育科目の学科共通およびコース科目の卒業に必要な単位を修得した。
３．地域における諸問題を分析し、その解決法を論理的に提案できる。	□ 専門教育の地域学習科目（ソフトパス理工学概論）を履修している。 □ 専門教育の地域学習科目（ソフトパス理工学概論）の単位を修得した。 □ 専門教育のPBL科目（化学生命研修II）を履修している。 □ 専門教育のPBL地域学習科目（化学生命研修II）の単位を修得した。
４．化学に関する専門知識に基づいて、直面する課題に対する解決法を思考することができる。	□ 専門教育の地域学習科目（ソフトパス理工学概論）の単位を修得した。 □ 卒業研究に取り組み，成果を得た。
５．化学技術者として必要な基本的実験技能を有する。	□ 化学理工学実験Ⅰ・Ⅱを履修している。 □ 化学理工学実験Ⅰ・Ⅱの単位を修得した。 □ 卒業研究において，専門的な実験を実施した。
６．実験や調査結果を論理的に表現する文章作成能力を有し、国際的に通用するプレゼンテーション能力を身につけている。	□ 化学理工学実験I,IIにおいて，レポートの書き方を学んだ。 □ PBL科目を履修し，プレゼンテーション能力を養った。 □ 研究室のゼミで英語論文の発表を行った。
７．地域における課題、化学に関する研究動向に関心を持っている。	□ 研究室のゼミで，最新の論文について発表している。 □ 卒業研究に必要な論文を自ら調査した。 □ 卒業研究に関連する研究講演会に参加した。
８．化学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持っている。	□ 卒業後の進路について真剣に考えた。 □ 地域学習において，地域の課題を考えてみた。 □ 卒業論文において，研究成果の社会的意義にふれている。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（化学・生命理工学科　生命コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．一般教養を身につけている。	□ 教養教育の科目を履修した。 □ 教養教育の科目の卒業に必要な単位を取得した。 □ 学内外の講演会等に参加し、幅広い分野の知識に触れる機会を確保した。 □ 幅広い分野の本を読んだ。
２．自然科学に関する幅広い基礎知識と、生命理工学に関する専門知識を有しそれらを応用できる。	□ 専門基礎科目を履修した。 □ 専門基礎科目の卒業に必要な単位を取得した。 □ 専門科目の講義科目を履修した。 □ 専門科目の講義科目の研究室配属に必要な単位を取得した。 □ 専門科目の講義科目の卒業に必要な単位を取得した。
３．多様な社会性や地域性を考慮しつつ、生命理工学の見地から健康や福祉等の諸問 題解決のための論理的な判断や提案ができる。	□ 基礎ゼミを履修し単位を取得した。 □ 化学生命研修Ⅰを履修し単位を取得した。 □ 化学生命研修Ⅱ、社会体験学習、化学生命概論のいずれかを履修した。 □ 地域の諸課題を理解した。 □ 生命科学分野の諸課題を理解した。
４．生命理工学分野の基本的な研究・実験技能を身につけている。	□ 化学実験を履修し単位を取得した。 □ 専門科目の演習、実験科目を履修し単位を取得した。 □ 生命理工学分野の基本的な実験を経験することにより、研究開発能力が高まった。
５．日本語と英語による論理的な表現力とコミュニケーション能力を修得している。	□ 情報基礎及び外国語の科目を履修し、卒業に必要な単位を取得した。 □ 科学英語Ⅰ、Ⅱを履修し単位を取得した。 □ 国際研修を履修した。
６．生命理工学及び関連分野の進展に関心を持ち、主体的に学ぶことができる。	□ 英語論文購読Ⅰ、Ⅱを履修し単位を取得した。 □ 生命理工学情報を履修し単位を取得した。 □ 卒業研究に主体的に取り組んだ。
７．生命理工学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持っている。	□ 卒業後の進路について真剣に考えた。 □ 卒業後の進路を決定した。 □ 技術者倫理、ソフトパス理工学概論を履修し単位を取得した。 □ 工業経営管理論、知的財産権概論、特許法特論、原子力工学のいずれかを履修し単位を取得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（物理・材料理工学科　数理・物理コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．教養教育、数学、物理、化学の各分野の幅広い基礎知識，基礎学力を有している。	□ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目を履修している。 □ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 学内外の講演会等に参加し、幅広い分野の知識に触れる機会を確保している。 □ 幅広い分野の本を読んでいる。
２．数理科学および物理学に関する幅広い専門知識を有している。	□ 専門教育のコース科目を履修している。 □ 専門基礎教育科目の卒業に必要な単位を修得した。
３．数理科学および物理学の観点から諸問題を分析し、問題解決のための論理的な判断や提案ができる。	□ 専門基礎教育科目として開講されている講義科目と実験科目を履修している。 □ 専門教育のコース科目の卒業に必要な単位を修得した。
４．科学技術の創成や人の暮らしや産業の発展を担う新現象の解明、研究手法の開発、および、数理科学、物理学に大いなる意欲を有している。	□ 専門教育の発展科目を履修している。 □ 専門教育の発展科目の卒業に必要な単位を修得した。
５．教育者、研究者あるいは技術者として必要な基本的な実験や演習、計算の技能を有するとともに、自らの考えを論理的に説明できる。	□ 専門教育（物理数学演習Ⅰ・Ⅱ）の科目を履修している。 □ 専門教育（物理数学演習Ⅰ・Ⅱ）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門教育（物理・材料理工学実験Ⅰ・Ⅱ）の科目を履修している。 □ 専門教育（物理・材料理工学実験Ⅰ・Ⅱ）の科目の卒業に必要な単位を修得した。
６．科学英語の読解力と文章力を有するとともに、英語により自らの成果をプレゼンテーションすることができる。	□ 教養教育（科学技術英語Ⅰ・Ⅱ）のを履修し、単位を取得した。 □ 専門教育（特別英語セミナー）の科目を履修している。 □ 国際研修等に参加し、質問する等、積極的に関わった。 □ 卒業研究に取り組み、一定の成果を出した。
７．社会における科学技術の役割を理解し、高い倫理性を持って、獲得した知識や技術を地域や国際社会の様々な問題解決に積極的に生かそうとすることができる。	□ 研究室のゼミで、最新の論文（文献）について講読している。 □ 自ら卒業研究に必要な論文（文献）等を探し、読んでいる。 □ 卒業論文の中で、研究成果と社会との関わりについて触れている。 □ 卒業後の進路について真剣に考えている。 □ 卒業後の進路を決定した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（物理・材料理工学科　マテリアルコース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．教養教育、数学、物理、化学の各分野の幅広い基礎知識、基礎学力を有している。	□ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目を履修している。 □ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 学内外の講演会等に参加し、幅広い分野の知識に触れる機会を確保している。 □ 専門基礎科目として開講されている、数学、物理、化学の各講義科目と実験科目を履修している。 □ 専門基礎科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 幅広い分野の本を読んでいる。
２．マテリアル工学および材料科学に関する幅広い専門知識を有している。	□ 専門教育の学科内共通科目を履修している。 □ 専門教育の学科内共通科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門教育のコース科目を履修している。 □ 専門教育のコース科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 学内外の講演会等に参加し、マテリアル工学や材料科学の知識に触れる機会を確保している。 □ マテリアル工学や材料科学に関する本を読んでいる。
３．マテリアル工学および材料科学の観点から諸問題を分析し、問題解決のための論理的な判断や提案ができる。	□ 専門教育の物理・材料理工学実験Ⅰ・Ⅱを履修している。 □ 専門教育の物理・材料理工学実験Ⅰ・Ⅱの単位を修得した。 □ 専門教育の社会体験学習もしくは工場見学を履修し、単位を修得した。 □ 卒業研究に取り組み、一定の成果を出した。
４．科学技術の創成や人の暮らしや産業の発展を担う材料開発や評価技術開発に大いなる意欲を有している。	□ 特別研修を履修し、単位を修得した。 □ 特別講義Ⅰ･Ⅱを履修し、単位を修得した。 □ 卒業後の進路を考える際、自身の専門性を社会で活かすことを考えた。
５．教育者、研究者あるいは技術者として必要な基本的な実験や計算の技能を有するとともに、自らの考えを論理的に説明できる。	□ 専門基礎の物理学実験、化学実験を履修している。 □ 専門教育の物理・材料理工学実験Ⅰ・Ⅱを履修している。 □ 卒業に必要な実験科目の単位を全て修得した。 □ 専門教育のプログラミング学を履修し、単位を修得した。
６．研究者あるいは技術者として必要な科学技術英語の基礎知識と技能を有している。	□ 教養教育の英語科目の卒業に必要な単位を取得した。 □ 専門教育の科学技術英語ⅠおよびⅡを履修し、単位を修得した。 □ 専門教育の専門英語セミナーを履修している。 □ 自らの卒業研究に関連する、英語論文等を読んでいる。
７．社会におけるマテリアル工学および材料科学の役割を理解し、高い倫理性を持って、獲得した知識や技術をエネルギーや地球環境などの問題解決に積極的に生かそうとすることができる。	□ ＣＯＣ関連科目（ソフトパス理工学概論）を履修している。 □ 学部内共通科目の技術者倫理を履修し、単位を修得した。 □ 卒業論文の中で、研究成果と社会との関わりについて触れている。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（システム創生工学科　電気電子通信コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．幅広い教養を備え、電気電子通信工学に関する基本的な原理、法則、理論を理解している。	□ 教養教育科目（文化・社会・自然・環境・地域）を履修している。 □ 教養教育科目（文化・社会・自然・環境・地域）の卒業に必要な単位を修得した。 □ 幅広い分野の本を読んで教養を深めている。 □ 専門基礎教育科目として開講されている、数学、物理、化学の各講義科目と実験科目を履修している。 □ 専門基礎教育科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門教育のコース科目を履修している。 □ 専門教育のコース科目の卒業に必要な単位を修得した。
２．専門知識を実際の課題に結びつけて柔軟な思考ができ、創造的に応用することができる。	□ 専門教育の電気電子工学課題実習Ⅰ（PBL）を修得した。 □ 専門教育の電気電子工学特別講義を修得した。 □ 専門教育の電気電子工学課題実習Ⅱ（PBL）を修得した。
３．電気・電子・通信に関する機器の動作原理を理解し、活用することができる。	□ 教養教育科目の情報基礎を修得しコンピュータを活用する基礎を身に付けた。 □ 専門教育のプログラム言語及び演習を修得し、プログラミングができるようになった。 □ 専門教育の電気電子工学基礎実験を修得し、基本的な機器を取り扱うことができるようになった。 □ 専門教育の電気電子工学応用実験を修得し、応用的な機器を取り扱うことができるようになった。 □ 専門教育の組込ハードウェア実習および組込ソフトウェア実習を修得した。 □ 卒業研究に取り組み、一定の成果を出した。
４．他人と議論や協力ができる論理的なコミュニケーション能力・語学力を身につけている。	□ 教養教育（外国語）の科目を履修している。またはTOEIC、TOEFL、英検などを受験した。 □ 教養教育（外国語）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ PBLや実験・実習の科目でグループワークの時に、自ら積極的に仲間と関わっている。 □ 専門教育の電気電子工学英語研修Ⅰの単位を修得した。 □ 国際研修や国際関係のセミナー等に積極的に参加した。 □ 専門教育の電気電子工学英語研修IIの単位を修得した。 □ 専門教育の講義や実験・実習の科目でレポートの書き方を学んだ。 □ 卒業論文を書き上げた。
５．科学技術の進展に高い関心を持ち、継続的・主体的に学習することができる。	□ 専門教育の電気電子工学専門研修および電気電子工学特別講義で、最新の科学技術について調査した。 □ 電気電子工学基礎実験および電気電子工学応用実験で、関連する最新の科学技術について調査した。 □ 卒業研究のテーマに関連する文献や論文を調査した。 □ 学内外で開催された研究会等に積極的に参加した。
６．社会における役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけている。	□ 専門教育のソフトパス理工学概論の単位を修得した。 □ 専門教育の技術者倫理の単位を修得した。 □ 卒業後の進路について真剣に考えている。 □ 卒業後の進路を決定した。 □ 卒業論文の中で、研究成果と社会との関わりについてふれた。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（システム創成工学科　知能・メディア情報コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．幅広い教養と知能・メディア情報工学に関する基礎的な専門知識を身につけている。	□ 専門基礎科目（数学・物理・化学など）の科目を履修している。 □ 学科内共通科目として開講されている離散数学を履修し，単位を修得した。 □ 専門基礎科目（数学・物理・化学など）の科目の卒業に必要な単位を修得した。
2．問題の本質を理解し、基礎的な課題に対して解決法を考える能力、および問題解決のための具体的な計画立案・遂行能力を身につけている。	□ コース科目のプログラミング関連科目（プログラミング言語及び演習など）を履修している。 □ コース科目のプログラミング言語及び演習I～IIIおよびデータ構造とアルゴリズムを履修し，単位を修得した。 □ 卒業研究に取り組んでいる。
3．専門分野等の知識を活用してデータを分析することができ、論理的な評価や考察を行える能力を身につけている。	□ コース科目として開講されている実験科目（ハードウェア実験など）を履修している。 □ レポートの書き方を学んだ。 □ コース科目のハードウェア実験，ネットワーク実験，数値計算，情報工学専門実験を履修し，単位を修得した。
4．知能・メディア情報システムを構成するハードウェアやソフトウェアを開発するために必要な基礎的能力を幅広く身につけている。	□ 教養教育科目の情報基礎を履修し，単位を修得した。 □ コース内共通科目を履修している。 □ 学科内共通科目として開講されている情報工学基礎および論理回路を履修し，単位を修得した。
5．自らの思考・判断のプロセスや結果を論理的に表現する文章能力と、協創的課題解決のために他人に説明するコミュニケーション能力を身につけている。	□ コース科目の創造プロジェクトを履修し，単位を修得した。 □ コース科目のシステム創成プロジェクトを履修し，単位を修得した。 □ コース科目のキャリアセミナーを履修し，単位を修得した。 □ グループ討論において意見を述べる，質問をするなど，積極的に関わった。 □ 卒業論文を書き上げ，提出した。
6．知能・メディア情報工学及びその関連分野に関する基礎的な英語能力を身につけている。	□ 教養教育（外国語）の科目を履修している。 □ 教養教育（外国語）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ コース科目の実用英語セミナーを履修し，単位を修得した。 □ 卒業研究に必要な外国語論文を読んでいる。
7．自然科学、地域課題、及び知能・メディア情報工学等の動向や進展に関心を持ち、主体的に学ぶための基礎的な能力を身につけている。	□ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目を履修している。 □ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 卒業研究に必要な文献や論文を自ら探し，読んでいる。
8．社会における知能・メディア情報システムの役割を理解し、技術者として社会に貢献する基礎的な能力を身につけている。	□ 学部内共通科目のソフトパス理工学概論を履修し，単位を修得した。 □ コース科目の情報工学特別講義を履修し，単位を修得した。 □ 卒業後の進路について真剣に考えている。 □ 卒業後の進路を決定した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（システム創生工学科　機械科学コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．一般的な教養を身につけ、工学に関する幅広く基礎的な知識と、機械科学に関する専門的な知識及び技能を修得している。	□ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目を履修している。 □ 教養教育（文化・社会・自然・環境・地域）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 様々な分野の本を読んだり、学内外の講演会等に参加したり、幅広い分野の知識に触れる機会を確保している。 □ 専門基礎教育科目として開講されている、数学、物理、化学の各講義科目と実験科目を履修している。 □ 専門基礎教育科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門教育のコース科目を履修している。 □ 専門教育のコース科目の卒業に必要な単位を修得した。
２．幅広く深い教養と総合的な判断力を身につけ、社会における科学技術者の在り方や社会への貢献について考察できる。	□ 専門教育の初年次機械ゼミナールの単位を修得した。 □ 専門教育の機械科学研修Ⅰの単位を修得した。 □ 専門教育の機械科学研修Ⅱの単位を修得した。 □ 専門教育の機械科学特別講義Ⅰの単位を修得した。 □ 専門教育の技術者倫理の単位を修得した。 □ 卒業研究に取り組み、一定の成果を出した。 □ キャリア支援セミナーなどに参加し，卒業後の進路について真剣に考えている。 □ 卒業後の進路を決定した。
３．機械科学分野の機器およびコンピュータを活用し、所望の機能を実現する基礎的な能力を身につけている。	□ 教養教育（情報基礎）の単位を修得しパソコンの基本操作ができるようになった。 □ 専門教育の工作実習の単位を修得し、工作機械を操作できるようになった。 □ 専門教育のC言語実習の単位を修得し、C言語ができるようになった。 □ 専門教育のFortran実習の単位を修得し、Fortranができるようになった。 □ 専門教育の機械科学実験の単位を修得し、科学機器の操作ができるようになった。 □ 専門教育の機械科学研修Ⅰの単位を修得した。 □ 卒業研究に取り組み、一定の成果を出した。
４．日本語と英語による論理的な表現力とコミュニケーション能力を身につけている。	□ 教養教育（外国語）の科目を履修している。 □ 教養教育（外国語）の科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門教育の工業英語の単位を修得した。 □ 専門教育の機械科学研修Ⅱの単位を修得した。 □ 授業内外，学内外のセミナー等で、質問をするなど、積極的に関わった。 □ 基礎ゼミナールでレポートの書き方を学んだ。 □ 専門教育の中でレポートの書き方を学んだ。 □ 卒業論文を書き上げた。
５．機械科学の進展に関心を持ち、専門的知識を応用しながら主体的に学習することができる。	□ 専門教育の機械科学特別講義Ⅰの中で、最新の研究成果・動向について学んだ。 □ 専門教育の機械科学研修Ⅰの中で、主体的に最新の研究について学んだ。 □ 専門教育の機械科学研修Ⅱの中で、主体的に最新の海外研究について調査した。 □ 研究室のゼミで、最新の論文（文献）について講読した。
６．社会における機械科学の役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけている。	□ 専門教育の技術者倫理の単位を修得した。 □ 卒業研究の中で、研究成果と社会との関わりについてふれた。 □ 専門教育の社会体験学習，工業経営管理論や機械科学特別講義Ⅰなどの中で社会との関わりについて学習した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（システム創生工学科　社会基盤・環境コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．数学・自然科学および情報技術に関する知識を習得し、多面的な視点から考えることのできる能力を身につけている。	□ 専門基礎科目として開講されている、数学系科目を履修している。 □ 専門基礎科目として開講されている、数学系科目（必修）の単位を修得した。 □ 専門基礎科目として開講されている、自然科学系科目および実験科目を履修している。 □ 専門基礎科目として開講されている、自然科学系科目および実験科目（必修）の単位を修得した。 □ 専門基礎科目として開講されている、情報技術系科目を履修している。 □ 専門基礎科目として開講されている、情報技術系科目（必修）の単位を修得した。 □ 専門基礎科目の卒業に必要な単位を修得した。
２．社会環境工学の建設、環境、防災の各専門技術に関する知識とその知識を応用する能力を身につけている。	□ 専門コース科目として開講されている、専門技術の知識や応用力を培うことを目的とする建設工学分野の科目を履修している。 □ 専門コース科目として開講されている、専門技術の知識や応用力を培うことを目的とする建設工学分野の科目（必修）の単位を修得した。 □ 専門コース科目として開講されている、専門技術の知識や応用力を培うことを目的とする環境工学分野の科目を履修している。 □ 専門コース科目として開講されている、専門技術の知識や応用力を培うことを目的とする環境工学分野の科目（必修）の単位を修得した。 □ 専門コース科目として開講されている、専門技術の知識や応用力を培うことを目的とする防災工学分野の科目を履修している。 □ 専門コース科目として開講されている、専門技術の知識や応用力を培うことを目的とする防災工学分野の科目（必修）の単位を修得した。 □ 卒業研究を通して、建設、環境、防災分野いずれかの専門技術の知識や応用力を身につけることができた（自己評価）。
３．問題の本質を理解し、必要な情報を収集・分析して解決法を考える能力、および問題解決のための具体的なデザイン・計画を立て、遂行する能力を身につけている（デザイン能力）。	□ 問題解決に必要なデザイン能力を培うことを目的とする、実験・実習・演習科目を履修している。 □ 問題解決に必要なデザイン能力を培うことを目的とする、実験・実習・演習科目（必修）の単位を修得した。 □ 卒業研究を通して、情報収集能力および問題解決に必要なデザイン能力を身につけることができた（自己評価）。
４．自ら課題を発見・解決する能力および主体的・持続的に学習を行う能力を身につけている（課題発見能力、継続学習能力）。	□ 課題発見能力および継続学習能力を培うことを目的とする、実験・実習・演習科目を履修している。 □ 課題発見能力および継続学習能力を培うことを目的とする、実験・実習・演習科目（必修）の単位を修得した。 □ 継続的に科学技術英語の学習を行うことができた（自己評価）。 □ 卒業研究を通して、課題発見能力および継続学習能力を身につけることができた（自己評価）。
５．地球環境・地域環境を理解する能力および持続可能な循環社会構築のための技術を考える能力を身につけている。	□ 環境を理解し持続可能な社会構築技術を考える能力を培うことを目的とする、環境系科目を履修している。 □ 環境を理解し持続可能な社会構築技術を考える能力を培うことを目的とする、環境系科目の単位を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（システム創生工学科　社会基盤・環境コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
６．科学技術が社会や自然におよぼす影響を理解して、技術者としての社会的使命・責任を認識する能力を身につけている（倫理）。	□ 技術者としての社会的使命・責任を認識する能力を培うことを目的とする、科目を履修している。 □ 技術者としての社会的使命・責任を認識する能力を培うことを目的とする、科目の単位を修得した。 □ 卒業研究を通して、研究成果と社会との関わりについてふれた。
７．充分な語学力、および自国の文化・社会を学ぶとともに世界の多様な価値観を理解し、国際的に通用するコミュニケーション能力を身につけている。	□ 教養教育科目として開講されている、文化・社会・自然・環境・地域科目を履修している。 □ 教養教育科目として開講されている、文化・社会・自然・環境・地域科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 教養教育科目として開講されている、外国語科目を履修している。 □ 教養教育科目として開講されている、外国語科目の単位を修得した。 □ 専門コース科目として開講されている、科学技術英語を履修している。 □ 専門コース科目として開講されている、科学技術英語の単位を修得した。
８．自分の意見や実験研究の内容・成果を論理的・客観的に表現する文章作成能力とプレゼンテーション能力を身につけている。	□ 文章作成能力を培うことを目的とする、実験・演習科目を履修している。 □ 文章作成能力を培うことを目的とする、実験・演習科目の単位を修得した。 □ プレゼンテーション能力を培うことを目的とする、PBL科目を履修している。 □ プレゼンテーション能力を培うことを目的とする、PBL科目の単位を修得した。 □ 卒業研究を通して、文章作成能力およびプレゼンテーション能力を身につけることができた（自己評価）。
９．他者と協力してチームで仕事をすることができる能力を身につけている（チームワーク力）。	□ チームワーク力を培うことを目的とする、実験・実習・演習科目を履修している。 □ チームワーク力を培うことを目的とする、実験・実習・演習科目の単位を修得した。 □ チームワーク力を培うことを目的とする、PBL科目を履修している。 □ チームワーク力を培うことを目的とする、PBL科目の単位を取得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（植物生命科学科）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．　生命機能を解明し、農業生産に応用するための自然科学、情報技術、コミュニケーション技術に関する基礎知識を有している。　（知識・理解）	□ 教養科目、専門基礎科目を履修している。 □ 教養科目、専門基礎科目について卒業に必要な単位を修得した。 □ 学内外で幅広い知識に触れる機会を確保している。 □ 知識を獲得する手段を有している。
２．　有用植物の遺伝育種・機能開発、新規作物の創出、植物ウィルスと昆虫の制御及び機能利用、持続的農業生産、有用技術の開発・応用に関する科学的方法について十分に理解している。　（知識・理解）	□ 専門教育科目の各講義科目と実験・実習・演習科目を履修している。 □ 専門教育科目の必修科目をすべて修得した。 □ 専門重点科目を中心として卒業に必要な単位を取得した。 □ 研究室に所属し、卒業研究に関連する分野の知識を十分に修得し、卒業研究単位を取得した。
３．生命資源・農学に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、行動することができる。（思考・判断）	□ 研究室に所属し卒業研究に必要な情報を収集する能力を修得した。 □ 自ら得た情報を論理的に解釈する能力を修得した。 □ 情報を基に次に行うべき行動を決定する能力を修得した。 □ 卒業論文を提出した。
４．豊かな課題探求能力と課題解決能力をもって生命資源に関連する諸課題を解決しようとする意欲を持っている。　（関心・意欲）	□ 専門の教育内容に関して最新の研究成果・動向について学んでいる。 □ 研究室に所属し、演習科目の単位を修得するとともに専門分野の研究の全体像を把握している。 □ 自らの卒業研究に必要な論文等を探し、読んでいる。 □ 新しい生命資源科学分野の知見を得るための意欲と実行力を有している。
５．生命資源の創出・発展のニーズに、協調性と倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。　（態度）	□ 専門分野のニーズを把握する能力を有している。 □ 専門分野に関する倫理的な問題点を理解している。 □ 所属する社会の構成員と協調して行動する能力を修得した。 □ 自らが行うべき行動を自律的に判断して行動する能力を修得した。
６．自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。　（技能・表現）	□ 科学論文等を正確に読んで理解する能力を修得した。 □ 科学論文等から得た情報をわかりやすく説明する手段を修得した。 □ 多様な情報から導き出した結論を論理的に説明できる（卒業研究を発表する）能力を修得した。 □ 所属する社会の構成員と円滑にコミュニケーションを行う能力を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（応用生物化学科）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．微生物や動植物などの生物資源に関する分子レベルから生態系レベルまでの生命現象や食品素材の特性を理解するための基礎的な知識を化学的な視点で理解している。　（知識・理解）	□ 教養科目、専門基礎科目を履修している。 □ 教養科目、専門基礎科目について卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門重点科目の卒業に必要な単位を修得した。
２．　生物資源や食品素材に関する知識と理解を基礎に、食糧、環境、健康に関する諸課題・未知事項について、多面的に思考し、自らの考えをまとめることができる。　（思考・判断）	□ 専門科目の応用生物化学演習Ⅰを履修し、単位を取得した。 □ 研究室に所属し卒業研究に必要な情報を収集する能力を修得した。 □ 自ら得た情報を論理的に解釈する能力を修得した。 □ 得られた専門的な情報を、研究室構成員にわかりやすく説明する能力を修得した。
３．食糧、環境、健康に関する課題や未知事項に関心を持ち、その解決・解明に意欲的に取り組むことができる。　（関心・意欲）	□ 専門科目の応用生物化学演Ⅱを履修し、単位を取得した。 □ 研究室のセミナーで専門分野の最新の論文や専門書を講読している。 □ 自らの卒業研究のテーマと関連した論文等を検索し、講読している。 □ 科学論文等を正確に読んで理解し、その内容をわかりやすく説明する能力を修得した。 □ 論文講読などによって得られた情報をもとに、課題解決のための方策を提案する能力を修得した。
４．生物資源の有効利用やその応用を通じて、食品産業や医薬品産業を始めとするバイオ関連産業の創出・発展に寄与し、地域や社会に貢献する考え方や行動がとれる。　（態度）	□ 専門の教育内容に関して最新の研究成果・動向について学んでいる。 □ 自らの卒業研究において、得られた成果の妥当性を検証する能力を修得した。 □ 研究室のセミナーなどで、構成員と専門分野の研究内容について議論する能力を修得した。 □ 自身の専門分野が社会の中でどのように貢献できるかについて深く考えることができた。 □ 卒業後の進路について、自ら学んだ専門性を活かす方向で検討した。
５．自らの知識と論理的な思考に基づいた判断結果を的確に説明する表現力や、それを実践する技能を修得している。　（技能・表現）	□ 専門分野のニーズを把握する能力を有している。 □ 専門分野に関する倫理的な問題点を理解している。 □ 学科および研究室での構成員との交流を通して、協調性を備えた行動力を修得した。 □ 卒業論文発表会で発表し、卒業論文を提出した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（森林科学科）

学位授与の方針	達成に必要な項目
1．数学、自然科学、情報処理に関する基礎的知識を持っている。（知識・理解）	□ 教養教育（情報、自然＆科学技術）及び学部専門基礎の科目を履修している。 □ 上記科目群の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門重点科目（学科科目）の卒業に必要な単位を修得した。
2．森林科学の学問内容および方法を説明できる。　（知識・理解）	□ 専門重点科目の講義科目（必修）を履修している。 □ 学習・教育到達目標（JABEE）と「学位授与の方針」の関係を教員に説明した。 □ 専門重点科目の講義（必修）の単位をすべて修得した。
3．　森林の多面的機能について、総合的に考えることができる。（思考・判断）	□ 専門重点科目の「環境防災学」、「暖帯林概論」、「地域生態系保全論」、「山村経済・地域おこし論」、「森林保護学」のうち、2つ以上の単位を修得した。 □ 「森林科学応用演習II」で頻繁に質問・意見を述べるなど、積極的に関わった。
4．　与えられた制約の下で計画的に仕事を進めることができる。（思考・判断）	□ 専門重点科目の実習科目（必修）を履修している。 □ 上記実習（必修）の単位をすべて修得した。
5．地球的視点から、各地の文化や異なる価値観に関心を示している。（関心・意欲）	□ 教養教育（文化・社会・環境・地域・外国語）の科目を履修している。 □ 上記教養教育の卒業に必要な単位を修得した。
6．自主的、継続的に学修できる。　（関心・意欲）	□ 「基礎ゼミナール」、「生物統計学」、「森林計測学」の単位をすべて修得した。 □ 卒業に必要な単位をすべて修得した。
7．技術者が社会に対して負っている責任を感じる。　（態度）	□ 「基礎ゼミナール」の被災地学修に参加した。 □ 「農学のための倫理学」、「海外・日本の林業」、「インターンシップ」、「森林科学応用演習I」の単位をすべて修得した。
8．チームワークを意識して行動できる。　（態度）	□ 専門重点科目の実習・演習科目（必修）を履修している。 □ 上記実習・演習（必修）の単位をすべて修得した。
9．日本語で論理的に記述・発表・討議できる。　（技能・表現）	□ 「基礎ゼミナール」、「森林科学入門」の単位をすべて修得した。 □ 「卒業研究」の単位を除き、卒業に必要な単位をすべて修得した。 □ 「卒業研究」の単位を修得した。
10．森林科学の知識を利用し、社会の要求を解決するために提案できる。　（技能・表現）	□ 「インターンシップ」の研修先を決定した。 □ 「砂防学実習」、「林道工学実習」、「森林科学応用演習I」、「森林科学応用演習II」の単位をすべて修得した。 □ 指導教員の許可を得て、卒業論文を（発表会場で）閲覧に供した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（食料生産環境学科　農村地域デザイン学コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．自然科学や情報技術および地域文化に関する基礎知識を身につけている。　（知識・理解）	□ 教養教育科目を履修している。 □ 専門教育（専門基礎、学部共通）の講義科目を履修している。 □ 教養教育科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門教育（専門基礎、学部共通）の講義科目の卒業に必要な単位を修得した。
２．農村地域デザイン学の基本・応用分野の知識を身につけている。（知識・理解）	□ 専門教育（専門重点科目、学科共通科目、専門展開科目）の講義科目を履修している。 □ 専門教育（専門重点科目、学科共通科目、専門展開科目）の講義科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 農村地域デザイン学における学問内容を体系的に説明でき、応用できる。
３．地域の問題点と課題を理解し、生産環境と地域社会の計画・設計の在り方を考察できる。　（思考・判断）	□ 教養教育と専門教育の実験・実習・演習科目、地域に関する科目を履修している。 □ 教養教育と専門教育の実験・実習・演習科目、地域に関する科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 地域の問題点と課題について修得した技術を用いて考察することができる。
４．自ら課題を見つけ、計画を立て、自分の考えをまとめ、積極的に表現することができる。　（思考・判断）	□ 専門教育の実験・実習・演習科目を履修している。 □ 専門教育の実験・実習・演習科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 卒業研究の課題を理解し、主体的に計画・実行・考察を十分に行い、他者の意見より改善できた。 □ 自ら必要と考える専門教育の専門展開科目を履修し、単位を取得した。
５．地域の生産・生活基盤の充実と環境改善に対する関心を持ち，解決の意欲がある。　（関心・意欲）	□ 専門教育の現場見学または実地研修の内容を取り入れた科目を履修している。 □ 専門教育の現場見学または実地研修の内容を取り入れた科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 修得した知識と技術を用いて地域環境の課題に取り組む意欲が持てる。 □ 自ら必要と考える専門教育の専門展開科目を履修し、単位を取得した。
６．技術者としての社会的責任の重さを自覚している。　（態度）	□ 専門教育の倫理あるいは外部技術者・有識者による内容を含む科目を履修している。 □ 専門教育の倫理あるいは外部技術者・有識者による内容を含む科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 課題解決のために他者と協調して適切に行動する能力を修得した。
７．地域・現場の人達と良好なコミュニケーションを図る能力がある。（技能・表現）	□ 専門教育の実地研修の内容を取り入れた科目を履修、または自主的に社会と係る活動に参加した。 □ 卒業研究を通して教員・学生と円滑にコミュニケーションを行う能力を修得した。
８．文章や口頭発表による表現力を身につけている。　（技能・表現）	□ 教養教育と専門教育の実験・実習・演習科目を履修している。 □ 教養教育と専門教育の実験・実習・演習科目の卒業に必要な単位を修得した。 □ 多様な情報から導き出した結論を論理的に説明できる能力を自ら修得した。 □ 卒業研究を十分に行い、卒業論文を完成させ、その内容をわかりやすく発表した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（食料生産環境学科　食産業システム学コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．　食産業に関わる諸問題を理解するために必要な自然科学、情報技術および地域社会に関する基礎知識を身につけている。　（知識・理解）	□ 専門教育科目（専門基礎・学部共通・専門重点）を履修している。 □ 教養科目、専門教育科目について卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門展開科目を含めて卒業に必要な単位を修得した。 □ 研究室に所属し、卒業研究に関連する分野の知識を十分に修得した。
２．　食料安定供給と環境負荷低減の両立や農業の６次産業化の推進など、次世代の食産業システムの構築に関する広範な知識を有している。（知識・理解）	□ 専門教育科目の各講義科目と実験・実習・演習科目を修得した。 □ 専門教育科目の必修科目をすべて修得した。 □ 専門重点科目を中心として卒業に必要な単位を取得した。 □ 研究室に所属し卒業研究を十分に行った。
３．食産業に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、行動することができる。　（思考・判断）	□ 研究室に所属し卒業研究に必要な情報を収集する能力を修得した。 □ 自ら得た情報を論理的に解釈する能力を修得した。 □ 情報を基に次に行うべき行動を決定する能力を修得した。 □ 卒業研究発表を行い、卒業論文を提出した。
４．食産業について多面的な関心を持ち、技術や経営の革新を通じて諸課題を解決しようとする意欲を持っている。　（関心・意欲）	□ 専門の教育内容に関して最新の研究成果・動向について学んでいる。 □ 研究室に所属し、専門分野の研究の全体像を把握している。 □ 自らの卒業研究に必要な論文等を探し、読んでいる。 □ 新しい知見を得るための意欲と実行力を有している。
５．食産業における技術開発や経営活動において、協調性と倫理性をもって、自律的に行動できる。　（態度）	□ 専門分野のニーズを把握する能力を有している。 □ 専門分野に関する倫理的な問題点を理解している。 □ 食産業システム学コースの構成員と協調して行動する能力を修得した。 □ 自らが行うべき行動を自律的に判断して行動する能力を修得した。
６．自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。　（技能・表現）	□ 科学論文等を正確に読んで理解する能力を修得した。 □ 科学論文等から得た情報をわかりやすく説明する手段を修得した。 □ 多様な情報から導き出した結論を論理的に説明できる能力を修得した。 □ 食産業システム学コースの教員・学生と円滑にコミュニケーションを行う能力を修得した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（食料生産環境学科　水産システム学コース）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．　水産システム学を実践するための数学、自然科学、社会科学、コミュニケーション（日本語・英語）に関する基礎的知識を身につけている。　（知識・理解）	□ 専門教育（専門基礎）の必修講義科目を履修し、一定の成績を修めている。 □ 教養教育科目を履修し、一定の成績を修めている。
２．　水産業の復興と持続的発展に貢献するために，水産科学分野に加えて，水産業に関わる人文・社会科学分野までの幅広い関連分野を網羅した水産システム学を体系的に身につけ、水産業の現状とその課題を俯瞰的視点から理解出来る。　（知識・理解）	□ 水産システムの概念を説明できる。 □ 専門教育（専門基礎）の必修講義科目を履修し、一定の成績を修めている。 □ 履修した専門教育（専門基礎）の講義科目の水産システム学における位置付けを説明できる。
３．水産業が抱える諸課題について多角的に分析、俯瞰的に思考し、最善の解決策を判断できる。　（思考・判断）	□ 対象とする水産システムの領域を定義し、構造とそれぞれの構成セクターの機能とシステム内での役割を叙述できる。 □ 対象とする水産システムの課題を優先順位をつけて説明できる。 □ 対象とする水産システムの課題についての解決策を複数提示できる。 □ 対象とする水産システムの課題についての複数解決策の中から論理的に最適策を提示できる。
４．日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち，問題解決に意欲的に取り組むことができる。　（関心・意欲）	□ 専門の教育内容に関して最新の研究成果・動向について学んでいる。 □ 卒業研究課題の水産システムにおける位置付けを明確に説明できる。 □ 対象水産業の持続性と発展とは何かを自らの言葉で説明できる。 □ 「インターンシップ」の研修先を決定した。
５．水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち、真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を持つ。（態度）	□ 対象とする水産システムにおける倫理的な問題とは何かを理解している。 □ 水産システム分野に関する一般的な倫理的な問題点を理解している。 □ 専門家として自らが行うべき行動を倫理的規範に照らし自律的に判断して行動する能力を修得した。
６．漁業及び周辺産業、海洋環境や水産資源管理の現状把握と分析のための基礎的な技術を身につけている。	□ 専門教育（専門基礎）の必修講義科目を履修し、一定の成績を修めている。 □ 現状把握のために必要な専門領域群が説明できる。
７．調査や統計データを的確に分析・利用する技術、結果に基づく論理的な思考能力、および得られた結果を的確に伝えることが出来るコミュニケーション力（プレゼンテーション、日本語、英語）を身につけている。（技能・表現）	□ 専門教育（専門基礎）の必修講義科目を履修し、一定の成績を修めている。 □ 卒業研究のプロセスを再現可能な形で論理的に日英両語で伝えることができる。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（動物科学科）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．農学や生命科学につながる幅広い知識及びその基礎となる教養を持っている。　（知識・理解）	□ 教養科目、専門基礎科目を履修している。 □ 教養科目、専門基礎科目について卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門重点科目（学科科目）の卒業に必要な単位を修得した。
２．動物生産及び動物科学分野に関する知識を持っている。　（知識・理解）	□ 教養科目、専門基礎科目を履修している。 □ 教養科目、専門基礎科目について卒業に必要な単位を修得した。 □ 専門重点科目（学科科目）の卒業に必要な単位を修得した。
３．動物関連産業に関する課題の解決を適切に行うため、動物生産及び動物科学分野に関する知識により考察することができる。　（思考・判断）	□ 研究室に所属し、卒業研究に必要な情報を収集する能力を修得した。 □ 自ら得た情報を理論的に解釈する能力を修得した。 □ 得られた専門的な情報を、わかりやすく説明する能力を修得した。
４．動物関連産業に関する課題に関心を持ち、課題の解決に意欲的に取り組むことができる。　（関心・意欲）	□ 自らの卒業研究のテーマと関連した科学論文等を検索し、読んでいる。 □ 科学論文等を読んで内容を理解し、その内容をわかりやすく説明する能力を修得した。 □ 科学論文などによって得た情報をもとに、課題解決のための方策を提案する能力を修得した。
５．動物関連産業に関する課題の解決を客観的に行うため、情報収集及び議論を積極的に行うことができる。　（態度）	□ 専門の内容に関して最新の研究成果・動向について学んでいる。 □ 研究室のセミナーなどで、構成員と専門分野の研究内容について議論する能力を修得した。 □ 専門分野に関する倫理的な問題点を理解している。
６．動物関連産業に関する課題を解決して論文又は口頭で発表を行うか、修得した動物生産及び動物科学分野の技術を実践することができる。　（技能・表現）	□ 専門分野のニーズを把握する能力を有している。 □ 学科および研究室の構成員との交流を通して、協調性を持った行動をとる能力を得た。 □ 自らの研究内容を卒業論文発表会で発表し、卒業論文を提出した。

「学位授与の方針」達成状況自己評価チェックリスト（共同獣医学科）

学位授与の方針	達成に必要な項目
１．獣医師としての責務を遂行するために、動物の健康・福祉、公衆衛生などに関する高度な専門知識を修得している。　（知識・理解）	□ 基礎獣医学科目群をすべて履修している。 □ 病態獣医学科目群をすべて履修している。 □ 応用獣医学科目群をすべて履修している。
２．獣医学領域に関わる課題について、生命科学を基礎とした知識と技能を用いて論理的に判断できる。　（思考・判断）	□ 共通教育（外国語、人文社会科学、理数系基礎）の科目を履修している。 □ 共通教育（外国語、人文社会科学、理数系基礎）の卒業に必要な単位を修得した。 □ 学内外の講演会などに参加し、幅広い分野の知識に触れる機会を確保している。 □ 幅広い分野の本を読んでいる。
３．獣医師として国内での責務を果たすのみならず、国際的視野を有している。　（関心・意欲）	□ 共通教育の外国語の科目を履修している。 □ 病態獣医学科目群をすべて履修している。 □ 応用獣医学科目群をすべて履修している。 □ 総合参加型臨床実習を履修している。
４．地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得しており、意欲も有している。　（関心・意欲）	□ 共通教育の外国語の科目を履修している。 □ 病態獣医学科目群をすべて履修している。 □ 応用獣医学科目群をすべて履修している。
５．幅広い専門知識や技能に基づいた説明ができる。　（態度）	□ 共通教育の理数系アドバンスを履修している。 □ 基礎獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ 病態獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ 応用獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ 小動物臨床獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ 大動物臨床獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ インターンシップあるいは海外実習に参加した。
６．倫理性も備えた行動規範を身につけており、適切なコミュニケーションができる。　（態度）	□ 獣医倫理を履修している。 □ 共用試験に合格した。
７．高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践できる。　（技能・表現）	□ 共通教育の理数系アドバンスを履修している。 □ 基礎獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ 病態獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ 応用獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ 小動物臨床獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ 大動物臨床獣医学科目群の実習をすべて履修している。 □ インターンシップあるいは海外実習に参加した。 □ 獣医学演習ならびに卒業研究を履修している。
８．論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけている。　（技能・表現）	□ 獣医倫理を履修している。 □ 共用試験に合格した。

カリキュラム
チェックリスト

人文社会科学部　カリキュラムチェックリスト

教養教育科目，学部共通科目，副専修プログラム科目

人文社会科学部　ディプロマ・ポリシー

人文社会科学部では，「総合化と専門深化」の教育理念に基づき，現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し，地域社会および国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目的としており，所定の教育課程を学修し，以下に示す能力を修得した者に学士「総合科学」を授与する。

（知識・理解）

1．教養教育により幅広い分野の知識を修得している。

2．人間・文化・社会・環境について，教養教育で得た基礎的知識・技能等を土台にし，専門的な知識と理解を有するとともに，総合的・学際的な広い視野を有している。

（思考・判断）

3．総合的な学修を活かし，変化が著しく複雑化する現代社会に対応できる柔軟な思考力と的確な判断力を有している。

（技能・表現）

4．グローバル化が進む社会において，多様な考え方，異質なものを理解するとともに，自らの見解・成果を的確に表現し，発信できる高いコミュニケーション能力を有している。

（関心・意欲・態度）

5．地域社会・国際社会の諸課題に実践を通して取り組み，貢献しようとする積極的態度と高い倫理性を有している。

区分		授業科目	単位数			ディプロマ・ポリシー項目					重付合計
			必修	選択	自由	1	2	3	4	5	
教養教育科目	実践知科目	基礎ゼミナール	1	10		50	0	0	20	30	100
	技法知科目	外国語	8			30	0	0	70	0	100
		健康・スポーツ	2			90	0	10	0	0	100
		情報科目	2			70	0	10	10	10	100
	学問知科目	文化	6			80	0	10	0	10	100
		社会	6			80	0	10	0	10	100
		自然＆科学技術	4			80	0	10	0	10	100
		環境	2			70	0	10	0	20	100
		地域	2			40	0	10	0	50	100
	実践知科目	地域				30	0	10	10	50	100
専門教育科目	学部共通科目	総合科学論Ⅰ	2			0	70	10	10	10	100
		総合科学論Ⅱ	2			0	70	10	10	10	100
		日韓学生の協働研修Ⅰ			2	0	0	10	60	30	100
		日韓学生の協働研修Ⅱ			2	0	0	10	60	30	100
		西部カトリック大学語学研修			2	0	0	10	60	30	100
		課題解決型国際研修（英語）			2	0	0	10	60	30	100
		課題解決型国際研修（ドイツ語）			2	0	0	10	60	30	100
		課題解決型国際研修（フランス語）			2	0	0	10	60	30	100
		課題解決型国際研修（中国語）			2	0	0	10	60	30	100
	副専修プログラム科目		16			0	40	30	20	10	100

人間文化課程課程科目，行動科学専修プログラム主専修プログラム科目

行動科学専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

行動科学専修プログラムでは，人間行動を個人的側面と社会的側面から総合的に理解し，情報科学的素養と人間学的素養をもって，地域住民の心身の問題，家族の問題，生きがいの問題など，人々が抱える多様な問題に適切に対処できる人材の養成を目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　心理学，社会学を中心とした行動科学的なアプローチから得られた人間行動に関する知識を幅広く身につけており，人間行動を総合的・多元的に理解することができる。

（思考・判断）

2．　人間行動をめぐる諸問題に適切に対処するための情報分析能力やコミュニケーション能力を身につけている。

3．　人間行動に関する専門的な知識等を活用して、現実の問題解決に向けてアプローチでき、地域社会に積極的な提案を行うことができる。

（技能・表現）

4．　現代社会に生きる人々が新たに直面する事象を、自らの力で理解し判断する自発的課題探求力を身につけている。

5．　発表や討論を通じてのコミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを修得している。

6．　経験（実習・実験）を通して、チームワークやリーダーシップなどの集団活動場面におけるスキルを修得している。

（関心・意欲）

7．　専門分野の学問内容、最新の研究成果、動向等について興味・関心を持っている。

8．　専門性を活かして、社会に参画する意欲を持っている。

（態度）

9．　人間に対する深い理解と広い視野に基づく学際的・総合的な課題探求能力を習得し、現代社会の様々な課題を全体的に把握し、それらの課題に適切かつ柔軟に対処できる。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	入門科目導課程	人間文化入門	2			20		20	30	20			10	100
		人間文化研究	2		20	20		20			20	10	10	100
	課程共通科目	国際交流研修		2			20	20	30	20			10	100
		国際課題研修（芸術）		2			20	20	30	20			10	100
		日本語表現基礎		2		60	20		20					100
		日本語読解基礎		2		60	20		20					100
		ドイツ語基礎		2		50			50					100
		フランス語基礎		2		50			50					100
		ロシア語基礎		2		50			50					100
		中国語基礎		2		50			50					100
		韓国語基礎		2		50			50					100
		社会調査法		2	20	20	20				20		20	100
		人間行動論		2	30	10	10				30		20	100
		スポーツ科学		2	20	10	10	20			10	10	20	100
		現代文化論		2	20	10	10	20			10	10	20	100
		異文化間コミュニティ論		2	20	10	10	20			10	10	20	100
		芸術文化論		2	20	10	10	20			10	10	20	100
		歴史学概論		2	20	10	10	20			10	10	20	100
		英語圏文化論		2	20	10	10	20			10	10	20	100
		ヨーロッパ語圏文化論		2	20	10	10	20			10	10	20	100
		アジア圏文化論		2	20	10	10	20			10	10	20	100
		絵画基礎		2				20					80	100
		彫刻基礎		2				20					80	100
		工芸基礎		2				20					80	100
		デザイン基礎A		2				20					80	100
		デザイン基礎B		2				20					80	100
		書法基礎		2				20					80	100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2		20			80					100
		フランス語コミュニケーション基礎		2		20			80					100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2		20			80					100
		特別研究	6		10	10	10	20	10		10	10	20	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム基礎科目	社会調査実習	2			10	10	10	20	30		10	10	100
		心理学基礎実験	2		20	20		10		30	10		10	100
		特殊実験調査Ⅰ	2			10	10	20	20		20	10	10	100
		特殊実験調査Ⅱ	2			10	10	20	20		20	10	10	100
		行動科学方法論	2		20	10	10	10			10	10	30	100
		基礎統計学		2	20	30	20	10			10		10	100
		統計学（検定･推定）		2	20	30	20	10			10		10	100
		行動科学統計法Ａ		2	20	30	10	10			20		10	100
		行動科学統計法Ｂ		2	20	40	10		20				10	100
		心理学概論		2	40						30	10	20	100
		実験心理学		2	40		10				30	10	10	100
		認知心理学		2	40			10			30	10	10	100
		人格心理学（人格心理学概論）		2	40	10		10			30		10	100
		臨床心理学		2	40			10			30	10	10	100
		社会心理学		2	40			10			30	10	10	100
		人間学		2	30			10			40		20	100
		認知情報学		2	30	20		10			30		10	100
		心理･社会言語学		2	10	20	20	20			10	10	10	100
		社会学概論		2	20		20				20	20	20	100
		家族社会学		2	20		20				20	20	20	100
		地域社会学		2	20		20				20	20	20	100
		社会情報システム論		2	20	30	20	10			10		10	100
		ソーシャルデザイン論		2	10	10	20	10	10	10	10	20		100
		行動地理学		2	30		20	10			10	10	20	100
	プログラム展開科目	実験心理学特講（学習心理学概論）		2	30		10	10			30	10	10	100
		実験心理学演習Ａ		2		30		20	30		10		10	100
		実験心理学演習Ｂ		2		30		20	30		10		10	100
		認知心理学特講		2	40						30	20	10	100
		認知心理学演習Ａ		2	20			10	40		20		10	100
		認知心理学演習Ｂ		2	20			10	40		20		10	100
		人格心理学特講		2	30			20			30		20	100
		人格心理学演習Ａ		2	10	20		10	30		20		10	100
		人格心理学演習Ｂ		2	10	20		10	30		20		10	100
		臨床心理学実習		2		20		10	30	10	20		10	100
		臨床心理学特講		2	30		10	10			30	10	10	100
		臨床心理学演習Ａ		2		20	10	10	30	10	10		10	100
		臨床心理学演習Ｂ		2		20	10	10	30	10	10		10	100
		心理検査法実習		2	20	10	10		20	10	20		10	100
		社会心理学特講		2	30		10	10			30	10	10	100
		犯罪社会心理学		2	30		10	10			30	10	10	100
		社会心理学演習Ａ		2		20	10	10	30	20			10	100
		社会心理学演習Ｂ		2		20	10	10	40	20				100
		犯罪心理学演習		2		20		10	30	30			10	100
		基礎心理学		2	40						30	20	10	100
		応用心理学		2	40		10				30	10	10	100
		文化心理学		2	40		10				30	10	10	100
		文化人類学		2	40		10				30	10	10	100
		心理療法論		2	40		10				30	10	10	100
		心理学通論		2	60						30		10	100
		生理学特講		2	30		20	10			30		10	100
		人間学特講Ａ		2	30			10			40		20	100
		人間学特講Ｂ		2	30			10			40		20	100
		人間学演習Ａ		2	10	20		30	20				20	100
		人間学演習Ｂ		2	10	20		30	20				20	100
		人間学演習Ｃ		2	10	20		30	20				20	100
		認知情報学特講		2	10	20	10	10			30		20	100
		認知情報学演習		2	10	10		10	30		20		20	100
		一般言語学		2	10	20	20	20			10	10	10	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム展開科目	言語学演習Ａ		2	10	10	20	30			10	10	10	100
		言語学演習Ｂ		2	10	10	20	30			10	10	10	100
		応用倫理学		2	30			20			30		20	100
		論理学		2	10	30		10	30		10		10	100
		社会調査特講		2	20		20				20	20	20	100
		家族社会学特講Ａ		2	20		20				20	20	20	100
		家族社会学特講Ｂ		2	20		20				20	20	20	100
		家族社会学演習Ａ		2	20	20	20		20				20	100
		家族社会学演習Ｂ		2	20	20	20		20				20	100
		地域社会学特講Ａ		2	20		20				20	20	20	100
		地域社会学特講Ｂ		2	20		20				20	20	20	100
		地域社会学演習Ａ		2	20	20	20		20				20	100
		地域社会学演習Ｂ		2	20	20	20		20				20	100
		現代社会論		2	20		20	10			30	10	10	100
		社会情報システム論特講		2	20	30	20	10			10		10	100
		地理情報システム論Ａ		2	20	30	20	10			10		10	100
		地理情報システム論Ｂ		2	20	30	20	10			10		10	100
		ソーシャルデザイン論特講		2	20	5	20	10	5		20	20		100
		ソーシャルデザイン論演習Ａ		2	10	20	10	15	15		10	20		100
		ソーシャルデザイン論演習Ｂ		2	10	20	10	15	15		10	20		100
		社会情報学特講Ａ		2	20	30	20	10			10		10	100
		社会情報学特講Ｂ		2	20	30	20	10			10		10	100
		地域分析		2	20	10	20	20				10	20	100
		人口地理学		2	30		20	10			10	10	20	100
		社会地理学		2	30		20	10			10	10	20	100
		人文地理学演習Ａ		2	10	10	10	10	30	10		10	10	100
		人文地理学演習Ｂ		2	10	10	10	10	30	10		10	10	100

人間文化課程課程科目，スポーツ科学専修プログラム主専修プログラム科目

スポーツ科学専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

スポーツ科学専修プログラムでは，スポーツ科学の基礎的な知識を踏まえ，多様な対象者に適切な運動やスポーツの処方や指導ができる資質を身につけ，スポーツを通した地域づくりや地域住民の心身の健康づくりに適切に対処できる人材の養成を目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　スポーツ科学の基礎的な知識を理解している。

2．　健康づくりに関する知識とその意義を理解している。

（思考・判断）

3．　スポーツや健康に関する地域の多様なニーズやシーズを察知でき，適切な対応策が講じられる。

（技能・表現）

4．　対象に応じた適切な運動処方が計画，および具体的な実践指導ができる。

5．　地域課題を探索するために，社会調査等を利用した方法が活用できる。

（関心・意欲）

6．　健康やスポーツによる地域の活性化や地域づくりに関心を持ち，自ら地域に出て実践的な活動をする意欲がある。

（態度）

7．　専門性を生かし，グローバルな視野から地域貢献に積極的に関わる態度を身につけている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目							重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	
専門教育科目	入課科程目導	人間文化入門	2				50			30	20	100
		人間文化研究	2				50			30	20	100
	課程共通科目	国際交流研修		2			30	10	10	20	30	100
		国際課題研修（芸術）		2			30	10	10	20	30	100
		日本語表現基礎		2			30	10	10	20	30	100
		日本語読解基礎		2			30	10	10	20	30	100
		ドイツ語基礎		2			30	10	10	20	30	100
		フランス語基礎		2			30	10	10	20	30	100
		ロシア語基礎		2			30	10	10	20	30	100
		中国語基礎		2			30	10	10	20	30	100
		韓国語基礎		2			30	10	10	20	30	100
		社会調査法		2			10		70	10	10	100
		人間行動論		2			40			40	20	100
		スポーツ科学		2	40	40	10			10		100
		現代文化論		2			50			30	20	100
		異文化間コミュニティ論		2			50			30	20	100
		芸術文化論		2			30	10	10	20	30	100
		歴史学概論		2			30	10	10	20	30	100
		英語圏文化論		2			30	10	10	20	30	100
		ヨーロッパ語圏文化論		2			30	10	10	20	30	100
		アジア圏文化論		2			30	10	10	20	30	100
		絵画基礎		2			30	10	10	20	30	100
		彫刻基礎		2			30	10	10	20	30	100
		工芸基礎		2			30	10	10	20	30	100
		デザイン基礎A		2			30	10	10	20	30	100
		デザイン基礎B		2			30	10	10	20	30	100
		書法基礎		2			30	10	10	20	30	100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2			30	10	10	20	30	100
		フランス語コミュニケーション基礎		2			30	10	10	20	30	100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2			30	10	10	20	30	100
		特別研究	6		40	40			10		10	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目							重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	
専門教育科目	プログラム基礎科目	スポーツ文化論		2	80						20	100
		スポーツプロデュース論		2	20		60				20	100
		スポーツ行動論		2	80						20	100
		社会学概論		2	100							100
		心理学概論		2	100							100
		健康運動論		2		100						100
		健康管理論	2			100						100
		健康づくり運動論	2			80		20				100
		健康づくり運動実習	2					100				100
		健康スポーツ指導法Ⅰ	1				20	80				100
		健康スポーツ指導法Ⅱ	1				20	80				100
		スポーツ科学方法論	2		100							100
		スポーツ科学実験・実習	2		100							100
		地域スポーツコーディネート実習		2						80	20	100
		スポーツ社会調査実習		2					100			100
	プログラム展開科目	スポーツ行動論演習Ａ		2	20	20					60	100
		スポーツ行動論演習Ｂ		2	20	20					60	100
		健康運動論演習Ａ		2	20	20					60	100
		健康運動論演習Ｂ		2	20	20					60	100
		スポーツプロデュース演習Ａ		2	20		20				60	100
		スポーツプロデュース演習Ｂ		2	20		20				60	100
		健康障害と予防	2			100						100
		運動生理学		2	100							100
		スポーツ心理学		2	100							100
		スポーツＮＰＯ論		2			60			20	20	100
		コーチング論		2	50		20	30				100
		バイオメカニクス		2	100							100
		スポーツと栄養		2	50	50						100
		スポーツ政策論		2	20		60				20	100
		健康運動処方論		2				100				100
		生理学特講		2	50	50						100
		現代社会論		2	50						50	100
		地域分析		2					100			100
		文化人類学		2							100	100
		スポーツトレーナー実習		2		10		40		50		100

人間文化課程課程科目，現代文化専修プログラム主専修プログラム科目

現代科学専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

現代文化専修プログラムでは，人間の営みの総体としての文化を近代モダニズムを含む現代的な視点から捉え，文化現象の生成・発展・変容とともに流動化する現代社会を把握し，文化の継承や創成を通じて地域社会の活性化に寄与できる人材の養成を目的としており，以下に示す能力を修得した者を専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　人間と文化に関して幅広い知識と素養を有している。
2．　国際的な視野に立って異文化を理解できる。
3．　地域社会の諸問題を歴史や思想などの根源的原理から考察できる。
4．　現代的状況の下で文化がどのように変容していくかを理解できる。

（思考・判断）

5．　地域社会の現況把握や遭遇する諸課題に対して，多角的な視点から対象を把握できる。
6．　グローバルな観点が不可欠な現代的諸課題に対して，柔軟な思考で最適解を導き出せる判断力を有してい

（技能・表現）

7．　対象に応じた認識手段や分析手法を有している。
8．　企画・立案した内容や自身の見解等を的確に説明し発信できる。

（関心・意欲・態度）

9．　未知の事象に対しても積極的に対応し得る好奇心や意欲を持っている。
10．　地域社会の活性化等に主体的に関わろうとする態度を有している。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	課程入門科目導	人間文化入門	2		70		20				10				100
		人間文化研究	2		90								10		100
	課程共通科目	国際交流研修		2		90				10					100
		国際課題研修（芸術）		2		80					20				100
		日本語表現基礎		2							50	50			100
		日本語読解基礎		2							50	50			100
		ドイツ語基礎		2		90					10				100
		フランス語基礎		2		90					10				100
		ロシア語基礎		2		90					10				100
		中国語基礎		2		90					10				100
		韓国語基礎		2		90					10				100
		社会調査法		2					10		70		10	10	100
		人間行動論		2	90								10		100
		スポーツ科学		2	80						10		10		100
		現代文化論		2			50	50							100
		異文化間コミュニティ論		2		50	20		30						100
		芸術文化論		2	30		50				20				100
		歴史学概論		2	10		90								100
		英語圏文化論		2		90				10					100
		ヨーロッパ語圏文化論		2		90				10					100
		アジア圏文化論		2		90				10					100
		絵画基礎		2	10						90				100
		彫刻基礎		2	10						90				100
		工芸基礎		2	10						90				100
		デザイン基礎Ａ		2	10						90				100
		デザイン基礎Ｂ		2	10						90				100
		書法基礎		2	10						90				100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2		70						30			100
		フランス語コミュニケーション基礎		2		70						30			100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2		70						30			100
		特別研究	6				10	10	20	30	20	10			100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム基礎科目	文化事象探究A	1						20	10	30	20	20		100
		文化事象探究B	1						20	10	30	20	20		100
		文化事象探究C	1						20	10	30	20	20		100
		文化事象探究D	1						20	10	30	20	20		100
		社会文化思想論Ⅰ		2	20	10	60	10							100
		社会文化思想論Ⅱ		2	20	10	60	10							100
		社会文化思想論Ⅲ		2	20	10	60	10							100
		社会文化思想論Ⅳ		2	20	10	60	10							100
		表象文化論A		2	20	20	10	50							100
		表象文化論B		2	20	20	10	50							100
		表象文化論C		2	20	20	10	50							100
		表象文化論D		2	20	20	10	50							100
		文化記号論Ⅰ		2	20			80							100
		文化記号論Ⅱ		2	10			70	10	10					100
		文化記号論Ⅲ		2	20			80							100
		文化記号論Ⅳ		2	10			50	10	10	10	10			100
		美学芸術学入門		2	10	10	70	10							100
		音楽文化史A		2		20	70	10							100
		音楽文化史B		2		20	70	10							100
	プログラム展開科目	社会文化思想論特講A		2	10	10	30	10	40						100
		社会文化思想論特講B		2	10	10	20	10	50						100
		消費文化論特講		2	10	10	20	20	40						100
		表象文化論特講A		2	10	20	10	10	40				10		100
		表象文化論特講B		2	10	20	10	10	40				10		100
		比較文学論特講A		2	10	20	10	10	50						100
		比較文学論特講B		2	10	20	10	10	50						100
		芸術文化論特講A		2	10		10	20	50				10		100
		芸術文化論特講B		2	10		10	20	50				10		100
		音楽文化論特講A		2	10		10	20	50				10		100
		音楽文化論特講B		2	10		10	20	50				10		100
		ソーシャルデザイン論		2						30	20		20	30	100
		ソーシャルデザイン論特講		2						30	20		20	30	100
		メディア文化論特講A		2				10			20	70			100
		メディア文化論特講B		2	10		10	10	50		10		10		100
		現代文化特講A		2	10		10	10	50		10		10		100
		現代文化特講B		2	10		10	10	50		10		10		100
		社会文化思想論演習A		2			30	10		30	10	10	10		100
		社会文化思想論演習B		2			30	10		30	10	10	10		100
		社会文化思想論演習C		2			30	10		30	10	10	10		100
		社会文化思想論演習D		2			30	10		30	10	10	10		100
		表象文化論演習A		2				10		40	10	10	20	10	100
		表象文化論演習B		2				10		40	10	10	20	10	100
		表象文化論演習C		2				10		40	10	10	20	10	100
		表象文化論演習D		2				10		40	10	10	20	10	100
		文化記号論演習A		2				10		60	20	10			100
		文化記号論演習B		2				10		60	20	10			100
		文化記号論演習C		2				10		60	20	10			100
		文化記号論演習D		2				10		60	20	10			100
		芸術文化論演習A		2				10		60	20		10		100
		芸術文化論演習B		2				10		60	20		10		100
		芸術文化論演習C		2				10		60	20		10		100
		芸術文化論演習D		2				10		60	20		10		100
		ソーシャルデザイン論演習A		2						20		20	20	40	100
		ソーシャルデザイン論演習B		2						20		20	20	40	100
		応用倫理学		2	20				20					60	100
		著作権概論		2	10						30	60			100

人間文化課程課程科目，異文化間コミュニティ専修プログラム主専修プログラム科目

異文化間コミュニティ専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

異文化間コミュニティ専修プログラムでは，性別，国籍，言語・民族性などの違いによってマイノリティ（少数者）が生み出されるしくみ，社会的排除の現状と歴史的背景を学び，これらの知識と当事者へのエンパワーメント・スキルを身につけ，社会的排除の乗り越えを目指す地域の創生に貢献できる人材の養成を目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　マイノリティが生み出されるしくみについて，総合的・多角的に理解する能力を有している。

2．　社会的排除の現状・歴史的背景・乗り越えをめぐる模索について，人文・社会諸科学の幅広い知識にもとづいて理解する能力を有している。

（思考・判断）

3．　性別，国籍，言語・民族性などの違いによって，自らがどのような社会的位置づけに置かれているのかを，人文・社会科学の諸議論をふまえて思考する能力を有している。

4．　性別，国籍，言語・民族性などの違いによって，自らにどのような視座の偏りが生じるのかについて，自覚的な思考ができる能力を有している。

（技能・表現）

5．　社会的排除当事者へのエンパワーメント・スキルのうち，基礎的な技能を身につけている。

6．　社会的排除当事者のヴァルネラヴィリティ（社会的立場の弱さ）を考慮に入れた，行動や表現ができる能力を有している。

（関心・意欲）

7．　多様なコミュニケーション手段を積極的に学び，国内のみならず国際的な異文化間コミュニティ形成に対する関心を有している。

（態度）

8．　社会的排除の乗り越えに対して，地域の一員として主体的に関わろうとする態度を持っている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目								重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	
専門教育科目	課程導入科目	人間文化入門	2		5	40	5	5	0	5	30	10	100
		人間文化研究	2		5	40	5	5	0	5	30	10	100
	課程共通科目	国際交流研修		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		国際課題研修（芸術）		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		日本語表現基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		日本語読解基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		ドイツ語基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		フランス語基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		ロシア語基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		中国語基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		韓国語基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		社会調査法		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		人間行動論		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		スポーツ科学		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		現代文化論		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		異文化間コミュニティ論		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		芸術文化論		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		歴史学概論		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		英語圏文化論		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		ヨーロッパ語圏文化論		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		アジア圏文化論		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		絵画基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		彫刻基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		工芸基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		デザイン基礎A		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		デザイン基礎B		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		書法基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		フランス語コミュニケーション基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2	0	20	0	0	0	0	60	20	100
		特別研究	6		5	0	5	5	0	5	20	60	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目								重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	
専門教育科目	プログラム基礎科目	ジェンダー論A		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		ジェンダー論B		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		ジェンダー論C		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		ジェンダー論D		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		ジェンダー論E		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		複合エスニシティ論A		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		複合エスニシティ論B		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		複合エスニシティ論C		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		複合エスニシティ論D		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		異文化コミュニケーション論A		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		異文化コミュニケーション論B		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		異文化コミュニケーション論C		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		異文化コミュニケーション論D		2	60	20	5	5	5	5	0	0	100
		文化記号論Ⅱ		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		文化記号論Ⅲ		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		日本史講義B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		日本思想史講義B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		日本思想史講義D		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		アジア史講義A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		アジア史講義B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		西洋史講義A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		西洋史講義B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		西洋史講義C		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		ドイツ語学講義A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		ドイツ語学講義B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		ドイツ語学講義C		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		ドイツ文学講義A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		ドイツ文学講義B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		フランス文化論講義 B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		フランス文化論講義 C		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		ロシア語学講義A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		ロシア語学講義B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		ロシア語学講義C		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		英米文化論講義G		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		英米文化論講義H		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		英米文学講義B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		言語習得論B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		日本文学講義Ⅳ		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		日本語学講義A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		中国思想史講義Ⅱ		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		中国語学講義D		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		社会学概論		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		行動科学統計法B		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		人格心理学（人格心理学概論）		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		臨床心理学		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		人間学		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		家族社会学		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		民法（家族法） Ⅰ		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		民法（家族法） Ⅱ		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		社会保障論Ⅰ		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		社会保障論Ⅱ		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		環境文化論Ⅰ		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		環境文化論Ⅱ		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		国際開発と環境・貧困		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目								重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	
専門教育科目	プログラム展開科目	ジェンダー論特講A		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		ジェンダー論特講B		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		ジェンダー論特講C		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		ジェンダー論特講D		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		複合エスニシティ論特講A		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		複合エスニシティ論特講B		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		複合エスニシティ論特講C		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		複合エスニシティ論特講D		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		異文化コミュニケーション論特講A		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		異文化コミュニケーション論特講B		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		異文化コミュニケーション論特講C		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		異文化コミュニケーション論特講D		2	15	20	40	5	5	5	5	5	100
		ジェンダー論演習A		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		ジェンダー論演習B		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		ジェンダー論演習C		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		ジェンダー論演習D		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		複合エスニシティ論演習A		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		複合エスニシティ論演習B		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		複合エスニシティ論演習C		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		複合エスニシティ論演習D		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		異文化コミュニケーション論演習A		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		異文化コミュニケーション論演習B		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		異文化コミュニケーション論演習C		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		異文化コミュニケーション論演習D		2	5	0	5	40	5	30	5	10	100
		社会文化思想論特講A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		社会文化思想論特講B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		消費文化論特講		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		メディア文化論特講A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		メディア文化論特講B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		現代文化特講A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		現代文化特講B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		芸術文化論特講　B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		音楽文化論特講　B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		西洋史特講A		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		西洋史特講B		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		西洋史特講C		2	15	40	40	0	5	0	0	0	100
		文化心理学		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		文化人類学		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		人間学特講A		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		応用倫理学		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		家族社会学特講A		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		家族社会学特講B		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		地域社会学特講B		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		スポーツＮＰＯ論		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100
		環境思想史		2	10	40	40	0	10	0	0	0	100

人間文化課程課程科目，歴史専修プログラム主専修プログラム科目

歴史専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

歴史専修プログラムでは，日本・アジア・西洋の過去を横断的に学び，現代の諸問題の歴史的背景を理解するとともに，過去との対話を通して現代を相対化して捉える能力を身につけ，流動性や越境性を増す現代社会で活躍できる，歴史的視座と国際的視野，および比較の視点を有する人材の養成を目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　人間と文化に関する幅広い知識と教養を有し，国際的な視野に立って異文化を理解することができる。

2．　日本・アジア・西洋各国の歴史に関する横断的，基礎的な知識を有し，現代の諸問題の歴史的背景を理解している。

（思考・判断）

3．　日本・アジア・西洋各国の政治・経済・社会・文化・思想などについて歴史的視座から検討し，また国際的視野から比較することを通して，現代の諸地域の政治・経済・社会・文化・思想などを相対化し，問い直すことのできる能力を身につけている。

（技能・表現）

4．　文献資料あるいは非文献資料を適切に取り扱い，読み解く能力を身につけている。また，従来の研究成果を批判的に検討し，自らの見解を論理的に組み立て，資料に基づいて適切に発表することができる。

（関心・意欲・態度）

5．　日本・アジア・西洋各国の歴史に関する諸問題について自らの課題を見出し，主体的に探究する意欲を持っている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目					重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	
専門教育科目	課程導入科目	人間文化入門	2		80		20			100
		人間文化研究	2		80		20			100
	課程共通科目	国際交流研修		2	80		20			100
		国際課題研修（芸術）		2	80		20			100
		日本語表現基礎		2	80			20		100
		日本語読解基礎		2	80			20		100
		ドイツ語基礎		2	80			20		100
		フランス語基礎		2	80			20		100
		ロシア語基礎		2	80			20		100
		中国語基礎		2	80			20		100
		韓国語基礎		2	80			20		100
		社会調査法		2	80			20		100
		人間行動論		2	80		20			100
		スポーツ科学		2	80		20			100
		現代文化論		2	80		20			100
		異文化間コミュニティ論		2	80		20			100
		芸術文化論		2	80		20			100
		歴史学概論		2	80		20			100
		英語圏文化論		2	80		20			100
		ヨーロッパ語圏文化論		2	80		20			100
		アジア圏文化論		2	80		20			100
		絵画基礎		2	80		20			100
		彫刻基礎		2	80		20			100
		工芸基礎		2	80		20			100
		デザイン基礎Ａ		2	80		20			100
		デザイン基礎Ｂ		2	80		20			100
		書法基礎		2	80		20			100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2	80		20			100
		フランス語コミュニケーション基礎		2	80		20			100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2	80		20			100
		特別研究	6			10	20	20	50	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目					重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	
専門教育科目	プログラム基礎科目	歴史資料論	2		80			20		100
		史学史	2		80		20			100
		日本史講義A		2	80		20			100
		日本史講義B		2	80		20			100
		日本思想史講義A		2	80		20			100
		日本思想史講義B		2	80		20			100
		日本思想史講義C		2	80		20			100
		日本思想史講義D		2	80		20			100
		アジア史講義A		2	80		20			100
		アジア史講義B		2		80	20			100
		アジア史講読A		2			30	70		100
		アジア史講読B		2			30	70		100
		アジア史講読C		2			30	70		100
		アジア史講読D		2			30	70		100
		西洋史講義A		2		80	20			100
		西洋史講義B		2		80	20			100
		西洋史講義C		2		80	20			100
		社会文化思想論Ⅰ		2		80	20			100
		社会文化思想論Ⅱ		2		80	20			100
		社会文化思想論Ⅲ		2		80	20			100
		社会文化思想論Ⅳ		2		80	20			100
		漢文		2		80		20		100
		ギリシャ語		2		80		20		100
		ラテン語		2		80		20		100
		総合英語A		2		80		20		100
		総合英語B		2		80		20		100
		総合ドイツ語A		2		80		20		100
		総合ドイツ語B		2		80		20		100
		総合ドイツ語C		2		80		20		100
		総合フランス語A		2		80		20		100
		総合フランス語B		2		80		20		100
		総合フランス語C		2		80		20		100
		総合ロシア語		2		80		20		100
		考古学講義A		2		80	20			100
		考古学講義B		2		80	20			100
		中国思想史講義Ⅰ		2		80	20			100
		中国思想史講義Ⅱ		2		80	20			100
		表象文化論A		2		80	20			100
		表象文化論B		2		80	20			100
		ジェンダー論D		2		80	20			100
		ジェンダー論E		2		80	20			100
		複合エスニシティ論B		2		80	20			100
		複合エスニシティ論C		2		80	20			100
		日本文学講義Ⅰ		2		80	20			100
		日本文学講義Ⅱ		2		80	20			100
		日本文学講義Ⅲ		2		80	20			100
		日本文学講義Ⅳ		2		80	20			100
		日本語学講義A		2		80	20			100
		日本古典講読Ⅰ		2		80		20		100
		日本古典講読Ⅱ		2		80		20		100
		ドイツ文学講義A		2		80	20			100
		ドイツ文学講義B		2		80	20			100
		ドイツ文学講義C		2		80	20			100
		フランス文学講義A		2		80	20			100
		フランス文学講義B		2		80	20			100
		フランス文化論講義B		2		80	20			100
		フランス文化論講義C		2		80	20			100
		音楽文化史A		2		80	20			100
		音楽文化史B		2		80	20			100
		書道史		2		80	20			100
		美学芸術学入門		2		80	20			100
		基礎法A		2		80	20			100
		基礎法B		2		80	20			100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目					重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	
専門教育科目	プログラム展開科目	日本史特講A		2		20	50	30		100
		日本史特講B		2		20	50	30		100
		日本史特講C		2		20	50	30		100
		日本史特講D		2		20	50	30		100
		日本史講読A		2			30	70		100
		日本史講読B		2			30	70		100
		日本史講読C		2			30	70		100
		日本史講読D		2			30	70		100
		日本史演習Ⅰ		2			40	40	20	100
		日本史演習Ⅱ		2			40	40	20	100
		日本史演習Ⅲ		2			40	40	20	100
		日本史演習Ⅳ		2			40	40	20	100
		日本思想史特講A		2		20	50	30		100
		日本思想史特講B		2		20	50	30		100
		日本思想史特講C		2		20	50	30		100
		日本思想史講読Ⅰ		2			30	70		100
		日本思想史講読Ⅱ		2			30	70		100
		日本思想史演習Ⅰ		2			40	40	20	100
		日本思想史演習Ⅱ		2			40	40	20	100
		日本思想史演習Ⅲ		2			40	40	20	100
		日本思想史演習Ⅳ		2			40	40	20	100
		アジア史特講A		2		20	50	30		100
		アジア史特講B		2		20	50	30		100
		アジア史特講C		2		20	50	30		100
		アジア史特講D		2		20	50	30		100
		アジア史特講E		2		20	50	30		100
		アジア史演習A		2			40	40	20	100
		アジア史演習B		2			40	40	20	100
		アジア史演習C		2			40	40	20	100
		アジア史演習D		2			40	40	20	100
		西洋史特講A		2		20	50	30		100
		西洋史特講B		2		20	50	30		100
		西洋史特講C		2		20	50	30		100
		西洋史講読A		2			30	70		100
		西洋史講読B		2			30	70		100
		西洋史講読C		2			30	70		100
		西洋史講読D		2			30	70		100
		西洋史講読E		2			30	70		100
		西洋史演習A		2			40	40	20	100
		西洋史演習B		2			40	40	20	100
		西洋史演習C		2			40	40	20	100
		西洋史演習D		2			40	40	20	100
		社会文化思想論特講A		2		20	50	30		100
		社会文化思想論特講B		2		20	50	30		100
		社会文化思想論演習A		2			40	40	20	100
		社会文化思想論演習B		2			40	40	20	100
		社会文化思想論演習C		2			40	40	20	100
		社会文化思想論演習D		2			40	40	20	100
		考古学各論A		2		20	50	30		100
		考古学各論B		2		20	50	30		100
		中国思想史特講A		2		20	50	30		100
		中国思想史特講B		2		20	50	30		100
		家族社会学特講A		2		20	50	30		100
		美術史Ⅰ		2		20	50	30		100
		美術史Ⅱ		2		20	50	30		100
		中国語学演習C		2			40	40	20	100
		環境思想史		2		20	50	30		100
		日本経済史		2		20	50	30		100
		西洋経済史		2		20	50	30		100

人間文化課程課程科目，芸術文化専修プログラム主専修プログラム科目

芸術文化専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

芸術文化専修プログラムでは，社会における文化・芸術のあり方に関する総合的な学修を基礎として，生涯教育活動の中核となる芸術文化の実践によって，地域における文化の活性化，および地域からの文化発信に貢献できる人材の養成を目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。
2．　芸術文化の諸領域に関して総合的な素養を身に付けている。
3．　現代的状況や地域社会の下で，多様な視点から芸術文化を理解することができる。
4．　芸術文化におけるアート・デザイン・クラフト・理論の諸領域のいずれかに関して深い知識を有している。

（思考・判断）

5．　芸術文化について，作品鑑賞や文献を使って自主的に学習し思考することができる。
6．　探求する課題について論理的に思考・判断することができる。

（技能・表現）

7．　芸術文化におけるアート・デザイン・クラフト・理論の諸領域のいずれかに関して，実践的あるいは論理的な技能を身に付け，作品あるいは文章によって表現することができる。
8．　探求する課題について，制作あるいは文章によって自分の考えを展開し，表現することができる。

（関心・意欲）

9．　芸術文化に関する関心を持ち，自ら進んで学ぶ意欲を有している。

（態度）

10．　強い責任感を持って，専門分野を社会に活かそうとする態度を身に付けている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	入門科目	人間文化入門	2		100										100
	課程導入	人間文化研究	2		100										100
	課程共通科目	国際交流研修		2	100										100
		国際課題研修（芸術）		2			80						20		100
		日本語表現基礎		2	100										100
		日本語読解基礎		2	100										100
		ドイツ語基礎		2	100										100
		フランス語基礎		2	100										100
		ロシア語基礎		2	100										100
		中国語基礎		2	100										100
		韓国語基礎		2	100										100
		社会調査法		2	100										100
		人間行動論		2	100										100
		スポーツ科学		2	100										100
		現代文化論		2	100										100
		異文化間コミュニティ論		2	100										100
		芸術文化論		2	20	80									100
		歴史学概論		2	100										100
		英語圏文化論		2	100										100
		ヨーロッパ語圏文化論		2	100										100
		アジア圏文化論		2	100										100
		絵画基礎		2		80					20				100
		彫刻基礎		2		80					20				100
		工芸基礎		2		80					20				100
		デザイン基礎A		2		80					20				100
		デザイン基礎B		2		80					20				100
		書法基礎		2		80					20				100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2	100										100
		フランス語コミュニケーション基礎		2	100										100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2	100										100
		特別研究	6							50		50			100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム基礎科目	プロジェクト実践演習（基礎）	2										80	20	100
		美学芸術学入門		2		20	80								100
		デザイン論		2		20	80								100
		色彩演習		2		20					80				100
		美術史入門		2		20	80								100
		書道史		2		20	80								100
		音楽文化史A		2		20	80								100
		音楽文化史B		2		20	80								100
		音楽理論Ⅰ		2		20		80							100
		音楽理論Ⅱ		2		20		80							100
		造形実習（絵画）A		1				20			80				100
		造形実習（絵画）B		1				20			80				100
		造形実習（絵画）C		1				20			80				100
		造形実習（絵画）D		1				20			80				100
		造形実習（絵画）E		1				20			80				100
		造形実習（絵画）F		1				20			80				100
		造形実習（彫刻）A		1				20			80				100
		造形実習（彫刻）B		1				20			80				100
		造形実習（彫刻）C		1				20			80				100
		造形実習（彫刻）D		1				20			80				100
		造形実習（彫刻）E		1				20			80				100
		造形実習（彫刻）F		1				20			80				100
		造形実習（版画）Ⅰ		1				20			80				100
		造形実習（版画）Ⅱ		1				20			80				100
		造形実習（デザイン）A		1				20			80				100
		造形実習（デザイン）B		1				20			80				100
		造形実習（デザイン）C		1				20			80				100
		造形実習（デザイン）D		1				20			80				100
		造形実習（デザイン）E		1				20			80				100
		造形実習（デザイン）F		1				20			80				100
		造形実習（金工）A		1				20			80				100
		造形実習（金工）B		1				20			80				100
		造形実習（金工）C		1				20			80				100
		造形実習（金工）D		1				20			80				100
		造形実習（金工）E		1				20			80				100
		造形実習（金工）F		1				20			80				100
		造形実習（窯芸）Ⅰ		1				20			80				100
		造形実習（窯芸）Ⅱ		1				20			80				100
		造形実習（染織）Ⅰ		1				20			80				100
		造形実習（染織）Ⅱ		1				20			80				100
		造形実習（視覚文化）A		1				20			80				100
		造形実習（視覚文化）B		1				20			80				100
		造形実習（視覚文化）C		1				20			80				100
		造形実習（視覚文化）D		1				20			80				100
		造形実習（視覚文化）E		1				20			80				100
		造形実習（視覚文化）F		1				20			80				100
		造形実習（中国書法）A		1				20			80				100
		造形実習（中国書法）B		1				20			80				100
		造形実習（中国書法）C		1				20			80				100
		造形実習（中国書法）D		1				20			80				100
		造形実習（中国書法）E		1				20			80				100
		造形実習（中国書法）F		1				20			80				100
		造形実習（日本書法）A		1				20			80				100
		造形実習（日本書法）B		1				20			80				100
		造形実習（日本書法）C		1				20			80				100
		造形実習（日本書法）D		1				20			80				100
		造形実習（日本書法）E		1				20			80				100
		造形実習（日本書法）F		1				20			80				100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム展開科目	プロジェクト実践演習（発展）Ⅰ	2										20	80	100
		プロジェクト実践演習（発展）Ⅱ	2										20	80	100
		プロジェクト実践演習（発展）Ⅲ	2										20	80	100
		美術史Ⅰ		2				80			20				100
		美術史Ⅱ		2				80			20				100
		書学		2				80			20				100
		芸術文化論特講 A		2				80			20				100
		芸術文化論特講 B		2				80			20				100
		音楽文化論特講 A		2				80			20				100
		音楽文化論特講 B		2				80			20				100
		芸術文化論演習A		2					80			20			100
		芸術文化論演習B		2					80			20			100
		芸術文化論演習C		2					80			20			100
		芸術文化論演習D		2					80			20			100
		美術史演習A		2					80			20			100
		美術史演習B		2					80			20			100
		美術史演習C		2					80			20			100
		美術史演習D		2					80			20			100
		造形演習（絵画）A		2								80	20		100
		造形演習（絵画）B		2								80	20		100
		造形演習（絵画）C		2								80	20		100
		造形演習（絵画）D		2								80	20		100
		造形演習（彫刻）A		2								80	20		100
		造形演習（彫刻）B		2								80	20		100
		造形演習（彫刻）C		2								80	20		100
		造形演習（彫刻）D		2								80	20		100
		造形演習（版画）Ⅰ		2								80	20		100
		造形演習（版画）Ⅱ		2								80	20		100
		造形演習（デザイン）A		2								80	20		100
		造形演習（デザイン）B		2								80	20		100
		造形演習（デザイン）C		2								80	20		100
		造形演習（デザイン）D		2								80	20		100
		造形演習（金工）A		2								80	20		100
		造形演習（金工）B		2								80	20		100
		造形演習（金工）C		2								80	20		100
		造形演習（金工）D		2								80	20		100
		造形演習（窯芸）Ⅰ		2								80	20		100
		造形演習（窯芸）Ⅱ		2								80	20		100
		造形演習（染織）Ⅰ		2								80	20		100
		造形演習（染織）Ⅱ		2								80	20		100
		造形演習（視覚文化）A		2								80	20		100
		造形演習（視覚文化）B		2								80	20		100
		造形演習（視覚文化）C		2								80	20		100
		造形演習（視覚文化）D		2								80	20		100
		造形演習（応用書法）Ⅰ		2								80	20		100
		造形演習（応用書法）Ⅱ		2								80	20		100
		造形演習（応用書法）Ⅲ		2								80	20		100
		造形演習（応用書法）Ⅳ		2								80	20		100
		著作権概論		2				50	50						100

人間文化課程課程科目，英語圏文化専修プログラム主専修プログラム科目

英語圏文化専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

英語圏文化専修プログラムでは，英語圏の文化・文学・言語について深い理解と英語の高度なコミュニケーション能力を通して，グローバル社会で活躍できる人材を養成することを目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。
2．　国際的な視野に立って異文化を理解することができる。
3．　英語圏の文化・文学・言語・英語習得の諸分野に関して総合的な素養を身に付けている。
4．　英語圏の文化・文学・言語・英語習得の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。

（思考・判断）

5．　英語圏の文化・文学・言語について，英語の資料や文献を使って自主的に学習し思考することができる。
6．　探求する課題について論理的に思考・判断することができる。

（技能・表現）

7．　実践的な英語コミュニケーション能力を身に付け，英語圏の人と英語で交流することができる。
8．　探求する課題について，論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。

（関心・意欲）

9．　英語圏の文化と言語に関する関心を持ち，自ら進んで学ぶ意欲を有している。

（態度）

10．　強い責任感を持って，専門分野で得た知識や技能を社会に活かそうとする態度を身に付けている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	入課科程目導	人間文化入門	2		100										100
		人間文化研究	2		100										100
	課程共通科目	国際交流研修		2		100									100
		国際課題研修（芸術）		2		100									100
		日本語表現基礎		2						50		50			100
		日本語読解基礎		2						50		50			100
		ドイツ語基礎		2		100									100
		フランス語基礎		2		100									100
		ロシア語基礎		2		100									100
		中国語基礎		2		100									100
		韓国語基礎		2		100									100
		社会調査法		2	60							40			100
		人間行動論		2	60							40			100
		スポーツ科学		2	60							40			100
		現代文化論		2	60							40			100
		異文化間コミュニティ論		2	60							40			100
		芸術文化論		2	60							40			100
		歴史学概論		2	60							40			100
		英語圏文化論		2		60							40		100
		ヨーロッパ語圏文化論		2	40	60									100
		アジア圏文化論		2	40	60									100
		絵画基礎		2	100										100
		彫刻基礎		2	100										100
		工芸基礎		2	100										100
		デザイン基礎A		2	100										100
		デザイン基礎B		2	100										100
		書法基礎		2	100										100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2	50	50									100
		フランス語コミュニケーション基礎		2	50	50									100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2	50	50									100
		特別研究	6					25	25	25		25			100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム基礎科目	英米文化論講義A		2	20	40		20					20		100
		英米文化論講義B		2	20	40		20					20		100
		英米文化論講義C		2	20	40		20					20		100
		英米文化論講義D		2	20	40		20					20		100
		英米文化論講義E		2	20	40		20					20		100
		英米文化論講義F		2	20	40		20					20		100
		英米文化論講義G		2	20	40		20					20		100
		英米文化論講義H		2	20	40		20					20		100
		英米文学講義A		2	20	40		20					20		100
		英米文学講義B		2	20	40		20					20		100
		英米文学講義C		2	20	40		20					20		100
		英米文学講義D		2	20	40		20					20		100
		言語習得論A		2				40	20	20		20			100
		言語習得論B		2				40	20	20		20			100
		英語学講義A		2		20	60		20						100
		英語学講義B		2		20	60		20						100
		英語学講義C		2		20	60		20						100
		英語学講義D		2		20	60		20						100
		英語学講義E		2		20	60		20						100
		英語学講義F		2		20	60		20						100
		総合英語A		2					30		30	40			100
		総合英語B		2					30		30	40			100
		英語コミュニケーション基礎Ⅰ	2			20					60		20		100
		英語コミュニケーション基礎Ⅱ		2		20					60		20		100
		英語コミュニケーション発展Ⅰ	2			20					60		20		100
		英語コミュニケーション発展Ⅱ		2		20					60		20		100
		西洋史講義A		2	50	50									100
		西洋史講義B		2	50	50									100
		西洋史講義C		2	50	50									100
		ギリシャ語		2	20	20	60								100
		ラテン語		2	20	20	60								100
		アカデミック・イングリッシュⅠ		2		40					60				100
		アカデミック・イングリッシュⅡ		2		40					60				100
		パワーアップ・イングリッシュA		2		40					60				100
		パワーアップ・イングリッシュB		2		40					60				100
		スキルアップ・イングリッシュA		2		40					60				100
		スキルアップ・イングリッシュB		2		40					60				100
		英米文学演習A		2		20		20	30			20	10		100
	プログラム展開科目	英米文学演習B		2		20		20	30			20	10		100
		英米文学演習C		2		20		20	30			20	10		100
		英米文学演習D		2		20		20	30			20	10		100
		英米文学演習E		2		20		20	30			20	10		100
		英米文学演習F		2		20		20	30			20	10		100
		英米文学演習G		2		20		20	30			20	10		100
		英米文学演習H		2		20		20	30			20	10		100
		英米文化論演習A		2		20		20	30			20	10		100
		英米文化論演習B		2		20		20	30			20	10		100
		英米文化論演習C		2		20		20	30			20	10		100
		英米文化論演習D		2		20		20	30			20	10		100
		英語習得論演習A		2				25	25	25		25			100
		英語習得論演習B		2				25	25	25		25			100
		英語習得論演習C		2				25	25	25		25			100
		英語習得論演習D		2				25	25	25		25			100
		英語学演習A		2				20	20	20		20	20		100
		英語学演習B		2				20	20	20		20	20		100
		英語学演習C		2				20	20	20		20	20		100
		英語学演習D		2				20	20	20		20	20		100
		英語学演習E		2				20	20	20		20	20		100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム展開科目	英語学演習Ｆ		2				20	20	20		20	20		100
		英語学演習Ｇ		2				20	20	20		20	20		100
		英語学演習Ｈ		2				20	20	20		20	20		100
		英語コミュニケーション応用Ⅰ	2			20					60		20		100
		英語コミュニケーション応用Ⅱ		2		20					60		20		100
		英語コミュニケーション実践Ⅰ		2		20					60		20		100
		英語コミュニケーション実践Ⅱ		2		20					60		20		100
		英語発展ゼミナールⅠ		2			20	20		30			20	10	100
		英語発展ゼミナールⅡ		2			20	20		30			20	10	100
		Critical Thinking in English		2		20					60		20		100

人間文化課程課程科目，ヨーロッパ語圏文化専修プログラム主専修プログラム科目

ヨーロッパ語圏文化専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

ヨーロッパ語圏文化専修プログラムでは，ヨーロッパの諸言語（ドイツ語，フランス語，ロシア語）のコミュニケーション能力を養成するとともに，ヨーロッパ諸国の文化的特徴・社会事情の理解，文学作品・作家についての理解，ヨーロッパ諸言語の言語学的分析方法の習得などを通して，多文化・多言語化するグローバル化社会で活躍できる人材を養成することを目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。
2．　国際的な視野に立って異文化を理解することができる。
3．　ヨーロッパ諸国の言語・文化の諸相を，その歴史的背景や社会的背景も踏まえながら理解できる能力を有している。
4．　ヨーロッパ諸国の言語・文化・文学の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。

（思考・判断）

5．　ヨーロッパ社会における諸問題を探求するための広い視野に基づいた思考力と社会的背景を踏まえた判断力を有している。
6．　探求する課題について論理的に思考・判断することができる。

（技能・表現）

7．　グローバル化社会に対応できるコミュニケーション手段として個別言語を用いて発信できる能力を有している。
8．　探求する課題について，論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。

（関心・意欲）

9．　ヨーロッパの諸言語，文化に関する関心を持ち，自ら進んで学ぶ意欲を有している。

（態度）

10．　多様な文化を積極的に学修して多文化社会のあり方について主体的に探求する態度を有している。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	入門科目	人間文化入門	2		100										100
		人間文化研究	2		100										100
	課程共通科目	国際交流研修		2		100									100
		国際課題研修（芸術）		2		100									100
		日本語表現基礎		2								100			100
		日本語読解基礎		2								100			100
		ドイツ語基礎		2		30					70				100
		フランス語基礎		2		30					70				100
		ロシア語基礎		2		30					70				100
		中国語基礎		2		100									100
		韓国語基礎		2		100									100
		社会調査法		2	60							40			100
		人間行動論		2	60							40			100
		スポーツ科学		2	60							40			100
		現代文化論		2	60							40			100
		異文化間コミュニティ論		2	60							40			100
		芸術文化論		2	60							40			100
		歴史学概論		2	60							40			100
		英語圏文化論		2	40	60									100
		ヨーロッパ語圏文化論		2		100									100
		アジア圏文化論		2	40	60									100
		絵画基礎		2	100										100
		彫刻基礎		2	100										100
		工芸基礎		2	100										100
		デザイン基礎A		2	100										100
		デザイン基礎B		2	100										100
		書法基礎		2	100										100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2		5	15	15			50		15		100
		フランス語コミュニケーション基礎		2		5	15	15			50		15		100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2		5	15	15			50		15		100
		特別研究	6									100			100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー一項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム基礎科目	ドイツ語学講義A		2			60	20	5				15		100
		ドイツ語学講義B		2			60	20	5				15		100
		ドイツ語学講義C		2			60	20	5				15		100
		ドイツ文学講義A		2			60	20	5				15		100
		ドイツ文学講義B		2			60	20	5				15		100
		ドイツ文学講義C		2			60	20	5				15		100
		ドイツ文化論講義A		2			60	20	5				15		100
		ドイツ文化論講義B		2			60	20	5				15		100
		ドイツ文化論講義C		2			60	20	5				15		100
		フランス語学講義A		2			60	20	5				15		100
		フランス語学講義B		2			60	20	5				15		100
		フランス語学講義C		2			60	20	5				15		100
		フランス文学講義A		2			60	20	5				15		100
		フランス文学講義B		2			60	20	5				15		100
		フランス文学講義C		2			60	20	5				15		100
		フランス文化論講義A		2			60	20	5				15		100
		フランス文化論講義B		2			60	20	5				15		100
		フランス文化論講義C		2			60	20	5				15		100
		ロシア語学講義A		2			60	20	5				15		100
		ロシア語学講義B		2			60	20	5				15		100
		ロシア語学講義C		2			60	20	5				15		100
		ロシア文学・文化論講義		2			60	20	5				15		100
		総合ドイツ語A		2	5	10	15	15	0		30		25		100
		総合ドイツ語B		2	5	10	15	15	0		30		25		100
		総合ドイツ語C		2	5	10	15	15	0		30		25		100
		ドイツ語コミュニケーション発展A		2		5	10	15			55		15		100
		ドイツ語コミュニケーション発展B		2		5	10	15			55		15		100
		ドイツ語コミュニケーション発展C		2		5	10	15			55		15		100
		総合フランス語A		2	5	10	15	15	0		30		25		100
		総合フランス語B		2	5	10	15	15	0		30		25		100
		総合フランス語C		2	5	10	15	15	0		30		25		100
		フランス語コミュニケーション発展A		2		5	10	15			55		15		100
		フランス語コミュニケーション発展B		2		5	10	15			55		15		100
		フランス語コミュニケーション発展C		2		5	10	15			55		15		100
		総合ロシア語		2	5	10	15	15	0		30		25		100
		ロシア語コミュニケーション発展A		2		5	10	15			55		15		100
		ロシア語コミュニケーション発展B		2		5	10	15			55		15		100
		ロシア語コミュニケーション発展C		2		5	10	15			55		15		100
		英米文化論講義A		2	10	70					10	10			100
		英米文化論講義B		2	10	70					10	10			100
		英米文化論講義C		2	10	70					10	10			100
		英米文化論講義D		2	10	70					10	10			100
		英米文化論講義E		2	10	70					10	10			100
		英米文化論講義F		2	10	70					10	10			100
		英米文化論講義G		2	10	70					10	10			100
		英米文化論講義H		2	10	70					10	10			100
		英米文学講義A		2	10	70					10	10			100
		英米文学講義B		2	10	70					10	10			100
		英米文学講義C		2	10	70					10	10			100
		英米文学講義D		2	10	70					10	10			100
		言語習得論A		2	10	30					50	10			100
		言語習得論B		2	10	30					50	10			100
		英語学講義A		2	10	30					50	10			100
		英語学講義B		2	10	30					50	10			100
		英語学講義C		2	10	30					50	10			100
		英語学講義D		2	10	30					50	10			100
		英語学講義E		2	10	30					50	10			100
		英語学講義F		2	10	30					50	10			100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム基礎科目	総合英語A		2	10	20					60	10			100
		総合英語B		2	10	20					60	10			100
		ギリシャ語		2	30	20					40	10			100
		ラテン語		2	30	20					40	10			100
		西洋史講義A		2		10	20		40	20				10	100
		西洋史講義B		2		10	20		40	20				10	100
		西洋史講義C		2		10	20		40	20				10	100
		日本語学概説		2	20				40	40					100
		日本語学講義A		2	20				40	40					100
		日本語学講義B		2	20				40	40					100
		日本語学講義C		2	20				40	40					100
		日本語学講義D		2	20				40	40					100
		ジェンダー論B		2	10	25			10	15				40	100
		ジェンダー論D		2	10	25			10	15				40	100
		複合エスニシティ論B		2	10	25				25				40	100
		複合エスニシティ論D		2	10	25				25				40	100
		社会文化思想論Ⅰ		2	15	20			15	10				40	100
		社会文化思想論Ⅱ		2	15	20			15	10				40	100
		社会文化思想論Ⅲ		2	15	20			15	10				40	100
		社会文化思想論Ⅳ		2	15	20			15	10				40	100
		表象文化論A		2	15	20			15	10				40	100
		表象文化論B		2	15	20			15	10				40	100
		表象文化論C		2	15	20			15	10				40	100
		表象文化論D		2	15	20			15	10				40	100
		音楽文化史A		2	15	20			15	10				40	100
	プログラム展開科目	ドイツ語学演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		ドイツ語学演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		ドイツ語学演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		ドイツ文学演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		ドイツ文学演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		ドイツ文学演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		ドイツ文化論演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		ドイツ文化論演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス語学演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス語学演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス語学演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス文学演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス文学演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス文学演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス文化論演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス文化論演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		フランス文化論演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		ロシア語学演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		ロシア語学演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		ロシア語学演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		ロシア文学・文化論演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		ロシア文学・文化論演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		ロシア文学・文化論演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		ドイツ語コミュニケーション実践A		2		5	10	10			60		15		100
		ドイツ語コミュニケーション実践B		2		5	10	10			60		15		100
		ドイツ語コミュニケーション実践C		2		5	10	10			60		15		100
		ドイツ語作文A		2			5	10	10	15		50	10		100
		ドイツ語作文B		2			5	10	10	15		50	10		100
		ドイツ語作文C		2			5	10	10	15		50	10		100
		フランス語コミュニケーション実践A		2		5	10	10			60		15		100
		フランス語コミュニケーション実践B		2		5	10	10			60		15		100
		フランス語コミュニケーション実践C		2		5	10	10			60		15		100
		フランス語作文A		2			5	10	10	15		50	10		100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム展開科目	フランス語作文Ｂ		2			5	10	10	15		50	10		100
		ロシア語コミュニケーション実践Ａ		2		5	10	10			60		15		100
		ロシア語コミュニケーション実践Ｂ		2		5	10	10			60		15		100
		ロシア語コミュニケーション実践Ｃ		2		5	10	10			60		15		100
		ロシア語コミュニケーション実践Ｄ		2		5	10	10			60		15		100
		ロシア語コミュニケーション実践Ｅ		2		5	10	10			60		15		100
		ロシア語コミュニケーション実践Ｆ		2		5	10	10			60		15		100
		ロシア語作文		2			5	10	10	15		50	10		100
		アカデミック・イングリッシュⅠ		2		30					30			40	100
		アカデミック・イングリッシュⅡ		2		30					30			40	100
		英語コミュニケーション応用Ⅰ		2		30					30			40	100
		英語コミュニケーション応用Ⅱ		2		30					50			20	100
		英語コミュニケーション実践Ⅰ		2		30					50			20	100
		英語コミュニケーション実践Ⅱ		2		30					50			20	100
		西洋史特講Ａ		2		10	25		20	15			20	10	100
		西洋史特講Ｂ		2		10	25		20	15			20	10	100
		西洋史特講Ｃ		2		10	25		20	15			20	10	100
		ジェンダー論特講Ａ		2		10	10		20	30			5	25	100
		ジェンダー論特講Ｂ		2		10	10		20	30			5	25	100
		ジェンダー論特講Ｃ		2		10	10		20	30			5	25	100
		ジェンダー論特講Ｄ		2		10	10		20	30			5	25	100
		複合エスニシティ論特講Ａ		2		20	10		10	30			5	25	100
		複合エスニシティ論特講Ｂ		2		20	10		10	30			5	25	100
		複合エスニシティ論特講Ｃ		2		20	10		10	30			5	25	100
		複合エスニシティ論特講Ｄ		2		20	10		10	30			5	25	100
		社会文化思想論特講Ａ		2		10	25		20	15			20	10	100
		消費文化論特講		2		10	25		20	15			20	10	100
		表象文化論特講Ａ		2		10	25		20	15			20	10	100
		表象文化論特講Ｂ		2		10	25		20	15			20	10	100
		比較文学論特講Ａ		2	10	40				20		20		10	100
		人間学特講Ｂ		2									40	60	100

人間文化課程課程科目，アジア圏文化専修プログラム主専修プログラム科目

アジア圏文化専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

アジア圏文化専修プログラムでは，日本および中国を中心としたアジア地域の歴史的文化的特徴・社会事情の理解，文学作品・作家についての理解，日本語および中国語の言語学的分析方法の習得などを通して，多文化・多言語化するグローバル化社会で活躍できる人材を養成することを目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　人間と文化に関して幅広い知識と教養を有している。
2．　国際的な視野に立って異文化を理解することができる。
3．　アジア圏の言語・文化の諸相を，その歴史的背景や社会的背景も踏まえながら理解できる能力を有している。
4．　アジア圏の言語・文化・文学の諸分野のいずれかに関して深い知識を有している。

（思考・判断）

5．　アジア圏における諸問題を探求するための広い視野に基づいた思考力と社会的背景を踏まえた判断力を有している。
6．　探求する課題について論理的に思考・判断することができる。

（技能・表現）

7．　グローバル化社会に対応できるコミュニケーション手段として個別言語を用いて発信できる能力を有している。
8．　探求する課題について，論理的な文章によって自分の考えを表すことができる。

（関心・意欲）

9．　アジア圏の諸言語，文化に関する関心を持ち，自ら進んで学ぶ意欲を有している。

（態度）

10．　多様な文化を積極的に学修して多文化社会のあり方について主体的に探求する態度を有している。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	入門科目	人間文化入門	2		100										100
		人間文化研究	2		100										100
	課程共通科目	国際交流研修		2		100									100
		国際課題研修（芸術）		2		100									100
		日本語表現基礎		2								100			100
		日本語読解基礎		2								100			100
		ドイツ語基礎		2		30					70				100
		フランス語基礎		2		30					70				100
		ロシア語基礎		2		30					70				100
		中国語基礎		2		100									100
		韓国語基礎		2		100									100
		社会調査法		2	60							40			100
		人間行動論		2	60							40			100
		スポーツ科学		2	60							40			100
		現代文化論		2	60							40			100
		異文化間コミュニティ論		2	60							40			100
		芸術文化論		2	60							40			100
		歴史学概論		2	60							40			100
		英語圏文化論		2	40	60									100
		ヨーロッパ語圏文化論		2		100									100
		アジア圏文化論		2	40	60									100
		絵画基礎		2	100										100
		彫刻基礎		2	100										100
		工芸基礎		2	100										100
		デザイン基礎A		2	100										100
		デザイン基礎B		2	100										100
		書法基礎		2	100										100
		ドイツ語コミュニケーション基礎		2		5	15	15			50		15		100
		フランス語コミュニケーション基礎		2		5	15	15			50		15		100
		ロシア語コミュニケーション基礎		2		5	15	15			50		15		100
		特別研究	6									100			100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム基礎科目	日本史講義A		2			60	20	5				15		100
		日本史講義B		2			60	20	5				15		100
		日本思想史講義A		2			60	20	5				15		100
		日本思想史講義B		2			60	20	5				15		100
		日本思想史講義C		2			60	20	5				15		100
		日本思想史講義D		2			60	20	5				15		100
		アジア史講義A		2			60	20	5				15		100
		アジア史講義B		2			60	20	5				15		100
		アジア史講義C		2			60	20	5				15		100
		アジア史講義D		2			60	20	5				15		100
		アジア史講読A		2			60	20	5				15		100
		アジア史講読B		2			60	20	5				15		100
		アジア史講読C		2			60	20	5				15		100
		アジア史講読D		2			60	20	5				15		100
		日本文学講義Ⅰ		2			60	20	5				15		100
		日本文学講義Ⅱ		2			60	20	5				15		100
		日本文学講義Ⅲ		2			60	20	5				15		100
		日本文学講義Ⅳ		2			60	20	5				15		100
		日本語学概説		2	20				40	40					100
		日本語学講義A		2			60	20	5				15		100
		日本語学講義B		2			60	20	5				15		100
		日本語学講義C		2			60	20	5				15		100
		日本語学講義D		2			60	20	5				15		100
		日本語学講読A		2			60	20	5				15		100
		日本語学講読B		2			60	20	5				15		100
		日本語教授法講義Ⅰ		2			60	20	5				15		100
		日本語教授法講義Ⅱ		2			60	20	5				15		100
		日本古典講読Ⅰ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本古典講読Ⅱ		2			15	40	10	10		15	10		100
		中国思想史講義Ⅰ		2			60	20	5				15		100
		中国思想史講義Ⅱ		2			60	20	5				15		100
		中国文学講義Ⅰ		2			60	20	5				15		100
		中国文学講義Ⅱ		2			60	20	5				15		100
		中国語学講義A		2			60	20	5				15		100
		中国語学講義B		2			60	20	5				15		100
		中国語学講義C		2			60	20	5				15		100
		中国語学講義D		2			60	20	5				15		100
		中国語学講義E		2			60	20	5				15		100
		中国語学講義F		2			60	20	5				15		100
		中国語学講読A		2			60	20	5				15		100
		中国語学講読B		2			60	20	5				15		100
		中国語学講読C		2			60	20	5				15		100
		中国語学講読D		2			60	20	5				15		100
		中国語学講読E		2			60	20	5				15		100
		中国語学講読F		2			60	20	5				15		100
		考古学講義A		2			60	20	5				15		100
		考古学講義B		2			60	20	5				15		100
		書道史		2			60	20	5				15		100
		地域社会学		2			60	20	5				15		100
		漢文学概論		2			60	20	5				15		100
		漢文学講義		2			60	20	5				15		100
		複合エスニシティ論A		2	10	25				25				40	100
		複合エスニシティ論B		2	10	25				25				40	100
		複合エスニシティ論C		2	10	25				25				40	100
		複合エスニシティ論D		2	10	25				25				40	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目										重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門教育科目	プログラム展開科目	書学		2			60	20	5				15		100
		日本史特講A		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本史特講B		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本史特講C		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本史特講D		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本史講読A		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本史講読B		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本史講読C		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本史講読D		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本史演習Ⅰ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本史演習Ⅱ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本史演習Ⅲ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本史演習Ⅳ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本思想史特講A		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本思想史特講B		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本思想史特講C		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本思想史講読Ⅰ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本思想史講読Ⅱ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本思想史演習Ⅰ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本思想史演習Ⅱ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本思想史演習Ⅲ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本思想史演習Ⅳ		2			15	40	10	10		15	10		100
		アジア史特講A		2		10	25		20	15			20	10	100
		アジア史特講B		2		10	25		20	15			20	10	100
		アジア史特講C		2		10	25		20	15			20	10	100
		アジア史特講D		2		10	25		20	15			20	10	100
		アジア史特講E		2		10	25		20	15			20	10	100
		アジア史特講F		2		10	25		20	15			20	10	100
		アジア史演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		アジア史演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		アジア史演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		アジア史演習D		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本文学特講A		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本文学特講B		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本文学特講C		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本文学講読A		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本文学講読B		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本文学講読C		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本文学演習Ⅰ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本文学演習Ⅱ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本文学演習Ⅲ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本文学演習Ⅳ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本語学特講A		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本語学特講B		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本語学特講C		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本語学特講D		2		10	25		20	15			20	10	100
		日本語学演習Ⅰ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本語学演習Ⅱ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本語学演習Ⅲ		2			15	40	10	10		15	10		100
		日本語学演習Ⅳ		2			15	40	10	10		15	10		100
		中国思想史特講A		2		10	25		20	15			20	10	100
		中国思想史特講B		2		10	25		20	15			20	10	100
		中国文学特講A		2		10	25		20	15			20	10	100
		中国文学特講B		2		10	25		20	15			20	10	100
		中国語学特講A		2		10	25		20	15			20	10	100
		中国語学特講B		2		10	25		20	15			20	10	100
		中国語学演習A		2			15	40	10	10		15	10		100
		中国語学演習B		2			15	40	10	10		15	10		100
		中国語学演習C		2			15	40	10	10		15	10		100
		中国語学演習D		2			15	40	10	10		15	10		100
		考古学各論A		2	15	20			15	10				40	100
		考古学各論B		2	15	20			15	10				40	100
		社会文化思想論特講B		2	15	20			15	10				40	100

地域政策課程課程科目，政策法務専修プログラム主専修プログラム科目

政策法務専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

政策法務専修プログラムは，法学全体，とくに公法，刑事法，政治学などに関する学修に基づき，学部・課程および他専修プログラムにおける学修で得られた知見と合わせて，公共政策形成の観点から地域創生・地域マネジメントの課題に取り組むことのできる人材の養成を目的とする。この目的の下，本プログラムの教育課程は，公共政策形成に必要な専門的知識および法学的思考様式をもって，実際の政策立案・評価を効果的に行うことのできる能力の修得を目標とし，以下に示す条件を満たした者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　法・経済・環境に関する基礎的な知識を修得している。

2．　地域社会が抱える現実的な法的・政治的課題の内容や意義，歴史的経緯について的確に認識している。

（思考・判断）

3．　法と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解するための法学的思考様式を身につけている。

4．　法学的思考様式を用いて現実の社会的課題に関する判断を下す力を有している。

（技能・表現）

5．　法学全体に関する基礎的な観点および公法，刑事法，政治学を中心とする専門的な観点から，地域社会が抱える課題につき，法学的思考様式を用いて政策立案を行い，それを論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。

6．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。

（関心・意欲）

7．　地域社会が抱える課題の解決や地域創生・地域マネジメントに強い関心を持っている。

8．　本専修プログラムで修得した専門的視点を活かし，地域の問題解決のために社会に参画する意欲を持っている。

（態度）

9．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	課程入門科目導	地域政策入門Ａ	2		60	20	20							100
		地域政策入門Ｂ	2		40	30	10	20						100
	課程共通科目	民法（総則）Ⅰ	2		20	20	25	25				5	5	100
		民法（総則）Ⅱ		2	20	20	25	25				5	5	100
		経済学基礎Ⅰ	2		60						30	5	5	100
		経済学基礎Ⅱ		2	60						30	5	5	100
		環境政策論Ⅰ	2		60	10					20	5	5	100
		環境経済論Ⅰ		2	60						30	5	5	100
		特別研究	6			10		30	30	20			10	100
	プログラム基礎科目	憲法（人権）Ⅰ		2	10	30	30	20					10	100
		憲法（人権）Ⅱ		2	10	30	30	20					10	100
		憲法（統治機構）Ⅰ		2	10	30	30	20					10	100
		憲法（統治機構）Ⅱ		2	10	30	30	20					10	100
		刑法総論Ⅰ		2	10	30	10	30				10	10	100
		刑法総論Ⅱ		2	10	30	10	30				10	10	100
		政治学（政治過程）		2	20	20	10	20				20	10	100
		環境生態学Ａ		2		75					25			100
		自然環境学Ａ		2		75					25			100
		民法（物権）Ⅰ		2	10	20	25	25	10			5	5	100
		民法（物権）Ⅱ		2	10	20	25	25	10			5	5	100
		民法（債権総論）Ⅰ		2	20	10	20	25	10		10		5	100
		民法（債権総論）Ⅱ		2	20	10	20	25	10		10		5	100
		民法（債権各論）Ⅰ		2	20	10	20	25	10		10		5	100
		民法（債権各論）Ⅱ		2	20	10	20	25	10		10		5	100
		民法（家族法）Ⅰ		2	15	25	15	25				10	10	100
		民法（家族法）Ⅱ		2	15	25	15	25				10	10	100
		民法（相続法）		2	15	25	15	25				10	10	100
		労働法Ⅰ		2	15	15	25	25	10		5		5	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム基礎科目	労働法Ⅱ		2	15	15	25	25	10		5		5	100
		雇用管理法		2	15	15	25	25	10		5		5	100
		社会保障法		2	15	15	25	25	10		5		5	100
		刑法各論Ⅰ		2	10	30	10	30				10	10	100
		刑法各論Ⅱ		2	10	30	10	30				10	10	100
		刑事訴訟法Ⅰ		2	10	30	10	30	10			5	5	100
		刑事訴訟法Ⅱ		2	10	10	20	30	20			5	5	100
		行政法（作用法総論）Ⅰ		2	20	20	10	20				20	10	100
		行政法（作用法総論）Ⅱ		2		30	30	10				20	10	100
		行政法（救済法）Ⅰ		2	20	20	10	20				20	10	100
		行政法（救済法）Ⅱ		2		30	30	10				20	10	100
		政治学（政治理論）		2		30	30	10				20	10	100
		行政学Ⅰ		2	20	20	10	20				20	10	100
		行政学Ⅱ		2		30	30	10				20	10	100
		地方自治法		2		30	30	10				20	10	100
		刑事政策		2		20	10	20	10			30	10	100
		基礎法Ａ		2	30	10	30		20				10	100
		基礎法Ｂ		2	30	10	30		20				10	100
		財政学Ⅰ		2	60						30	5	5	100
		財政学Ⅱ		2	60						30	5	5	100
		社会保障論Ⅰ		2	60						30	5	5	100
		社会保障論Ⅱ		2	60						30	5	5	100
		環境政策論Ⅱ		2	60	10					20	5	5	100
	プログラム展開科目	地域政策実践演習Ａ		2				10	10	30	20	20	10	100
		地域政策実践演習Ｂ		2				10	10	30	20	20	10	100
		国際政治学Ⅰ		2	20	20	10	20				20	10	100
		国際政治学Ⅱ		2		30	30	10				20	10	100
		少年法		2		20	10	20	10			30	10	100
		法律学特講Ａ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｂ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｃ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｄ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｅ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｆ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		地方財政論		2	60						30	5	5	100
		公会計論		2	60						30	5	5	100
		政治学演習Ⅰ		2		10		20	20	20	10	10	10	100
		政治学演習Ⅱ		2		10		20	20	20	10	10	10	100
		憲法演習Ⅰ		2		20	30	20	10	10			10	100
		憲法演習Ⅱ		2		20	30	20	10	10			10	100
		民法（財産法）演習Ⅰ		2	5	10	10	10	20	30	5	5	5	100
		民法（財産法）演習Ⅱ		2	5	10	10	10	20	30	5	5	5	100
		民法（家族法）演習Ⅰ		2		10		30	15	15	10	10	10	100
		民法（家族法）演習Ⅱ		2		10		30	15	15	10	10	10	100
		商法演習Ⅰ		2	5	10	20	10	10	20	5	10	10	100
		商法演習Ⅱ		2	5	10	20	10	10	20	5	10	10	100
		刑法演習Ⅰ		2		10		30	20	20		10	10	100
		刑法演習Ⅱ		2		10		30	20	20		10	10	100
		刑事訴訟法演習Ⅰ		2		5	10	20	20	20	5	10	10	100
		刑事訴訟法演習Ⅱ		2		5	10	20	20	20	5	10	10	100
		労働法演習Ⅰ		2		5	15	20	20	25	5	5	5	100
		労働法演習Ⅱ		2		5	15	20	20	25	5	5	5	100
		理論経済学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		理論経済学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		政治経済学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		政治経済学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		財政学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		財政学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム展開科目	農業経済論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		農業経済論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		国際経済論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		国際経済論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		経営学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		経営学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		会計学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		会計学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境政策論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境政策論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境経済論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境経済論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境文化論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境文化論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境社会学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境社会学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		自然環境学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		自然環境学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境生態学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境生態学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100

地域政策課程課程科目，企業法務専修プログラム主専修プログラム科目

企業法務専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

企業法務専修プログラムは，法学全体，とくに民法（財産法），商法，労働法などに関する学修に基づき，学部・課程および他専修プログラムにおける学修で得られた知見と合わせて，企業法務の観点から地域創生・地域マネジメントの課題に取り組むことのできる人材の養成を目的とする。この目的の下，本プログラムの教育課程は，企業法務に必要な専門的知識および法学的思考様式をもって，地域産業が抱える諸問題の解決を実行ないし提言することのできる能力の修得を目標とし，以下に示す条件を満たした者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　法・経済・環境に関する基礎的な知識を修得している。

2．　地域産業が抱える現実的な法的（とくに私法に関する）課題の内容や意義，歴史的経緯について的確に認識している。

（思考・判断）

3．　法と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解するための法学的思考様式を身につけている。

4．　法学的思考様式を用いて現実の社会的課題に関する判断を下す力を有している。

（技能・表現）

5．　法学全体に関する基礎的な観点および民法（財産法），商法，労働法を中心とする専門的な観点から，地域産業が抱える課題につき，法学的思考様式を用いて政策立案を行い，それを論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。

6．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。

（関心・意欲）

7．　地域産業が抱える課題の解決や地域創生・地域マネジメントに強い関心を持っている。

8．　本専修プログラムで修得した専門的視点を活かし，地域産業の問題解決のために社会に参画する意欲を持っている。

（態度）

9．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	課程導入科目	地域政策入門Ａ	2		60	20	20							100
		地域政策入門Ｂ	2		40	30	10	20						100
	課程共通科目	民法（総則）Ⅰ	2		20	20	25	25				5	5	100
		民法（総則）Ⅱ		2	20	20	25	25				5	5	100
		経済学基礎Ⅰ	2		60						30	5	5	100
		経済学基礎Ⅱ		2	60						30	5	5	100
		環境政策論Ⅰ	2		60	10					20	5	5	100
		環境経済論Ⅰ		2	60						30	5	5	100
		特別研究	6			10		30	30	20			10	100
	プログラム基礎科目	民法（物権）Ⅰ		2	10	20	25	25	10			5	5	100
		民法（物権）Ⅱ		2	10	20	25	25	10			5	5	100
		民法（債権総論）Ⅰ		2	20	10	20	25	10		10		5	100
		民法（債権総論）Ⅱ		2	20	10	20	25	10		10		5	100
		民法（債権各論）Ⅰ		2	20	10	20	25	10		10		5	100
		民法（債権各論）Ⅱ		2	20	10	20	25	10		10		5	100
		会社法Ⅰ		2	10	20	20	25	10		10		5	100
		会社法Ⅱ		2	10	20	20	25	10		10		5	100
		労働法Ⅰ		2	15	15	25	25	10		5		5	100
		労働法Ⅱ		2	15	15	25	25	10		5		5	100
		環境生態学Ａ		2		75					25			100
		自然環境学Ａ		2		75					25			100
		憲法（人権）Ⅰ		2	10	30	30	20					10	100
		憲法（人権）Ⅱ		2	10	30	30	20					10	100
		民法（家族法）Ⅰ		2	15	25	15	25				10	10	100
		民法（家族法）Ⅱ		2	15	25	15	25				10	10	100
		民法（相続法）		2	15	25	15	25				10	10	100
		刑法総論Ⅰ		2	10	30	10	30				10	10	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム基礎科目	刑法総論Ⅱ		2	10	30	10	30				10	10	100
		刑法各論Ⅰ		2	10	30	10	30				10	10	100
		刑法各論Ⅱ		2	10	30	10	30				10	10	100
		商法（総則）		2	10	20	20	25	10		10		5	100
		商法（商取引法）		2	10	20	20	25	10		10		5	100
		民事訴訟法Ⅰ		2	10	30	30	10				10	10	100
		民事訴訟法Ⅱ		2	10	30	30	10				10	10	100
		雇用管理法		2	10	30	30	10				10	10	100
		基礎法Ａ		2	30	10	30		20				10	100
		基礎法Ｂ		2	30	10	30		20				10	100
		理論経済学Ⅰ		2	70						25		5	100
		理論経済学Ⅱ		2	70						25		5	100
		政治経済学Ⅰ		2	70						25		5	100
		政治経済学Ⅱ		2	70						25		5	100
		会計学Ⅰ		2	70						25		5	100
		会計学Ⅱ		2	70						25		5	100
		経営学総論Ⅰ		2	70						25		5	100
		経営学総論Ⅱ		2	70						25		5	100
		簿記論Ⅰ		2	70						25		5	100
		簿記論Ⅱ		2	70						25		5	100
		金融論		2	70						25		5	100
		環境経済論Ⅱ		2	70						25		5	100
	プログラム展開科目	地域政策実践演習Ａ		2				10	10	30	20	20	10	100
		地域政策実践演習Ｂ		2				10	10	30	20	20	10	100
		金融法		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		知的財産法		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ａ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｂ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｃ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｄ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｅ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		法律学特講Ｆ		2	20	20	25	10	10		5	5	5	100
		管理会計論		2	70						25		5	100
		企業論		2	70						25		5	100
		労働経済論		2	70						25		5	100
		環境経済論特講		2	70						25		5	100
		政治学演習Ⅰ		2		10		20	20	20	10	10	10	100
		政治学演習Ⅱ		2		10		20	20	20	10	10	10	100
		憲法演習Ⅰ		2		20	30	20	10	10			10	100
		憲法演習Ⅱ		2		20	30	20	10	10			10	100
		民法（財産法）演習Ⅰ		2	5	10	10	10	20	30	5	5	5	100
		民法（財産法）演習Ⅱ		2	5	10	10	10	20	30	5	5	5	100
		民法（家族法）演習Ⅰ		2		10		30	15	15	10	10	10	100
		民法（家族法）演習Ⅱ		2		10		30	15	15	10	10	10	100
		商法演習Ⅰ		2	5	10	20	10	10	20	5	10	10	100
		商法演習Ⅱ		2	5	10	20	10	10	20	5	10	10	100
		刑法演習Ⅰ		2		10		30	20	20		10	10	100
		刑法演習Ⅱ		2		10		30	20	20		10	10	100
		刑事訴訟法演習Ⅰ		2		5	10	20	20	20	5	10	10	100
		刑事訴訟法演習Ⅱ		2		5	10	20	20	20	5	10	10	100
		労働法演習Ⅰ		2		5	15	20	20	25	5	5	5	100
		労働法演習Ⅱ		2		5	15	20	20	25	5	5	5	100
		理論経済学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		理論経済学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		政治経済学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム展開科目	政治経済学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		財政学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		財政学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		農業経済論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		農業経済論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		国際経済論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		国際経済論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		経営学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		経営学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		会計学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		会計学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境政策論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境政策論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境経済論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境経済論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境文化論演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境文化論演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境社会学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境社会学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		自然環境学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		自然環境学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境生態学演習Ⅰ		2	15					30	20	20	15	100
		環境生態学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100
		環境生態学演習Ⅱ		2	15					30	20	20	15	100

地域政策課程課程科目，地域社会経済専修プログラム主専修プログラム科目

地域社会経済専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

（知識・理解）
1．　経済・法・環境に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。
2．　地域経済のしくみを総合的に理解するための専門的な知識を修得している。
（思考・判断）
3．　経済と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解する経済学的素養を身につけてい
4．　経済学をはじめとした専門的知識を活用し，地域経済のしくみとその課題を総合的に思考することができ
（技能・表現）
5．　地域経済に関連する資料・データ分析に基づいて地域経済の現象や課題を理論的・実証的に評価し，それらに基づく政策的判断ができる。
6．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。
（関心・意欲）
7．　地域経済が抱えるさまざまな諸問題や経済現象に強い関心を持っている。
8．　経済学をはじめとする専門的視点を活かして，地域経済の課題に主体的・実践的に取り組む意欲を持っている。
（態度）
9．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
課程科目	課程共通科目	地域政策入門A	2		70	10		10				10		100
		地域政策入門B	2		70	10		10				10		100
	課程導入科目	民法（総則）Ⅰ		2	80	10		10						100
		民法（総則）Ⅱ		2	80	10		10						100
		経済学基礎Ⅰ		2		70	20				10			100
		経済学基礎Ⅱ		2		70	20				10			100
		環境政策論Ⅰ		2	80	10		10						100
		環境経済論Ⅰ		2	80	10		10						100
		特別研究		2				10	50		10	20	10	100
専門教育科目	プログラム基礎科目	理論経済学Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		理論経済学Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		財政学Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		財政学Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		国際経済論A		2	10	40	20	10	10		10			100
		国際経済論B		2	10	40	20	10	10		10			100
		農業経済論Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		農業経済論Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		ミクロ経済学		2	10	40	20	10	10		10			100
		金融論		2	10	40	20	10	10		10			100
		経営学総論Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		経営学総論Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		会計学Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		会計学Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		経済外書講読		2	10	40	20	10	10		10			100
		簿記論Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		簿記論Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		憲法（統治機構）Ⅰ		2	80	10		10						100
		憲法（統治機構）Ⅱ		2	80	10		10						100
		行政学Ⅰ		2	80	10		10						100
		行政学Ⅱ		2	80	10		10						100
		行政法（作用法総論）Ⅰ		2	80	10		10						100
		行政法（作用法総論）Ⅱ		2	80	10		10						100
		環境政策論Ⅱ		2	80	10		10						100
		持続可能な社会論		2	80	10		10						100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム基礎科目	政治学（政治理論）		2	80	10		10						100
		環境経済論Ⅱ		2	80	10		10						100
		地域経済調査演習		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		地域経済実践演習		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		環境生態学Ａ		2	70	10		10				10		100
		自然環境学Ａ		2	70	10		10				10		100
	プログラム展開科目	応用マクロ経済学		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		経済数学（線形代数学）		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		経済数学（微分積分学）		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		日本経済史		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		西洋経済史		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		人的資源管理論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		経済思想		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		企業論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		労働経済論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		日本経済論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		公会計論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		国際開発と環境・貧困		2	80			10				10		100
		理論経済学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		理論経済学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		政治経済学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		政治経済学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		財政学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		財政学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		農業経済論演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		農業経済論演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		国際経済論演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		国際経済論演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		経営学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		経営学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		会計学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		会計学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		政治学演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		政治学演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		憲法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		憲法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		民法（財産法）演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		民法（財産法）演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		民法（家族法）演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		民法（家族法）演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		商法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		商法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		刑法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		刑法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		刑事訴訟法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		刑事訴訟法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		労働法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		労働法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境政策論演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境政策論演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境経済論演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		環境経済論演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		環境文化論演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境文化論演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境社会学演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境社会学演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		自然環境学演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		自然環境学演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境生態学演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境生態学演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100

地域政策課程課程科目，地域社会連携専修プログラム主専修プログラム科目

地域社会連携専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

（知識・理解）
1．　経済・法・環境に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。
2．　地域産業のしくみを総合的に理解するための専門的な知識を修得している。

（思考・判断）
3．　経済と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解する経済学的素養を身につけている。
4．　経済学をはじめとした専門的知識を活用し，地域産業のしくみとその課題を総合的に思考することができる。

（技能・表現）
5．　地域産業に関連する資料・データ分析に基づいて地域産業が抱える諸問題を理論的・実証的に評価し，それらに基づく政策的判断ができる。
6．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。

（関心・意欲）
7．　地域産業が抱えるさまざまな諸問題や経済現象に強い関心を持っている。
8．　経済学をはじめとする専門的視点を活かして，地域産業の課題に主体的・実践的に取り組む意欲を持っている。

（態度）
9．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
課程科目	課程共通科目	地域政策入門Ａ	2		70	10		10				10		100
		地域政策入門Ｂ	2		70	10		10				10		100
	課程導入科目	民法（総則）Ⅰ		2	80	10		10						100
		民法（総則）Ⅱ		2	80	10		10						100
		経済学基礎Ⅰ		2		70	20				10			100
		経済学基礎Ⅱ		2		70	20				10			100
		環境政策論Ⅰ		2	80	10		10						100
		環境経済論Ⅰ		2	80	10		10						100
		特別研究		2				10	50		10	20	10	100
専門教育科目	プログラム基礎科目	経営学総論Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		経営学総論Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		会計学Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		会計学Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		社会保障論Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		社会保障論Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		政治経済学Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		政治経済学Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		環境経済論Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		農業経済論Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		農業経済論Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		財政学Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		財政学Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		簿記論Ⅰ		2	10	40	20	10	10		10			100
		簿記論Ⅱ		2	10	40	20	10	10		10			100
		国際経済論Ａ		2	10	40	20	10	10		10			100
		国際経済論Ｂ		2	10	40	20	10	10		10			100
		行政学Ⅰ		2	70	10		10				10		100
		行政学Ⅱ		2	70	10		10				10		100
		会社法Ⅰ		2	70	10		10				10		100
		会社法Ⅱ		2	70	10		10				10		100
		労働法Ⅰ		2	70	10		10				10		100
		労働法Ⅱ		2	70	10		10				10		100
		社会保障法		2	70	10		10				10		100
		地方自治法		2	70	10		10				10		100
		持続可能な社会論		2	70	10		10				10		100
		環境政策論Ⅱ		2	70	10		10				10		100
		環境文化論Ⅰ		2	70	10		10				10		100
		環境文化論Ⅱ		2	70	10		10				10		100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム基礎科目	社会学概論		2	70	10		10				10		100
		環境社会学Ⅰ		2	70	10		10				10		100
		環境社会学Ⅱ		2	70	10		10				10		100
		地域経済調査演習		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		地域環境マネジメント実践演習		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		環境生態学Ａ		2	70	10		10				10		100
		自然環境学Ａ		2	70	10		10				10		100
	プログラム展開科目	地方財政論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		公会計論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		協同組合論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		マーケティング論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		管理会計論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		企業論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		日本経済論		2	10	10	10	10	30		20	10		100
		国際法Ａ		2	80			10				10		100
		国際法Ｂ		2	80			10				10		100
		国際政治学Ⅰ		2	80			10				10		100
		国際政治学Ⅱ		2	80			10				10		100
		家族社会学		2	80			10				10		100
		理論経済学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		理論経済学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		政治経済学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		政治経済学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		財政学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		財政学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		農業経済論演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		農業経済論演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		国際経済論演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		国際経済論演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		経営学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		経営学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		会計学演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		会計学演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		環境政策論演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境政策論演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境経済論演習Ⅰ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		環境経済論演習Ⅱ		2		10		10	30	20	10	10	10	100
		環境文化論演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境文化論演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境社会学演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境社会学演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		自然環境学演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		自然環境学演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境生態学演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		環境生態学演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		政治学演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		政治学演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		憲法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		憲法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		民法（財産法）演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		民法（財産法）演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		民法（家族法）演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		民法（家族法）演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		商法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		商法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		刑法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		刑法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		刑事訴訟法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		刑事訴訟法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100
		労働法演習Ⅰ		2	30			10	10	30		10	10	100
		労働法演習Ⅱ		2	30			10	10	30		10	10	100

地域政策課程課程科目，環境共生専修プログラム主専修プログラム科目

環境共生専修プログラム　ディプロマ・ポリシー

環境共生専修プログラムでは，環境学・法学・経済学の総合的学修を基礎に，環境学の専門的学修を環境政策・環境マネジメントの実践に活かし，持続可能な共生社会の構築に貢献できる人材の養成を目的としており，以下に示す能力を修得した者を主専修プログラム修了者とみなす。

（知識・理解）

1．　環境・法・経済に関する基礎的な知識を幅広く身につけている。

2．　文理融合に基づく環境学諸分野の研究手法と専門的な知識を修得している。

（思考・判断）

3．　環境と人間・社会のあり方について，相互の複雑な連関を踏まえて理解する能力を身につけている。

4．　環境学を始めとした専門的知識を活用し，環境問題の解決，「持続可能な共生社会」構築に向けた具体的な方策を総合的に思考・判断することができる。

（技能・表現）

5．　地域社会とその環境に関する調査・分析ができ，そこに潜む問題点やその解決法について，自らの見解・提言を論理的かつ的確に説明するスキルを身につけている。

6．　様々な集団の合意形成を図ることができる柔軟なコミュニケーション能力やプレゼンテーションのスキルを身につけている。

（関心・意欲）

7．　地球規模から身近な地域まで，多岐にわたる環境や環境問題に強い関心を持っている。

8．　環境学をはじめとする専門的視点を活かし，環境や地域の問題解決のために社会に参画する意欲を持っている。

（態度）

9．　中立公正な立場から高い倫理性を持って，専門分野を社会貢献に活かそうとする態度を身につけている。

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	課程入門科目導	地域政策入門Ａ	2		55	20	25							100
		地域政策入門Ｂ	2		45	20	25	10						100
	課程共通科目	民法（総則）Ⅰ	2		30	20	20	10				10	10	100
		民法（総則）Ⅱ		2	30	20	20	10				10	10	100
		経済学基礎Ⅰ	2		30	25	20	15					10	100
		経済学基礎Ⅱ		2	30	25	20	15					10	100
		環境政策論Ⅰ	2		35	10	10	10	10	10	10	5		100
		環境経済論Ⅰ		2	30	20	30	10			10			100
		特別研究	6			10		30	30	15			15	100
	プログラム基礎科目	環境政策論Ⅱ		2	5	30	25	10	5	10	10	5		100
		環境経済論Ⅱ		2	25	30	25	10			10			100
		環境文化論Ⅰ		2	15	30	25	10	10		10			100
		環境文化論Ⅱ		2	10	35	25	10	10			10		100
		環境社会学Ⅰ		2	10	35	25	10	10		10			100
		環境社会学Ⅱ		2		35	25	10	10		10	10		100
		持続可能な社会論	2			40		20		20	10	10		100
		環境生態学Ａ		2		30	25	15			10	10	10	100
		環境生態学Ｂ		2	5	25	25	15			10	10	10	100
		自然環境学Ａ		2		30	25	15			10	10	10	100
		自然環境学Ｂ		2	5	25	25	15			10	10	10	100
		環境統計学Ⅰ		2	60	20		10	10					100
		環境統計学Ⅱ		2	60	20		10	10					100
		憲法（統治機構）Ⅰ		2	30	25	20	15					10	100
		憲法（統治機構）Ⅱ		2	30	25	20	15					10	100
		地方自治法		2	30	25	20	15					10	100
		政治学（政治過程）		2	30	20	20	10				10	10	100
		政治学（政治理論）		2	30	20	20	10				10	10	100
		行政学Ⅰ		2	30	25	20	15					10	100
		行政学Ⅱ		2	30	25	20	15					10	100
		理論経済学Ⅰ		2	30	20	25	15					10	100
		理論経済学Ⅱ		2	30	25	25	10					10	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム基礎科目	経営学総論Ⅰ		2	30	25	20	15					10	100
		経営学総論Ⅱ		2	30	25	20	15					10	100
		農業経済論Ⅰ		2	25	25	20	10			10		10	100
		農業経済論Ⅱ		2	25	25	20	10			10		10	100
		財政学Ⅰ		2	30	25	20	15					10	100
		財政学Ⅱ		2	30	25	20	15					10	100
		ミクロ経済学		2	30	25	20	15					10	100
		国際開発と環境・貧困		2	10	20	15	15	10		30			100
		環境科学演習	2			25		15	15	15	15	15		100
		環境科学実験		2				25	35		20		20	100
		環境社会調査実習		2		10		15	20	10	15	15	15	100
		環境社会調査演習		2		15		30	25	10			20	100
		地域環境マネジメント実践演習		2				20	20		20	20	20	100
	プログラム展開科目	保全生物学		2		55		10			10	15	10	100
		景観生態学		2		60		10	10			10	10	100
		環境経済論特講		2	15	30	10	10		10	10	15		100
		環境文化論特講		2		40		10	10	10	10	10	10	100
		環境社会学特講		2		30		10	10	10	10	20	10	100
		環境思想史		2		55	15	10	10		10			100
		環境倫理学		2		25	20	10	10	10	5	10	10	100
		国際法A		2	30	25	20	15					10	100
		国際法B		2	30	25	20	15					10	100
		企業論		2	30	25	20	15					10	100
		地方財政論		2	20	20	10	10	10		10	10	10	100
		環境学特講A		2	30	20	20	10			10	10		100
		環境学特講B		2	30	20	20	10			10	10		100
		環境学特講C		2	30	20	20	10			10	10		100
		環境学特講D		2	30	20	20	10			10	10		100
		環境科学特講A		2	30	20	20	10			10	10		100
		環境科学特講B		2	30	20	20	10			10	10		100
		環境科学特講C		2	30	20	20	10			10	10		100
		環境政策論演習Ⅰ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境政策論演習Ⅱ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境経済論演習Ⅰ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境経済論演習Ⅱ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境文化論演習Ⅰ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境文化論演習Ⅱ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境社会学演習Ⅰ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境社会学演習Ⅱ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		自然環境学演習Ⅰ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		自然環境学演習Ⅱ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境生態学演習Ⅰ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		環境生態学演習Ⅱ		2		30	5	20	5	15	10		15	100
		政治学演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		政治学演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		憲法演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		憲法演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		民法（財産法）演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		民法（財産法）演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		民法（家族法）演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		民法（家族法）演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		商法演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		商法演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		刑法演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		刑法演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		刑事訴訟法演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		刑事訴訟法演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		労働法演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100

区分		授業科目	単位数		ディプロマ・ポリシー項目									重付合計
			必修	選択	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門教育科目	プログラム展開科目	労働法演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		理論経済学演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		理論経済学演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		政治経済学演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		政治経済学演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		財政学演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		財政学演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		農業経済論演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		農業経済論演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		国際経済論演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		国際経済論演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		経営学演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		経営学演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		会計学演習Ⅰ		2		10	10	30	10	15		10	15	100
		会計学演習Ⅱ		2		10	10	30	10	15		10	15	100

教育学部　カリキュラムチェックリスト

1．小学校教育コース

以下に小学校教育コースの学生が受講する講義を，1）教養教育科目，2）教職専門科目（共通），3）―13）サブコース科目に分けて示す．この内，1）教養教育科目，2）教職専門科目（共通）は，本コース学生に共通の科目群である．3）―13）サブコース科目は所属したサブコース毎に受講する科目群である．また，全学生は副免取得が卒業要件となっていることから，ここに表記した科目群に加えて，副免として取得する免許に応じて他コース欄に表記した科目群の科目を履修する必要がある．

1）教養教育科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	小学校教育コース						知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中二種				小一種＋特支一種												
			教科サブコース		教育・心理・特支サブコース		教育・心理・特支サブコース												
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
実践知	基礎ゼミナール	1							10					20		40	20	10	100
技法知・外国語	英語総合Ⅰ（初級）	1							30							50		20	100
	英語総合Ⅱ（初級）	1							30							50		20	100
	英語総合Ⅰ（中級）	1							30							50		20	100
	英語総合Ⅱ（中級）	1							30							50		20	100
	英語総合Ⅰ（上級）	1							30							50		20	100
	英語総合Ⅱ（上級）	1							30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（初級）	1							30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（初級）	1							30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（中級）	1							30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（中級）	1							30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（上級）	1							30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（上級）	1							30							50		20	100
	英語基礎	1							30							50		20	100
	英語発展Ａ（TOEIC初級）	1							30							50		20	100
	英語発展Ｂ（TOEIC初級）	1							30							50		20	100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース						知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中二種				小一種＋特支一種												
			教科サブコース		教育・心理・特支サブコース		教育・心理・特支サブコース												
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
技法知・外国語	英語発展C（TOEIC中級）	1							30							50		20	100
	英語発展D（TOEIC中級）	1							30							50		20	100
	英語発展E（実践英語）	1							30							50		20	100
	英語発展F（実践英語）	1							30							50		20	100
	英語発展G（科学英語）	1							30							50		20	100
	英語発展H（科学英語）	1							30							50		20	100
	初級ドイツ語（入門）	1							30							50		20	100
	初級ドイツ語（発展）	1							30							50		20	100
	中級ドイツ語	1							30							50		20	100
	初級フランス語（入門）	1							30							50		20	100
	初級フランス語（発展）	1							30							50		20	100
	中級フランス語	1							30							50		20	100
	初級ロシア語（入門）	1							30							50		20	100
	初級ロシア語（発展）	1							30							50		20	100
	中級ロシア語	1							30							50		20	100
	初級中国語（入門）	1							30							50		20	100
	初級中国語（発展）	1							30							50		20	100
	中級中国語	1							30							50		20	100
	初級韓国語（入門）	1							30							50		20	100
	初級韓国語（発展）	1							30							50		20	100
	中級韓国語	1							30							50		20	100
	上級日本語A	1							30							50		20	100
	上級日本語B	1							30							50		20	100
	上級日本語C	1							30							50		20	100
	上級日本語D	1							30							50		20	100
	上級日本語E	1							30							50		20	100
	上級日本語F	1							30							50		20	100
	上級日本語G	1							30							50		20	100
	上級日本語H	1							30							50		20	100
技法知・健スポ	健康・スポーツA	1							20							50		30	100
	健康・スポーツB	1							20							50		30	100
	健康・スポーツC（シーズン）	1							20							50		30	100
情報	情報基礎	2							30							50		20	100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース						知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中二種				小一種＋特支一種												
			教科サブコース		教育・心理・特支サブコース		教育・心理・特支サブコース												
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
学問知	哲学の世界	2							50									50	100
	倫理学の世界	2							50									50	100
	日本の思想と文化	2							50									50	100
	アジアの思想と文化	2							50									50	100
	欧米の思想と文化	2							50									50	100
	日本の歴史と文化	2							50									50	100
	アジアの歴史と文化	2							50									50	100
	欧米の歴史と文化	2							50									50	100
	ジェンダーの歴史と文化	2							50									50	100
	女性と科学の関係史	2							50									50	100
	大学の歴史と現在	2							50									50	100
	岩手大学ミュージアム学	2							50									50	100
	心の理解	2							50									50	100
	日本の文学	2							50									50	100
	言葉の世界	2							50									50	100
	中国の文学	2							50									50	100
	欧米の文学	2							50									50	100
	欧米の言語論	2							50									50	100
	芸術の世界	2							50									50	100
	日本語表現技術入門	2							50									50	100
	図書館への招待	2							50									50	100
	コミュニケーションの現在	2							50									50	100
	心と表象	2							50									50	100
	日本事情A	2							50									50	100
	日本事情B	2							50									50	100
	英語で学ぶ日本の文化	2							50									50	100
	市民生活と法	2							50									50	100
	憲法	2							50									50	100
	経済のしくみ	2							50									50	100
	現代社会と経済	2							50									50	100
	市民と政治	2							50									50	100
	現代政治を見る眼	2							50									50	100
	社会的人間論	2							50									50	100
	現代社会の社会学	2							50									50	100
	地域と生活	2							50									50	100
	地域と社会	2							50									50	100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース						知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中二種				小一種＋特支一種												
			教科サブコース		教育・心理・特支サブコース		教育・心理・特支サブコース												
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
学問知	対人関係の心理学	2							50									50	100
	知的財産入門	2							50									50	100
	知財ワークショップ	2							50									50	100
	キャリアを考える	2							50									50	100
	ボランティアとリーダーシップ	2							50									50	100
	科学・技術と現代社会	2							50									50	100
	現代の諸問題	2							50									50	100
	公共社会	2							50									50	100
	多文化コミュニケーションA	2							50									50	100
	多文化コミュニケーションB	2							50									50	100
	生命のしくみ	2							50									50	100
	自然のしくみ	2							50									50	100
	自然と数理	2							50									50	100
	数理のひろがり	2							50									50	100
	宇宙のしくみ	2							50									50	100
	物質の世界	2							50									50	100
	自然と法則	2							50									50	100
	自然と数理の世界	2							50									50	100
	自然の科学	2							50									50	100
	科学と技術の歴史	2							50									50	100
	くらしと科学技術	2							50									50	100
	科学技術	2							50									50	100
	「環境」を考える	2							50									50	100
	生活と環境	2							50									50	100
	都市と環境	2							50									50	100
	地域の環境保全を考える	2							50									50	100
	地球環境と社会	2							50									50	100
	水と環境	2							50									50	100
	廃棄物と環境	2							50									50	100
	植物栽培と環境テクノロジー	2							50									50	100
	森林と環境	2							50									50	100
	動物と環境	2							50									50	100
	人の暮らしと生物環境	2							50									50	100
	環境マネジメントと岩手大学	2							50									50	100
	環境の科学	2							50									50	100
	現代社会をみる視角	2							50									50	100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース						知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中二種				小一種＋特支一種												
			教科サブコース		教育・心理・特支サブコース		教育・心理・特支サブコース												
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
学問知	岩手の研究	2							50									50	100
	環境マネジメント実践学	2							50									50	100
	いわて学Ⅰ	2							50									50	100
	いわて学Ⅱ	2							50									50	100
	宮沢賢治の世界	2							50									50	100
	危機管理と復興	2							50									50	100
	持続可能なコミュニティーづくり実践学	2							50									50	100
	地元の企業に学ぶＥＳＤ	2							50									50	100
	地場産業・企業論	2							50									50	100
	三陸の研究	2							50									50	100
	自然災害と社会	2							50									50	100
	東北の歴史	2							50									50	100
	地域を考える	2							50									50	100
	地域と国際社会	2							50									50	100
	海外研修－世界から地域を考える－	2							50									50	100
実践知	初年次自由ゼミナール	1							10					20		40	20	10	100
実践知	地域課題演習A	2							10					20		40	20	10	100
	地域課題演習B	2							10					20		40	20	10	100
	地域課題演習C	2							10					20		40	20	10	100
	地域課題演習D	2							10					20		40	20	10	100
	地域課題演習E	2							10					20		40	20	10	100
	地域課題演習F	2							10					20		40	20	10	100
	地域課題演習G	2							10					20		40	20	10	100
	地域課題演習H	2							10					20		40	20	10	100

１．小学校教育コース

２）教職専門科目（共通科目）

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	小学校教育コース						知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中二種				小一種＋特支一種												
			教科サブコース		教育・心理・特支サブコース		教育・心理・特支サブコース												
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	教職入門	2	2		2		2			30						20	20	30	100
	教育概論	2	2		2		2		20	30			10				20	20	100
	教育の思想	2	2		2		2		30	30				20			20		100
	教育の歴史	2		2		2		2	20			20		20		10	20	10	100
	教育学特殊講義A	2		2		2		2	10	10		20			20	20	10	10	100
	教育心理学	2	2		2		2			20			20		20		20	20	100
	発達心理学	2	2		2		2			20			20		20		20	20	100
	特別支援教育	2	2		2		2		20	20		20					40		100
	教育法規	2	2		2		2		10			20		20		20	20	10	100
	学校経営・制度論	2		2		2		2		20		30		10		10	10	20	100
	教育学特殊講義C	2		2		2		2	20	10			20		20	10	10	10	100
	教育方法（小）	2	2		2		2		10	20			30		10	20	10		100
	小学校実践研究	1	1		1		1			10	30		10		30	10		10	100
	小学校の英語教育	2	2		2		2				40		20		20		10	10	100
	国語科教育法（小）	2	2		2		2			10	30				30	10	10	10	100
	社会科教育法（小）	2	2		2		2				40		10		20	10	10	10	100
	数学科教育法（小）	2	2		2		2			10	40				30		10	10	100
	理科教育法（小）	2	2		2		2			10	40				30		10	10	100
	生活科教育法	2	2		2		2			10	30		10		30		10	10	100
	音楽科教育法（小）	2	2		2		2			10	40				30		10	10	100
	造形教育法（小）	2	2		2		2			10	40				30		10	10	100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース						知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中二種				小一種＋特支一種												
			教科サブコース		教育・心理・特支サブコース		教育・心理・特支サブコース												
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	家庭科教育法（小）	2	2		2		2			10	30				30	10	10	10	100
	体育科教育法（小）	2	2		2		2			20	40		10				10	20	100
	道徳教育の理論と実践（小）	2	2		2		2			20	20		20		10	10	10	10	100
	特別活動の理論と方法（小）	2	2		2		2			10	20			30	10	20	10		100
	生徒指導（小）	2	2		2		2			20			20		30		20	10	100
	教育相談	2	2		2		2			20			20		20		10	30	100
	観察実習	1	1		1		1			10	10		20		20		20	20	100
	学校体験実習	1	1		1		1			10	10		20		20		20	20	100
	小学校教育実習	4	4		4		4			10	10		20		10	10	20	20	100
	小学校教育実習	2	4		4		4			10	10		20		10	10	20	20	100
	教育実習研究	1	1		1		1			10	10		10	10	10	10	20	20	100
	教職実践演習	2	2		2		2		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース						知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中二種				小一種＋特支一種												
			教科サブコース		教育・心理・特支サブコース		教育・心理・特支サブコース												
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目（小学校関係）	小学校国語A	2	2		2		2			10	40				40			10	100
	小学校生活科	2	2		2		2			10	30		10		30		10	10	100
	小学校音楽A	1	1		1		1			10	40				40			10	100
	小学校図画工作	2	2		2		2			10	40				40			10	100
	小学校体育A	1	1		1		1			10	20		20		40	10			100
	小学校社会	2	2		2		2			10	40				40			10	100
	小学校家庭科	2	2		2		2			10	30		10		30	10		10	100
	小学校算数	2	2		2		2		10	20	20		10		20		10	10	100
	小学校理科A	1	1		1		1			10	40				40			10	100
	小学校理科B	1	1		1		1			10	40				40			10	100
	小学校国語B	2		2		2		2		10	40				40			10	100
	小学校音楽B	1		1		1		1		10	40				40			10	100
	小学校体育B	1		1		1		1		10	20		20		40	10			100

１．小学校教育コース

３）国語サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	日本語学概論A	2	2					60		20			10	10	100
	日本語学概論B	2	2					60		20			10	10	100
	日本語学講義A	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語学講義B	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語学講義C	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語学講義D	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語学特別演習A	2		2				20		40		20	10	10	100
	日本語学特別演習B	2		2				20		40		20	10	10	100
	国文学史A	2	2	4				60		20			10	10	100
	国文学史B	2						60		20			10	10	100
	国文学史C	2						60		20			10	10	100
	国文学講義A	2		2				40		20		20	10	10	100
	国文学講義B	2		2				40		20		20	10	10	100
	国文学特別演習A	2		2				20		40		20	10	10	100
	国文学特別演習B	2		2				20		40		20	10	10	100
	国文学実地研究	2		2				20		40		20	10	10	100
	漢文学概論	2	2	2				40		20		20	10	10	100
	漢文学講義	2						40		20		20	10	10	100
	論語講読	2		2				20		40		20	10	10	100
	漢字の文化誌	2		2				20		40		20	10	10	100
	漢文学特別演習	2		2				20		40		20	10	10	100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	漢文学実地研究	2		2				20		40		20	10	10	100
	国語科特別演習	2		2				20		40		30		10	100
	国語科教育実践特別演習	2		2				20		40		30		10	100
	日本語学特殊講義	2		2				40		20		20	10	10	100
	国文学特殊講義	2		2				40		20		20	10	10	100
	漢文学特殊講義	2		2				40		20		20	10	10	100
	書法基礎	2	2					20		40		20	10	10	100
	海外実践学修	2		2				20		40		20	10	10	100
	日本語教育概論Ⅰ	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語教育概論Ⅱ	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語教材論	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語教授法	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語教育実習事前指導	1		1				20		40		20	10	10	100
	日本語教育実習	1		1						40		40	10	10	100
	学校教育と日本語	2		2				40		20		20	10	10	100
卒業要件			10	4											
			14												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校国語A	2	2			10	40				40			10	100
	小学校国語B	2		2		10	40				40			10	100
教職専門科目	国語科教育法（小）	2	2			10	30				30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅰ	2	2			10	30				30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅱ	2		2			30		10		30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅲ	2		2			30		10		30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅳ	2		2			20		20		20	20	10	10	100
卒業要件			6												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

４）社会サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	日本史概論A	2	2			20			50	30					100
	日本史概論B	2		2		20			50	30					100
	日本史史料講読A	2		2				30		40		30			100
	日本史史料講読B	2		2				30		40		30			100
	日本史史料講読C	2		2				30		40		30			100
	日本史史料講読D	2		2				30		40		30			100
	日本史特別演習A	2		2				30		40		30			100
	日本史特別演習B	2		2				30		40		30			100
	日本史特別演習C	2		2				30		40		30			100
	日本史特別演習D	2		2				30		40		30			100
	日本史特別研究Ⅰ	2		2				40		40		20			100
	日本史特別研究Ⅱ	2		2				40		40		20			100
	日本近現代史	2		2		20			50	30					100
	考古学概論	2		2		20			50	30					100
	考古学特殊講義	2		2		20			50	30					100
	考古学特別演習A	2		2				30		40		30			100
	考古学特別演習B	2		2				30		40		30			100
	考古学特別演習C	2		2				30		40		30			100
	考古学特別演習D	2		2				30		40		30			100
	考古学実習A	1		1				40		40		20			100
	考古学実習B	1		1				40		40		20			100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	考古学実習C	1		1				40		40		20			100
	考古学実習D	1		1				40		40		20			100
	西洋史概論	2	2			20			50	30					100
	西洋史外書講読A	2		2				30		40		30			100
	西洋史外書講読B	2		2				30		40		30			100
	西洋史外書講読C	2		2				30		40		30			100
	西洋史外書講読D	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別演習A	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別演習B	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別演習C	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別演習D	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別研究Ⅰ	2		2				40		40		20			100
	西洋史特別研究Ⅱ	2		2				40		40		20			100
	西洋史特別研究Ⅲ	2		2				40		40		20			100
	西洋史特別研究Ⅳ	2		2				40		40		20			100
	西洋史特別研究V	2		2				40		40		20			100
	東洋史概論	2		2		20			50	30					100
	人文地理学概論A	2		2		20			50	30					100
	人文地理学概論B	2		2		20			50	30					100
	人文地理学特別演習AⅠ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習AⅡ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習AⅢ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習BⅠ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習BⅡ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習BⅢ	2		2				30		40		30			100
	地理学実習AⅠ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習AⅡ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習AⅢ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習BⅠ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習BⅡ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習BⅢ	1		1				40		40		20			100
	自然地理学概論A	2		2		20			50	30					100
	自然地理学概論B	2		2		20			50	30					100
	地誌学	2	2			20			50	30					100
	法学概論	2		2		20			50	30					100
	人権と教育	2		2		20			50	30					100
	法学特別演習A	2		2				30		40		30			100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	法学特別演習B	2		2				30		40		30			100
	法学特別演習C	2		2				30		40		30			100
	法学特別演習D	2		2				30		40		30			100
	法学特別演習E	2		2				30		40		30			100
	法学特殊講義A	2		2		20			50	30					100
	法学特殊講義B	2		2		20			50	30					100
	国際政治学	2		2		20			50	30					100
	現代政治と公民教育	2		2		20			50	30					100
	社会学概論	2		2		20			50	30					100
	社会学特殊講義	2		2		20			50	30					100
	社会学特別演習AⅠ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習AⅡ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習AⅢ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習AⅣ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習AⅤ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅠ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅡ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅢ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅣ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅤ	2		2				30		40		30			100
	経済学概論	2		2		20			50	30					100
	国際経済論	2		2		20			50	30					100
	労働問題	2		2		20			50	30					100
	哲学概論	2		2		20			50	30					100
	哲学特殊講義A	2		2		20			50	30					100
	哲学特殊講義B	2		2		20			50	30					100
	倫理学概論	2		2		20			50	30					100
	倫理学特殊講義A	2		2		20			50	30					100
	倫理学特殊講義B	2		2		20			50	30					100
	倫理思想史Ⅰ	2		2		20			50	30					100
	倫理思想史Ⅱ	2		2		20			50	30					100
	倫理学特別演習A	2		2				30		40		30			100
	倫理学特別演習B	2		2				30		40		30			100
	倫理学特別演習C	2		2				30		40		30			100
	倫理学特別演習D	2		2				30		40		30			100
	倫理学特別研究Ⅰ	2		2				40		40		20			100
	倫理学特別研究Ⅱ	2		2				40		40		20			100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース		知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	倫理学特別研究Ⅲ	2		2				40		40		20			100
	倫理学特別研究Ⅳ	2		2				40		40		20			100
	倫理学特別研究Ⅴ	2		2				40		40		20			100
	宗教学	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学概論A（地理歴史）	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特殊講義A（地理歴史）Ⅰ	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特殊講義A（地理歴史）Ⅱ	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅰ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅱ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅲ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅳ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学概論B（公民）	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特殊講義B（公民）Ⅰ	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特殊講義B（公民）Ⅱ	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特別演習B（公民）Ⅰ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習B（公民）Ⅱ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習B（公民）Ⅲ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習B（公民）Ⅳ	2		2				30		40		30			100
卒業要件			14												
			14												

区分	科目名	単位数	小学校教育コース		知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校社会	2	2			10	40				40			10	100
教職専門科目	社会科教育法（小）	2	2				40		10		20	10	10	10	100
	社会科教材研究法	2		2			40		10		20	10	10	10	100
	社会科学習内容構築論	2		2			40	20		10	20		10		100
	中等社会科教育法A（社会・地歴）	2	2	2			40		10		20	10	10	10	100
	中等社会科教育法B（社会・公民）	2		2			40		10		20	10	10	10	100
	地理歴史科教育法	2		2			40		10		20	10	10	10	100
	公民科教育法	2		2			40		10		20	10	10	10	100
卒業要件			6												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

５）技術サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	木材概論Ⅰ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	木材概論Ⅱ	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	製図演習	1	1			10	30	20		20	10	10			100
	機械材料学	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	金属加工実習	1	1			10	30	20		20	10	10			100
	機械工学概論	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	機械工学実験	1	1			10	30	20		20	10	10			100
	電気電子工学Ⅰ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	電気電子工学Ⅱ	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	栽培理論Ⅰ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	栽培理論Ⅱ	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	作物生産論	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	栽培学実験	1		1		10	30	20		20	10	10			100
	情報工学Ⅰ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	情報工学Ⅱ	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	プログラミング演習	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	ネットワーク演習	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	情報社会と倫理	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	技術史	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	卒業要件		15												
			15												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	技術科教育法Ⅰ	2	2			10	30				30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅱ	2		2			30		10		30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅲ	2		2			30		10		30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅳ	2		2			20		20		20	20	10	10	100
卒業要件			2												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

６）家庭サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	生活経営学	2	2				20	40		10	10	10		10	100
	被服学Ⅰ	2	2					50				20		30	100
	被服学Ⅱ	2		2				50				20		30	100
	被服学Ⅲ	2		2				50				30		20	100
	被服学Ⅳ	2		2				50				30		20	100
	被服学実験実習Ⅰ	1	1	2					40		20	20		20	100
	被服学実験実習Ⅱ	1							40		20	20		20	100
	被服学実験実習Ⅲ	1							40		20	20		20	100
	食物学Ⅰ	2	2					50				20		30	100
	食物学Ⅱ	2		2				50				20		30	100
	食物学Ⅲ	2		2				50				30		20	100
	食物学Ⅳ	2		2				50				30		20	100
	食物学実験実習Ⅰ	1	1	1					40		20	20		20	100
	食物学実験実習Ⅱ	1							40			30		30	100
	食生活学特別演習Ⅰ	2		2						40		30		30	100
	食生活学特別演習Ⅱ	2		2						40		30		30	100
	住居学	2	2					40		20		20		20	100
	保育学	2	2					50				20		30	100
	生活工学	2		2				40	10			30		20	100
	家政学特講Ⅰ	2		2				40		10		30		20	100
	家政学特講Ⅱ	2		2				40		10		30		20	100
	卒業要件		12	2											
			14												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校家庭科	2	2			10	30		10		30	10		10	100
教職専門科目	家庭科教育法（小）	2	2			10	30				30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅰ	2	2			10	30				30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅱ	2		2			30		10		30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅲ	2		2			30		10		30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅳ	2		2			20		20		20	20	10	10	100
卒業要件															

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

７）英語サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	英語学の世界	2		2				40		20	20		10	10	100
	英語の文法	2		2				40		20	20		10	10	100
	英語学特別演習	2		2				20		40		20	10	10	100
	英語学特別講義A	2		2				40		20	20		10	10	100
	英語学特別講義B	2		2				40		20	20		10	10	100
	英米文学概論	2		2				40		20	20		10	10	100
	英米文学特別演習Ⅰ	2		2				20		40		20	10	10	100
	英米文学特別演習Ⅱ	2		2				20		40		20	10	10	100
	英米文学特別講義A	2		2				40		20	20		10	10	100
	英米文学特別講義B	2		2				40		20	20		10	10	100
	英語音声学講義	2		2				40		20	20		10	10	100
	英語音声学特別演習	2		2				40		20		20	10	10	100
	英語表現特別演習（S）Ⅰ	2		2				20		20		40	10	10	100
	英語表現特別演習（S）Ⅱ	2		2				20		20		40	10	10	100
	英語表現特別演習（W）Ⅰ	2		2				20		20		40	10	10	100
	英語表現特別演習（W）Ⅱ	2		2				20		20		40	10	10	100
	英語表現特別研究A	2		2				20		40		20	10	10	100
	英語表現特別研究B	2		2				20		40		20	10	10	100
	英語表現特別研究C	2		2				20		40		20	10	10	100
	異文化理解	2		2				40		20		20	10	10	100
	英語インターンシッププログラムA	2		2			20		20		20		30	10	100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	英語インターンシッププログラムB	2		2			20		20		20		30	10	100
	英語科教育法特別演習Ⅰ	2		2			20			40	20		10	10	100
	英語科教育法特別演習Ⅱ	2		2			20			40	20		10	10	100
	英語科教育法特別講義A	2		2			40			20	20		10	10	100
	英語科教育法特別講義B	2		2			40			20	20		10	10	100
卒業要件				14											
			14												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	英語科教育法Ⅰ	2		2		10	40				30		10	10	100
	英語科教育法Ⅱ	2		2			30		10		30	10	10	10	100
	英語科教育法Ⅲ	2		2			30		10		30	10	10	10	100
	英語科教育法Ⅳ	2		2			20		20		20	20	10	10	100
	小学校の英語教育	2	2				40		20		20		10	10	100
卒業要件			2												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

８）音楽サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	ソルフェージュA Ⅰ	1	1*				20	30			40		10		100
	ソルフェージュB Ⅰ	1					20	30			40		10		100
	ソルフェージュA Ⅱ	1		1*			20	30			40		10		100
	ソルフェージュB Ⅱ	1		1*			20	30			40		10		100
	声楽 Ⅰ	1	1			20	20			10	40			10	100
	声楽 Ⅱ	1		1		20	20			10	40			10	100
	声楽 Ⅲ	1		1		20		20		10	40			10	100
	声楽 Ⅳ	1		1		20		20		10	40			10	100
	合唱	1	1			10	20	20	20		10	10	10		100
	器楽A Ⅰ	1	1			20	20		10		40		10		100
	器楽A Ⅱ	1		1		20	20		10		40		10		100
	器楽A Ⅲ	1		1		20		20		10	40		10		100
	器楽A Ⅳ	1		1		20		20		10	40		10		100
	器楽B Ⅰ	1		1		20	20		10		40		10		100
	器楽B Ⅱ	1		1		20	20		10		40		10		100
	器楽B Ⅲ	1		1		20		20		10	40		10		100
	器楽B Ⅳ	1		1		20		20		10	40		10		100
	伴奏法	1	1					20		20		40		20	100
	合奏A	1	1			10	20	20	20		10	10	10		100
	合奏B	1		1	10				30		20	20	10	10	100
	器楽C	1	1				20				50	30			100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	器楽D	1		1			20				50	30			100
	指揮法	1	1				10	10			50	30			100
	音楽理論Ⅰ	2	2				10	30		30		30			100
	音楽理論Ⅱ	2		2			10	30		30		30			100
	作曲法Ⅰ	2	2				20	20	20	20		20			100
	作曲法Ⅱ	2		2			20	20	20	20		20			100
	音楽史A	2		2	20		50		30						100
	音楽史B	2	2		20		50		30						100
	声楽演習Ⅰ	1		1				20		30	50				100
	声楽演習Ⅱ	1		1				20		30	50				100
	声楽演習Ⅲ	1		1				20		30	50				100
	声楽演習Ⅳ	1		1				20		30	50				100
	器楽演習AⅠ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習AⅡ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習AⅢ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習AⅣ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習BⅠ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習BⅡ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習BⅢ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習BⅣ	1		1				20		30	30	20			100
	作曲演習Ⅰ	1		1			10	30	10	30		10		10	100
	作曲演習Ⅱ	1		1			10	30	10	30		10		10	100
	作曲演習Ⅲ	1		1			10	30	10	30		10		10	100
	作曲演習Ⅳ	1		1			10	30	10	30		10		10	100
	音楽科教育学演習AⅠ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習AⅡ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習AⅢ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習AⅣ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習BⅠ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習BⅡ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習BⅢ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習BⅣ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
卒業要件			14												
			14												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校音楽A	1	1			10	40				40			10	100
	小学校音楽B	1		1		10	40				40			10	100
教職専門科目	音楽科教育法（小）	2	2			10	40				30		10	10	100
	音楽科教育法Ⅰ	2		2		10	40				30		10	10	100
	音楽科教育法Ⅱ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	音楽科教育法Ⅲ	2		2			20		20		20	20	10	10	100
	音楽科教育法演習A	1		1			30	10	20		30		10		100
	音楽科教育法演習B	1		1			30	10	20		30		10		100
	保育内容（音楽）	2		2			40		20		20	10	10		100
卒業要件			5												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

９）美術サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	絵画基礎	2	2		10		10	50		30					100
	彫刻基礎	2	2		10		10	50		30					100
	デザイン基礎A	2	2		10		10	50		30					100
	工芸基礎	2	2		10		10	50		30					100
	美術史入門	2	2		10		10	50		30					100
	造形特別演習（絵画）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（絵画）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（絵画）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（絵画）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（絵画）A	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）B	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）C	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）D	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）E	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）F	1		1				50		50					100
	造形特別演習（彫刻）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（彫刻）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（彫刻）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（彫刻）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（彫刻）A	1		1				50		50					100
	造形実習（彫刻）B	1		1				50		50					100

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	造形実習（彫刻）C	1		1				50		50					100
	造形実習（彫刻）D	1		1				50		50					100
	造形実習（彫刻）E	1		1				50		50					100
	造形実習（彫刻）F	1		1				50		50					100
	デザイン基礎B	2		2	10		10	50		30					100
	造形特別演習（デザイン）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（デザイン）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（デザイン）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（デザイン）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（デザイン）A	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）B	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）C	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）D	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）E	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）F	1		1				50		50					100
	造形特別演習（視覚文化）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（視覚文化）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（視覚文化）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（視覚文化）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（視覚文化）A	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）B	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）C	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）D	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）E	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）F	1		1				50		50					100
	造形特別演習（工芸）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（工芸）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（工芸）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（工芸）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（工芸）A	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）B	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）C	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）D	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）E	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）F	1		1				50		50					100
	美術史Ⅰ	2		2	10		10	50		30					100
	美術史Ⅱ	2		2	10		10	50		30					100

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	美術史特別演習A	2		2	10		10	40		40					100
	美術史特別演習B	2		2	10		10	40		40					100
	美術史特別演習C	2		2	10		10	40		40					100
	美術史特別演習D	2		2	10		10	40		40					100
	色彩論特別演習	2		2	10		10	40		40					100
	美術科教育特別演習A	2		2			20		10		20	20	20	10	100
	美術科教育特別演習B	2		2			20		10		20	20	20	10	100
	美術科教育特別演習C	2		2			20		10		20	20	20	10	100
	美術科教育特別演習D	2		2			20		10		20	20	20	10	100
卒業要件			10	4											
			14												

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校図画工作	2	2			10	40				40			10	100
教職専門科目	造形教育法（小）	2	2			10	40				30		10	10	100
	美術科教育法Ⅰ	2	2				40		20			10	20	10	100
	美術科教育法Ⅱ	2		2			40		20			10	20	10	100
	美術科教育法Ⅲ	2		2			40		20			10	20	10	100
	美術科教育法Ⅳ	2		2			40		20			10	20	10	100
	保育内容（絵画）	2		2	10		10	50		30					100
卒業要件			6												

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

１０）保健体育サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
サブコース所属専門科目	基礎体育実技（体つくり運動含む）	1	1			10	10	10	10		30	10	10	10	100
	体育実技A（水泳含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技B（冬季スポーツ含む）	1		1		10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技C（陸上競技含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技D（器械運動含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技E（武道含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技F（ダンス含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技G（球技含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技H（球技含む）	1		1		10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技I（球技含む）	1		1		10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技J（球技含む）	1		1		10	10	10	10		40		10	10	100
	体育学A（体育原理含む）	2	※2	2	20			40		10		10	10	10	100
	体育学C（体育経営管理学含む）	2		2	20			40		10		10	10	10	100
	体育学D（体育社会学含む）	2		2	20			40		10		10	10	10	100
	運動学（運動方法学含む）	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	生理学（運動生理学含む）	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	衛生・公衆衛生学	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	学校保健A（小児保健・精神保健・学校安全含む）	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	学校保健B（救急処置含む）	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	体育学実験	1		1	10				10	40		40			100
	体育学特別演習	2		2	10				10	40		40			100
	卒業要件		※19												
			19												

※いずれか１科目選択必修。

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校体育A	1	1			10	20		20		40	10			100
	小学校体育B	1		1		10	20		20		40	10			100
教職専門科目	体育科教育法（小）	2	2			20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅰ	2	2			20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅱ	2		2		20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅲ	2		2		20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅳ	2		2		10	10			30		30	10	10	100
	保育内容（健康）	2		2		20	40		10				10	20	100
卒業要件			5												

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

１１）教育学サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	小学校教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小一種＋中二種 教育学サブコース		小一種＋特支一種 教育学サブコース												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	教職入門	2						30						20	20	30	100
	教育概論	2					20	30			10				20	20	100
	教育の思想	2		2		2	30	30				20			20		100
	教育の歴史	2		2		2	20			20		20		10	20	10	100
	教育学特殊講義A	2		2		2	10	10		20			20	20	10	10	100
	教育学演習A	1		※3		※3	20	20				20		20	10	10	100
	教育学演習B	1		※3		※3	20			20		20		10	20	10	100
	教育法規	2		2		2	10			20		20		20	20	10	100
	学校経営・制度論	2		2		2		20		30		10		10	10	20	100
	教育学特殊講義C	2		2		2	20	10			20		20	10	10	10	100
	教育学演習D	1		※3		※3	20			30		30			20		100
	教育方法（小）	2					10	20			30		10	20	10		100
	教育方法（中）	2					20	10			30		10	20	10		100
	教育学特殊講義B	2		2		2	20	10			20		20	10	10	10	100
	道徳教育の理論と実践（小）	2						20	20		20		10	10	10	10	100
	道徳教育の理論と実践（中）	2						20	20		20		10	10	10	10	100
	特別活動の理論と方法（小）	2						10	20			30	10	20	10		100
	特別活動の理論と方法（中）	2						10	20			30	10	20	10		100
	教育学演習C	1		※3		※3	20				30		20	20		10	100
	教授行動論	2		2		2	20	20		20	20				20		100
	授業実践研究	2		2		2		20	20		20		20		20		100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース 小一種＋中二種 教育学サブコース 必修	小学校教育コース 小一種＋中二種 教育学サブコース 選択	小学校教育コース 小一種＋特支一種 教育学サブコース 必修	小学校教育コース 小一種＋特支一種 教育学サブコース 選択	知識・理解 ①	知識・理解 ②	知識・理解 ③	知識・理解 ④	思考・判断 ⑤	思考・判断 ⑥	技能・表現 ⑦	技能・表現 ⑧	関心・意欲 ⑨	態度 ⑩	重付合計
教職専門科目	生活科教育法	2	小2	中2				10	30		10		30		10	10	100
	幼稚園の教育課程	2		2		2	10	10	20	20		10		20	10		100
	保育内容（人間関係）	2		2		2	10	10	10	20		10		10	20	10	100
	保育内容（環境）	2		2		2	10	10		20	10	10	10	10	10	10	100
	小学校生活科	2	小2	中2				10	30		10		30		10	10	100
卒業要件				10		6											
			10		6												

※教育学演習A～Dのうち、2科目以上，計2単位以上選択必修。

区分	科目名	コース・単位数 単位数	小学校教育コース 必修	小学校教育コース 選択	知識・理解 ①	知識・理解 ②	知識・理解 ③	知識・理解 ④	思考・判断 ⑤	思考・判断 ⑥	技能・表現 ⑦	技能・表現 ⑧	関心・意欲 ⑨	態度 ⑩	重付合計
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

１２）心理学サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	小学校教育コース 小一種＋中二種 心理学サブコース 必修	小学校教育コース 小一種＋中二種 心理学サブコース 選択	小学校教育コース 小一種＋特支一種 心理学サブコース 必修	小学校教育コース 小一種＋特支一種 心理学サブコース 選択	知識・理解 ①	知識・理解 ②	知識・理解 ③	知識・理解 ④	思考・判断 ⑤	思考・判断 ⑥	技能・表現 ⑦	技能・表現 ⑧	関心・意欲 ⑨	態度 ⑩	重付合計
教職専門科目	教育心理学	2						20			20		20		20	20	100
	発達心理学	2						20			20		20		20	20	100
	教育心理学概論	2	2		2					40		30		30			100
	教育心理学演習	1	1※		1※			20		10	10	20	10	10	10	10	100
	発達心理学演習	1	1※		1※			30				30		20	10	10	100
	学習心理学演習	1	1※		1※			10	10		10	10	10	10	20	20	100
	認知心理学	2		2		2				30		30		20	20		100
	心理・教育統計法Ⅰ	2	2			2				30		30		40			100
	心理・教育統計法Ⅱ	2		2		2				30		30		40			100
	心理学実験	1	1		1					40		30		30			100
	心理学実習Ⅰ	1		1		1				30		30		40			100
	心理学実習Ⅱ	1		1		1				20		40		40			100
	心理学特殊講義A	2		2		2				40		30		30			100
	心理学特殊講義B	2		2		2				40		30		30			100
	心理学特殊講義C	2		2		2				40		30		30			100
	心理学特殊講義D	2		2		2				40		30		30			100
	教育評価	2		2		2	10			30	10	20	10	20			100
	生徒指導・進路指導（中）	2						20			20		30		20	10	100
	生徒指導（小）	2						20			20		30		20	10	100
	教育相談	2						20			20		20		10	30	100
	教育臨床（いじめ・不登校）心理学	2		2		2				20		20	30		20	10	100

区分	科目名	単位数	小学校教育コース 小一種＋中二種 心理学サブコース		小学校教育コース 小一種＋特支一種 心理学サブコース		知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	教育臨床心理学演習	1	1※		1※		10	10			20		20		10	30	100
	学校カウンセリングⅠ	2		2		2		10		10	20		20		20	20	100
	学校カウンセリングⅡ	2		2		2		10	10	10	10	10	10		20	20	100
	保育内容（ことば）	2		2		2		20			20		20		20	20	100
	幼児の指導	2		2		2	10	10		20	20	10	10		10	10	100
	幼児心理学	2		2		2		20			20		20		20	20	100
卒業要件			8	2	6												
			10		6												

※４科目のうち、３科目選択必修

区分	科目名	単位数	コース・単位数 小学校教育コース		知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

１．小学校教育コース

１３）特別支援教育サブコース科目

【小学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③各教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数				知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		小一種＋中二種		小一種＋特支一種												
		必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
所属専門科目	特別支援教育概説	2		2		10	10		30		30			10	10	100
	知的障害者の心理・生理・病理	2		2					50		30				20	100
	特別支援心理検査法	2	2		2				40		20		20		20	100
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2		2					50		30				20	100
	病弱者の心理・生理・病理	2		2					50		30				20	100
	知的障害教育課程論	2		2				10	40	10	20			10	10	100
	知的障害教育指導法	2		2				10	40	10	20			10	10	100
	特別支援教育指導法	2		2				20	30		20	10		10	10	100
	知的障害教育授業論	2	2		2			10	40	10	20			10	10	100
	肢体不自由教育課程・指導法	2		2				10	30		20	20			20	100
	病弱教育課程・指導法	2		2					40		20	20			20	100
	特別支援教育実践論	2	2		2		20		10	10	20		20	20		100
	視覚障害教育総論	1		1				10	40	10	20			10	10	100
	聴覚障害教育総論	1		1					60		40					100
	言語障害教育総論	1		1					60		40					100
	重度重複障害教育総論	1		1				10	40	10	20			10	10	100
	軽度発達障害総論	1		1					60		40					100
	特別支援教育実習	2		2					30	20	20		20	10		100
	特別支援教育実習研究	1		1					30	20	20		20	10		100
卒業要件		10		26	6											
		10		32												
		小一種＋中		小一種＋特												

区分	科目名	単位数	学校教育教員養成課程 全学生		知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職	特別支援教育	2	2		20	20		20					40		100

区分	科目名	単位数				知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	重付合計
		小一種＋中二種		小一種＋特支一種												
		必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6							20		40		30		10	100

２．中学校教育コース

以下に中学校教育コースの学生が受講する講義を，1）教養教育科目，2）教職専門科目（共通），3）―10）サブコース科目に分けて示す．この内，1）教養教育科目，2）教職専門科目（共通）は，本コース学生に共通の科目群である．3）―10）サブコース科目は所属したサブコース毎に受講する科目群である．また，全学生は副免取得が卒業要件となっていることから，ここに表記した科目群に加えて，副免として取得する免許に応じて他コース欄に表記した科目群の科目を履修する必要がある．

１）教養教育科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数					知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース														
			中一種＋小二種		中一種＋他教科二種												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
実践知	基礎ゼミナール	1					10					20		40	20	10	100
技法知・外国語	英語総合Ⅰ（初級）	1					30							50		20	100
	英語総合Ⅱ（初級）	1					30							50		20	100
	英語総合Ⅰ（中級）	1					30							50		20	100
	英語総合Ⅱ（中級）	1					30							50		20	100
	英語総合Ⅰ（上級）	1					30							50		20	100
	英語総合Ⅱ（上級）	1					30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（初級）	1					30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（初級）	1					30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（中級）	1					30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（中級）	1					30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（上級）	1					30							50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（上級）	1					30							50		20	100
	英語基礎	1					30							50		20	100
	英語発展A（TOEIC初級）	1					30							50		20	100
	英語発展B（TOEIC初級）	1					30							50		20	100
	英語発展C（TOEIC中級）	1					30							50		20	100

区分	科目名	単位数	中学校教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中一種＋小二種		中一種＋他教科二種												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
技法知・外国語	英語発展D（TOEIC中級）	1					30							50		20	100
	英語発展E（実践英語）	1					30							50		20	100
	英語発展F（実践英語）	1					30							50		20	100
	英語発展G（科学英語）	1					30							50		20	100
	英語発展H（科学英語）	1					30							50		20	100
	初級ドイツ語（入門）	1					30							50		20	100
	初級ドイツ語（発展）	1					30							50		20	100
	中級ドイツ語	1					30							50		20	100
	初級フランス語（入門）	1					30							50		20	100
	初級フランス語（発展）	1					30							50		20	100
	中級フランス語	1					30							50		20	100
	初級ロシア語（入門）	1					30							50		20	100
	初級ロシア語（発展）	1					30							50		20	100
	中級ロシア語	1					30							50		20	100
	初級中国語（入門）	1					30							50		20	100
	初級中国語（発展）	1					30							50		20	100
	中級中国語	1					30							50		20	100
	初級韓国語（入門）	1					30							50		20	100
	初級韓国語（発展）	1					30							50		20	100
	中級韓国語	1					30							50		20	100
	上級日本語A	1					30							50		20	100
	上級日本語B	1					30							50		20	100
	上級日本語C	1					30							50		20	100
	上級日本語D	1					30							50		20	100
	上級日本語E	1					30							50		20	100
	上級日本語F	1					30							50		20	100
	上級日本語G	1					30							50		20	100
	上級日本語H	1					30							50		20	100
技法知・健スポ	健康・スポーツA	1					20							50		30	100
	健康・スポーツB	1					20							50		30	100
	健康・スポーツC（シーズン）	1					20							50		30	100
情報	情報基礎	2					30							50		20	100
学問知	哲学の世界	2					50									50	100
	倫理学の世界	2					50									50	100
	日本の思想と文化	2					50									50	100
	アジアの思想と文化	2					50									50	100

区分	科目名	単位数	中学校教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中一種＋小二種		中一種＋他教科二種												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
学問知	欧米の思想と文化	2					50									50	100
	日本の歴史と文化	2					50									50	100
	アジアの歴史と文化	2					50									50	100
	欧米の歴史と文化	2					50									50	100
	ジェンダーの歴史と文化	2					50									50	100
	女性と科学の関係史	2					50									50	100
	大学の歴史と現在	2					50									50	100
	岩手大学ミュージアム学	2					50									50	100
	心の理解	2					50									50	100
	日本の文学	2					50									50	100
	言葉の世界	2					50									50	100
	中国の文学	2					50									50	100
	欧米の文学	2					50									50	100
	欧米の言語論	2					50									50	100
	芸術の世界	2					50									50	100
	日本語表現技術入門	2					50									50	100
	図書館への招待	2					50									50	100
	コミュニケーションの現在	2					50									50	100
	心と表象	2					50									50	100
	日本事情A	2					50									50	100
	日本事情B	2					50									50	100
	英語で学ぶ日本の文化	2					50									50	100
	市民生活と法	2					50									50	100
	憲法	2					50									50	100
	経済のしくみ	2					50									50	100
	現代社会と経済	2					50									50	100
	市民と政治	2					50									50	100
	現代政治を見る眼	2					50									50	100
	社会的人間論	2					50									50	100
	現代社会の社会学	2					50									50	100
	地域と生活	2					50									50	100
	地域と社会	2					50									50	100
	対人関係の心理学	2					50									50	100
	知的財産入門	2					50									50	100
	知財ワークショップ	2					50									50	100
	キャリアを考える	2					50									50	100
	ボランティアとリーダーシップ	2					50									50	100

区分	科目名	単位数					知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース														
			中一種＋小二種		中一種＋他教科二種												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
学問知	科学・技術と現代社会	2					50									50	100
	現代の諸問題	2					50									50	100
	公共社会	2					50									50	100
	多文化コミュニケーションA	2					50									50	100
	多文化コミュニケーションB	2					50									50	100
	生命のしくみ	2					50									50	100
	自然のしくみ	2					50									50	100
	自然と数理	2					50									50	100
	数理のひろがり	2					50									50	100
	宇宙のしくみ	2					50									50	100
	物質の世界	2					50									50	100
	自然と法則	2					50									50	100
	自然と数理の世界	2					50									50	100
	自然の科学	2					50									50	100
	科学と技術の歴史	2					50									50	100
	くらしと科学技術	2					50									50	100
	科学技術	2					50									50	100
	「環境」を考える	2					50									50	100
	生活と環境	2					50									50	100
	都市と環境	2					50									50	100
	地域の環境保全を考える	2					50									50	100
	地球環境と社会	2					50									50	100
	水と環境	2					50									50	100
	廃棄物と環境	2					50									50	100
	植物栽培と環境テクノロジー	2					50									50	100
	森林と環境	2					50									50	100
	動物と環境	2					50									50	100
	人の暮らしと生物環境	2					50									50	100
	環境マネジメントと岩手大学	2					50									50	100
	環境の科学	2					50									50	100
	現代社会をみる視角	2					50									50	100
	岩手の研究	2					50									50	100
	環境マネジメント実践学	2					50									50	100
	いわて学Ⅰ	2					50									50	100
	いわて学Ⅱ	2					50									50	100
	宮沢賢治の世界	2					50									50	100
	危機管理と復興	2					50									50	100

区分	科目名	単位数	中学校教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中一種＋小二種		中一種＋他教科二種												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
学問知	持続可能なコミュニティーづくり実践学	2					50									50	100
	地元の企業に学ぶＥＳＤ	2					50									50	100
	地場産業・企業論	2					50									50	100
	三陸の研究	2					50									50	100
	自然災害と社会	2					50									50	100
	東北の歴史	2					50									50	100
	地域を考える	2					50									50	100
	地域と国際社会	2					50									50	100
	海外研修－世界から地域を考える－	2					50									50	100
実践知	初年次自由ゼミナール	1					10					20		40	20	10	100
実践知	地域課題演習A	2					10					20		40	20	10	100
	地域課題演習B	2					10					20		40	20	10	100
	地域課題演習C	2					10					20		40	20	10	100
	地域課題演習D	2					10					20		40	20	10	100
	地域課題演習E	2					10					20		40	20	10	100
	地域課題演習F	2					10					20		40	20	10	100
	地域課題演習G	2					10					20		40	20	10	100
	地域課題演習H	2					10					20		40	20	10	100
卒業要件																	

２．中学校教育コース

２）教職専門科目（共通科目）

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	中学校教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中一種＋小二種		中一種＋他教科二種												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	教職入門	2	2		2			30						20	20	30	100
	教育概論	2	2		2		20	30			10				20	20	100
	教育の思想	2	2	2	2	2	30	30				20			20		100
	教育の歴史	2		2		2	20			20		20		10	20	10	100
	教育学特殊講義A	2		2		2	10	10		20			20	20	10	10	100
	教育心理学	2	2		2			20			20		20		20	20	100
	発達心理学	2	2		2			20			20		20		20	20	100
	特別支援教育	2	2		2		20	20		20					40		100
	教育法規	2	2	2	2	2	10			20		20		20	20	10	100
	学校経営・制度論	2		2		2		20		30		10		10	10	20	100
	教育学特殊講義C	2		2		2	20	10			20		20	10	10	10	100
	教育方法（中）	2	2		2		10	20			30		10	20	10		100
	国語科教育法Ⅰ	2		2		2		10	30				30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20	20	10	10	100
	中等社会科教育法A（社会・地歴）	2		2		2			40		10		20	10	10	10	100
	中等社会科教育法B（社会・公民）	2		2		2			40		10		20	10	10	10	100
	社会科教材研究法	2		2		2			40		10		20	10	10	10	100
	社会科教育内容研究	2		2		2			40	20		10	20		10		100
	数学科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30		10	10	100

区分	科目名	単位数	中学校教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中一種＋小二種		中一種＋他教科二種												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	数学科教育法Ⅱ	2	所属科の教育法8	2	所属科の教育法8＋他教科の教育法2	2			30		10		30	10	10	10	100
	数学科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	数学科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20	20	10	10	100
	理科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30		10	10	100
	理科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	理科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	理科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20	20	10	10	100
	技術科教育法Ⅰ	2		2		2		10	30				30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20	20	10	10	100
	家庭科教育法Ⅰ	2		2		2		10	30				30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20	20	10	10	100
	英語科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30		10	10	100
	英語科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	英語科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	英語科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20	20	10	10	100
	音楽科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30		10	10	100
	音楽科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	音楽科教育法Ⅲ	2		2		2			20		20		20	20	10	10	100
	音楽科教育法演習A	1		2		2			30	10	20		30		10		100
	音楽科教育法演習B	1		2		2			30	10	20		30		10		100
	美術科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30		10	10	100
	美術科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	美術科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30	10	10	10	100
	美術科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20	20	10	10	100
	保健体育科教育法Ⅰ	2		2		2		20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅱ	2		2		2		20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅲ	2		2		2		20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅳ	2		2		2		10	10			30		30	10	10	100
	地理歴史科教育法	2		2		2			40		10		20	10	10	10	100
	公民科教育法	2		2		2			40		10		20	10	10	10	100
	道徳教育の理論と実践（中）	2	2		2			20	20		20		10	10	10	10	100
	特別活動の理論と方法（中）	2	2		2			10	20			30	10	20	10		100
	生徒指導・進路指導（中）	2	2		2			20			20		30		20	10	100

区分	科目名	単位数					知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース														
			中一種＋小二種		中一種＋他教科二種												
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	教育相談	2	2		2			20			20		20		10	30	100
	観察実習	1	1		1			10	10		20		20		20	20	100
	学校体験実習	1	1		1			10	10		20		20		20	20	100
	中学校教育実習	4	4		4＋2※			10	10		20		10	10	20	20	100
	中学校教育実習	2	4		4＋2※			10	10		20		10	10	20	20	100
	教育実習研究	1	1		1			10	10		10	10	10	10	20	20	100
	教職実践演習	2	2		2		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100
卒業要件																	

※主免４単位＋他教科２単位

２．中学校教育コース

３）国語サブコース科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	日本語学概論A	2	2					60		20			10	10	100
	日本語学概論B	2	2					60		20			10	10	100
	日本語学講義A	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語学講義B	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語学講義C	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語学講義D	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語学特別演習A	2		2				20		40		20	10	10	100
	日本語学特別演習B	2		2				20		40		20	10	10	100
	国文学史A	2	2					60		20			10	10	100
	国文学史B	2	2					60		20			10	10	100
	国文学史C	2	2					60		20			10	10	100
	国文学講義A	2		2				40		20		20	10	10	100
	国文学講義B	2		2				40		20		20	10	10	100
	国文学特別演習A	2		2				20		40		20	10	10	100
	国文学特別演習B	2		2				20		40		20	10	10	100
	国文学実地研究	2		2				20		40		20	10	10	100
	漢文学概論	2	2					40		20		20	10	10	100
	漢文学講義	2	2					40		20		20	10	10	100
	論語講読	2		2				20		40		20	10	10	100
	漢字の文化誌	2		2				20		40		20	10	10	100
	漢文学特別演習	2		2				20		40		20	10	10	100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	漢文学実地研究	2		2				20		40		20	10	10	100
	国語科特別演習	2	2					20		40		30		10	100
	国語科教育実践特別演習	2		2				20		40		20	10	10	100
	日本語学特殊講義	2		2				40		20		20	10	10	100
	国文学特殊講義	2		2				40		20		20	10	10	100
	漢文学特殊講義	2		2				40		20		20	10	10	100
	書法基礎	2	2					20		40		20	10	10	100
	海外実践学修	2		2				20		40		20	10	10	100
	日本語教育概論Ⅰ	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語教育概論Ⅱ	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語教材論	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語教授法	2		2				40		20		20	10	10	100
	日本語教育実習事前指導	1		1				20		40		20	10	10	100
	日本語教育実習	1		1						40		40	10	10	100
	学校教育と日本語	2		2				40		20		20	10	10	100
卒業要件			18	12											
			30												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校国語A	2		2		10	40				40			10	100
	小学校国語B	2		2		10	40				40			10	100
教職専門科目	国語科教育法（小）	2		2		10	30				30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅰ	2	2			10	30				30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅱ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅲ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	国語科教育法Ⅳ	2	2				20		20		20	20	10	10	100
卒業要件			8												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

２．中学校教育コース

４）社会サブコース科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	日本史概論A	2	2			20			50	30					100
	日本史概論B	2		2		20			50	30					100
	日本史史料購読A	2		2				30		40		30			100
	日本史史料購読B	2		2				30		40		30			100
	日本史史料購読C	2		2				30		40		30			100
	日本史史料購読D	2		2				30		40		30			100
	日本史特別演習A	2		2				30		40		30			100
	日本史特別演習B	2		2				30		40		30			100
	日本史特別演習C	2		2				30		40		30			100
	日本史特別演習D	2		2				30		40		30			100
	日本史特別研究Ⅰ	1		1				40		40		20			100
	日本史特別研究Ⅱ	1		1				40		40		20			100
	日本近現代史	2		2		20			50	30					100
	考古学概論	2	2			20			50	30					100
	考古学特殊講義	2		2		20			50	30					100
	考古学特別演習A	2		2				30		40		30			100
	考古学特別演習B	2		2				30		40		30			100
	考古学特別演習C	2		2				30		40		30			100
	考古学特別演習D	2		2				30		40		30			100
	考古学実習A	1		1				40		40		20			100
	考古学実習B	1		1				40		40		20			100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	考古学実習C	1		1				40		40		20			100
	考古学実習D	1		1				40		40		20			100
	西洋史概論	2	2			20			50	30					100
	西洋史外書購読A	2		2				30		40		30			100
	西洋史外書購読B	2		2				30		40		30			100
	西洋史外書購読C	2		2				30		40		30			100
	西洋史外書購読D	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別演習A	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別演習B	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別演習C	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別演習D	2		2				30		40		30			100
	西洋史特別研究Ⅰ	2		2				40		40		20			100
	西洋史特別研究Ⅱ	2		2				40		40		20			100
	西洋史特別研究Ⅲ	2		2				40		40		20			100
	西洋史特別研究Ⅳ	2		2				40		40		20			100
	西洋史特別研究Ⅴ	2		2				40		40		20			100
	東洋史概論	2		2		20			50	30					100
	人文地理学概論A	2	2			20			50	30					100
	人文地理学概論B	2		2		20			50	30					100
	人文地理学特別演習AⅠ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習AⅡ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習AⅢ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習BⅠ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習BⅡ	2		2				30		40		30			100
	人文地理学特別演習BⅢ	2		2				30		40		30			100
	地理学実習AⅠ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習AⅡ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習AⅢ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習BⅠ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習BⅡ	1		1				40		40		20			100
	地理学実習BⅢ	1		1				40		40		20			100
	自然地理学概論A	2	2			20			50	30					100
	自然地理学概論B	2		2		20			50	30					100
	地誌学	2	2			20			50	30					100
	法学概論	2	2			20			50	30					100
	人権と教育	2		2		20			50	30					100
	法学特別演習A	2		2				30		40		30			100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	法学特別演習B	2		2				30		40		30			100
	法学特別演習C	2		2				30		40		30			100
	法学特別演習D	2		2				30		40		30			100
	法学特別演習E	2		2				30		40		30			100
	法学特殊講義A	2		2		20			50	30					100
	法学特殊講義B	2		2		20			50	30					100
	国際政治学	2		2		20			50	30					100
	現代政治と公民教育	2		2		20			50	30					100
	社会学概論	2	2			20			50	30					100
	社会学特殊講義	2		2		20			50	30					100
	社会学特別演習AⅠ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習AⅡ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習AⅢ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習AⅣ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習AⅤ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅠ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅡ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅢ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅣ	2		2				30		40		30			100
	社会学特別演習BⅤ	2		2				30		40		30			100
	経済学概論	2	2			20			50	30					100
	国際経済論	2		2		20			50	30					100
	労働問題	2		2		20			50	30					100
	哲学概論	2	2			20			50	30					100
	哲学特殊講義A	2		2		20			50	30					100
	哲学特殊講義B	2		2		20			50	30					100
	倫理学概論	2	2			20			50	30					100
	倫理学特殊講義A	2		2		20			50	30					100
	倫理学特殊講義B	2		2		20			50	30					100
	倫理思想史Ⅰ	2		2		20			50	30					100
	倫理思想史Ⅱ	2		2		20			50	30					100
	倫理学特別演習A	2		2				30		40		30			100
	倫理学特別演習B	2		2				30		40		30			100
	倫理学特別演習C	2		2				30		40		30			100
	倫理学特別演習D	2		2				30		40		30			100
	倫理学特別研究Ⅰ	2		2				40		40		20			100
	倫理学特別研究Ⅱ	2		2				40		40		20			100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	倫理学特別研究Ⅲ	2		2				40		40		20			100
	倫理学特別研究Ⅳ	2		2				40		40		20			100
	倫理学特別研究Ⅴ	2		2				40		40		20			100
	宗教学	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学概論A（地理歴史）	2	2			20			50	30					100
	社会科教育学特殊講義A（地理歴史）Ⅰ	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特殊講義A（地理歴史）Ⅱ	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅰ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅱ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅲ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅳ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学概論B（公民）	2	2			20			50	30					100
	社会科教育学特殊講義B（公民）Ⅰ	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特殊講義B（公民）Ⅱ	2		2		20			50	30					100
	社会科教育学特別演習B（公民）Ⅰ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習B（公民）Ⅱ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習B（公民）Ⅲ	2		2				30		40		30			100
	社会科教育学特別演習B（公民）Ⅳ	2		2				30		40		30			100
卒業要件			26	4											
			30												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校社会	2		2		10	40				40			10	100
教職専門科目	社会科教育法（小）	2		2			40		10		20	10	10	10	100
	社会科教材研究法	2	2				40		10		20	10	10	10	100
	社会科教育内容研究	2	2				40	20		10	20		10		100
	中等社会科教育法A（社会・地歴）	2	2				40		10		20	10	10	10	100
	中等社会科教育法B（社会・公民）	2	2				40		10		20	10	10	10	100
	地理歴史科教育法	2		2			40		10		20	10	10	10	100
	公民科教育法	2		2			40		10		20	10	10	10	100
卒業要件			8												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

２．中学校教育コース

５）技術サブコース科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	木材概論Ⅰ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	木材概論Ⅱ	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	製図演習	1	1			10	30	20		20	10	10			100
	機械材料学	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	金属加工実習	1	1			10	30	20		20	10	10			100
	機械工学概論	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	機械工学実験	1	1			10	30	20		20	10	10			100
	電気電子工学Ⅰ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	電気電子工学Ⅱ	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	栽培理論Ⅰ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	栽培理論Ⅱ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	作物生産論	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	栽培学実験	1		1		10	30	20		20	10	10			100
	情報工学Ⅰ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	情報工学Ⅱ	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	プログラミング演習	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	ネットワーク演習	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	情報社会と倫理	2	2			10	30	20		20	10	10			100
	技術史	2		2		10	30	20		20	10	10			100
	卒業要件		25	5											
			30												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	技術科教育法Ⅰ	2	2			10	30				30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅱ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅲ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	技術科教育法Ⅳ	2	2				20		20		20	20	10	10	100
卒業要件			8												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

２．中学校教育コース

６）家庭サブコース科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	生活経営学	2	2				20	40		10	10	10		10	100
	被服学Ⅰ	2	2					50				20		30	100
	被服学Ⅱ	2		2				50				20		30	100
	被服学Ⅲ	2		2				50				30		20	100
	被服学Ⅳ	2		2				50				30		20	100
	被服学実験実習Ⅰ	1	1	2					40		20	20		20	100
	被服学実験実習Ⅱ	1							40		20	20		20	100
	被服学実験実習Ⅲ	1							40		20	20		20	100
	食物学Ⅰ	2	2					50				20		30	100
	食物学Ⅱ	2	2					50				20		30	100
	食物学Ⅲ	2		2				50				30		20	100
	食物学Ⅳ	2		2				50				30		20	100
	食物学実験実習Ⅰ	1	1						40		20	20		20	100
	食物学実験実習Ⅱ	1	1						40			30		30	100
	食生活学特別演習Ⅰ	2		2						40		30		30	100
	食生活学特別演習Ⅱ	2		2						40		30		30	100
	住居学	2	2					40		20		20		20	100
	保育学	2	2					50				20		30	100
	生活工学	2	2					40	10			30		20	100
	家政学特講Ⅰ	2		2				40		10		30		20	100
	家政学特講Ⅱ	2		2				40		10		30		20	100
	卒業要件		17	13											
			30												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校家庭科	2		2		10	30		10		30	10		10	100
教職専門科目	家庭科教育法（小）	2		2		10	30				30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅰ	2	2			10	30				30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅱ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅲ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	家庭科教育法Ⅳ	2	2				20		20		20	20	10	10	100
卒業要件			8												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

２．中学校教育コース

７）英語サブコース科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	英語学の世界	2	2					40		20	20		10	10	100
	英語の文法	2	2					40		20	20		10	10	100
	英語学特別演習	2	2					20		40		20	10	10	100
	英語学特別講義A	2		2				40		20	20		10	10	100
	英語学特別講義B	2		2				40		20	20		10	10	100
	英米文学概論	2	2					40		20	20		10	10	100
	英米文学特別演習Ⅰ	2	2					20		40		20	10	10	100
	英米文学特別演習Ⅱ	2		2				20		40		20	10	10	100
	英米文学特別講義A	2		2				40		20	20		10	10	100
	英米文学特別講義B	2		2				40		20	20		10	10	100
	英語音声学講義	2	2					40		20	20		10	10	100
	英語音声学特別演習	2	2					40		20		20	10	10	100
	英語表現特別演習（S）Ⅰ	2	2					20		20		40	10	10	100
	英語表現特別演習（S）Ⅱ	2		2				20		20		40	10	10	100
	英語表現特別演習（W）Ⅰ	2	2					20		20		40	10	10	100
	英語表現特別演習（W）Ⅱ	2		2				20		20		40	10	10	100
	英語表現特別研究A	2	2					20		40		20	10	10	100
	英語表現特別研究B	2	2					20		40		20	10	10	100
	英語表現特別研究C	2		2				20		40		20	10	10	100
	異文化理解	2	2					40		20		20	10	10	100
	英語インターンシッププログラムA	2		2			20		20		20		30	10	100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	英語インターンシッププログラムB	2		2			20		20		20		30	10	100
	英語科教育法特別演習Ⅰ	2	2				20			40	20		10	10	100
	英語科教育法特別演習Ⅱ	2		2			20			40	20		10	10	100
	英語科教育法特別講義A	2		2			40			20	20		10	10	100
	英語科教育法特別講義B	2		2			40			20	20		10	10	100
	卒業要件		26	4											
			30												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教職専門科目	英語科教育法Ⅰ	2	2			10	40				30		10	10	100
	英語科教育法Ⅱ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	英語科教育法Ⅲ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	英語科教育法Ⅳ	2	2				20		20		20	20	10	10	100
	小学校の英語教育	2		2			40		20		20		10	10	100
卒業要件			8												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

２．中学校教育コース

８）音楽サブコース科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	ソルフェージュA Ⅰ	1	1*				20	30			40		10		100
	ソルフェージュB Ⅰ	1					20	30			40		10		100
	ソルフェージュA Ⅱ	1	1*				20	30			40		10		100
	ソルフェージュB Ⅱ	1					20	30			40		10		100
	声楽 Ⅰ	1	1			20	20			10	40			10	100
	声楽 Ⅱ	1	1			20	20			10	40			10	100
	声楽 Ⅲ	1		1		20		20		10	40			10	100
	声楽 Ⅳ	1		1		20		20		10	40			10	100
	合唱	1	1			10	20	20	20		10	10	10		100
	器楽A Ⅰ	1	1			20	20		10		40		10		100
	器楽A Ⅱ	1	1			20	20		10		40		10		100
	器楽A Ⅲ	1		1		20		20		10	40		10		100
	器楽A Ⅳ	1		1		20		20		10	40		10		100
	器楽B Ⅰ	1		1		20	20		10		40		10		100
	器楽B Ⅱ	1		1		20	20		10		40		10		100
	器楽B Ⅲ	1		1		20		20		10	40		10		100
	器楽B Ⅳ	1		1		20		20		10	40		10		100
	伴奏法	1	1					20		20		40		20	100
	合奏A	1	1			10	20	20	20		10	10	10		100
	合奏B	1		1	10				30		20	20	10	10	100
	器楽C	1	1				20				50	30			100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	器楽D	1		1			20				50	30			100
	指揮法	1	1				10	10			50	30			100
	音楽理論Ⅰ	2	2				10	30		30		30			100
	音楽理論Ⅱ	2	2				10	30		30		30			100
	作曲法Ⅰ	2	2				20	20	20	20		20			100
	作曲法Ⅱ	2		2			20	20	20	20		20			100
	音楽史A	2	2		20		50		30						100
	音楽史B	2	2		20		50		30						100
	声楽演習Ⅰ	1		1				20		30	50				100
	声楽演習Ⅱ	1		1				20		30	50				100
	声楽演習Ⅲ	1		1				20		30	50				100
	声楽演習Ⅳ	1		1				20		30	50				100
	器楽演習AⅠ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習AⅡ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習AⅢ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習AⅣ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習BⅠ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習BⅡ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習BⅢ	1		1				20		30	30	20			100
	器楽演習BⅣ	1		1				20		30	30	20			100
	作曲演習Ⅰ	1		1			10	30	10	30		10		10	100
	作曲演習Ⅱ	1		1			10	30	10	30		10		10	100
	作曲演習Ⅲ	1		1			10	30	10	30		10		10	100
	作曲演習Ⅳ	1		1			10	30	10	30		10		10	100
	音楽科教育学演習AⅠ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習AⅡ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習AⅢ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習AⅣ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習BⅠ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習BⅡ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習BⅢ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
	音楽科教育学演習BⅣ	1		1	10		20		20	20		20	10		100
卒業要件			21	9											
			30												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校音楽A	1		1		10	40				40			10	100
	小学校音楽B	1		1		10	40				40			10	100
教職専門科目	音楽科教育法（小）	2		2		10	40				30		10	10	100
	音楽科教育法Ⅰ	2	2			10	40				30		10	10	100
	音楽科教育法Ⅱ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	音楽科教育法Ⅲ	2	2				20		20		20	20	10	10	100
	音楽科教育法演習A	1	1				30	10	20		30		10		100
	音楽科教育法演習B	1	1				30	10	20		30		10		100
	保育内容（音楽）	2		2			40		20		20	10	10		100
卒業要件			8												

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

２．中学校教育コース

９）美術サブコース科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	絵画基礎	2	2		10		10	50		30					100
	彫刻基礎	2	2		10		10	50		30					100
	デザイン基礎A	2	2		10		10	50		30					100
	工芸基礎	2	2		10		10	50		30					100
	美術史入門	2	2		10		10	50		30					100
	造形特別演習（絵画）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（絵画）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（絵画）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（絵画）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（絵画）A	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）B	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）C	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）D	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）E	1		1				50		50					100
	造形実習（絵画）F	1		1				50		50					100
	造形特別演習（彫刻）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（彫刻）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（彫刻）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（彫刻）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（彫刻）A	1		1				50		50					100
	造形実習（彫刻）B	1		1				50		50					100

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	造形実習（彫刻）C	1		1				50		50					100
	造形実習（彫刻）D	1		1				50		50					100
	造形実習（彫刻）E	1		1				50		50					100
	造形実習（彫刻）F	1		1				50		50					100
	デザイン基礎B	2		2	10		10	50		30					100
	造形特別演習（デザイン）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（デザイン）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（デザイン）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（デザイン）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（デザイン）A	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）B	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）C	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）D	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）E	1		1				50		50					100
	造形実習（デザイン）F	1		1				50		50					100
	造形特別演習（視覚文化）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（視覚文化）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（視覚文化）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（視覚文化）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（視覚文化）A	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）B	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）C	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）D	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）E	1		1				50		50					100
	造形実習（視覚文化）F	1		1				50		50					100
	造形特別演習（工芸）A	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（工芸）B	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（工芸）C	2		2	10		10	40		40					100
	造形特別演習（工芸）D	2		2	10		10	40		40					100
	造形実習（工芸）A	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）B	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）C	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）D	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）E	1		1				50		50					100
	造形実習（工芸）F	1		1				50		50					100
	美術史I	2		2	10		10	50		30					100

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	美術史Ⅱ	2		2	10		10	50		30					100
	美術史特別演習A	2		2	10		10	40		40					100
	美術史特別演習B	2		2	10		10	40		40					100
	美術史特別演習C	2		2	10		10	40		40					100
	美術史特別演習D	2		2	10		10	40		40					100
	色彩論特別演習	2		2	10		10	40		40					100
	美術科教育特別演習A	2		2			20		10		20	20	20	10	100
	美術科教育特別演習B	2		2			20		10		20	20	20	10	100
	美術科教育特別演習C	2		2			20		10		20	20	20	10	100
	美術科教育特別演習D	2		2			20		10		20	20	20	10	100
卒業要件															

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校図画工作	2		2	20		30	20		20				10	100
教職専門科目	造形教育法（小）	2		2	10		40		10			20	10	10	100
	美術科教育法Ⅰ	2	2			10	40				30		10	10	100
	美術科教育法Ⅱ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	美術科教育法Ⅲ	2	2				30		10		30	10	10	10	100
	美術科教育法Ⅳ	2	2				20		20		20	20	10	10	100
	保育内容（絵画）	2		2	10		10	50		30					100
卒業要件			8												

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

２．中学校教育コース

１０）保健体育サブコース科目

【中学校教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑨学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑩学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科専門科目	基礎体育実技（体つくり運動含む）	1	1			10	10	10	10		30	10	10	10	100
	体育実技Ａ（水泳含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｂ（冬季スポーツ含む）	1		1		10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｃ（陸上競技含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｄ（器械運動含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｅ（武道含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｆ（ダンス含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｇ（球技含む）	1	1			10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｈ（球技含む）	1		1		10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｉ（球技含む）	1		1		10	10	10	10		40		10	10	100
	体育実技Ｊ（球技含む）	1		1		10	10	10	10		40		10	10	100
	体育学Ａ（体育原理含む）	2	※2	2	20			40		10		10	10	10	100
	体育学Ｃ（体育経営管理学含む）	2		2	20			40		10		10	10	10	100
	体育学Ｄ（体育社会学含む）	2		2	20			40		10		10	10	10	100
	運動学（運動方法学含む）	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	生理学（運動生理学含む）	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	衛生・公衆衛生学	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	学校保健Ａ（小児保健・精神保健・学校安全含む）	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	学校保健Ｂ（救急処置含む）	2	2		20			40		10		10	10	10	100
	体育学実験	1		1	10				10	40		40			100
	体育学特別演習	2		2	10				10	40		40			100
卒業要件			※19	11											
			30												

※いずれか１科目選択必修。

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
教科	小学校体育A	1		1		10	20		20		40	10			100
	小学校体育B	1		1		10	20		20		40	10			100
教職専門科目	体育科教育法（小）	2		2		20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅰ	2	2			20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅱ	2	2			20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅲ	2	2			20	40		10				10	20	100
	保健体育科教育法Ⅳ	2	2			10	10			30		30	10	10	100
	保育内容（健康）	2		2		20	40		10				10	20	100
卒業要件			8												

区分	科目名	コース・単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現		関心・意欲	態度	合計
		単位数	中学校教育コース												
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
卒業研究		6						20		40		30		10	100

３．理数教育コース

以下に理数教育コースの学生が受講する講義を，1）教養教育科目，2）教職専門科目（共通），3）―4）サブコース科目に分けて示す．この内，1）教養教育科目，2）教職専門科目（共通）は，本コース学生に共通の科目群である．3）―4）サブコース科目は所属したサブコース毎に受講する科目群である．

１）教養教育科目

【理数教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③理科あるいは算数・数学の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識，理数教育に関する知識，及び実践的な体験を通して，学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦理数教育を中心として小学校及び中学校における学習指導の基本的な技能を身につけている。
⑧小学校及び中学校における生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑨ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑩学校教育の現状や課題に強い関心を持ち，理数教育の充実を中心として学校教育の発　展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑪学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	理数教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中一種 小学校専修		中一種＋小二種 中学校専修													
		単位数	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
実践知	基礎ゼミナール	1					10					20			40	20	10	100
技法知・外国語	英語総合Ⅰ（初級）	1					30								50		20	100
	英語総合Ⅱ（初級）	1					30								50		20	100
	英語総合Ⅰ（中級）	1					30								50		20	100
	英語総合Ⅱ（中級）	1					30								50		20	100
	英語総合Ⅰ（上級）	1					30								50		20	100
	英語総合Ⅱ（上級）	1					30								50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（初級）	1					30								50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（初級）	1					30								50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（中級）	1					30								50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（中級）	1					30								50		20	100
	英語コミュニケーションⅠ（上級）	1					30								50		20	100
	英語コミュニケーションⅡ（上級）	1					30								50		20	100
	英語基礎	1					30								50		20	100
	英語発展Ａ（TOEIC 初級）	1					30								50		20	100
	英語発展Ｂ（TOEIC 初級）	1					30								50		20	100
	英語発展Ｃ（TOEIC 中級）	1					30								50		20	100

区分	科目名	単位数	理数教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小一種＋中一種 小学校専修		中一種＋小二種 中学校専修													
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
技法知・外国語	英語発展D（TOEIC中級）	1					30								50		20	100
	英語発展E（実践英語）	1					30								50		20	100
	英語発展F（実践英語）	1					30								50		20	100
	英語発展G（科学英語）	1					30								50		20	100
	英語発展H（科学英語）	1					30								50		20	100
	初級ドイツ語（入門）	1					30								50		20	100
	初級ドイツ語（発展）	1					30								50		20	100
	中級ドイツ語	1					30								50		20	100
	初級フランス語（入門）	1					30								50		20	100
	初級フランス語（発展）	1					30								50		20	100
	中級フランス語	1					30								50		20	100
	初級ロシア語（入門）	1					30								50		20	100
	初級ロシア語（発展）	1					30								50		20	100
	中級ロシア語	1					30								50		20	100
	初級中国語（入門）	1					30								50		20	100
	初級中国語（発展）	1					30								50		20	100
	中級中国語	1					30								50		20	100
	初級韓国語（入門）	1					30								50		20	100
	初級韓国語（発展）	1					30								50		20	100
	中級韓国語	1					30								50		20	100
	上級日本語A	1					30								50		20	100
	上級日本語B	1					30								50		20	100
	上級日本語C	1					30								50		20	100
	上級日本語D	1					30								50		20	100
	上級日本語E	1					30								50		20	100
	上級日本語F	1					30								50		20	100
	上級日本語G	1					30								50		20	100
	上級日本語H	1					30								50		20	100
技法知・健スポ	健康・スポーツA	1					20								50		30	100
	健康・スポーツB	1					20								50		30	100
	健康・スポーツC（シーズン）	1					20								50		30	100
情報	情報基礎	2					30								50		20	100
学問知	哲学の世界	2					50										50	100
	倫理学の世界	2					50										50	100
	日本の思想と文化	2					50										50	100
	アジアの思想と文化	2					50										50	100
	欧米の思想と文化	2					50										50	100

区分	科目名	単位数	理数教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小一種＋中一種 小学校専修		中一種＋小二種 中学校専修													
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
学問知	日本の歴史と文化	2					50										50	100
	アジアの歴史と文化	2					50										50	100
	欧米の歴史と文化	2					50										50	100
	ジェンダーの歴史と文化	2					50										50	100
	女性と科学の関係史	2					50										50	100
	大学の歴史と現在	2					50										50	100
	岩手大学ミュージアム学	2					50										50	100
	心の理解	2					50										50	100
	日本の文学	2					50										50	100
	言葉の世界	2					50										50	100
	中国の文学	2					50										50	100
	欧米の文学	2					50										50	100
	欧米の言語論	2					50										50	100
	芸術の世界	2					50										50	100
	日本語表現技術入門	2					50										50	100
	図書館への招待	2					50										50	100
	コミュニケーションの現在	2					50										50	100
	心と表象	2					50										50	100
	日本事情A	2					50										50	100
	日本事情B	2					50										50	100
	英語で学ぶ日本の文化	2					50										50	100
	市民生活と法	2					50										50	100
	憲法	2					50										50	100
	経済のしくみ	2					50										50	100
	現代社会と経済	2					50										50	100
	市民と政治	2					50										50	100
	現代政治を見る眼	2					50										50	100
	社会的人間論	2					50										50	100
	現代社会の社会学	2					50										50	100
	地域と生活	2					50										50	100
	地域と社会	2					50										50	100
	対人関係の心理学	2					50										50	100
	知的財産入門	2					50										50	100
	知財ワークショップ	2					50										50	100
	キャリアを考える	2					50										50	100
	ボランティアとリーダーシップ	2					50										50	100
	科学・技術と現代社会	2					50										50	100

区分	科目名	単位数	理数教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小一種＋中一種 小学校専修		中一種＋小二種 中学校専修													
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
学問知	現代の諸問題	2					50										50	100
	公共社会	2					50										50	100
	多文化コミュニケーションA	2					50										50	100
	多文化コミュニケーションB	2					50										50	100
	生命のしくみ	2					50										50	100
	自然のしくみ	2					50										50	100
	自然と数理	2					50										50	100
	数理のひろがり	2					50										50	100
	宇宙のしくみ	2					50										50	100
	物質の世界	2					50										50	100
	自然と法則	2					50										50	100
	自然と数理の世界	2					50										50	100
	自然の科学	2					50										50	100
	科学と技術の歴史	2					50										50	100
	くらしと科学技術	2					50										50	100
	科学技術	2					50										50	100
	「環境」を考える	2					50										50	100
	生活と環境	2					50										50	100
	都市と環境	2					50										50	100
	地域の環境保全を考える	2					50										50	100
	地球環境と社会	2					50										50	100
	水と環境	2					50										50	100
	廃棄物と環境	2					50										50	100
	植物栽培と環境テクノロジー	2					50										50	100
	森林と環境	2					50										50	100
	動物と環境	2					50										50	100
	人の暮らしと生物環境	2					50										50	100
	環境マネジメントと岩手大学	2					50										50	100
	環境の科学	2					50										50	100
	現代社会をみる視角	2					50										50	100
	岩手の研究	2					50										50	100
	環境マネジメント実践学	2					50										50	100
	いわて学Ⅰ	2					50										50	100
	いわて学Ⅱ	2					50										50	100
	宮沢賢治の世界	2					50										50	100
	危機管理と復興	2					50										50	100
	持続可能なコミュニティーづくり実践学	2					50										50	100

区分	科目名	単位数	理数教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	小一種＋中一種 小学校専修		中一種＋小二種 中学校専修													
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
学問知	地元の企業に学ぶＥＳＤ	2					50										50	100
	地場産業・企業論	2					50										50	100
	三陸の研究	2					50										50	100
	自然災害と社会	2					50										50	100
	東北の歴史	2					50										50	100
	地域を考える	2					50										50	100
	地域と国際社会	2					50										50	100
	海外研修ー世界から地域を考えるー	2					50										50	100
実践知	初年次自由ゼミナール	1					10					20			40	20	10	100
実践知	地域課題演習A	2					10					20			40	20	10	100
	地域課題演習B	2					10					20			40	20	10	100
	地域課題演習C	2					10					20			40	20	10	100
	地域課題演習D	2					10					20			40	20	10	100
	地域課題演習E	2					10					20			40	20	10	100
	地域課題演習F	2					10					20			40	20	10	100
	地域課題演習G	2					10					20			40	20	10	100
	地域課題演習H	2					10					20			40	20	10	100

３．理数教育コース

２）教職専門科目（共通科目）

【理数教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③理科あるいは算数・数学の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識，理数教育に関する知識，及び実践的な体験を通して，学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦理数教育を中心として小学校及び中学校における学習指導の基本的な技能を身につけている。
⑧小学校及び中学校における生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑨ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑩学校教育の現状や課題に強い関心を持ち，理数教育の充実を中心として学校教育の発　展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑪学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	理数教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲	態度	重付合計
			小一種＋中一種 小学校専修		中一種＋小二種 中学校専修													
		単位数	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
教職専門科目	教職入門	2	2		2			30							20	20	30	100
	教育概論	2	2		2		20	30			10					20	20	100
	教育心理学	2	2		2			20			20			20		20	20	100
	発達心理学	2	2		2			20			20			20		20	20	100
	教育の思想	2	2		2		30	30				20				20		100
	教育の歴史	2	2		2		20			20		20			10	20	10	100
	教育学特殊講義A	2	2		2		10	10		20			20		20	10	10	100
	教育法規	2	2		2		10			20		20			20	20	10	100
	学校経営・制度論	2	2		2			20		30		10			10	10	20	100
	教育学特殊講義C	2	2		2		20	10			20		20		10	10	10	100
	特別支援教育	2	2		2		20	20		20						40		100
	教育方法（小）	2	2		2		10	20			30		10		20	10		100
	教育方法（中）	2	2		2		10	20			30		10		20	10		100
	ICTを活用した理数教育	2	2		2				30		10		30		10	10	10	100
	理数教材開発研究	1	1		1				30		10		30		10	10	10	100
	小学校実践研究	1	1			1		10	30		10		30		10		10	100
	国語科教育法（小）	2	2			2		10	30				30		10	10	10	100
	社会科教育法（小）	2	2			2			40		10		20		10	10	10	100
	数学科教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10	10	100
	理科教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10	10	100
	生活科教育法	2	2		12※	2		10	30		10		30			10	10	100

区分	科目名	単位数	理数教育コース 小一種＋中一種 小学校専修 必修	理数教育コース 小一種＋中一種 小学校専修 選択	理数教育コース 中一種＋小二種 中学校専修 必修	理数教育コース 中一種＋小二種 中学校専修 選択	知識・理解 ①	知識・理解 ②	知識・理解 ③	知識・理解 ④	思考・判断 ⑤	思考・判断 ⑥	技能・表現 ⑦	技能・表現 ⑧	技能・表現 ⑨	関心・意欲 ⑩	態度 ⑪	重付合計
教職専門科目	音楽科教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10	10	100
	造形教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10	10	100
	家庭科教育法（小）	2	2			2		10	30				30		10	10	10	100
	体育科教育法（小）	2	2			2		20	40		10					10	20	100
	数学科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30			10	10	100
	数学科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10	10	100
	数学科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10	10	100
	数学科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10	10	100
	理科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30			10	10	100
	理科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10	10	100
	理科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10	10	100
	理科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10	10	100
	道徳教育の理論と実践（小）	2	2		2			20	20		20		10		10	10	10	100
	道徳教育の理論と実践（中）	2	2		2			20	20		20		10		10	10	10	100
	特別活動の理論と方法（小）	2	2		2			10	20			30	10		20	10		100
	特別活動の理論と方法（中）	2	2		2			10	20			30	10		10	10	10	100
	生徒指導（小）	2	2		2			20			20		30			20	10	100
	生徒指導・進路指導（中）	2	2		2			20			20		30			20	10	100
	教育相談	2	2		2			20			20		20			10	30	100
	観察実習	1	1		1			10	10		20		10	10		20	20	100
	学校体験実習	1	1		1			10	10		20		10	10		20	20	100
	小学校教育実習	4	4		2			10	10		10		10	10	10	20	20	100
	中学校教育実習	2	2		4			10	10		10		10	10	10	20	20	100
	教育実習研究	1	1		1			10	10		10		10	10	10	20	20	100
	教職実践演習	2	2		2			10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100
卒業要件																		

区分	科目名	単位数	理数教育コース 小一種＋中一種 小学校専修 必修	理数教育コース 小一種＋中一種 小学校専修 選択	理数教育コース 中一種＋小二種 中学校専修 必修	理数教育コース 中一種＋小二種 中学校専修 選択	知識・理解 ①	知識・理解 ②	知識・理解 ③	知識・理解 ④	思考・判断 ⑤	思考・判断 ⑥	技能・表現 ⑦	技能・表現 ⑧	技能・表現 ⑨	関心・意欲 ⑩	態度 ⑪	重付合計
教科専門科目（小学校関係）	小学校国語A	2	8	2	4	2		10	40				40				10	100
	小学校生活科	2		2		2		10	30		10		30			10	10	100
	小学校音楽A	1		1		1		10	40				40				10	100
	小学校図画工作	2		2		2		10	40				40				10	100
	小学校体育A	1		1		1		10	20		20		40		10			100
	小学校社会	2		2		2		10	40				40				10	100
	小学校家庭科	2		2		2		10	30		10		30		10		10	100
卒業要件			8		4													

３．理数教育コース

３）理科サブコース科目（小学校教育専修・中学校教育専修）

【理数教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③理科あるいは算数・数学の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識，理数教育に関する知識，及び実践的な体験を通して，学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦理数教育を中心として小学校及び中学校における学習指導の基本的な技能を身につけている。
⑧小学校及び中学校における生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑨ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑩学校教育の現状や課題に強い関心を持ち，理数教育の充実を中心として学校教育の発　展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑪学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	コース・専修・単位数					知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	理数教育コース小学校教育専修		理数教育コース中学校教育専修													
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
教科専門科目	理数科クロスカリキュラム論	2	2		2		20	10	20		20		10			10	10	100
	入門物理学	2		2		2	60			40								100
	入門化学	2		2		2	60			40								100
	入門生物学	2		2		2	60			40								100
	入門地学	2		2		2	60			40								100
	物理学A	2	2		2				50	30		20						100
	物理学B	2		2	2				50	30		20						100
	古典力学	2		2		2				50		40				10		100
	電磁気学	2		2		2				50		40				10		100
	量子力学	2		2		2				50		40				10		100
	量子統計力学	2		2		2				50		40				10		100
	物理学実験Ⅰ	1	1		1				40				60					100
	物理学実験Ⅱ	1	1		1					30		10	50			10		100
	化学A	2	2		2				50	30		20						100
	化学B	2		2	2				50	30		20						100
	無機化学	2		2		2				50		40				10		100
	物理化学	2		2		2				50		40				10		100
	分析化学	2		2		2				50		40				10		100
	有機化学	2		2		2				50		40				10		100

区分	科目名	単位数	コース・専修・単位数 理数教育コース 小学校教育専修 必修	小学校教育専修 選択	理数教育コース 中学校教育専修 必修	中学校教育専修 選択	知識・理解 ①	②	③	④	思考・判断 ⑤	⑥	技能・表現 ⑦	⑧	⑨	関心・意欲 ⑩	態度 ⑪	重付合計
教科専門科目	化学演習A	1		1		1				20		30			40		10	100
	化学演習B	1		1		1				20		30			40		10	100
	化学実験Ⅰ	1	1		1				40				60					100
	化学実験Ⅱ	1	1		1					30		10	50			10		100
	化学専門実験	1		1		1				50		20	20			10		100
	生物学A	2	2		2				50	30		20						100
	生物学B	2		2	2				50	30		20						100
	動物科学	2		2		2				50		40				10		100
	分子生物学	2		2		2				50		40				10		100
	生物学演習A	1		1		1				20		30			50			100
	生物学演習B	1		1		1				20		30			50			100
	生命科学演習A	1		1		1				20		30			50			100
	生命科学演習B	1		1		1				20		30			50			100
	生物学実験Ⅰ	1	1		1				40				60					100
	生物学実験Ⅱ	1	1		1					30		10	50			10		100
	動物科学実験	1		1		1				20		30				50		100
	分子生物学実験	1		1		1				20		30				50		100
	動物学特別実験	1		1		1				20		30				50		100
	地学A	2	2		2				50	30		20						100
	地学B	2		2	2				50	30		20						100
	地球惑星進化学	2		2		2				50		40				10		100
	岩石学	2		2		2				50		40				10		100
	気象学	2		2		2				50		40				10		100
	地学野外巡検A	1		1		1			10	50	10	20					10	100
	地学野外巡検B	1		1		1			10	50	10	20					10	100
	地学野外巡検C	1		1		1			10	50	10	20					10	100
	地学野外巡検D	1		1		1			10	50	10	20					10	100
	地学実験Ⅰ	1	1		1				40				60					100
	地学実験Ⅱ	1	1		1					30		10	50			10		100
	理科教育特講Ⅰ	2		2		2			40	20		30				10		100
	理科教育特講Ⅱ	2		2		2			40	20		30				10		100
	理科教育特講Ⅲ	2		2		2			40	20		30				10		100
	理科教育実験特講Ⅰ	2		2		2			40	20		30				10		100
	理科教育実験特講Ⅱ	2		2		2			40	20		30				10		100
	理科教育実験特講Ⅲ	2		2		2			40	20		30				10		100
卒業要件			18	4	26	4												
			22		30													

区分	科目名	単位数	コース・専修・単位数 理数教育コース 小学校教育専修 必修	小学校教育専修 選択	理数教育コース 中学校教育専修 必修	中学校教育専修 選択	知識・理解 ①	②	③	④	思考・判断 ⑤	⑥	技能・表現 ⑦	⑧	⑨	関心・意欲 ⑩	態度 ⑪	重付合計
教科	小学校理科A	1		1		1		10	40				40				10	100
	小学校理科B	1		1		1		10	40				40				10	100
教職専門科目	ＩＣＴを活用した理数教育	2	2		2				30		10		30		10	10	10	100
	理数教材開発研究	1	1		1				30		10		30		10	10	10	100
	理科教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10	10	100
	理科教育法Ⅰ	2	2		2			10	40				30			10	10	100
	理科教育法Ⅱ	2	2		2				30		10		30		10	10	10	100
	理科教育法Ⅲ	2	2		2				30		10		30		10	10	10	100
	理科教育法Ⅳ	2	2		2				20		20		20		20	10	10	100
卒業要件			13		11													

区分	科目名	単位数	コース・専修・単位数 理数教育コース 小学校教育専修 必修	小学校教育専修 選択	理数教育コース 中学校教育専修 必修	中学校教育専修 選択	知識・理解 ①	②	③	④	思考・判断 ⑤	⑥	技能・表現 ⑦	⑧	⑨	関心・意欲 ⑩	態度 ⑪	重付合計
卒業研究		6								20		40			30		10	100

３．理数教育コース

４）数学サブコース科目（小学校教育専修・中学校教育専修）

【理数教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③理科あるいは算数・数学の内容及び指導法に関する知識を身につけている。
④専攻する学問分野の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識，理数教育に関する知識，及び実践的な体験を通して，学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥専攻する学問分野の探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦理数教育を中心として小学校及び中学校における学習指導の基本的な技能を身につけている。
⑧小学校及び中学校における生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑨ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑩学校教育の現状や課題に強い関心を持ち，理数教育の充実を中心として学校教育の発　展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑪学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている。

区分	科目名	コース・専修・単位数					知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲	態度	重付合計
		単位数	理数教育コース 小学校教育専修		理数教育コース 中学校教育専修													
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
教科専門科目	代数学Ⅰ	2	2		2		10		10	20	20	10	10			10	10	100
	代数学Ⅱ	2	2		2		10		10	20	20	10	10			10	10	100
	代数学Ⅲ	2		2		2			20	20	20	20				10	10	100
	代数学Ⅳ	2		2		2			20	20	20	20				10	10	100
	幾何学Ⅰ	2	2		2		10		10	20	20	10	10			10	10	100
	幾何学Ⅱ	2	2		2		10		10	20	20	10	10			10	10	100
	幾何学Ⅲ	2		2		2			20	20	20	20				10	10	100
	幾何学Ⅳ	2		2		2			20	20	20	20				10	10	100
	解析学Ⅰ	2	2		2		10		10	20	20	10	10			10	10	100
	解析学Ⅱ	2	2		2		10		10	20	20	10	10			10	10	100
	解析学Ⅲ	2		2		2			20	20	20	20				10	10	100
	解析学Ⅳ	2		2		2			20	20	20	20				10	10	100
	確率論入門	2	2		2		10		10	20	20	10	10			10	10	100
	プログラミング入門	2	2		2		10		10	20	20	10	10			10	10	100
	代数学各論	2		2		2			10	30	10	10			20	10	10	100
	幾何学各論	2		2		2			10	30	10	10			20	10	10	100
	解析学各論	2		2		2			10	30	10	10			20	10	10	100
	応用数学	2		2		2			10	30	10	10			20	10	10	100
	数学教育	2		2		2	10		10	10	20	10	10			20	10	100
	理数科クロスカリキュラム論	2	2		2		20	10	20		20		10			10	10	100

区分	科目名	単位数	コース・専修・単位数 理数教育コース 小学校教育専修 必修	小学校教育専修 選択	理数教育コース 中学校教育専修 必修	中学校教育専修 選択	知識・理解 ①	②	③	④	思考・判断 ⑤	⑥	技能・表現 ⑦	⑧	⑨	関心・意欲 ⑩	態度 ⑪	重付合計
教科専門科目	代数学特別講義	4		4	4				10	10		20			30	10	20	100
	幾何学特別講義	4		4					10	10		20			30	10	20	100
	解析学特別講義	4		4					10	10		20			30	10	20	100
	数学教育特別講義	4		4					10	10		20			30	10	20	100
卒業要件			18	4	22	8												
			22		30													

区分	科目名	単位数	コース・専修・単位数 理数教育コース 小学校教育専修 必修	小学校教育専修 選択	理数教育コース 中学校教育専修 必修	中学校教育専修 選択	知識・理解 ①	②	③	④	思考・判断 ⑤	⑥	技能・表現 ⑦	⑧	⑨	関心・意欲 ⑩	態度 ⑪	重付合計
教科	小学校算数	2		2		2	10	20	20		10		20			10	10	100
教職専門科目	ＩＣＴを活用した理数教育	2	2		2				30		10		30		10	10	10	100
	理数教材開発研究	1	1		1				30		10		30		10	10	10	100
	数学科教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10	10	100
	数学科教育法Ⅰ	2	2		2			10	40				30			10	10	100
	数学科教育法Ⅱ	2	2		2				30		10		30		10	10	10	100
	数学科教育法Ⅲ	2	2		2				30		10		30		10	10	10	100
	数学科教育法Ⅳ	2	2		2				20		20		20		20	10	10	100
卒業要件			13		11													

区分	科目名	単位数	コース・専修・単位数 理数教育コース 小学校教育専修 必修	小学校教育専修 選択	理数教育コース 中学校教育専修 必修	中学校教育専修 選択	知識・理解 ①	②	③	④	思考・判断 ⑤	⑥	技能・表現 ⑦	⑧	⑨	関心・意欲 ⑩	態度 ⑪	重付合計
卒業研究		6								20		40			30		10	100

4．特別支援教育コース

以下に特別支援教育コースの学生が受講する講義を，1）教養教育科目，2）教職専門科目（共通），3）特別支援専門科目に分けて示す．これらの科目群は，本コースの学生に共通の科目群である．本コースの学生は，この他に基礎免許となる小学校教員免許あるいは中学校教員免許の取得が必要である．よって，ここに表記した科目群に加えて，基礎免として取得する免許に応じて他コース欄に表記した科目群の科目を履修する必要がある．

1）教養教育科目

【特別支援教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③特別支援学校及び小学校または中学校の各教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④特別支援教育の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥特別支援教育への探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンター的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身につけている。
⑨ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑩学校教育の現状や課題に強い関心を持ち，学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
⑪特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち，最新の動向の把握に努め，特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑫学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し，常に学び続けようとする態度を身につけている。
⑬特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し，児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
			特支一種＋小一種 小学校基礎免許		特支一種＋中一種 中学校基礎免許															
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
実践知	基礎ゼミナール	1					10					20			40	20		10		100
技法知・外国語	英語総合Ⅰ（初級）	1					30								50			20		100
	英語総合Ⅱ（初級）	1					30								50			20		100
	英語総合Ⅰ（中級）	1					30								50			20		100
	英語総合Ⅱ（中級）	1					30								50			20		100
	英語総合Ⅰ（上級）	1					30								50			20		100
	英語総合Ⅱ（上級）	1					30								50			20		100
	英語コミュニケーションⅠ（初級）	1					30								50			20		100
	英語コミュニケーションⅡ（初級）	1					30								50			20		100
	英語コミュニケーションⅠ（中級）	1					30								50			20		100
	英語コミュニケーションⅡ（中級）	1					30								50			20		100
	英語コミュニケーションⅠ（上級）	1					30								50			20		100
	英語コミュニケーションⅡ（上級）	1					30								50			20		100

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
		単位数	特支一種＋小一種 小学校基礎免許		特支一種＋中一種 中学校基礎免許															
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
技法知・外国語	英語基礎	1					30								50			20		100
	英語発展A（TOEIC初級）	1					30								50			20		100
	英語発展B（TOEIC初級）	1					30								50			20		100
	英語発展C（TOEIC中級）	1					30								50			20		100
	英語発展D（TOEIC中級）	1					30								50			20		100
	英語発展E（実践英語）	1					30								50			20		100
	英語発展F（実践英語）	1					30								50			20		100
	英語発展G（科学英語）	1					30								50			20		100
	英語発展H（科学英語）	1					30								50			20		100
	初級ドイツ語（入門）	1					30								50			20		100
	初級ドイツ語（発展）	1					30								50			20		100
	中級ドイツ語	1					30								50			20		100
	初級フランス語（入門）	1					30								50			20		100
	初級フランス語（発展）	1					30								50			20		100
	中級フランス語	1					30								50			20		100
	初級ロシア語（入門）	1					30								50			20		100
	初級ロシア語（発展）	1					30								50			20		100
	中級ロシア語	1					30								50			20		100
	初級中国語（入門）	1					30								50			20		100
	初級中国語（発展）	1					30								50			20		100
	中級中国語	1					30								50			20		100
	初級韓国語（入門）	1					30								50			20		100
	初級韓国語（発展）	1					30								50			20		100
	中級韓国語	1					30								50			20		100
	上級日本語A	1					30								50			20		100
	上級日本語B	1					30								50			20		100
	上級日本語C	1					30								50			20		100
	上級日本語D	1					30								50			20		100
	上級日本語E	1					30								50			20		100
	上級日本語F	1					30								50			20		100
	上級日本語G	1					30								50			20		100
	上級日本語H	1					30								50			20		100
技法知・健スポ	健康・スポーツA	1					20								50			30		100
	健康・スポーツB	1					20								50			30		100
	健康・スポーツC（シーズン）	1					20								50			30		100
情報	情報基礎	2					30								50			20		100

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
			特支一種＋小一種 小学校基礎免許		特支一種＋中一種 中学校基礎免許															
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
学問知	哲学の世界	2					50											50		100
	倫理学の世界	2					50											50		100
	日本の思想と文化	2					50											50		100
	アジアの思想と文化	2					50											50		100
	欧米の思想と文化	2					50											50		100
	日本の歴史と文化	2					50											50		100
	アジアの歴史と文化	2					50											50		100
	欧米の歴史と文化	2					50											50		100
	ジェンダーの歴史と文化	2					50											50		100
	女性と科学の関係史	2					50											50		100
	大学の歴史と現在	2					50											50		100
	岩手大学ミュージアム学	2					50											50		100
	心の理解	2					50											50		100
	日本の文学	2					50											50		100
	言葉の世界	2					50											50		100
	中国の文学	2					50											50		100
	欧米の文学	2					50											50		100
	欧米の言語論	2					50											50		100
	芸術の世界	2					50											50		100
	日本語表現技術入門	2					50											50		100
	図書館への招待	2					50											50		100
	コミュニケーションの現在	2					50											50		100
	心と表象	2					50											50		100
	日本事情A	2					50											50		100
	日本事情B	2					50											50		100
	英語で学ぶ日本の文化	2					50											50		100
	市民生活と法	2					50											50		100
	憲法	2					50											50		100
	経済のしくみ	2					50											50		100
	現代社会と経済	2					50											50		100
	市民と政治	2					50											50		100
	現代政治を見る眼	2					50											50		100
	社会的人間論	2					50											50		100
	現代社会の社会学	2					50											50		100
	地域と生活	2					50											50		100
	地域と社会	2					50											50		100
	対人関係の心理学	2					50											50		100

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
		単位数	特支一種＋小一種 小学校基礎免許		特支一種＋中一種 中学校基礎免許															
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
学問知	知的財産入門	2					50											50		100
	知財ワークショップ	2					50											50		100
	キャリアを考える	2					50											50		100
	ボランティアとリーダーシップ	2					50											50		100
	科学・技術と現代社会	2					50											50		100
	現代の諸問題	2					50											50		100
	公共社会	2					50											50		100
	多文化コミュニケーションA	2					50											50		100
	多文化コミュニケーションB	2					50											50		100
	生命のしくみ	2					50											50		100
	自然のしくみ	2					50											50		100
	自然と数理	2					50											50		100
	数理のひろがり	2					50											50		100
	宇宙のしくみ	2					50											50		100
	物質の世界	2					50											50		100
	自然と法則	2					50											50		100
	自然と数理の世界	2					50											50		100
	自然の科学	2					50											50		100
	科学と技術の歴史	2					50											50		100
	くらしと科学技術	2					50											50		100
	科学技術	2					50											50		100
	「環境」を考える	2					50											50		100
	生活と環境	2					50											50		100
	都市と環境	2					50											50		100
	地域の環境保全を考える	2					50											50		100
	地球環境と社会	2					50											50		100
	水と環境	2					50											50		100
	廃棄物と環境	2					50											50		100
	植物栽培と環境テクノロジー	2					50											50		100
	森林と環境	2					50											50		100
	動物と環境	2					50											50		100
	人の暮らしと生物環境	2					50											50		100
	環境マネジメントと岩手大学	2					50											50		100
	環境の科学	2					50											50		100
	現代社会をみる視角	2					50											50		100
	岩手の研究	2					50											50		100
	環境マネジメント実践学	2					50											50		100

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
			特支一種＋小一種 小学校基礎免許		特支一種＋中一種 中学校基礎免許															
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
学問知	いわて学Ⅰ	2					50											50		100
	いわて学Ⅱ	2					50											50		100
	宮沢賢治の世界	2					50											50		100
	危機管理と復興	2					50											50		100
	持続可能なコミュニティーづくり実践学	2					50											50		100
	地元の企業に学ぶＥＳＤ	2					50											50		100
	地場産業・企業論	2					50											50		100
	三陸の研究	2					50											50		100
	自然災害と社会	2					50											50		100
	東北の歴史	2					50											50		100
	地域を考える	2					50											50		100
	地域と国際社会	2					50											50		100
	海外研修－世界から地域を考える－	2					50											50		100
実践知	初年次自由ゼミナール	1					10					20			40	20		10		100
実践知	地域課題演習A	2					10					20			40	20		10		100
	地域課題演習B	2					10					20			40	20		10		100
	地域課題演習C	2					10					20			40	20		10		100
	地域課題演習D	2					10					20			40	20		10		100
	地域課題演習E	2					10					20			40	20		10		100
	地域課題演習F	2					10					20			40	20		10		100
	地域課題演習G	2					10					20			40	20		10		100
	地域課題演習H	2					10					20			40	20		10		100
卒業要件																				

４．特別支援教育コース

２）教職専門科目（共通科目）

【特別支援教育コース】
（知識・理解）
①総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③特別支援学校及び小学校または中学校の各教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④特別支援教育の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥特別支援教育への探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンター的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身につけている。
⑨ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑩学校教育の現状や課題に強い関心を持ち，学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
⑪特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち，最新の動向の把握に努め，特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑫学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し，常に学び続けようとする態度を身につけている。
⑬特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し，児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけている。

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
			特支一種＋小一種 小学校基礎免許		特支一種＋中一種 中学校基礎免許															
		単位数	必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
教職専門科目	教職入門	2	2		2			30							20	20		30		100
	教育概論	2	2		2		20	30			10					20		20		100
	教育の思想	2	2	2	2	2	30	30				20			20					100
	教育の歴史	2					20			20		20			10	20		10		100
	教育学特殊講義A	2		2		2	10	10		20			20		20	10		10		100
	教育心理学	2	2		2			20			20		20			20		20		100
	発達心理学	2	2		2			20			20		20			20		20		100
	特別支援教育	2	2		2		20	20		20						40				100
	教育法規	2	2	2	2	2	10			20		20			20	20		10		100
	学校経営・制度論	2						20		30		10			10	10		20		100
	教育学特殊講義C	2		2		2	20	10			20		20		10	10		10		100
	教育方法（小）	2	2			2	10	20			30		10		20	10				100
	教育方法（中）	2		2	2		10	20			30		10		20	10				100
	小学校実践研究	1	1			1		10	30		10		30		10			10		100
	小学校の英語教育	2	2			2			40		20		20			10		10		100
	国語科教育法（小）	2	2			2		10	30				30		10	10		10		100
	社会科教育法（小）	2	2			2			40		10		20		10	10		10		100

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
		単位数	特支一種＋小一種 小学校基礎免許		特支一種＋中一種 中学校基礎免許															
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
教職専門科目	数学科教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10		10		100
	理科教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10		10		100
	生活科教育法	2	2			2		10	30		10		30			10		10		100
	音楽科教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10		10		100
	造形教育法（小）	2	2			2		10	40				30			10		10		100
	家庭科教育法（小）	2	2			2		10	30				30		10	10		10		100
	体育科教育法（小）	2	2			2		20	40		10					10		20		100

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース				知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
		単位数	特支一種＋小一種 小学校基礎免許		特支一種＋中一種 中学校基礎免許															
			必修	選択	必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
教職専門科目	国語科教育法Ⅰ	2		2	所属科の教育法8	2		10	30				30		10	10		10		100
	国語科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	国語科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	国語科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10		10		100
	中等社会科教育法A（社会・地歴）	2		2		2			40		10		20		10	10		10		100
	中等社会科教育法B（社会・公民）	2		2		2			40		10		20		10	10		10		100
	社会科教材研究法	2		2		2			40		10		20		10	10		10		100
	社会科教育内容研究	2		2		2			40	20		10	20			10				100
	数学科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30			10		10		100
	数学科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	数学科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	数学科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10		10		100
	理科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30			10		10		100
	理科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	理科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	理科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10		10		100
	技術科教育法Ⅰ	2		2		2		10	30				30		10	10		10		100
	技術科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	技術科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	技術科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10		10		100
	家庭科教育法Ⅰ	2		2		2		10	30				30		10	10		10		100
	家庭科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	家庭科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	家庭科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10		10		100
	英語科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30			10		10		100
	英語科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース 特支一種＋小一種 小学校基礎免許 必修	特別支援教育コース 特支一種＋小一種 小学校基礎免許 選択	特別支援教育コース 特支一種＋中一種 中学校基礎免許 必修	特別支援教育コース 特支一種＋中一種 中学校基礎免許 選択	知識・理解 ①	②	③	④	思考・判断 ⑤	⑥	技能・表現 ⑦	⑧	⑨	関心・意欲 ⑩	⑪	態度 ⑫	⑬	重付合計
教職専門科目	英語科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	英語科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10		10		100
	音楽科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30			10		10		100
	音楽科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	音楽科教育法Ⅲ	2		2		2			20		20		20		20	10		10		100
	音楽科教育法演習A	1		2		2			30	10	20		30			10				100
	音楽科教育法演習B	1		2		2			30	10	20		30			10				100
	美術科教育法Ⅰ	2		2		2		10	40				30			10		10		100
	美術科教育法Ⅱ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	美術科教育法Ⅲ	2		2		2			30		10		30		10	10		10		100
	美術科教育法Ⅳ	2		2		2			20		20		20		20	10		10		100
	保健体育科教育法Ⅰ	2		2		2		20	40		10					10		20		100
	保健体育科教育法Ⅱ	2		2		2		20	40		10					10		20		100
	保健体育科教育法Ⅲ	2		2		2		20	40		10					10		20		100
	保健体育科教育法Ⅳ	2		2		2		10	10			30			30	10		10		100
	地理歴史科教育法	2		2		2			40		10		20		10	10		10		100
	公民科教育法	2		2		2			40		10		20		10	10		10		100

区分	科目名	単位数	特別支援教育コース 特支一種＋小一種 小学校基礎免許 必修	特別支援教育コース 特支一種＋小一種 小学校基礎免許 選択	特別支援教育コース 特支一種＋中一種 中学校基礎免許 必修	特別支援教育コース 特支一種＋中一種 中学校基礎免許 選択	知識・理解 ①	②	③	④	思考・判断 ⑤	⑥	技能・表現 ⑦	⑧	⑨	関心・意欲 ⑩	⑪	態度 ⑫	⑬	合計
教職専門科目	道徳教育の理論と実践（小）	2	2			2		20	20		20		10		10	10		10		100
	道徳教育の理論と実践（中）	2		2	2			20	20		20		10		10	10		10		100
	特別活動の理論と方法（小）	2	2			2		10	20			30	10		20	10				100
	特別活動の理論と方法（中）	2		2	2		20	10			30		20			10		10		100
	生徒指導（小）	2	2			2		20			20		30			20		10		100
	生徒指導・進路指導（中）	2		2	2			20			20		30			20		10		100
	教育相談	2	2		2			20			20		20			10		30		100
	観察実習	1	1		1			10	10		30		30			10		10		100
	学校体験実習	1	1		1			10	10		30		30			10		10		100
	小学校教育実習	4	4			2		10			30		30		10	10		10		100
	中学校教育実習	4		2	4			10			30		30		10	10		10		100
	教育実習研究	1	1		1			20	10		20		20			10		20		100
	教職実践演習	2	2		2			10	10	10	10	10	10	10	10		10		10	100
卒業要件			54		41															
			54		41															

区分	科目名	単位数	単位数 特別支援教育コース 特支一種＋小一種 小学校基礎免許 必修	単位数 特別支援教育コース 特支一種＋小一種 小学校基礎免許 選択	単位数 特別支援教育コース 特支一種＋中一種 中学校基礎免許 必修	単位数 特別支援教育コース 特支一種＋中一種 中学校基礎免許 選択	知識・理解 ①	知識・理解 ②	知識・理解 ③	知識・理解 ④	思考・判断 ⑤	思考・判断 ⑥	技能・表現 ⑦	技能・表現 ⑧	技能・表現 ⑨	関心・意欲 ⑩	関心・意欲 ⑪	態度 ⑫	態度 ⑬	重付合計
教科専門科目（小学校関係）	小学校国語A	2	2					10	40				40					10		100
	小学校生活科	2	2					10	30		10		30			10		10		100
	小学校音楽A	1	1					10	40				40					10		100
	小学校図画工作	2	2					10	40				40					10		100
	小学校体育A	1	1					10	20		20		40		10					100
	小学校社会	2	2					10	40				40					10		100
	小学校家庭科	2	2					10	30		10		30		10			10		100
	小学校算数	2	2				10	20	20		10		20			10		10		100
	小学校理科A	1	1					10	40				40					10		100
	小学校理科B	1	1					10	40				40					10		100
	小学校国語B	2		2				10	40				40					10		100
	小学校音楽B	1		1				10	40				40					10		100
	小学校体育B	1		1				10	20		20		40		10					100
卒業要件			16																	
			16																	

４．特別支援教育コース

３）特別支援教育科目

【特別支援教育コース】
（知識・理解）
①合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている。
②特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけている。
③特別支援学校及び小学校または中学校の各教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけている。
④特別支援教育の専門的知識を身につけている。

（思考・判断）
⑤学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている。
⑥特別支援教育への探求的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている。

（技能・表現）
⑦小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけている。
⑧特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンター的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身につけている。
⑨ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる。また、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論したりすることができる。

（関心・意欲）
⑩学校教育の現状や課題に強い関心を持ち，学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。
⑪特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち，最新の動向の把握に努め，特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている。

（態度）
⑫学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し，常に学び続けようとする態度を身につけている。
⑬特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し，児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけている。

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
		単位数	小学校基礎免許 中学校基礎免許															
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
所属専門科目	特別支援教育概説	2	2		10	20		20		10					20		20	100
	知的障害者の心理・生理・病理	2	2					40		20						20	20	100
	特別支援心理検査法	2		2				40		20		10	10			10	10	100
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2					40		20						20	20	100
	病弱者の心理・生理・病理	2	2					40		20						20	20	100
	知的障害教育課程論	2	2			10	10	20		20		20			10		10	100
	知的障害教育指導法	2	2			10	10	20		10		20	10		10		10	100
	特別支援教育指導法	2	2		10		20	10		10		10		10	10		20	100
	知的障害教育授業論	2		2		10	10	20		10		20	10		10		10	100
	肢体不自由教育課程・指導法	2	2				10	30		20	10	10				10	10	100
	病弱教育課程・指導法	2	2					30		20	10	20				10	10	100
	特別支援教育実践論	2		2		10		10	10	20			20		10		20	100
	視覚障害教育総論	1	1			10	10	20		20		20			10		10	100
	聴覚障害教育総論	1	1					50		30		20						100
	言語障害教育総論	1	1					50		30		20						100
	重度重複障害教育総論	1	1			10	10	20		20		20			10		10	100
	軽度発達障害総論	1	1					50		30		20						100
	特別支援教育実習	2	2					30	10	10		10	10	10	10		10	100
	特別支援教育実習研究	1	1					30	10	10		10	10	10	10		10	100
	卒業要件		26															
				26														

区分	科目名	単位数	学校教育教員養成課程全学生		知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
教職	特別支援教育	2	2		20	20		20							40			100

区分	科目名	単位数			知識・理解				思考・判断		技能・表現			関心・意欲		態度		重付合計
		単位数	小学校基礎免許 中学校基礎免許															
			必修	選択	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
卒業研究		6	6					20		40			20			10	10	100

理工学部　カリキュラムチェックリスト

化学・生命理工学科　化学コース

化学コースの学位授与の方針
（知識・理解）
１．幅広い教養と理工学分野の基礎学力を身につけている。
２．化学に関する専門知識を有し、それらを応用できる。

（思考・判断）
３．地域における諸問題を分析し、その解決法を論理的に提案できる。
４．化学に関する専門知識に基づいて、直面する課題に対する解決法を思考することができる。

（技能・表現）
５．化学技術者として必要な基本的実験技能を有する。
６．実験や調査結果を論理的に表現する文章作成能力を有し、国際的に通用するプレゼンテーション能力を身につけている。

（関心・意欲・態度）
７．地域における課題、化学に関する研究動向に関心を持っている。
８．化学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持っている。

科目区分	授業科目の名称	学位授与の方針								重付合計
		知識・理解		思考・判断		技能・表現		興味・関心・態度		
		1	2	3	4	5	6	7	8	
教養教育科目	基礎ゼミナール			30	30		10	20	10	100
	外国語科目	20					80			100
	健康・スポーツ科目	100								100
	情報科目	20		20		40	20			100
	文化科目	80				20				100
	社会科目	80				20				100
	自然＆科学技術科目	80						20		100
	環境科目	80						20		100
	地域科目	50		30				20		100
	地域課題演習			60	20			10	10	100
	初年次自由ゼミナール			40	20		10	20	10	100
専門基礎科目	基礎数学	100								100
	微分積分学Ⅰ	100								100
	微分積分学Ⅱ	100								100
	線形代数学	100								100
	微分方程式	100								100
	ベクトル解析	100								100
	確率統計学	100								100
	フーリエ解析	100								100
	物理学Ⅰ	100								100
	物理学Ⅱ	100								100
	化学Ⅰ	50						50		100
	化学Ⅱ	50						50		100
	生物学	100								100

科目区分	授業科目の名称	学位授与の方針								重付合計
		知識・理解		思考・判断		技能・表現		興味・関心・態度		
		1	2	3	4	5	6	7	8	
学部内共通科目	ソフトパス理工学概論	20		30				20	30	100
	原子力工学	50						50		100
	技術者倫理	50						50		100
	工業経営管理論	50						50		100
	知的財産権概論	50						50		100
	特許法特講	50						50		100
	社会体験学習						30	30	40	100
	国際研修						30	30	40	100
学科内共通科目	化学生命研修Ⅰ			30			30	20	20	100
	化学生命研修Ⅱ			30			30	20	20	100
	化学生命概論		40		20			20	20	100
	科学英語Ⅰ	50					50			100
	科学英語Ⅱ	50					50			100
	基礎分析化学		50		50					100
	無機構造化学		50		50					100
	基礎物理化学		50		50					100
	物理化学Ⅰ		50		50					100
	有機化学Ⅰ		50		50					100
	量子化学		50		50					100
	基礎化学工学		50		50					100
	有機合成化学		50		~~50~~					100
	生化学		50		50					100
	神経科学概論		50		50					100
	発生生物学		50		50					100
	分子遺伝学		50		50					100
	医薬品科学		50		50					100
化学コース科目	無機反応化学		50		50					100
	物理化学Ⅱ		50		50					100
	有機化学Ⅱ		50		50					100
	有機化学Ⅲ		50		50					100
	基礎高分子化学		50		50					100
	高分子合成化学		50		50					100
	無機物質化学Ⅰ		50		50					100
	無機物質化学Ⅱ		50		50					100

科目区分	授業科目の名称	学位授与の方針								重付合計
		知識・理解		思考・判断		技能・表現		興味・関心・態度		
		1	2	3	4	5	6	7	8	
化学コース科目	物性物理化学		50		50					100
	構造物理化学		50		50					100
	分析化学		50		50					100
	有機反応化学		50		50					100
	構造有機化学		50		50					100
	無機工業化学		50		50					100
	化学工学Ⅰ		50		50					100
	機器分析化学		50		50					100
	反応工学		50		50					100
	化学工学Ⅱ		50		50					100
	分子構造解析学		50		50					100
	高分子材料化学		50		50					100
	有機工業化学		50		50					100
	化学理工学情報Ⅰ						50		50	100
	化学理工学情報Ⅱ						50		50	100
	化学理工学演習Ⅰ		50		50					100
	化学理工学演習Ⅱ		50		50					100
	化学理工学実験Ⅰ		10		20	50		20		100
	化学理工学実験Ⅱ		10		20	50		20		100
	化学理工学研修						50	50		100
	卒業研究				20			40	40	100
生命コース科目	分子細胞生物学Ⅰ									0
	分子細胞生物学Ⅱ									0
	分子細胞生物学Ⅲ									0
	基礎生理学									0
	人体解剖学									0
	生命情報学									0
	生体計測工学									0
	生物統計学									0
	臨床生理学									0
	ブレインサイエンス									0
	バイオテクノロジー									0
	システム生理学									0
	再生医療工学									0

科目区分	授業科目の名称	学位授与の方針								重付合計
		知識・理解		思考・判断		技能・表現		興味・関心・態度		
		1	2	3	4	5	6	7	8	
生命コース科目	医療機器工学									0
	微生物学概論									0
	栄養化学									0
	生命理工学演習Ⅰ									0
	生命理工学演習Ⅱ									0
	英語論文講読Ⅰ									0
	英語論文講読Ⅱ									0
	生命理工学実験Ⅰ									0
	生命理工学実験Ⅱ									0
	生命理工学情報									0
	卒業研究									0
高大連携科目	理工学入門数学Ⅰ	100								100
	理工学入門数学Ⅱ	100								100
	理工学入門物理Ⅰ	100								100
	理工学入門物理Ⅱ	100								100
	理工学入門化学	100								100
対応科目数		34	39	8	43	5	13	23	12	
重み付け合計		2580	1860	270	1950	180	490	730	340	

化学・生命理工学科　生命コース

生命コースの学位授与の方針
（知識・理解）
1．一般教養を身につけている。
2．自然科学に関する幅広い基礎知識と、生命理工学に関する専門知識を有しそれらを応用できる。

（思考・判断）
3．多様な社会性や地域性を考慮しつつ、生命理工学の見地から健康や福祉等の諸問題解決のための論理的な判断や提案ができる。

（技能・表現）
4．生命理工学分野の基本的な研究・実験技能を身につけている。
5．日本語と英語による論理的な表現力とコミュニケーション能力を修得している。

（関心・意欲・態度）
6．生命理工学及び関連分野の進展に関心を持ち、主体的に学ぶことができる。
7．生命理工学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持っている。

区分	授業科目	学位授与の方針							重付合計
		知識理解		思考判断	技能表現		関心意欲態度		
		1	2	3	4	5	6	7	
教養教育科目	基礎ゼミナール					20	60	20	100
	外国語科目					100			100
	健康・スポーツ科目	100							100
	情報科目	80			20				100
	文化科目	100							100
	社会科目	100							100
	自然＆科学技術科目	60	40						100
	環境科目	100							100
	地域科目	80		20					100
	地域課題演習			80		10		10	100
	初年次自由ゼミナール						60	40	100
専門基礎科目	基礎数学		100						100
	微分積分学Ⅰ		100						100
	微分積分学Ⅱ		100						100
	線形代数学		100						100
	微分方程式		100						100
	ベクトル解析		100						100
	確率統計学		100						100
	フーリエ解析		100						100
	物理学Ⅰ		100						100
	物理学Ⅱ		100						100
	化学Ⅰ		100						100
	化学Ⅱ		100						100
	化学実験		50		50				100
	生物学		100						100

区分	授業科目	学位授与の方針							重付合計
		知識理解		思考判断	技能表現		関心意欲態度		
		1	2	3	4	5	6	7	
学部内共通科目	ソフトパス理工学概論		30	20				50	100
	原子力工学		100						100
	技術者倫理		50					50	100
	工業経営管理論		50					50	100
	知的財産権概論		50					50	100
	特許法特講		50					50	100
	社会体験学習			50				50	100
	国際研修			20		80			100
学科内共通科目	化学生命研修Ⅰ			40	30			30	100
	化学生命研修Ⅱ			40	30			30	100
	化学生命概論		50	20			30		100
	科学英語Ⅰ	50				50			100
	科学英語Ⅱ	50				50			100
	基礎分析化学		100						100
	無機構造化学		100						100
	基礎物理化学		100						100
	物理化学Ⅰ		100						100
	有機化学Ⅰ		100						100
	量子化学		100						100
	基礎化学工学		100						100
	有機合成化学		100						100
	生化学		100						100
	神経科学概論		100						100
	発生生物学		100						100
	分子遺伝学		100						100
	医薬品科学		100						100
生命コース科目	分子細胞生物学Ⅰ		100						100
	分子細胞生物学Ⅱ		100						100
	分子細胞生物学Ⅲ		100						100
	基礎生理学		100						100
	人体解剖学		100						100
	生命情報学		100						100
	生体計測工学		100						100
	生物統計学		100						100

区分	授業科目	学位授与の方針							重付合計
		知識理解		思考判断	技能表現		関心意欲態度		
		1	2	3	4	5	6	7	
生命コース科目	臨床生理学		100						100
	ブレインサイエンス		100						100
	バイオテクノロジー		100						100
	システム生理学		100						100
	再生医療工学		100						100
	医療機器工学		100						100
	微生物学概論		100						100
	栄養化学		100						100
	生命理工学演習Ⅰ		50		50				100
	生命理工学演習Ⅱ		50		50				100
	英語論文講読Ⅰ					50	50		100
	英語論文講読Ⅱ					50	50		100
	生命理工学実験Ⅰ		10		90				100
	生命理工学実験Ⅱ		10		90				100
	生命理工学情報			20		30	50		100
	卒業研究						80	20	100
高大連携科目	理工学入門数学Ⅰ		100						100
	理工学入門数学Ⅱ		100						100
	理工学入門物理Ⅰ		100						100
	理工学入門物理Ⅱ		100						100
	理工学入門化学		100						100
対応科目数		9	60	9	8	9	7	12	
重み付け合計		720	5290	310	410	440	380	450	

物理・材料理工学科　数理・物理コース

数理・物理コースの学位授与方針
（知識・理解）
１．　教養教育、数学、物理、化学の各分野の幅広い基礎知識，基礎学力を有している。
２．　数理科学および物理学に関する幅広い専門知識を有している。

（思考・判断）
３．数理科学および物理学の観点から諸問題を分析し、問題解決のための論理的な判断や提案ができる。

（興味・関心）
４．科学技術の創成や人の暮らしや産業の発展を担う新現象の解明、研究手法の開発、および、数理科学、物理学に大いなる意欲を有している。

（技能・表現）
５．教育者、研究者あるいは技術者として必要な基本的な実験や演習、計算の技能を有するとともに、自らの考えを論理的に説明できる。
６．科学英語の読解力と文章力を有するとともに、英語により自らの成果をプレゼンテーションすることができる。

（態度）
７．社会における科学技術の役割を理解し、高い倫理性を持って、獲得した知識や技術を地域や国際社会の様々な問題解決に積極的に生かそうとすることができる。

区分等	科目名	学位授与の方針							重付合計
		知識・理解		思考・判断		技能・表現		態度	
		1	2	3	4	5	6	7	
教養教育科目	基礎ゼミナール				50	20		30	100
	外国語科目						100		100
	健康・スポーツ科目	100							100
	情報科目	80		20					100
	文化科目	80						20	100
	社会科目	80						20	100
	自然＆科学技術科目	40			40			20	100
	環境科目	60			20			20	100
	地域科目	60			20			20	100
	地域課題演習			50		10		40	100
	初年次自由ゼミナール			40		20		40	100
専門基礎科目	基礎数学	50	50						100
	微分積分学Ⅰ	50	50						100
	微分積分学Ⅱ	50	50						100
	線形代数学	50	50						100
	微分方程式	50		50					100
	ベクトル解析	50	50						100
	複素解析	50	50						100
	確率統計学	50		50					100
	フーリエ解析	50		50					100
	物理学	50	50						100

区分等	科目名	学位授与の方針							重付合計
		知識・理解		思考・判断		技能・表現		態度	
		1	2	3	4	5	6	7	
専門基礎科目	物理学実験	40		10	20	20		10	100
	化学Ⅰ	50	50						100
	化学Ⅱ	50	50						100
	化学実験	40		10	20	20		10	100
	生物学	100							100
	地学	100							100
数理・物理コース科目	量子物理学Ⅱ		100						100
	物理数学演習Ⅰ	60				40			100
	物理数学演習Ⅱ	60				40			100
	粒子線計測学		100						100
	現代物理学Ⅰ		100						100
	現代物理学Ⅱ		100						100
	応用確率統計学		100						100
	応用微分方程式		100						100
	複雑系科学		100						100
	ゲーム理論		100						100
	応用解析学		100						100
	幾何学Ⅰ		100						100
	幾何学Ⅱ		100						100
学科内共通科目	物理・材料理工学基礎演習		20	20	20	30		10	100
	設計製図		30	30		40			100
	科学技術英語Ⅰ	50					50		100
	科学技術英語Ⅱ	50					50		100
	数値計算法	80		20					100
	プログラミング学		50			50			100
	物理・材料理工学実験Ⅰ		20	20	30	10		20	100
	物理・材料理工学実験Ⅱ		20	20	30	10		20	100
	専門英語セミナー		50				50		100
	特別研修		20	20	60				100
	特別講義Ⅰ		20	20	60				100
	特別講義Ⅱ		20	20	60				100
	工場見学		20	20	60				100
	熱力学	100							100
	材料組織学Ⅰ	100							100

区分等	科目名	学位授与の方針							重付合計
		知識・理解		思考・判断		技能・表現		態度	
		1	2	3	4	5	6	7	
学科内共通科目	電気回路学	100							100
	電磁気学Ⅰ	100							100
	電磁気学Ⅱ	100							100
	量子物理学Ⅰ	100							100
	統計物理学		100						100
	光学		100						100
	固体物理学		100						100
	電子物性学		100						100
	材料計測学		100						100
	誘電体材料学		100						100
	半導体理工学		100						100
	有機材料学		100						100
	磁性理工学		100						100
	超伝導理工学		100						100
	ナノ理工学		100						100
学部内共通科目	ソフトパス理工学概論		30			30		40	100
	原子力工学		100						100
	技術者倫理							100	100
	工業経営管理論					50		50	100
	知的財産権概論					50		50	100
	特許法特講					50		50	100
	社会体験学習			40		30		30	100
	国際研修			20		20	40	20	100
高大連携科目	理工学入門数学Ⅰ	100							100
	理工学入門数学Ⅱ	100							100
	理工学入門物理Ⅰ	100							100
	理工学入門物理Ⅱ	100							100
	理工学入門化学	100							100
卒業研究	卒業研究			40		30	20	10	100
対応科目数		39	43	20	13	19	6	21	
重み付け合計		2780	3050	570	490	570	310	630	

物理・材料理工学科　マテリアルコース

マテリアルコースの学位授与方針
(知識・理解)
1．教養教育、数学、物理、化学の各分野の幅広い基礎知識、基礎学力を有している。
2．マテリアル工学および材料科学に関する幅広い専門知識を有している。

(思考・判断)
3．マテリアル工学および材料科学の観点から諸問題を分析し、問題解決のための論理的な判断や提案ができる。

(興味・関心)
4．科学技術の創成や人の暮らしや産業の発展を担う材料開発や評価技術開発に大いなる意欲を有している。

(技能・表現)
5．教育者、研究者あるいは技術者として必要な基本的な実験や計算の技能を有するとともに、自らの考えを論理的に説明できる。
6．研究者あるいは技術者として必要な科学技術英語の基礎知識と技能を有している。

(態度)
7．社会におけるマテリアル工学および材料科学の役割を理解し、高い倫理性を持って、獲得した知識や技術をエネルギーや地球環境などの問題解決に積極的に生かそうとすることができる。

区分等	科目名	学位授与の方針							重付合計
		知識・理解		思考・判断	興味・関心	技能・表現		態度	
		1	2	3	4	5	6	7	
教養教育科目	基礎ゼミナール			20	40			40	100
	外国語科目						100		100
	健康・スポーツ科目	100							100
	情報科目	80				20			100
	文化科目	80						20	100
	社会科目	80						20	100
	自然＆科学技術科目	40			40			20	100
	環境科目	60						40	100
	地域科目	60			20			20	100
	地域課題演習			50		10		40	100
	初年次自由ゼミナール			40		20		40	100
専門基礎科目	基礎数学	50	50						100
	微分積分学Ⅰ	50	50						100
	微分積分学Ⅱ	50	50						100
	線形代数学	50	50						100
	微分方程式	50		50					100
	ベクトル解析	50	50						100
	複素解析	50	50						100
	確率統計学	50		50					100
	フーリエ解析	50		50					100

区分等	科目名	学位授与の方針							重付合計
		知識・理解		思考・判断	興味・関心	技能・表現		態度	
		1	2	3	4	5	6	7	
専門基礎科目	物理学	50	50						100
	物理学実験	40		10	20	20		10	100
	化学Ⅰ	50	50						100
	化学Ⅱ	50	50						100
	化学実験	40		10	20	20		10	100
	生物学	100							100
	地学	100							100
マテリアルコース科目	材料力学		100						100
	材料物理化学Ⅰ		100						100
	材料物理化学Ⅱ		100						100
	材料組織学Ⅱ		100						100
	金属構造材料学		100						100
	材料強度学		100						100
	電気化学		100						100
	半導体デバイス工学		100						100
	エコ材料学		100						100
	接合工学		100						100
	反応工学		100						100
	鉄鋼製錬		100						100
	非鉄製錬		100						100
	鋳造材料学		100						100
	複合材料学		100						100
学科内共通科目	物理・材料理工学基礎演習		20	20	20	30		10	100
	設計製図		30	30		40			100
	科学技術英語Ⅰ	50					50		100
	科学技術英語Ⅱ	50					50		100
	数値計算法		80	20					100
	プログラミング学		50			50			100
	物理・材料理工学実験Ⅰ		20	20	10	30		20	100
	物理・材料理工学実験Ⅱ		20	20	10	30		20	100
	専門英語セミナー		50				50		100
	特別研修		20	20	60				100
	特別講義Ⅰ		20	20	60				100

区分等	科目名	学位授与の方針							重付合計
		知識・理解		思考・判断	興味・関心	技能・表現		態度	
		1	2	3	4	5	6	7	
学科内共通科目	特別講義Ⅱ		20	20	60				100
	工場見学		20	20	60				100
	熱力学		100						100
	材料組織学Ⅰ		100						100
	電気回路学		100						100
	電磁気学Ⅰ		100						100
	電磁気学Ⅱ		100						100
	量子物理学Ⅰ		100						100
	統計物理学		100						100
	光学		100						100
	固体物理学		100						100
	電子物性学		100						100
	材料計測学		100						100
	誘電体材料学		100						100
	半導体理工学		100						100
	有機材料学		100						100
	磁性理工学		100						100
	超伝導理工学		100						100
	ナノ理工学		100						100
学部内共通科目	ソフトパス理工学概論		30			30		40	100
	原子力工学		100						100
	技術者倫理							100	100
	工業経営管理論					50		50	100
	知的財産権概論					50		50	100
	特許法特講					50		50	100
	社会体験学習			40		30		30	100
	国際研修			20		20	40	20	100
高大連携科目	理工学入門数学Ⅰ	100							100
	理工学入門数学Ⅱ	100							100
	理工学入門物理Ⅰ	100							100
	理工学入門物理Ⅱ	100							100
	理工学入門化学	100							100
卒業研究	卒業研究			40		30	20	10	100
対応科目数		30	54	20	12	17	6	21	
重み付け合計		1980	4130	570	420	530	310	660	

システム創成工学科　電気電子通信コース

システム創成工学科　電気・電子通信コースの学位授与の方針
（知識・理解）
１．幅広い教養を備え、電気電子通信工学に関する基本的な原理、法則、理論を理解している。

（思考・判断）
２．専門知識を実際の課題に結びつけて柔軟な思考ができ、創造的に応用することができる。

（技能・表現）
３．電気・電子・通信に関する機器の動作原理を理解し、活用することができる。
４．他人と議論や協力ができる論理的なコミュニケーション能力・語学力を身につけている。

（関心・意欲）
５．科学技術の進展に高い関心を持ち、継続的・主体的に学習することができる。

（態度）
６．社会における役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけている。

区分等	科目名	学位授与の方針						重付合計
		知識理解	思考判断	技能表現		関心意欲	態度	
		1	2	3	4	5	6	
教養教育科目	基礎ゼミナール	20			20	40	20	100
	外国語科目				100			100
	健康・スポーツ科目	100						100
	情報科目	40		60				100
	文化科目	80					20	100
	社会科目	60				20	20	100
	自然＆科学技術科目	40	20			20	20	100
	環境科目	40	40				20	100
	地域科目	40	40				20	100
	地域課題演習	20			20	40	20	100
	初年次自由ゼミナール	20			20	40	20	100
専門基礎科目	基礎数学	100						100
	微分積分学Ⅰ	100						100
	微分積分学Ⅱ	100						100
	線形代数学	100						100
	微分方程式	100						100
	ベクトル解析	100						100
	複素解析	100						100
	確率統計学	100						100
	フーリエ解析	100						100
	物理学Ⅰ	100						100
	物理学Ⅱ	100						100
	化学	100						100

区分等	科目名	学位授与の方針						重付合計
		知識理解	思考判断	技能表現		関心意欲	態度	
		1	2	3	4	5	6	
電気電子通信コース科目	電気数学	100						100
	電気回路論Ⅱ	100						100
	電気回路論Ⅲ	100						100
	電磁気学Ⅱ	100						100
	電磁波工学	100						100
	ディジタル電子回路	100						100
	応用電子回路	100						100
	電気電子計測学	100						100
	情報通信理論	100						100
	情報通信ネットワーク	100						100
	通信システム	100						100
	コンピュータ工学	100						100
	制御システム工学	100						100
	ディジタル信号処理	100						100
	電子材料物性学	100						100
	電子デバイス工学Ⅰ	100						100
	電子デバイス工学Ⅱ	100						100
	半導体LSI工学	100						100
	光エレクトロニクス	100						100
	エネルギー変換工学	100						100
	電気機器工学	100						100
	発電工学	100						100
	高電圧プラズマ工学	100						100
	送配電工学	100						100
	電気電子工学課題実習Ⅰ	10	30	20	20	10	10	100
	電気電子工学基礎実験	20	20	10	20	20	10	100
	電気電子工学応用実験	20	20	10	20	20	10	100
	プログラム言語及び演習	20	20	30	10	10	10	100
	組込ソフトウェア実習	20	20	30	10	10	10	100
	組込ハードウェア実習	20	20	30	10	10	10	100
	電気電子工学英語研修Ⅰ	30			70			100
	電気電子工学英語研修Ⅱ	30			70			100
	電気電子工学専門研修					50	50	100
	電気電子工学特別講義	50				30	20	100

区分等	科目名	学位授与の方針						重付合計
		知識理解	思考判断	技能表現		関心意欲	態度	
		1	2	3	4	5	6	
電気電子通信コース科目	電気電子工学課題実習Ⅱ	10	30	20	20	10	10	100
	電気設計製図	50	10	40				100
	電気法規	80					20	100
	電波法規	80					20	100
	卒業研究	20	30	10	10	20	10	100
学科内共通科目	電気回路論Ⅰ	100						100
	アナログ電子回路	100						100
	電磁気学Ⅰ	100						100
	情報工学基礎	100						100
	離散数学	100						100
	論理回路	100						100
	材料力学Ⅰ	100						100
	機械力学	100						100
	機械設計学	100						100
	測量学	100						100
	構造力学Ⅰ	100						100
	環境工学	100						100
学部内共通科目	ソフトパス理工学概論	20	30		10	20	20	100
	原子力工学	100						100
	技術者倫理		30				70	100
	工業経営管理論		30				70	100
	知的財産権概論		30				70	100
	特許法特講		30				70	100
	社会体験学習	10	10	10	10	50	10	100
	国際研修	10	10		60	10	10	100
高大連携科目	理工学入門数学Ⅰ	100						100
	理工学入門数学Ⅱ	100						100
	理工学入門物理Ⅰ	100						100
	理工学入門物理Ⅱ	100						100
	理工学入門化学	100						100
対応科目数		81	19	11	17	18	27	
重み付け合計		6360	470	270	500	430	670	

システム創成工学科　知能・メディア情報コース

知能・メディア情報コースの学位授与の方針
(知識・理解)
1．幅広い教養と知能・メディア情報工学に関する基礎的な専門知識を身につけている。

(思考・判断)
2．問題の本質を理解し、基礎的な課題に対して解決法を考える能力、および問題解決のための具体的な計画立案・遂行能力を身につけている。
3．専門分野等の知識を活用してデータを分析することができ、論理的な評価や考察を行える能力を身につけている。

(技能・表現)
4．知能・メディア情報システムを構成するハードウェアやソフトウェアを開発するために必要な基礎的能力を幅広く身につけている。
5．自らの思考・判断のプロセスや結果を論理的に表現する文章能力と、協創的課題解決のために他人に説明するコミュニケーション能力を身につけている。
6．知能・メディア情報工学及びその関連分野に関する基礎的な英語能力を身につけている。

(興味・関心・態度)
7．自然科学、地域課題、及び知能・メディア情報工学等の動向や進展に関心を持ち、主体的に学ぶための基礎的な能力を身につけている。
8．社会における知能・メディア情報システムの役割を理解し、技術者として社会に貢献する基礎的な能力を身につけている。

区分	授業科目	学位授与の方針								重付合計
		知識・理解	思考・判断		技能・表現			興味・関心・態度		
		1	2	3	4	5	6	7	8	
教養教育科目	基礎ゼミナール	50						50		100
	外国語科目						100			100
	健康・スポーツ科目							100		100
	情報科目	50			50					100
	文化科目	50						50		100
	社会科目	50						50		100
	自然＆科学技術科目	50						50		100
	環境科目							50	50	100
	地域科目	40						60		100
	地域課題演習		40	20		20		20		100
	初年次自由ゼミナール	40	10					40	10	100
専門基礎科目	基礎数学	100								100
	微分積分学Ⅰ	100								100
	微分積分学Ⅱ	100								100
	線形代数学Ⅰ	100								100
	線形代数学Ⅱ	100								100
	微分方程式	50	50							100
	ベクトル解析	100								100
	複素解析	100								100
	フーリエ解析	50	50							100

区分	授業科目	学位授与の方針								重付合計
		知識・理解	思考・判断		技能・表現			興味・関心・態度		
		1	2	3	4	5	6	7	8	
専門基礎科目	確率統計学	50		50						100
	物理学	100								100
	化学	100								100
	生物学	100								100
専門科目（知能）	信号処理		10	10	80					100
	画像処理とパターン認識		10	10	80					100
	人工知能		10	10	80					100
	ロボティクス		10	10	80					100
専門科目（メディア）	コンピュータグラフィックス		10	10	80					100
	メディアシステム		10	10	80					100
	ヒューマンインタフェース		10	10	80					100
コース内共通科目	情報工学基礎	30			50			10	10	100
	離散数学	100								100
	論理回路	50			50					100
	データ構造とアルゴリズム	50	50							100
	数値計算	80		20						100
	ディジタル回路設計	20			50	30				100
	コンピュータアーキテクチャ	50			50					100
	コンピュータネットワーク	50			50					100
	オペレーティングシステム	50			50					100
	プログラミング言語入門	50			50					100
	ソフトウェア構成論	50			50					100
	集積回路	50			50					100
	データ解析	50		50						100
	ディジタル通信	50			50					100
	形式言語とオートマトン	50			50					100
	情報理論	50		50						100
	コンパイラ	50			50					100
	数理計画法	50	50							100
	データベース	50		50						100
	キャリアセミナー					100				100
	実用英語セミナー						100			100

区分	授業科目	学位授与の方針								重付合計
		知識・理解	思考・判断		技能・表現			興味・関心・態度		
		1	2	3	4	5	6	7	8	
コース内共通科目	情報工学特別講義							50	50	100
	プログラミング言語及び演習Ⅰ	20	30		50					100
	プログラミング言語及び演習Ⅱ	20	30		50					100
	プログラミング言語及び演習Ⅲ	10	30		60					100
	ソフトウェア設計及び演習		20		60	20				100
	ハードウェア設計及び演習		20		60	20				100
	ハードウェア実験	10	30	30	10	20				100
	ネットワーク実験	10	30	30	10	20				100
	情報工学専門実験			40	20	20	10	10		100
	創造プロジェクト		10			70		20		100
	システム創成プロジェクト			10	10	50		30		100
学科内共通科目	電気回路論Ⅰ	100								100
	アナログ電子回路	100								100
	電磁気学Ⅰ	100								100
	材料力学Ⅰ	100								100
	機械力学	100								100
	機械設計学	100								100
	測量学	100								100
	構造力学Ⅰ	100								100
	環境工学	100								100
学部内共通科目	ソフトパス理工学概論	30						30	40	100
	原子力工学	100								100
	技術者倫理								100	100
	工業経営管理論							50	50	100
	知的財産権概論							50	50	100
	特許法特講							50	50	100
	社会体験学習		20	20				30	30	100
	国際研修		10	10			40	20	20	100
高大連携科目	理工学入門数学Ⅰ	100								100
	理工学入門数学Ⅱ	100								100
	理工学入門物理Ⅰ	100								100
	理工学入門物理Ⅱ	100								100
	理工学入門化学	100								100

区分	授業科目	学位授与の方針								重付合計
		知識・理解	思考・判断		技能・表現			興味・関心・態度		
		1	2	3	4	5	6	7	8	
卒業研究	卒業研究		20	20	20	20		10	10	100
対応科目数		60	24	20	30	11	4	21	12	
重み付け合計		4060	570	470	1560	390	250	830	470	

システム創成工学科　機械科学コース

機械科学コースの学位授与の方針
（知識・理解）
１．一般的な教養を身につけ、工学に関する幅広く基礎的な知識と、機械科学に関する専門的な知識及び技能を修得している。

（思考・判断）
２．幅広く深い教養と総合的な判断力を身につけ、社会における科学技術者の在り方や社会への貢献について考察できる。

（技能・表現）
３．機械科学分野の機器およびコンピュータを活用し、所望の機能を実現する基礎的な能力を身につけている。
４．日本語と英語による論理的な表現力とコミュニケーション能力を身につけている。

（関心・意欲）
５．機械科学の進展に関心を持ち、専門的知識を応用しながら主体的に学習することができる。

（態度）
６．社会における機械科学の役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけている。

区分等	科目名	学位授与の方針						重付合計
		知識理解	思考判断	技能表現	技能表現	関心意欲	態度	
		1	2	3	4	5	6	
教養教育科目	基礎ゼミナール	20	40		20	20		100
	外国語科目				100			100
	健康・スポーツ科目	100						100
	情報科目			100				100
	文化科目	50	50					100
	社会科目	40	40				20	100
	自然＆科学技術科目	20	60				20	100
	環境科目	20	20				60	100
	地域科目		60			20	20	100
	地域課題演習	20	20		20	20	20	100
	初年次自由ゼミナール	20	30		20	20	10	100
専門基礎科目	基礎数学	100						100
	微分積分学Ⅰ	100						100
	微分積分学Ⅱ	100						100
	線形代数学	100						100
	微分方程式	100						100
	ベクトル解析	100						100
	複素解析	100						100
	確率統計学	100						100
	フーリエ解析	100						100
	物理学Ⅰ	100						100
	物理学Ⅱ	100						100
	物理学実験	50	10	10	10	10	10	100
	化学	100						100

区分等	科目名	学位授与の方針						重付合計
		知識理解	思考判断	技能表現	技能表現	関心意欲	態度	
		1	2	3	4	5	6	
機械科学コース科目	機械工作実習	20	20	10	10	20	20	100
	初年次機械ゼミナール	10	30	10	10	30	10	100
	機械基礎製図Ⅰ	50				50		100
	機械基礎製図Ⅱ	20		80				100
	CAD実習	20		80				100
	機械設計製図	30	30	20		20		100
	機械科学実験	20	20	10	20	20	10	100
	材料力学演習	80				20		100
	機械材料学	100						100
	水力学	100						100
	水力学演習	80				20		100
	機械力学演習	80				20		100
	熱力学	100						100
	熱力学演習	80				20		100
	機械加工学	100						100
	制御工学	100						100
	FORTRAN実習	30		50		20		100
	C言語実習	30		50		20		100
	機械科学特別講義Ⅰ	20	10		10	40	20	100
	機械科学特別講義Ⅱ	50				50		100
	工業英語				100			100
	機械科学研修Ⅰ	10	10	10	10	50	10	100
	機械科学研修Ⅱ	10	10		70	10		100
	自動車工学概論	100						100
	生産加工学	100						100
	材料力学Ⅱ	100						100
	伝熱工学	100						100
	燃焼工学	100						100
	環境とエネルギー	100						100
	トライボロジー	100						100
	ロボット工学概論	100						100
	生体工学	100						100
	精密工学	100						100
	システム制御工学	100						100

区分等	科目名	学位授与の方針						重付合計
		知識理解	思考判断	技能表現	技能表現	関心意欲	態度	
		1	2	3	4	5	6	
機械科学コース科目	計測工学	100						100
	ロボティクス工学	100						100
	航空宇宙工学概論	100						100
	粘性流体工学	100						100
	数値計算法	100						100
	固体力学	100						100
	基礎計算力学	100						100
	航空流体工学	100						100
	航空宇宙システム工学	100						100
	卒業研究	20	10	10	10	40	10	100
学科内共通科目	電気回路論Ⅰ	100						100
	アナログ電子回路	100						100
	電磁気学Ⅰ	100						100
	情報工学基礎	100						100
	離散数学	100						100
	論理回路	100						100
	材料力学Ⅰ	100						100
	機械力学	100						100
	機械設計学	100						100
	測量学	100						100
	構造力学Ⅰ	100						100
	環境工学	100						100
学部内共通科目	ソフトパス理工学概論	20	30		10	20	20	100
	原子力工学	100						100
	技術者倫理		30				70	100
	工業経営管理論		30				70	100
	知的財産権概論		30				70	100
	特許法特講		30				70	100
	社会体験学習	10	10	10	10	50	10	100
	国際研修	10	10		60	10	10	100
高大連携科目	理工学入門数学Ⅰ	100						100
	理工学入門数学Ⅱ	100						100
	理工学入門物理Ⅰ	100						100
	理工学入門物理Ⅱ	100						100
	理工学入門化学	100						100
対応科目数		85	24	13	16	24	20	
重み付け合計		6540	640	450	490	620	560	

システム創成工学科　社会基盤・環境コース

社会基盤・環境コースの学位授与の方針

（知識・理解）

1．数学・自然科学および情報技術に関する知識を習得し，多面的な視点から考えることのできる能力を身につけている。

2．社会環境工学の建設，環境，防災の各専門技術に関する知識とその知識を応用する能力を身につけている。

（思考・判断）

3．問題の本質を理解し，必要な情報を収集・分析して解決法を考える能力，および問題解決のための具体的なデザイン・計画を立て，遂行する能力を身につけている（デザイン能力）。

4．自ら課題を発見・解決する能力および主体的・持続的に学習を行う能力を身につけている（課題発見能力、継続学習能力）。

（関心・意欲・態度）

5．地球環境・地域環境を理解する能力および持続可能な循環社会構築のための技術を考える能力を身につけている。

6．科学技術が社会や自然におよぼす影響を理解して，技術者としての社会的使命・責任を認識する能力を身につけている（倫理）。

（技能・表現）

7．充分な語学力，および自国の文化・社会を学ぶとともに世界の多様な価値観を理解し，国際的に通用するコミュニケーション能力を身につけている。

8．自分の意見や実験研究の内容・成果を論理的・客観的に表現する文章作成能力とプレゼンテーション能力を身につけている。

9．他者と協力してチームで仕事をすることができる能力を身につけている（チームワーク力）。

区分等	科目名	学位授与の方針									重付合計
		知識・理解		思考・判断		関心・意欲・態度		技能・表現			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
教養教育科目	基礎ゼミナール	10	10	20	20		20		10	10	100
	外国語							100			100
	健康・スポーツ							40		60	100
	情報科目	80							20		100
	文化					10	10	80			100
	社会					20	20	60			100
	自然＆科学技術	20				40	40				100
	環境	20				60	20				100
	地域					20	20	60			100
	地域課題演習			30	20		20		10	20	100
	初年次自由ゼミナール			40	20				20	20	100
専門基礎科目	基礎数学	100									100
	微分積分学Ⅰ	100									100
	微分積分学Ⅱ	100									100
	線形代数学	100									100
	微分方程式	100									100
	ベクトル解析	100									100
	確率統計学	100									100

区分等	科目名	学位授与の方針									重付合計
		知識・理解		思考・判断		関心・意欲・態度		技能・表現			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
専門基礎科目	フーリエ解析	100									100
	物理学Ⅰ	100									100
	物理学Ⅱ	100									100
	物理学実験	50		0	0				25	25	100
	化学Ⅰ	100									100
	化学Ⅱ	100									100
	化学実験	50		0	0				25	25	100
	地学	100									100
社会基盤・環境コース科目	入門地域創生論		50			25	25				100
	地域創生課題演習Ⅰ			25	25				25	25	100
	地域創生課題演習Ⅱ			25	25				25	25	100
	地域創生課題演習Ⅲ			25	25				25	25	100
	社会基盤・環境工学実験		20	20	20				20	20	100
	社会基盤・環境プログラミング演習	50		25	25						100
	数値計算法	100									100
	科学技術英語Ⅰ				25			75			100
	科学技術英語Ⅱ				25			50	25		100
	測量学実習Ⅰ		25	25	25					25	100
	測量学実習Ⅱ		25	25	25					25	100
	構造力学Ⅱ		100								100
	構造力学演習		50		50						100
	鋼構造学		100								100
	コンクリート工学		100								100
	鉄筋コンクリート工学		100								100
	建設材料学		100								100
	施設維持管理工学		75				25				100
	水理学Ⅰ		100								100
	水理学Ⅱ		100								100
	水理学演習		50		50						100
	水工学		80			10	10				100
	土質力学Ⅰ		100								100
	土質力学Ⅱ		100								100
	土質力学演習		50		50						100
	地質工学	25	75								100

区分等	科目名	学位授与の方針									重付合計
		知識・理解		思考・判断		関心・意欲・態度		技能・表現			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
社会基盤・環境コース科目	地盤工学		100								100
	耐震工学		100								100
	地震・火山防災工学	0	100								100
	水・土砂防災工学	0	100								100
	都市計画学		75				25				100
	交通計画学		75				25				100
	公共政策学		50	25			25				100
	上下水道工学		75			25					100
	水環境工学		75			25					100
	大気環境工学		75			25					100
	地盤環境工学		75			25					100
	生態環境保全学		50			25	25				100
	資源循環工学		50			50					100
	設計製図		0	100							100
	施工法		50				50				100
	特別演習		50	0	50						100
	卒業研究		25	25	25				25		100
学部内共通科目	電気回路論 I		100								100
	アナログ電子回路		100								100
	電磁気学 I		100								100
	情報工学基礎	100									100
	離散数学		100								100
	論理回路		100								100
	材料力学 I		100								100
	機械力学		100								100
	機械設計学		100								100
	測量学		100								100
	構造力学 I		100								100
	環境工学		50			25	25				100
	ソフトパス理工学概論		50				50				100
	原子力工学		100								100
	技術者倫理					25	50	25			100
	工業経営管理論						100				100
	知的財産権概論						100				100

区分等	科目名	学位授与の方針									重付合計
		知識・理解		思考・判断		関心・意欲・態度		技能・表現			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
学部内共通科目	特許法特講						100				100
	社会体験学習		25	25	25		25				100
	国際研修							100			100
高大連携科目	理工学入門数学Ⅰ	100									100
	理工学入門数学Ⅱ	100									100
	理工学入門物理Ⅰ	100									100
	理工学入門物理Ⅱ	100									100
	理工学入門化学	100									100
対応科目数		30	51	17	20	15	22	9	12	12	
重み付け合計		2305	3760	435	530	410	810	590	255	305	

農学部　カリキュラムチェックリスト

植物生命科学科

【植物生命科学科の学位授与の方針】
（知識・理解）
１．生命機能を解明し、農業生産に応用するための自然科学、情報技術、コミュニケーション技術に関する基礎知識を有している。

２．有用植物の遺伝育種・機能開発、新規作物の創出、植物ウィルスと昆虫の制御及び機能利用、持続的農業生産、有用技術の開発・応用に関する科学的方法について十分に理解している。

（思考・判断）
３．生命資源・農学に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、行動することができる。

（関心・意欲）
４．豊かな課題探求能力と課題解決能力をもって生命資源に関連する諸課題を解決しようとする意欲を持っている。

（態度）
５．生命資源の創出・発展のニーズに、協調性と倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

（技能・表現）
６．自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
		知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
		1	2	3	4	5	6	
実践知科目	基礎ゼミナール			40	40		20	100
技法知科目	外国語科目	80					20	100
	健康・スポーツ科目				100			100
	情報科目	50					50	100
学問知科目	文化科目	50			50			100
	社会科目	50			50			100
	自然＆科学技術科目	40	10		50			100
	環境科目	50			50			100
	地域科目	40		10	50			100
実践知科目	地域課題演習			30	20	10	40	100
実践知科目	初年次自由ゼミナール			30	50	20		100
専門基礎科目	基礎数学入門	100						100
	線形代数学入門	100						100
	微分積分学入門	100						100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
		知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
		1	2	3	4	5	6	
専門基礎科目	物理学入門	100						100
	化学入門	100						100
	生物学入門	100						100
	地学入門	100						100
	生物統計学	100						100
	基礎数学演習	60		20			20	100
	基礎物理学演習	60		20			20	100
	基礎物理学実験	20		40		20	20	100
	基礎化学実験	20		40		20	20	100
	基礎生物学実験	20		40		20	20	100
	物理学	100						100
	化学	100						100
	生物学	100						100
	小計（16）科目							
学部共通科目	総合フィールド科学	10	90					100
	総合フィールド科学実習		20	20	20	40		100
	科学文献読解法	30		20	25	25		100
	海外特別実習	20		25	30	25		100
	農学のための倫理学			100				100
	地域おこし論			50	50			100
	6次産業化論		30	30	30	10		100
	卒業研究	10	10	20	20	20	20	100
	インターンシップ	10	10	20	20	20	20	100
	科学英語	40		20			40	100
	小計（10）科目							
専門重点科目	農学概論		100					100
	作物栽培学概論		100					100
	蔬菜・花卉園芸学概論		100					100
	遺伝学概論		100					100
	生物制御学概論		100					100
	農業経済学		100					100
	環境植物生理学		100					100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
		知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
		1	2	3	4	5	6	
専門重点科目	General Plant Biology		80	20				100
	農場実習Ⅰ		20	20	20	40		100
	農場実習Ⅱ		20	20	20	40		100
	農場特別実習		20	20	20	40		100
	食用作物学Ⅰ		100					100
	食用作物学Ⅱ		100					100
	果樹園芸学概論		100					100
	蔬菜園芸学各論		100					100
	花卉園芸学各論		100					100
	果樹園芸学各論		100					100
	植物育種学Ⅰ		100					100
	植物育種学Ⅱ		100					100
	植物病理学Ⅰ		100					100
	植物病理学Ⅱ		100					100
	植物ウイルス学		100					100
	応用昆虫学Ⅰ		100					100
	応用昆虫学Ⅱ		100					100
	昆虫生理学		100					100
	遺伝育種学		100					100
	作物学実験		20	35	15	15	15	100
	園芸学実験		20	35	15	15	15	100
	植物生理学実験		20	35	15	15	15	100
	植物育種学実験		20	35	15	15	15	100
	植物病理学実験		20	35	15	15	15	100
	応用昆虫学実験		20	35	15	15	15	100
	農業時事演習		30	20	20	10	20	100
	植物生命科学演習Ⅰ		30	20	20	10	20	100
	植物生命科学演習Ⅱ		30	20	20	10	20	100
	食料・農業政策論		100					100
	農業経営学	10	90					100
	植物生理学	20	80					100
	生化学Ⅰ	20	80					100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
		知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
		1	2	3	4	5	6	
専門重点科目	生化学Ⅱ	20	80					100
	分子生物学Ⅰ	20	80					100
	雑草防除論		100					100
	小計（42）科目							
専門展開科目	植物ストレス応答学	20	80					100
	有機化学概論	20	80					100
	土壌資源利用論	20	80					100
	遺伝子工学	20	80					100
	細胞生物学	20	80					100
	植物栄養学・肥料学	20	80					100
	植物栄養生理学	20	80					100
	生化学Ⅲ	20	80					100
	分子生物学Ⅱ	20	80					100
	基礎分析化学	20	80					100
	農業気象・環境学	20	80					100
	食産業マーケティング論	20	80					100
	小計（12）科目							
必要修得単位数								
合計必要修得単位数								
重み付け合計		2090	4290	925	865	470	460	9100

応用生物化学科

【応用生物化学科の学位授与方針】
（知識・理解）
１．微生物や動植物などの生物資源に関する分子レベルから生態系レベルまでの生命現象や食品素材の特性を理解するための基礎的な知識を化学的な視点で理解している。

（思考・判断）
２．生物資源や食品素材に関する知識と理解を基礎に、食糧、環境、健康に関する諸課題・未知事項について、多面的に思考し、自らの考えをまとめることができる。

（関心・意欲）
３．食糧、環境、健康に関する課題や未知事項に関心を持ち、その解決・解明に意欲的に取り組むことができる。

（態度）
４．生物資源の有効利用やその応用を通じて、食品産業や医薬品産業を始めとするバイオ関連産業の創出・発展に寄与し、地域や社会に貢献する考え方や行動がとれる。

（技能・表現）
５．自らの知識と論理的な思考に基づいた判断結果を的確に説明する表現力や、それを実践する技能を修得している。

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目					重付合計
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
実践知科目	基礎ゼミナール		40	40		20	100
技法知科目	外国語	80				20	100
	健康・スポーツ			100			100
	情報基礎	50				50	100
学問知科目	文化			100			100
	社会			100			100
	自然＆科学技術	50		50			100
	環境	100					100
	地域			100			100
実践知科目	地域課題演習			40	40	20	100
	初年次自由ゼミナール		100				100
専門基礎科目	基礎数学入門	100					100
	線形代数学入門	100					100
	微分積分学入門	100					100
	生物統計学	100					100
	基礎数学演習	100					100
	物理学入門	100					100
	基礎物理学演習	100					100
	基礎物理学実験		20	40		40	100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目					重付合計
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
専門基礎科目	物理学	100					100
	化学入門	100					100
	化学	100					100
	生物学入門	100					100
	基礎生物学実験		20	40		40	100
	生物学	100					100
	地学入門	100					100
	基礎化学実験		20	40		40	100
学部共通科目	総合フィールド科学			20	40	40	100
	総合フィールド科学実習			20	40	40	100
	地域おこし論		50	50			100
	6次産業化論		50	50			100
	インターンシップ			30	40	30	100
	科学英語	40		20		40	100
	科学文献読解法	20	20	20		40	100
	海外特別実習			20	80		100
	農学のための倫理学				100		100
	卒業研究	10	30	30	10	20	100
専門重点科目	有機化学概論	100					100
	生化学I	100					100
	基礎分析化学	100					100
	生化学II	100					100
	土壌資源利用論	80	20				100
	食品化学	100					100
	食品化学工学	100					100
	天然物化学	100					100
	微生物学概論	100					100
	栄養化学	100					100
	分子生物学I	100					100
	植物栄養生理学	100					100
	ケミカルバイオロジー	100					100
	微生物生理学	80			20		100
	植物栄養学・肥料学	100					100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目					重付合計
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
専門重点科目	食品衛生学	80			20		100
	生化学Ⅲ	80	20				100
	食品物理化学	100					100
	遺伝子工学	80				20	100
	分子生物学Ⅱ	100					100
	公衆衛生学	80			20		100
	機器分析化学	60		20		20	100
	産業微生物学	80			20		100
	土壌環境微生物学・生化学	80	20				100
	美味学	80		20			100
	食品保蔵学	80			20		100
	食品機能学	80			20		100
	細胞生物学	100					100
	植物ストレス応答学	100					100
	応用生物化学演習Ⅰ		40	20		40	100
	応用生物化学演習Ⅱ		40	20		40	100
	食品加工システム学	80			20		100
	分析化学実験		30	30		40	100
	植物栄養学実験		30	30		40	100
	食品化学実験		30	30		40	100
	生化学実験		30	30		40	100
	微生物学実験		30	30		40	100
	化学生物学実験		30	30		40	100
	栄養化学実験		30	30		40	100
	食品化学工学実験		30	30		40	100
	分子生物学実験		30	30		40	100
	環境計測実験		30	30		40	100
専門展開科目	植物生理学	100					100
	環境植物生理学	100					100
	General Plant Biology	100					100
	環境計測学	100					100
	林産化学	100					100
	作物栽培学概論	100					100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目					重付合計
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
専門展開科目	食用作物学Ⅰ	100					100
	蔬菜・花卉園芸学概論	100					100
	植物育種学Ⅰ	100					100
	植物病理学Ⅰ	100					100
	応用昆虫学Ⅰ	100					100
	農業経済学	50			50		100
	農産食品プロセス工学	50			50		100
	動物資源利用学Ⅰ	50			50		100
	動物資源利用学Ⅱ	50			50		100
	水産微生物学	50			50		100
	水産食品加工学	50			50		100
	水産化学	50			50		100
	生命情報学	50			50		100
	医薬品科学	50			50		100
必要修得単位数							
合計必要修得単位数							
重付け集計		5920	790	1290	940	960	

森林科学科

【森林科学科の学位授与の方針】
（知識・理解）
1．数学、自然科学、情報処理に関する基礎的知識を持っている。
2．森林科学の学問内容および方法を説明できる。

（思考・判断）
3．森林の多面的機能について、総合的に考えることができる。
4．与えられた制約の下で計画的に仕事を進めることができる。

（関心・意欲）
5．地球的視点から、各地の文化や異なる価値観に関心を示している。
6．自主的、継続的に学修できる。

（態度）
7．技術者が社会に対して負っている責任を感じる。
8．チームワークを意識して行動できる。

（技能・表現）
9．日本語で論理的に記述・発表・討議できる。
10．森林科学の知識を利用し、社会の要求を解決するために提案できる。

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目										重付合計
		森林科学科										
		知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
実践知科目	転換教育科目					20	30			50		100
	地域関連科目					40	10	30		20		100
技法知科目	外国語科目					80	10			10		100
	健康・スポーツ科目				80				20			100
	情報科目	80					10			10		100
学問知科目	文化科目					80	10			10		100
	社会科目					80	10			10		100
	自然＆科学技術科目	50				30	10			10		100
	環境科目					80	10			10		100
	地域科目					80	10			10		100
専門基礎科目	基礎数学入門	80					10			10		100
	線形代数学入門	80					10			10		100
	微分積分学入門	80					10			10		100
	物理学入門	80					10			10		100
	物理学	80					10			10		100
	化学入門	80					10			10		100
	化学	80					10			10		100
	生物学入門	80					10			10		100
	生物学	80					10			10		100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目										重付合計
		森林科学科										
		知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門基礎科目	地学入門	80					10			10		100
	生物統計学	40					50			10		100
	基礎数学演習	70					20			10		100
	基礎物理学演習	70					20			10		100
	基礎物理学実験	40			50					10		100
	基礎化学実験	40			50					10		100
	基礎生物学実験	40			50					10		100
学部共通科目	総合フィールド科学			90						10		100
	総合フィールド科学実習				20				80			100
	地域おこし論					60	10	20		10		100
	6次産業化論					60	10	20		10		100
	インターンシップ						10	40	30	10	10	100
	科学英語					50	40			10		100
	科学文献読解法					50	40			10		100
	海外特別実習					70	20			10		100
	農学のための倫理学							90		10		100
	卒業研究				10		10			40	40	100
専門重点科目	森林科学入門		40	20		10				30		100
	森林科学基礎演習		30	20	10	10			30			100
	樹木学		60	20			10			10		100
	樹木学実習		40	10	10		10		30			100
	森林測量学I		70				10	10		10		100
	森林測量学実習I				20		10		30	20	20	100
	環境防災学		30	40			10	10		10		100
	森林計測学		30	10			50			10		100
	林業・木材産業論		30	40			10			20		100
	暖帯林概論		30	40		10		10		10		100
	野生動物管理学		30	40			10	10		10		100
	地域生態系保全論		30	40			10	10		10		100
	森林保全生態学		50	20			10	10		10		100
	森林測量学II		70				10	10		10		100
	森林測量学実習II				20		10		30	20	20	100
	林業生産工学		50	20			10	10		10		100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目 森林科学科										重付合計
		知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門重点科目	森林・雪氷水文学		50	20			10	10		10		100
	山村経済・地域おこし論		20	40		10	10	10		10		100
	地域観光学		20	20		40	10			10		100
	森林環境教育論		20	20		40	10			10		100
	木材と住宅		70	10			10			10		100
	林産化学		70	10			10			10		100
	森林科学研修		10	10	20		10	10	30	10		100
	森林造成学		30	20			10	10		10	20	100
	森林造成学実習		10		30				20	20	20	100
	野生動物管理学実習		10		30			10	30	10	10	100
	林業生産工学実習				30		10	10	30	10	10	100
	林道工学		30	20			10	10		10	20	100
	砂防学		20	30			10	10		10	20	100
	森林計測学実習				30				30	20	20	100
	森林政策学		20	30			10			20	20	100
	海外・日本の林業		20	20		10	10	30		10		100
	自然環境保全論		10	20		30	10	10		10	10	100
	NPO・環境ガバナンス論		10	20		10	10	30		10	10	100
	木材工学		50	10			10			10	20	100
	森林バイオマスの成分利用		50	10			10			10	20	100
	木材工学演習		20		30		10		20	10	10	100
	森林化学演習		20		30		10		20	10	10	100
	森林科学応用演習I						10	30	10	10	40	100
	環境と樹木の生理		40	20			10			10	20	100
	森林保護学		20	30			10	10		10	20	100
	林道工学実習				30				20	20	30	100
	砂防学実習				30				20	20	30	100
	森林計画学		10	10			40			20	20	100
	データ分析演習				10		30		10	30	20	100
	森林科学応用演習II				10		10		10	20	50	100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目										重付合計
		森林科学科										
		知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
専門展開科目	応用昆虫学Ⅰ		40	40			10			10		100
	植物生理学		40	40			10			10		100
	植物病理学Ⅰ		40	40			10			10		100
	植物病理学Ⅱ		40	40			10			10		100
	有機化学概論	80					10			10		100
専門展開科目	天然物化学	60		20			10			10		100
	生化学Ⅰ	80					10			10		100
	微生物学概論	60		20			10			10		100
	分子生物学Ⅰ	60		20			10			10		100
	機器分析化学	40	10		30		10			10		100
	応用力学	80					10			10		100
	応用数学	80					10			10		100
	構造力学	60		20			10			10		100
	水理学	60		20			10			10		100
	農業労働科学		20	40			10	20		10		100
	地域マネジメント論			20		40	10	20		10		100
	緑地環境学		40	40			10			10		100
	施設開発管理学		20	40			10	20		10		100
	地域景観保全論		10	30		20	10	20		10		100
必要修得単位数												
合計必要修得単位数												
重み付け合計		1890	1480	1210	630	1010	1100	550	500	1190	540	10100

食料生産環境学科　農村地域デザイン学コース

【農村地域デザイン学コースの学位授与の方針】

（知識・理解）

1．自然科学や情報技術および地域文化の基礎知識を身につけている。

2．農村地域デザイン学の基本・応用分野の知識を身につけている。

（思考・判断）

3．地域の問題点と課題を理解し、生産環境と地域社会の計画・設計の在り方を考察できる。

4．自ら課題を見つけ、計画を立て、自分の考えをまとめ、積極的に表現することができる。

（関心・意欲）

5．地域の生産・生活基盤の充実と環境改善の必要性に関心を持ち，解決の意欲がある。

（態度）

6．技術者としての社会的責任の重さを自覚している。

（技能・表現）

7．地域・現場の人達と良好なコミュニケーションを図る能力がある。

8．文章や口頭発表による表現力を身につけている。

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解		思考・判断		関心・意欲	態度	技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
教養教育科目	実践知科目	基礎ゼミナール			20		20	20		40	100
	技法知科目	外国語	60						20	20	100
		健康・スポーツ					50	50			100
		情報科目	50		50						100
	学問知科目	文化	100								100
		社会	100								100
		自然＆科学技術	100								100
		環境	100								100
		地域	100								100
	実践知科目	初年次自由ゼミナール			40		30		10	20	100
専門教育科目	専門基礎科目	基礎数学入門	100								100
		線形代数学入門	100								100
		微分積分学入門	100								100
		物理学入門	100								100
		物理学	100								100
		化学入門	100								100
		化学	100								100
		生物学入門	100								100
		生物学	100								100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解		思考・判断		関心・意欲	態度	技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
専門教育科目	専門基礎科目	地学入門	100								100
		生物統計学	100								100
		基礎数学演習	60		20					20	100
		基礎物理学演習	60		20					20	100
		基礎物理学実験	40		20			20		20	100
		基礎化学実験	40		20			20		20	100
		基礎生物学実験	40		20			20		20	100
	学部共通科目	農学のための倫理学	20					80			100
		海外特別実習				25	25		50		100
		科学文献読解法	50							50	100
		科学英語	50							50	100
		インターンシップ					20		80		100
		地域おこし論			50			30	20		100
		6次産業化論	50		50						100
		総合フィールド科学	30		50			20			100
		総合フィールド科学実習	30		50			20			100
		卒業研究				25	10	15	25	25	100
	学科共通科目	食料生産環境学概論			50		20		30		100
		応用力学		100							100
		応用数学		100							100
		情報処理演習	50	30	10		10				100
	専門重点科目	構造力学		100							100
		構造力学演習			50	50					100
		土質力学		100							100
		土質力学演習			50	50					100
		測量学		100							100
		測量学基礎実習			50	50					100
		測量学フィールド実習			25	25	30	20			100
		地理情報処理学		100							100
		地理情報処理演習			50	50					100
		水理学		100							100
		水資源論		80		10	10				100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解		思考・判断		関心・意欲	態度	技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
専門教育科目	専門重点科目	水理学実験演習			45	45	10				100
		土壌物理学		100							100
		施設開発管理学		100							100
		水文・水利学		100							100
		農地工学		100							100
		土壌・土質実験			50	50					100
		材料実験			45	45	10				100
		地域デザイン論		50	50						100
		地域マネジメント論		50	50						100
		環境防災学		100							100
		農村計画学		100							100
		緑地環境学		80			20				100
		地域生態系保全論		100							100
		環境デザイン演習			50	50					100
		地域景観保全論		50	50						100
		地域振興政策論		50	50						100
		環境計測学		100							100
		農村生態工学		50	50						100
		海外農林開発論		30	30			40			100
		環境修復学		50			30	20			100
		環境計測実験			50	50					100
		農村地域デザイン学演習			50	50					100
		農村地域デザイン実践論			25	25		50			100
		農村地域デザイン学セミナー			10	30			30	30	100
		農山村調査実習			10	10	20	20	40		100
	専門展開科目	作物栽培学概論		50		25	25				100
		農業経済学		50		25	25				100
		農業気象・環境学		50		25	25				100
		栽培施設学		50		25	25				100
		食産業マーケティング論		50		25	25				100
		農業・食料政策論		50		25	25				100
		農業動力利用学		50		25	25				100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解		思考・判断		関心・意欲	態度	技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
専門教育科目	専門展開科目	土壌資源利用論		50		25	25				100
		土壌環境微生物学・生化学		50		25	25				100
		栽培環境制御学		50		25	25				100
		有機化学概論		50		25	25				100
		天然物化学		50		25	25				100
		基礎分析化学		50		25	25				100
		機器分析化学		50		25	25				100
		食品化学工学		50		25	25				100
		食品物理化学		50		25	25				100
		木材と住宅		50		25	25				100
		森林環境教育論		10	40	25	25				100
		野生動物管理学		10	40	25	25				100
		砂防学		10	40	25	25				100
		未利用資源利用学		50		25	25				100
		地域観光学		10	40	25	25				100
		NPO・環境ガバナンス論		10	40	25	25				100
必要修得単位数											
合計必要修得単位数											
重み付け合計			2230	2970	1510	1215	890	445	305	335	9900

食料生産環境学科　食産業システム学コース

【食産業システム学コースの学位授与の方針】
（知識・理解）
１．　食産業に関わる諸問題を理解するために必要な自然科学、情報技術および地域社会に関する基礎知識を身につけている。
２．食料安定供給と環境負荷低減の両立や農業の６次産業化の推進など、次世代の食産業システムの構築に関する広範な知識を有している。

（思考・判断）
３．食産業に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、行動することができる。

（関心・意欲）
４．食産業について多面的な関心を持ち、技術や経営の革新を通じて諸課題を解決しようとする意欲を持っている。

（態度）
５．食産業における技術開発や経営活動において、協調性と倫理性をもって、自律的に行動できる。

（技能・表現）
６．自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
			1	2	3	4	5	6	
教養教育科目	実践知科目	基礎ゼミナール			40	40		20	100
	技法知科目	外国語	80					20	100
		健康・スポーツ				100			100
		情報科目	50					50	100
	学問知科目	文化				100			100
		社会				100			100
		自然＆科学技術	50			50			100
		環境	50			50			100
		地域	50			50			100
	実践知科目	地域課題演習	20		20	40	10	10	100
		初年次自由ゼミナール			100				100
専門教育科目	専門基礎科目	基礎数学入門	80		20				100
		線形代数学入門	80		20				100
		微分積分学入門	80		20				100
		物理学入門	80		20				100
		物理学	80		20				100
		化学入門	80		20				100
		化学	80		20				100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
			1	2	3	4	5	6	
専門教育科目	専門基礎科目	生物学入門	80		20				100
		生物学	80		20				100
		地学入門	80		20				100
		生物統計学	80		20				100
		基礎数学演習	60		20			20	100
		基礎物理学演習	60		20			20	100
		基礎物理学実験	20		40		20	20	100
		基礎化学実験	20		40		20	20	100
		基礎生物学実験	20		40		20	20	100
	学部共通科目	農学のための倫理学	50	50					100
		海外特別実習	10	10	25	25	30		100
		科学文献読解法	25	25	50				100
		科学英語	20	20	20			40	100
		インターンシップ	10	10	20	20	20	20	100
		地域おこし論			50	50			100
		6次産業化論	15	15	30	30	10		100
		総合フィールド科学	40	40	20				100
		総合フィールド科学実習	10	10	20	20	40		100
		卒業研究	5	5	25	25	15	25	100
	学科共通科目	食料生産環境学概論	10	10	20	30	30		100
		応用力学	50	50					100
		応用数学	50	50					100
		情報処理演習	30	30	20			20	100
	専門重点科目	栽培施設学		80	20				100
		農業気象・環境学		80	20				100
		植物環境物理学		80	20				100
		栽培環境制御学		80	20				100
		プログラミング演習		40	20			40	100
		農作業システム学		80	20				100
		農業動力利用学		80	20				100
		農業労働科学		80	20				100
		未利用資源利用学		80	20				100
		機械と施設の設計		80	20				100
		ものづくり実習		15	40	15	15	15	100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
			1	2	3	4	5	6	
専門教育科目	専門重点科目	ポストハーベスト工学		80	20				100
		熱工学		80	20				100
		農産食品プロセス工学		80	20				100
		生物理工学		80	20				100
		農業経済学		80	20				100
		農業経営学		80	20				100
		食料・農業政策論		80	20				100
		農業経営・経済学演習		20	15	25	15	25	100
		食産業マーケティング論		80	20				100
		農業情報処理		20	20	20	20	20	100
		食産業システム学実験Ⅰ		20	40		20	20	100
		食産業システム学実験Ⅱ		20	40		20	20	100
		食産業システム学演習Ⅰ		20	20	20	20	20	100
		食産業システム学演習Ⅱ		20	15	25	15	25	100
	専門展開科目	作物栽培学概論	50	50					100
		果樹園芸学概論	50	50					100
		蔬菜・花卉園芸学概論	50	50					100
		遺伝学概論	50	50					100
		雑草防除論	50	50					100
		食用作物学Ⅰ	50	50					100
		果樹園芸学各論	50	50					100
		蔬菜園芸学各論	50	50					100
		花卉園芸学各論	50	50					100
		植物育種学Ⅰ	50	50					100
		植物病理学Ⅰ	50	50					100
		応用昆虫学Ⅰ	50	50					100
		植物生理学	50	50					100
		農場実習Ⅰ	10	10	20	20	40		100
		農場実習Ⅱ	10	10	20	20	40		100
		農場特別実習	10	10	20	20	40		100
		制御工学	50	50					100
		ロボティクス工学	50	50					100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
			1	2	3	4	5	6	
専門教育科目	専門展開科目	土質力学		100					100
		地理情報処理学		100					100
		水資源論		80	10	10			100
		水理学		100					100
		土壌物理学		100					100
		農地工学		100					100
		農村計画学		100					100
		土壌資源利用論		50	25	25			100
		植物栄養学・肥料学		100					100
		食品化学工学		100					100
		食品化学		100					100
		食品保蔵学		80			20		100
		美味学		80		20			100
		食品衛生学		80			20		100
		公衆衛生学		80			20		100
必要修得単位数									
合計必要修得単位数									
重み付け合計			2465	3990	1485	950	520	490	9900

食料生産環境学科　水産システム学コース

【水産システム学コースの学位授与の方針】
（知識・理解）
1．水産システム学を実践するための数学、自然科学、社会科学、コミュニケーション（日本語・英語）に関する基礎的知識を身につけている。

2．水産業の復興と持続的発展に貢献するために、水産科学分野に加えて、水産業に関わる人文・社会科学分野までの幅広い関連分野を網羅した水産システム学を体系的に身につけ、水産業の現状とその課題を俯瞰的視点から理解できる。

（思考・判断）
3．水産業が抱える諸課題について多角的に分析、俯瞰的に思考し、最善の解決策を判断できる。

（関心・意欲）
4．日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に意欲的に取り組むことができる。

（態度）
5．水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち、真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を持つ。

（技能・表現）
6．漁業及び周辺産業、海洋環境や水産資源管理の現状把握と分析のための基礎的な技術を身につけている。

7．　調査や統計データを的確に分析・利用する技術、結果に基づく論理的な思考能力、および得られた結果を的確に伝えることが出来るコミュニケーション力　（プレゼンテーション、日本語、英語）を身につけている。

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目							重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	
教養教育科目	実践知科目	基礎ゼミナール			40	40		10	10	100
	技法知科目	外国語	80						20	100
		健康・スポーツ				100				100
		情報科目	50					20	30	100
	学問知科目	文化				100				100
		社会				100				100
		自然＆科学技術	50			50				100
		環境	40	10		50				100
		地域	50			50				100
	実践知科目	地域課題演習	20		20	40	10		10	100
		初年次自由ゼミナール			100					100
専門教育科目	専門基礎科目	基礎数学入門	80		20					100
		線形代数学入門	80		20					100
		微分積分学入門	80		20					100
		物理学入門	80		20					100
		物理学	80		20					100
		化学入門	80		20					100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目							重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	
専門教育科目	専門基礎科目	化学	80		20					100
		生物学入門	80		20					100
		生物学	80		20					100
		地学入門	80		20					100
		生物統計学	80		20					100
		基礎数学演習	60		20				20	100
		基礎物理学演習	60		20				20	100
		基礎物理学実験	20		40		20		20	100
		基礎化学実験	20		40		20		20	100
		基礎生物学実験	20		40		20		20	100
	学部共通科目	総合フィールド科学	40	40	20					100
		総合フィールド科学実習	10	10	20	20	40			100
		地域おこし論			50	50				100
		6次産業化論	15	15	30	30	10			100
		インターンシップ	10	10	20	20	20	10	10	100
		科学英語	40		20				40	100
		科学文献読解法	50		50					100
		海外特別実習	15	10	25	25	25			100
		農学のための倫理学	50	50						100
		卒業研究	5	10	20	25	15	15	10	100
	学科共通科目	食料生産環境学概論	10	10	20	30	30			100
		応用力学	100							100
		応用数学	100							100
		情報処理演習	60		20			0	20	100
	専門重点科目	水産科学技術者倫理	5	20	25	25	25			100
		水産科学入門		25	25	25		20	5	100
		水産増殖学		60	30			10		100
		水産動物学		60	30			10		100
		水産植物学		60	30			10		100
		水族ゲノム生物学		60	30			10		100
		水族生理学		60	30			10		100
		漁業資源生態学		60	30			10		100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目							重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	
専門教育科目	専門重点科目	海洋物理学		60	30			10		100
		水圏環境学		60	30			10		100
		数理漁業資源学		40	30			30		100
		水産食品加工学		60	30			10		100
		水産化学		60	30			10		100
		水産微生物学		60	30			10		100
		漁村計画学		25	25	25		25		100
		地域マネージメント概論		25	25	25		25		100
		地域振興経済・政策論		25	25	25		25		100
		自然環境政策論		25	25	25		25		100
		漁業・漁業資源経済学		40	30			30		100
		漁業経営・水産マーケティング論		60	30			10		100
		水産物流通論		60	30			10		100
		水産制度学		60	30			10		100
		水産政策学		60	30			10		100
		起業学入門	20	5	25	25	15	0	10	100
		コミュニケーション論	20	5	25	25	15	0	10	100
		コーディネーション概論	20	5	25	25	15	0	10	100
		起業学実習	20	5	25	25	15	0	10	100
		水産生物学実験		60	30			10		100
		分析化学実験		60	30			10		100
		海洋実習		60	30			10		100
		漁村調査実習		25	25	25	15	10		100
	専門展開科目	遺伝学概論	50	10	30			5	5	100
		プログラミング演習	40		20			10	30	100
		熱工学	50	10	30			5	5	100
		農産食品プロセス工学	50	10	30			5	5	100
		生物理工学	50	10	30			5	5	100
		食産業マーケティング論	50	10	30			5	5	100
		地域デザイン論	50	10	30			5	5	100
		地域生態系保全論	50	10	30			5	5	100
		遺伝子工学	50	10	30			5	5	100

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目							重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	
専門教育科目	専門展開科目	基礎分析化学	50	10	30			5	5	100
		細胞生物学	50	10	30			5	5	100
		食品衛生学	50	10	30			5	5	100
		食品化学	50	10	30			5	5	100
		食品機能学	50	10	30			5	5	100
		食品加工システム学	50	10	30			5	5	100
		公衆衛生学	50	10	30			5	5	100
		生化学Ⅰ	50	10	30			5	5	100
		食品化学工学	50	10	30			5	5	100
		食品保蔵学	50	10	30			5	5	100
		ＮＰＯ・環境ガバナンス論	50	10	30			5	5	100
		動物組織学	50	10	30			5	5	100
		動物発生学	50	10	30			5	5	100
		ロボティクス工学	50	10	30			5	5	100
		制御工学	50	10	30			5	5	100
必要修得単位数										
合計必要修得単位数										
重み付け合計			3130	1745	2420	1005	310	550	440	9600

動物科学科

【動物科学科の学位授与の方針】
（知識・理解）
1．農学や生命科学につながる幅広い知識及びその基礎となる教養を持っている。
2．動物生産及び動物科学分野に関する知識を持っている。

（思考・判断）
3．動物関連産業に関する課題の解決を適切に行うため、動物生産及び動物科学分野に関する知識により考察することができる。

（関心・意欲）
4．動物関連産業に関する課題に関心を持ち、課題の解決に意欲的に取り組むことができる。

（態度）
5．動物関連産業に関する課題の解決を客観的に行うため、情報収集及び議論を積極的に行うことができる。

（技能・表現）
6．動物関連産業に関する課題を解決して論文又は口頭で発表を行うか、修得した動物生産及び動物科学分野の技術を実践することができる。

区分		授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
			知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
			1	2	3	4	5	6	
実践知科目	転換教育科目	基礎ゼミナール	5	5	20	20	10	40	100
技法知科目		外国語科目	15	15			20	50	100
		情報科目	15	15			20	50	100
		健康・スポーツ科目	10	10			30	50	100
学問知科目		文化	25	25			50		100
		社会	25	25			50		100
		自然＆科学技術	25	25			50		100
		環境科目	25	25			50		100
	地域関連科目	地域科目	25	25			50		100
実践知科目		地域課題演習科目	5	5	20	20	10	40	100
		初年次自由ゼミナール	5	5	20	20	10	40	100
専門基礎科目		基礎数学入門	30	20			50		100
		線形代数学入門	30	20			50		100
		微分積分学入門	30	20			50		100
		物理学入門	30	20			50		100
		化学入門	30	20			50		100
		生物学入門	30	20			50		100
		地学入門	30	20			50		100
		生物統計学	15	10	25	25	25		100
		基礎数学演習	15	10	25	25	25		100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
		知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
		1	2	3	4	5	6	
専門基礎科目	基礎物理学演習	15	10	25	25	25		100
	基礎物理学実験	15	10	25	25	25		100
	基礎化学実験	15	10	25	25	25		100
	基礎生物学実験	15	10	25	25	25		100
	物理学	30	20			50		100
	化学	30	20			50		100
	生物学	30	20			50		100
学部共通科目	農学のための倫理学	50	50					100
	地域おこし論	15	15	30	40			100
	6次産業論	15	15	30	40			100
	総合フィールド科学	25	25			50		100
	総合フィールド科学実習	5	10	15	15	15	40	100
	海外特別実習	50	50					100
	科学文献読解法	50	50					100
	インターンシップ	10	10	20	20	20	20	100
	科学英語	50	50					100
	卒業研究	10	10	20	20	20	20	100
専門重点科目	動物科学総論	10	15	25	25	25		100
	実験動物学概論	10	15	25	25	25		100
	動物生理学Ⅰ	10	15	25	25	25		100
	動物生理学Ⅱ	10	15	25	25	25		100
	動物形態学Ⅰ	10	15	25	25	25		100
	動物形態学Ⅱ	10	15	25	25	25		100
	動物組織学	10	15	25	25	25		100
	動物遺伝育種学	10	15	25	25	25		100
	家畜育種学	10	15	25	25	25		100
	動物発生学	10	15	25	25	25		100
	動物生殖学	10	15	25	25	25		100
	動物生殖学各論	10	15	25	25	25		100
	家畜生殖技術論	10	15	25	25	25		100
	動物栄養学Ⅰ	15	10	25	25	25		100
	動物栄養学Ⅱ	10	15	25	25	25		100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
		知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
		1	2	3	4	5	6	
専門重点科目	飼料機能学	10	15	25	25	25		100
	家畜生産生理学	10	15	25	25	25		100
	家畜飼養学	10	15	25	25	25		100
	愛玩動物栄養学	10	15	25	25	25		100
	草地学	10	15	25	25	25		100
	畜産環境評価論	10	15	25	25	25		100
	動物管理学	10	15	25	25	25		100
	動物行動学	10	15	25	25	25		100
	動物園学	10	15	25	25	25		100
	野生動物学	10	15	25	25	25		100
	動物資源利用学Ⅰ	10	10	20	20	20	20	100
	動物資源利用学Ⅱ	10	10	20	20	20	20	100
	動物科学実験Ⅰ	10	10	20	20	20	20	100
	動物科学実験Ⅱ	10	10	20	20	20	20	100
	牧場実習	10	10	20	20	20	20	100
専門展開科目	農業経営学	50	50					100
	食品化学工学	50	50					100
	応用昆虫学Ⅰ	50	50					100
	食品化学	50	50					100
	生化学Ⅰ	50	50					100
	生化学Ⅱ	50	50					100
	野生動物管理学	50	50					100
	分子生物学Ⅰ	50	50					100
	遺伝子工学	50	50					100
	細胞生物学	50	50					100
	食品保蔵学	50	50					100
	地域生態系保全論	50	50					100
	遺伝学概論	50	50					100
	微生物学概論	50	50					100
	植物栄養学・肥料学	50	50					100
	有機化学概論	50	50					100
	植物生理学	50	50					100

区分	授業科目	ディプロマポリシーの項目						重付合計
		知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
		1	2	3	4	5	6	
専門展開科目	天然物化学	50	50					100
	美味学	50	50					100
	公衆衛生学	50	50					100
必要修得単位数								
合計必要修得単位数								
重み付け合計		2155	2145	1050	1070	1830	450	8700

共同獣医学科

【共同獣医学科の学位授与の方針】
（知識・理解）
1．獣医師としての責務を遂行するために，動物の健康・福祉，公衆衛生などに関する高度な専門知識を修得している。

（思考・判断）
2．獣医学領域に関わる課題について，生命科学を基礎とした知識と技能を用いて論理的に判断できる。

（関心・意欲）
3．獣医師として国内での責務を果たすのみならず，国際的視野を有している。

（関心・意欲）
4．地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得しており，意欲も有している。

（態度）
5．幅広い専門知識や技能に基づいた説明ができる。

（態度）
6．倫理性も備えた行動規範を身につけており，適切なコミュニケーションができる。

（技能・表現）
7．高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践できる。

（技能・表現）
8．論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけている。

区分1	区分2	授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解	思考・判断	関心・意欲		態度		技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
大学教育導入科目群		基礎ゼミナール	20	20	20		20		20		100
スポーツ健康科目群		健康・スポーツA							100		100
		健康・スポーツB							100		100
外国語科目群		英語総合Ⅰ		100							100
		英語総合Ⅱ		100							100
		英語コミュニケーションⅠ		50		50					100
		英語コミュニケーションⅡ		50		50					100
		英語総合Ⅲ		50		50					100
		英語コミュニケーションⅢ		50		50					100
人文社会科学科目群		哲学の世界		100							100
		倫理学の世界		100							100
		憲法		100							100
		経済のしくみ		100							100
		現代社会の社会学		100							100

区分1	区分2	授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解	思考・判断	関心・意欲		態度		技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
人文社会科学科目群		心の理解		100							100
		日本の歴史と文化		100							100
		市民と政治		100							100
理数系基礎科目群		生物学	50	50							100
		化学	50	50							100
		獣医細胞生物学	50	50							100
		情報基礎	50	50							100
配置大学特色科目群	外国語アドバンス	初級ドイツ語（入門）		100							100
		初級ドイツ語（発展）		50		50					100
		初級フランス語（入門）		100							100
		初級フランス語（発展）		50		50					100
		初級中国語（入門）		100							100
		初級中国語（発展）		50		50					100
		初級韓国語（入門）		100							100
		初級韓国語（発展）		50		50					100
	持続可能な環境・社会	くらしと科学技術	50	50							100
		知的財産入門		50				25		25	100
		岩手大学ミュージアム学		100							100
		水と環境		100							100
		動物と環境	50	50							100
		生活と環境	50	50							100
		農学のための倫理学						20		80	100
		人の暮らしと生物環境	40	60							100
		欧米の思想と文化		100							100
		市民生活と法		100							100
	理数系アドバンス	総合フィールド科学		60				40			100
		総合フィールド科学実習		20		20	20	40			100
		生命のしくみ	40	60							100
		自然のしくみ		100							100
		物理学入門					100				100
		線形代数学入門					100				100

区分1	区分2	授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解	思考・判断	関心・意欲		態度		技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
配置大学特色科目群	理数系アドバンス	微分積分学入門					100				100
		生物統計学		60					20	20	100
		基礎化学実験	25	25			25		25		100
		基礎生物学実験	25	25			25		25		100
		基礎物理学演習	25	25			25		25		100
基盤獣医学科目	基礎獣医学科目群	獣医学概論	25		25		25		25		100
		獣医倫理						50		50	100
		獣医事法規	25		25		50				100
		運動器・神経系解剖学	100								100
		内臓・脈管系解剖学	100								100
		解剖学実習	20	20			20		40		100
		組織学	100								100
		組織学実習	100								100
		発生学	100								100
		統合生理学	100								100
		器官制御生理学	100								100
		内分泌学	100								100
		生理学実習	20	20			20		40		100
		獣医遺伝育種学	100								100
		動物行動学	100								100
		実験動物学	100								100
		実験動物学実習	20	20			20		40		100
		基礎放射線学	100								100
		獣医基礎生化学	100								100
		獣医代謝生化学	100								100
		生化学実習	20	20			20		40		100
		基盤薬理学	100								100
		統合薬理学	100								100
		薬理学実習	20	20			20		40		100

区分1	区分2	授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解	思考・判断	関心・意欲		態度		技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
基盤獣医学科目	病態獣医学科目群	微生物学総論	100								100
		病原微生物学	60		20	20					100
		微生物学実習	50	50							100
		免疫学	60		20	20					100
		原虫・原虫病学	60		20	20					100
		蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	60		20	20					100
		寄生虫学実習	20	15	10	10	15		30		100
		動物感染症学	50		25	25					100
		家禽疾病学	50		25	25					100
		魚病学	50		25	25					100
		動物病理学総論	100								100
		動物病理学各論A（主要臓器）	50		25	25					100
		動物病理学各論B（他臓器・組織）	50		25	25					100
		病理学実習	20	15	10	10	15		30		100
	応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	50		25	25					100
		疫学	50		25	25					100
		人獣共通感染症学	50		25	25					100
		環境衛生学	50		25	25					100
		公衆衛生学実習	20	15	10	10	15		30		100
		毒性学	50		25	25					100
		毒性学実習	20	15	10	10	15		30		100
		動物衛生学	50		25	25					100
		動物衛生学実習	20	15	10	10	15		30		100
		野生動物学	50		25	25					100
		食品衛生学（獣医）	50		25	25					100
		食品衛生学実習	20	10	10	10	20		30		100
		公衆衛生実践実習	20	10	10	10	20		30		100
実証獣医学科目	小動物臨床獣医学科目群	内科学総論	100								100
		呼吸器病・循環器病学	100								100
		消化器病学	100								100
		外科学総論	100								100

区分1	区分2	授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解	思考・判断	関心・意欲		態度		技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
実証獣医学科目	小動物臨床獣医学科目群	麻酔学・手術学	100								100
		軟部外科学	100								100
		小動物内科学実習・基礎編	25	25			25		25		100
		小動物内科学実習・応用編	25	25			25		25		100
		小動物外科学実習・基礎編	25	25			25		25		100
		小動物外科学実習・応用編	25	25			25		25		100
		内分泌病・皮膚病学	100								100
		代謝病・中毒学	100								100
		血液免疫病学	100								100
		神経病・運動器病学	100								100
		泌尿器病・生殖器病学	100								100
		臨床病理学	100								100
		臨床薬理学	100								100
		臨床腫瘍学	100								100
		臨床栄養学	100								100
		画像診断学	100								100
		画像診断実習	100								100
		眼科学	100								100
		動物行動治療学	100								100
		総合参加型臨床実習Ⅰ	25	25			25		25		100
		総合参加型臨床実習Ⅱ	25	25			25		25		100
		総合参加型臨床実習Ⅲ	25	25			25		25		100
		総合参加型臨床実習Ⅳ	25	25			25		25		100
	大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	100								100
		臨床繁殖学	100								100
		繁殖機能制御学実習	100								100
		臨床繁殖学実習	25	25			25		25		100
実証獣医学科目		産業動物臨床学Ⅰ	100								100
		産業動物臨床学Ⅱ	100								100
		馬臨床学	100								100
		大動物臨床実習・基礎編	25	25			25		25		100
		大動物臨床実習・応用編	25	25			25		25		100
		総合参加型臨床実習Ⅴ	10	20	10	10	20		30		100
		総合参加型臨床実習Ⅵ	10	20	10	10	20		30		100

区分1	区分2	授業科目	ディプロマポリシーの項目								重付合計
			知識・理解	思考・判断	関心・意欲		態度		技能・表現		
			1	2	3	4	5	6	7	8	
選択科目		インターンシップ（獣医）	10	20	10	10	20		30		100
		海外実習	10	20	10	10	20		30		100
		人と動物関係学	100								100
		動物品種論	100								100
		食品安全管理学	50		25	25					100
		動物園動物学	50		25	25					100
		国際感染症制御学	50		25	25					100
		動物病院経営学	100								100
専修科目		獣医学演習	25	25	10	10			30		100
		卒業研究	15	15	10	10	20		30		100
必要修得単位数											
合計必要修得単位数											
重み付け合計			6860	3695	680	1030	1080	175	1205	175	14900

岩手大学
教育推進機構
年次報告別冊　2015

平成 29 年 3 月 29 日　発行

●編集・発行
岩手大学教育推進機構
岩手県盛岡市上田３丁目１８−３４

●印刷・製本
杜陵高速印刷株式会社

(C)2017 Iwate University : Center for Teaching, Learning and Career Development, Printed in Japan.

Iwate University
岩手大学